福岡市埋蔵文化財調査報告書　第1109集

Imajuku　Goroue

今宿五郎江 9

－第13次調査の報告－

2011

福岡市教育委員会

今宿五郎江9

福岡市埋蔵文化財調査報告書　第一一〇九集

二〇一一　福岡市教育委員会

福岡市埋蔵文化財調査報告書第1109集

Imajuku Goroue

今宿五郎江 9

－第13次調査の報告－

IZG13
0718

2011

福岡市教育委員会

第13次調査地点全景（南から）

「寶」銘銅印

序

福岡市は大陸に近いという地理的条件から、文化の流入拠点、大陸との貿易基地として古くからの歴史を有しています。現在は歴史的、地理的に関係の深いアジアとのつながりを重視し、「アジアの交流拠点都市」を目指し、アジアの様々な地域との交流や学術・文化などの交流を行っています。
また、九州大学伊都キャンパスが設置された本市西部地域では新たな拠点づくりが進められており、伊都土地区画整理事業は、JR筑肥線沿線の都市基盤や交通結節機能の整備ならびに良好な住宅地の供給を目的に行われるものであります。

今回報告する今宿五郎江遺跡13次調査はその事業に伴い2007年度に実施したもので、弥生時代後期の環濠や多数の遺物が発見され、弥生時代の「伊都国」の重要な拠点集落であることがわかりました。本書が文化財保護のより一層のご理解の一助となり、学術研究の資料として活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、伊都土地区画整理事務所をはじめとする関係各位のご協力に並び調査に厚くお礼申し上げます。

平成23年3月18日

福岡市教育委員会
教育長　山 田　裕 嗣

例言

1．本書は伊都土地区画整理事業に伴い、福岡市教育委員会が2007年度に行った今宿五郎江遺跡群第13次調査の報告である。
2．本書に使用した遺構実測図は菅波正人、森本幹彦が、遺物実測図は熊埜御堂和香子、車敏浩、平川敬治、菅波が行った。トレースは熊埜御堂和香子が行った。
3．本書に使用した写真は菅波、空中写真は（株）写測エンジニアリングが撮影した。
4．本書に使用した座標は国土座標第Ⅱ系（日本測地系）を使用し、本書に使用した方位は座標北である。
5．本書の執筆・編集は菅波正人が行った。
6．今回報告する出土遺物および遺構、遺物の記録類は福岡市埋蔵文化財センターにおいて収蔵・管理される予定である。

調査番号	調査次数	担当者	所在地	分布地図番号	調査期間	調査面積	遺跡の時代
0718	第13次	菅波	西区今宿172-4	今宿　112　0626	2007.6.1 ～10.23	820㎡	弥生時代 集落

目次

Ⅰ　はじめに
1．調査に至る経緯 …… 1
2．調査の組織 …… 1
3．遺跡の位置と環境 …… 2
Ⅱ　調査の記録
1．調査の概要 …… 7
2．検出遺構 …… 7
3．出土遺物 …… 12
4．小結 …… 110

挿図目次

Fig. 1　今宿五郎江遺跡位置図（1/25,000）…… 3
Fig. 2　今宿五郎江遺跡航空写真合成図 …… 5
Fig. 3　今宿五郎江遺跡調査地点位置図（1/2000）…… 6
Fig. 4　今宿五郎江遺跡第13次調査地点周辺遺構配置図（1/600）… 8
Fig. 5　今宿五郎江遺跡第13次調査遺構配置図（1/200）…… 9
Fig. 6　SD003土層実測図（1/40）…… 10
Fig. 7　SK001、002実測図（1/40）…… 11
Fig. 8　SD003出土土器実測図1（1/4）…… 17
Fig. 9　SD003出土土器実測図2（1/4）…… 18
Fig. 10　SD003出土土器実測図3（1/4）…… 19
Fig. 11　SD003出土土器実測図4（1/4）…… 20
Fig. 12　SD003出土土器実測図5（1/4）…… 21
Fig. 13　SD003出土土器実測図6（1/4）…… 22
Fig. 14　SD003出土土器実測図7（1/4）…… 23
Fig. 15　SD003出土土器実測図8（1/4）…… 24
Fig. 16　SD003出土土器実測図9（1/4）…… 25
Fig. 17　SD003出土土器実測図10（1/4）…… 26
Fig. 18　SD003出土土器実測図11（1/4）…… 27
Fig. 19　SD003出土土器実測図12（1/4）…… 28
Fig. 20　SD003出土土器実測図13（1/4）…… 29
Fig. 21　SD003出土土器実測図14（1/4）…… 30
Fig. 22　SD003出土土器実測図15（1/4）…… 31
Fig. 23　SD003出土土器実測図16（1/4、1/8）…… 32
Fig. 24　SD003出土土器実測図17（1/4）…… 33
Fig. 25　SD003出土土器実測図18（1/4）…… 34
Fig. 26　SD003出土土器実測図19（1/4）…… 35

Fig. 27　SD003出土土器実測図20（1/4）…… 36
Fig. 28　SD003出土土器実測図21（1/4、1/8）…… 37
Fig. 29　SD003出土土器実測図22（1/4）…… 38
Fig. 30　SD003出土土器実測図23（1/4）…… 39
Fig. 31　SD003出土土器実測図24（1/4）…… 40
Fig. 32　SD003出土土器実測図25（1/4）…… 41
Fig. 33　SD003出土土器実測図26（1/4）…… 42
Fig. 34　SD003出土土器実測図27（1/4）…… 43
Fig. 35　SD003出土土器実測図28（1/4）…… 44
Fig. 36　SD003出土土器実測図29（1/4）…… 45
Fig. 37　SD003出土土器実測図30（1/4）…… 46
Fig. 38　SD003出土土器実測図31（1/4）…… 47
Fig. 39　SD003出土土器実測図32（1/4）…… 48
Fig. 40　SD003出土土器実測図33（1/4）…… 49
Fig. 41　SD003出土土器実測図34（1/4）…… 50
Fig. 42　SD003出土土器実測図35（1/4）…… 51
Fig. 43　SD003出土土器実測図36（1/4）…… 52
Fig. 44　SD003出土土器実測図37（1/4）…… 53
Fig. 45　SD003出土土器実測図38（1/4）…… 54
Fig. 46　SD003出土土器実測図39（1/4、1/8）…… 55
Fig. 47　SD003出土土器実測図40（1/4）…… 56
Fig. 48　SD003出土土器実測図41（1/4）…… 57
Fig. 49　SD003出土土器実測図42（1/4）…… 58
Fig. 50　包含層出土土器実測図1（1/4）…… 59
Fig. 51　包含層出土土器実測図2（1/4）…… 60
Fig. 52　包含層出土土器実測図3（1/4）…… 61
Fig. 53　包含層出土土器実測図4（1/4）…… 62
Fig. 54　包含層出土土器実測図5（1/4）…… 63
Fig. 55　包含層出土瓦実測図1（1/4）…… 64
Fig. 56　包含層出土瓦実測図2（1/4）…… 65
Fig. 57　包含層出土瓦実測図3（1/4）…… 66
Fig. 58　包含層出土瓦実測図4（1/4）…… 67
Fig. 59　包含層出土瓦実測図5（1/4）…… 68
Fig. 60　包含層出土瓦実測図6（1/4）…… 69
Fig. 61　SD003及び包含層出土石器実測図1（1/2）…… 70
Fig. 62　SD003及び包含層出土石器実測図2（1/2）…… 71
Fig. 63　SD003及び包含層出土石器実測図3（1/2）…… 72
Fig. 64　SD003及び包含層出土石器実測図4（1/2）…… 73
Fig. 65　SD003及び包含層出土石器実測図5（1/2）…… 74
Fig. 66　SD003及び包含層出土石器実測図6（1/2）…… 75
Fig. 67　SD003及び包含層出土石器実測図7（1/2）…… 76
Fig. 68　SD003及び包含層出土石器実測図8（1/3）…… 77
Fig. 69　SD003及び包含層出土石器実測図9（1/3）…… 78
Fig. 70　SD003及び包含層出土石器実測図10（1/3）…… 79
Fig. 71　SD003及び包含層出土石器実測図11（1/3）…… 80
Fig. 72　SD003及び包含層出土土製品、石製品、金属製品他実測図（1/1、1/2）… 81
Fig. 73　SD003出土鋳造鉄斧実測図（1/2）…… 82
Fig. 74　包含層出土銅印実測図（1/1）…… 83
Fig. 75　SD003出土木器実測図1（1/6）…… 84
Fig. 76　SD003出土木器実測図2（1/6）…… 85
Fig. 77　SD003出土木器実測図3（1/4、1/6）…… 86
Fig. 78　SD003出土木器実測図4（1/4、1/6）…… 87
Fig. 79　SD003出土木器実測図5（1/6）…… 88
Fig. 80　SD003出土木器実測図6（1/6）…… 89

図版目次

巻頭カラー
第13次調査地点全景（南から）
「寶」銘銅印

PL. 1　調査区遠景（南から）
PL. 2　1　Ⅱ区調査区全景（東から）
PL. 2　2　Ⅱ区調査区全景（南から）
PL. 3　1　Ⅰ区調査区全景（東から）
PL. 3　2　Ⅰ区調査区全景（南から）
PL. 4　1　Ⅱ区調査区SD003完掘（南から）
PL. 4　2　Ⅰ区調査区SD003完掘（南から）
PL. 5　1　調査区西側掘り下げ風景（南から）
PL. 5　2　SD003 1層下層遺物出土状況2（南から）
PL. 6　1　SD003 1層下層遺物出土状況1（南から）
PL. 6　2　SD003 1層下層遺物出土状況4（南から）
PL. 6　3　SD003 1層下層遺物出土状況3（南から）
PL. 6　4　SD003 1層下層遺物出土状況5（北から）
PL. 6　5　SD003 1層下層遺物出土状況6（東から）
PL. 6　6　B2区SD003 1層下層袋状口縁壺出土状況（東から）
PL. 6　7　C2区遺構面ガラス玉出土状況（西から）
PL. 6　8　C2区遺構面（GL－20cm）銅鏃出土状況（北から）
PL. 7　1　銅印出土状況（南から）
PL. 7　2　SD003トレンチ2鋳造鉄斧出土状況（南から）
PL. 7　3　トレンチ2石錘未製品出土状況（南から）
PL. 7　4　C2区SD003トレンチ4南磨製石鏃（南から）
PL. 7　5　C2区SD003トレンチ4南磨製石斧（南から）
PL. 7　6　トレンチ4勾玉出土状況（南から）
PL. 7　7　B2区SD003鹿角出土状況（東から）
PL. 7　8　B2区SD003鹿角出土状況（北から）
PL. 8　1　C2区SD003木製品出土状況　（南から）

PL. 8　2　C～D2区SD003木製品出土状況（南から）
PL. 9　1　SD003木製品出土状況（南から）
PL. 9　2　C2区SD003木製品出土状況（南から）
PL. 9　3　C2区SD003木製品出土状況（東から）
PL. 9　4　C2区SD003木製品出土状況（東から）
PL. 9　5　C～D2区SD003木製品出土状況（西から）
PL. 9　6　C2区SD003木製品出土状況（西から）
PL. 9　7　C2区SD003木製品出土状況（東から）
PL. 9　8　C2区SD003木製品出土状況（東から）
PL. 10　1　B2区SD003木製脚出土状況（東から）
PL. 10　2　C2区SD003鍬出土状況（南から）
PL. 10　3　C2区SD003鋤出土状況（東から）
PL. 10　4　C2区SD003トレンチ4南斧柄出土状況（東から）
PL. 10　5　C2区SD003羽子板状木製品出土状況（北から）
PL. 10　6　C2区SD003三又鍬出土状況（西から）
PL. 10　7　C2区SD003三又鍬出土状況（東から）
PL. 10　8　B2区SD003東岸木製品だまり（南から）
PL. 11　1　B2区SD003不明木製品出土状況（東から）
PL. 11　2　C2区SD003柄出土状況（西から）
PL. 11　3　B2区SD003東岸木製品出土状況（南から）
PL. 11　4　C2区SD003杓子状木製品出土状況（西から）
PL. 11　5　B2区SD003盤出土状況（東から）
PL. 11　6　D2区SD003樋出土状況（東から）
PL. 11　7　C2区SD003土層ベルト（南から）
PL. 11　8　Ｄ2区SD003南壁土層（北から）
PL. 12　1　SD003完掘（南から）
PL. 12　2　Ｄ3区遺構面杭出土状況（南から）
PL. 13　1　A3区SD003鹿角出土状況（北から）
PL. 13　2　A3区SD003木製品出土状況（北から）
PL. 13　3　A3区SD003イノシシ顎出土状況（東から）
PL. 14　1　A3区SD003木製品出土状況（南から）
PL. 14　2　A3区SD003木製品出土状況（北から）
PL. 15　1　A3区SD003杭列出土状況（西から）
PL. 15　2　A3区SD003杭列立ち割り（南から）
PL. 15　3　A3区SD003木製椅子出土状況（西から）
PL. 16　1　A～B区SD003完掘（南から）
PL. 16　2　A～B区SD003完掘（南から）
PL. 17　1　A～B区SD003完掘（東から）
PL. 17　2　A3区SD003陸橋部（西から）
PL. 17　3　A3区SD003外側足跡検出状況（東から）
PL. 17　4　A3区SD003外側土層堆積（南から）
PL. 17　5　SK001土層堆積（西から）
PL. 17　6　SK002土層堆積（南から）
PL. 17　7　SK001完掘（北から）
PL. 17　8　SK002完掘（南から）
PL. 18　遺物写真1
PL. 19　遺物写真2
PL. 20　遺物写真3
PL. 21　遺物写真4
PL. 22　遺物写真5
PL. 23　遺物写真6
PL. 24　遺物写真7
PL. 25　遺物写真8
PL. 26　遺物写真9
PL. 27　遺物写真10
PL. 28　遺物写真11
PL. 29　遺物写真12
PL. 30　遺物写真13
PL. 31　遺物写真14
PL. 32　遺物写真15
PL. 33　遺物写真16
PL. 34　遺物写真17
PL. 35　遺物写真18
PL. 36　遺物写真19
PL. 37　遺物写真20
PL. 38　遺物写真21
PL. 39　遺物写真22
PL. 40　遺物写真23

Ⅰ　はじめに

1. 調査に至る経緯

今回報告する今宿五郎江遺跡第13次調査は伊都区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査である。当該事業はJR筑肥線沿線の都市基盤や交通結節機能の整備ならびに良好な住宅地の供給を目的に行われるもので、施工面積約130haを測る。その範囲はかつての潟湖である今宿砂丘後背地を中心として、高祖山麓の台地を含む範囲に及んでいる。

1996（平成8）年11月、都市整備局伊都区画整理事務所（当時）から埋蔵文化財課（当時）に区画整理事業地内の埋蔵文化財についての確認の依頼があった。1996（平成8）年12月から1997（平成9）年2月にかけて事業地内の試掘を行い、事業地内の遺跡の範囲を確認した。その後、事業実施にあたり、再度、包蔵地内の遺跡の詳細を把握するための試掘を行い、調査範囲や期間に関する協議を進め、2002（平成14）年度より本調査に着手した。この事業に関わる調査は現在も継続中で、これまでに7遺跡25地点で実施した。本書に掲載した今宿五郎江遺跡第13次調査は本事業地の東端にあたる、西区今宿172-4に所在する。2004（平成16）年度に実施した第10次調査地点の北側隣接地となる。調査は2006（平成19）年6月1日に着手し、10月23日に終了した。

2. 調査の組織

調査委託　住宅都市局伊都区画整理事務所
調査主体　福岡市教育委員会
　　教育長　　山田裕嗣
　　文化財部長　　宮川秋雄　矢野三津夫（調査時）
調査庶務　埋蔵文化財第1課
　　課長　　濱石哲也
　　管理係長　　田中龍三郎
　　管理係　　古賀とも子
　　文化財整備課（調査時）
　　課長　　秋吉誠
　　管理係長　　白川国俊
　　管理係　　井上幸江
事前協議　事前審査係長　宮井善朗　吉留秀敏（調査時）
　　審査係　　阿部泰之　星野恵美（調査時）
調査総括　埋蔵文化財第2課
　　課長　　田中寿男　力武卓治（調査時）
　　調査第1係長　杉山富雄
調査担当
　　主査　　菅波正人

3. 遺跡の位置と環境

今宿五郎江遺跡は福岡市西部の今宿平野に位置する。今宿平野は今山～長垂山間の弓状砂丘と南側の高祖山の間に形成された小平野で、糸島平野と早良平野の境にあたる。平野は叶嶽～長垂山山塊を東端、瑞梅寺川河口を西端とし、東西約 3km を測る。平野の東部には高祖山と叶嶽の間に扇状地が形成され、西側は後背地の沖積地化や近世の干拓等によって陸地となっている弥生時代には砂丘の後背湿地が広がっていたことが分かっている。今宿五郎江遺跡は平野東部の扇状地と高祖山から延びる丘陵先端が接する場所に位置する。

今宿平野の遺跡についてはこれまでの報告書などに触れられているが、ここでは弥生時代から古代の遺跡ついて見て行く。この時期の遺跡の分布は海岸の砂丘上、平野東部の扇状地、高祖山から延びてくる丘陵上の 3 つに分けられる。

砂丘上の遺跡では今宿遺跡があり、砂丘の西側には玄武岩製石斧の製作地で著名な今山遺跡がある。今宿遺跡では第 8 次調査で砂丘の下層で縄文時代前期に遡る包含層が確認され、縄文海進前後以降の地形変遷を考える上で重要な成果が得られた。弥生時代では前期初頭の甕棺墓や土壙墓等が検出され、細形銅剣や硬玉製勾玉等も出土している。集落遺構は明確ではないが、弥生時代から古墳時代初頭の土器の他、蛸壷や製塩土器、滑石製錘等が出土しており、漁業、製塩に関わった集落の存在が予想される。また、先の 8 次調査では平安時代のドッグ状遺構が検出されており、大宰府主船司等との関連を含めてその性格が注目される。

平野東部の扇状地の遺跡では調査例は少ないが、青木遺跡では弥生時代中期の竪穴住居跡、後期の甕棺墓、鋤崎遺跡では弥生時代中期の竪穴住居跡が検出されている。今宿五郎江遺跡は今宿平野における弥生時代中期後半から後期の拠点集落と考えられるが、それらの遺跡との関連が注目される。

丘陵上の遺跡では丘陵先端部で集落遺跡が検出されている。今宿大塚古墳が立地する丘陵先端に展開する大塚遺跡では弥生時代後期から古墳時代前期にかけての竪穴住居跡や建物が検出されている。第 12 次調査では今宿五郎江遺跡から延びる弥生時代後期の溝が確認され、大塚遺跡に跨る環濠が確認された。第 14 次調査では弥生時代後期後半の竪穴住居跡内で鍛冶炉が検出され、切断した鉄片や台石等が出土した。第 16 次調査では弥生時代後期の円形の周溝状遺構が確認されており、この遺跡についても今宿五郎江遺跡と関連が注目される。古墳時代から古代にかけては第 14 次調査で横口式炭窯、製鉄炉も検出された。同様の形態の炭窯は鋤崎遺跡でも検出されており、ここでも製鉄炉が検出されている。叶嶽～長垂山山塊の西側や高祖山東側から北の丘陵では 20 ヶ所の鉄滓の散布地が確認されており、また、群集墳の鉄滓供献例からも古墳時代後期から古代にかけて、この地が良質な砂鉄を原料とした鉄生産地であったことが指摘される。大塚遺跡から西側に位置する女原遺跡、徳永遺跡では 6 世紀から 7 世紀の竪穴住居跡が検出されている。また、徳永Ａ遺跡ではいわゆる「赤焼土器」が多量に出土しており、須恵器工人との関連が指摘されている。時期的には異なるが、南側の丘陵部では小田編年Ⅰ期に生産が始まる新開窯跡があることからも、その関連が注目される。古代では徳永Ａ遺跡では多量の越州窯系青磁等の輸入陶磁器が出土しており、現在残る「周船寺」の地名から大宰府主船司との関連が注目されている。これまで確認されている古墳時代から古代の集落遺跡はそれほど規模の大きなものではないが、製塩や須恵器生産、鉄生産等の生産活動に深く関与していたと考えることができる。また、これらの生産活動や今津湾という良好な港湾に面し、糸島平野と早良平野の境界に位置するという地理的条件は今宿古墳群に見られる首長墳や高祖山北側及び長垂山西側の丘陵上に 500 基にも及ぶ群集墳を営む背景になったと言えよう。

Fig. 1　今宿五郎江遺跡位置図（1/25,000）

伊都区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査地点一覧

番号	調査番号	遺跡名（調査）	次数（調査）	遺跡略号（調査）	区	所在地	地図番号	遺跡番号	対象面積（㎡）	調査面積（㎡）	古墳	調査開始	調査終了	報告書（集）
1	0254	今宿五郎江遺跡	8	IZG	西	今宿町108-1他	120	626	297.0	297.0		H14.12.19	H15.1.8	872
2	0255	今宿五郎江遺跡	9	IZG	西	今宿町79-1他	120	626	5,000.0	5,080.0		H14.12.26	H16.3.31	872・924
3	0420	今宿五郎江遺跡	10	IZG	西	今宿町172-1外4筆	120	626	10,000.0	2,998.0		H16.4.4	H17.7.6	1009・1110
4	0531	今宿五郎江遺跡	11	IZG	西	今宿町地内	120	626	7,000.0	6,900.0		H17.7.8	H18.12.9	
5	0655	今宿五郎江遺跡	12	IZG	西	今宿町地内	120	626	1,393.0	1,340.0		H18.12.1	H19.3.9	1066
6	0718	今宿五郎江遺跡	13	IZG	西	今宿町地内	120	626	1,200.0	820.0		H19.6.1	H19.10.23	1109
7	0255	谷遺跡	1	TAN	西	今宿町79-1他	120	627	5,000.0	5,080.0		H14.12.26	H16.3.31	872
8	0512	谷遺跡	2	TAN	西	今宿町地内	120	627	626.0	422.0		H17.4.18	H17.7.6	1009
9	0862	谷遺跡	3	TAN	西	字今宿町地内	120	627	250.0	300.0		H21.3.2	H21.4.9	
10	0528	大塚遺跡	8	OTS	西	今宿町地内	120	625	263.0	347.3		H17.6.13	H17.6.30	1025
11	0651	大塚遺跡	9	OTS	西	今宿町地内	120	625	9,294.0	6,562.0		H18.11.7	H19.3.27	
12	0659	大塚遺跡	10	OTS	西	今宿町地内	120	625	2,853.0	2,789.0		H18.12.8	H19.3.14	1025
13	0662	大塚遺跡	11	OTS	西	今宿町字大塚	120	625	4,018.0	4,018.0		H19.1.23	H19.9.10	
14	0702	大塚遺跡	12	OTS	西	今宿町342-1外	120	625	800.0	800.0		H19.4.9	H19.5.7	1025
15	0715	大塚遺跡	13	OTS	西	今宿町地内	120	625	1,276.0	1,276.0		H19.5.16	H19.7.6	1025
16	0726	大塚遺跡	14	OTS	西	今宿字大塚	120	625	6,340.0	6,200.0		H19.7.12	H20.2.1	1111
17	0769	大塚遺跡	15	OTS	西	今宿字大塚	120	625	1,600.0	1,830.0		H20.2.28	H20.5.8	1111
18	0806	大塚遺跡	16	OTS	西	今宿字大塚	120	625	2,000.0	2,095.0		H20.4.1	H20.8.18	
19	0855	大塚遺跡	17	OTS	西	今宿字大塚	120	625	5,200.0	5,200.0		H21.1.13	H21.8.19	
20	1035	女原笠掛遺跡	2	MRK	西	大字女原字向原	112	624	1,000	調査中		H23.1.13	調査中	
21	0625	女原遺跡	6	MBR	西	大字女原	120	688	8,000.0	2,580.0		H18.6.14	H18.11.1	1010
22	0920	女原遺跡	7	MBR	西	大字女原	120	688	2,400.0	2,400.0		H21.8.21	H21.11.9	
23	0932	徳永A遺跡	5	TOA	西	徳永地内	120	2584	2,500.0	調査中		H22.1.5	調査中	
24	0750	徳永B遺跡	2	TOB	西	徳永地内	120	2585	943.0	682.6		H19.11.5	H20.1.25	
25	0922	徳永B遺跡	3	TOB	西	徳永地内	120	2585	2,500.0	2,500.0	2基	H21.9.7	H22.11	

Fig. 2　今宿五郎江遺跡航空写真合成図

Fig. 3　今宿五郎江遺跡調査地点位置図（1/2000 ）

Ⅱ　調査の記録

1. 調査の概要

本調査地点は今宿五郎江遺跡の東端にあたる。南側隣接地は第10次調査地点となる。現況は水田を造成した宅地である。現況の標高は約5.0ｍを測る。本調査地点はこれまでの調査で東側が谷部となる台地の縁辺にあたることから、台地上の遺構と谷部の包含層の状況を見ながら調査範囲を設定した。

調査は宅地の造成土、旧水田耕作土を除去した地表下約1.5ｍの淡橙色粘質土を遺構面として行った。調査区は国土座標を基準に10ｍ×10ｍで区割りし、東西方向に１～4、南北方向にＡ～Ｄとした。遺物の取り上げはこの区割りごとで行った（区割りの名称はＡ１区、Ａ２区... Ｄ３区）。

遺構は弥生時代中期末～後期初頭に掘削された溝１条、土坑２基を検出した。また、谷部では杭列を検出した。遺構面の上面には厚さ約20㎝の古代の包含層を検出したが、この時期の遺構は検出できなかった。検出した溝は本遺跡を巡る環濠の一部である。本調査地点は環濠の東端部分にあたり、幅約３ｍ、深さ約１～1.2ｍを測る。また、本調査地点では環濠の陸橋を検出した。陸橋は地山を掘り残したもので、幅約２ｍを測る。

遺物は環濠の中から弥生土器、木製品、金属製品等が出土した（コンテナケース約600箱）。木製品には農具、工具、容器類が、金属製品には銅鏃、青銅製鋤先、鋳造鉄斧等がある。この他、古代の包含層から瓦類、越州窯系青磁、緑釉陶器、銅製印章等が出土した。印章は平安時代のものと考えられ、「寶」と記している。

今回の調査では本遺跡を巡る環濠の一部を検出し、陸橋を確認できたことは集落構造を考える上で重要な成果と考えられる。環濠以外の遺構は検出できなかったが、古代の包含層が上面を覆っている状況から、後世の撹乱による削平が及んだと考えられる。古代の遺物には瓦や輸入陶磁器、印章等があり、一般集落のものとは考えにくいものが出土しており、古代の時期の遺跡についても注目される。

2. 検出遺構

今回検出した遺構は溝１条、土坑２基、杭列等である。

1）溝（Fig.6）

SD003は第９次調査、第10次調査から北側に延びてくる環濠の一部である。上面には厚さ約20㎝の古代の包含層が覆う。この包含層は10次調査で基本土層の５層に対応する。この包含層を除去したところでSD003を検出した。SD003は本調査区で逆Ｓ字形に屈曲しながら、北側に延びていく。幅約３ｍを測り、延長で約35ｍを検出した。断面形は逆台形を呈する。深さは約１～1.2ｍを測る。溝底は北側に向かって傾斜していき、南端と北端との比高差は約40㎝を測る。溝の西側は黄褐色粘質土の地山に掘りこまれているが、東側は谷の堆積層に掘りこまれている。溝の上端から東側約３ｍ離れた位置に溝に沿って杭列を検出した。杭列と溝の間には土層観察から盛土がなされていると考えられる。おそらく地盤が弱い谷側に盛土を行い、溝の方の強度を保ったと考えられる。Ａ３～Ｂ３区の境に当たる位置で陸橋を検出した。陸橋は地山を掘り残したもので、幅約５ｍを測る。陸橋は溝の肩から約40㎝下がった位置で、溝底から約60㎝の比高差がつく。陸橋の南側は東側の肩に向かって溝状に掘りくぼめてあり、その場所に杭が打ち込まれる。北側は直線的に立ち上がるが、そこにも杭が打ち込まれる。南から流れてくる水に対して補強のためのものと考えられる。

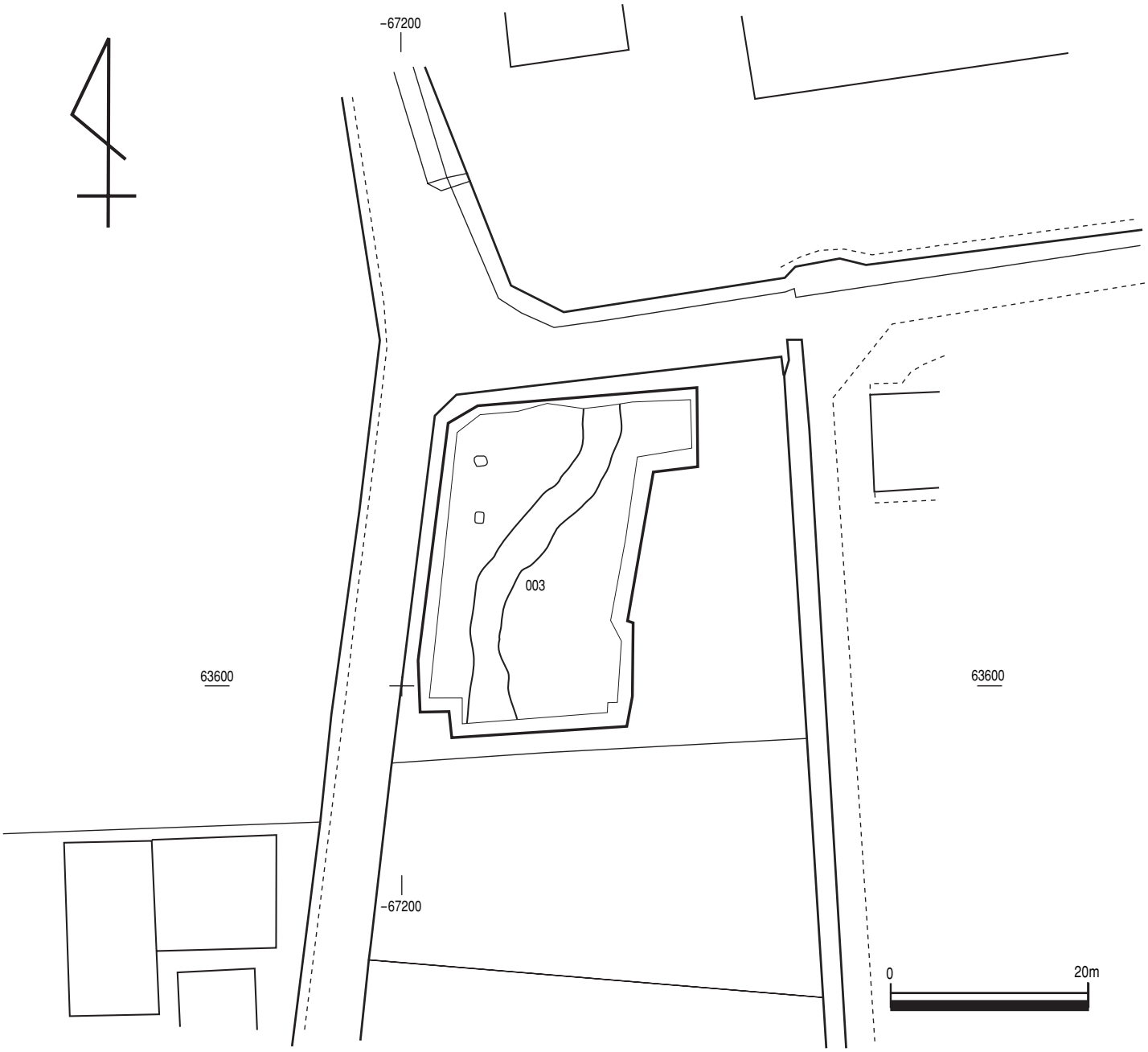


Fig. 4　今宿五郎江遺跡第 13 次調査地点周辺遺構配置図（1/600）

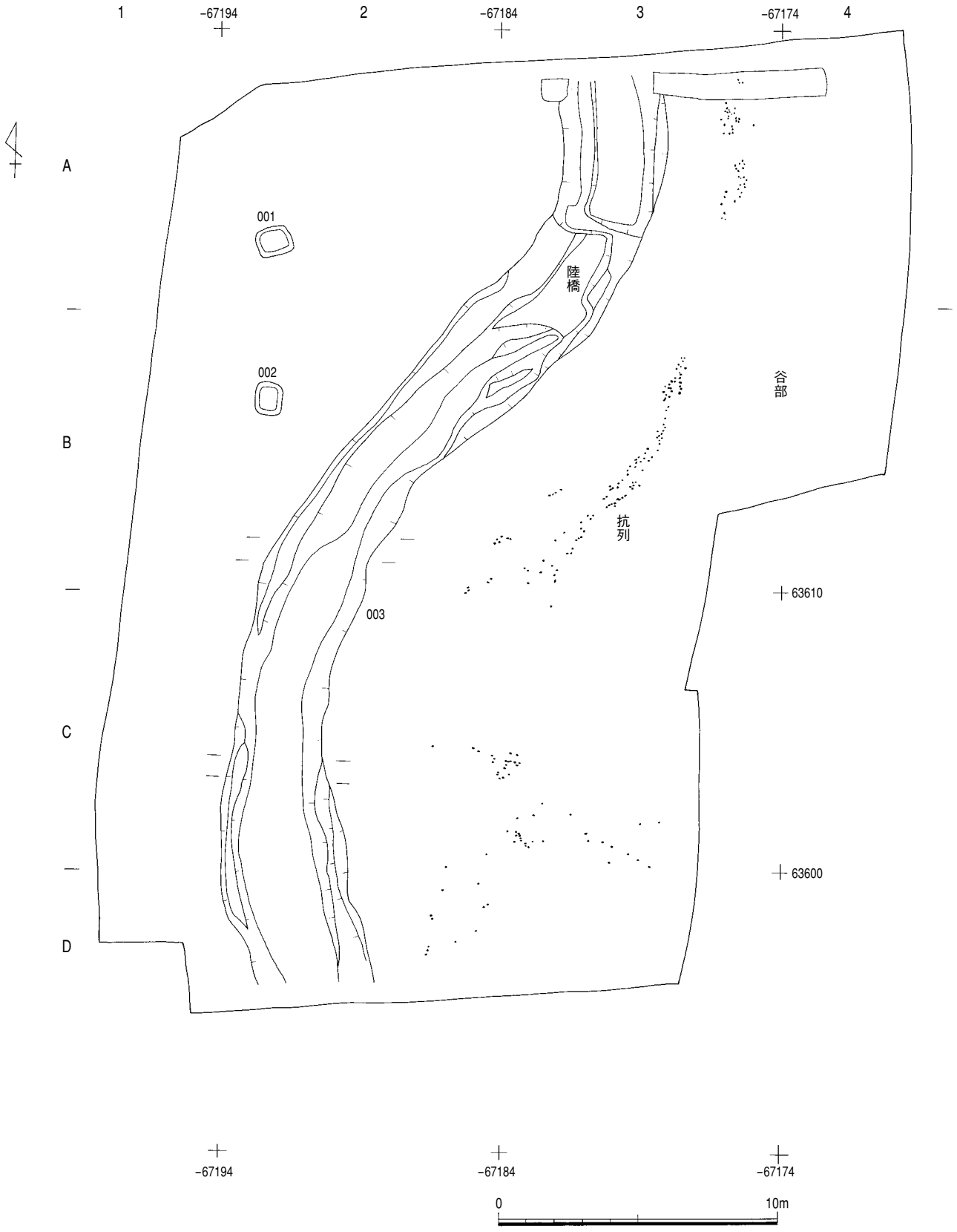
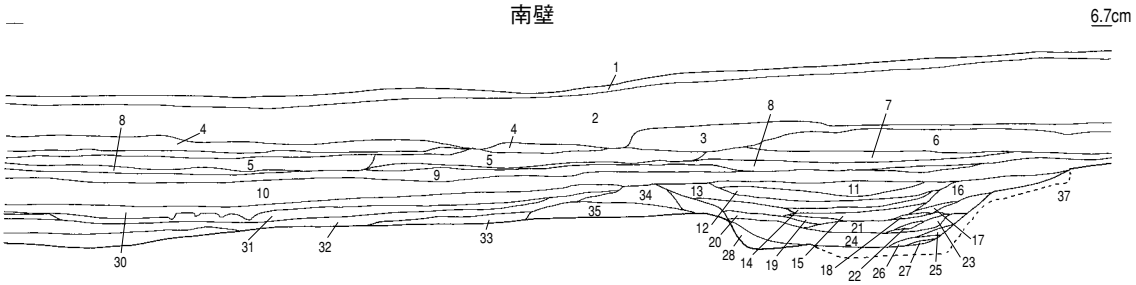
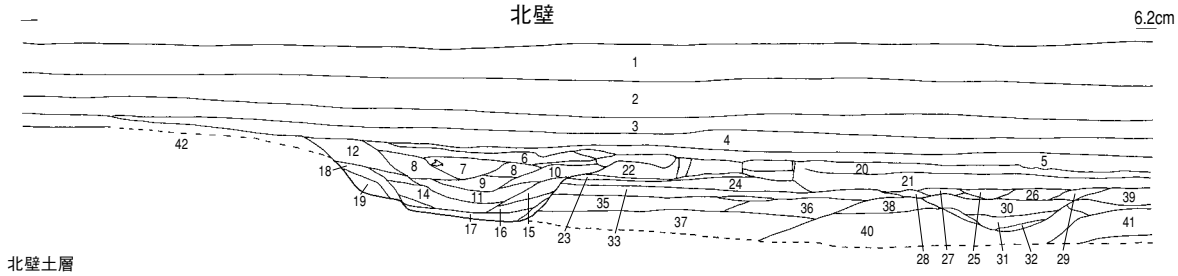


Fig. 5　今宿五郎江遺跡第 13 次調査遺構配置図（1/200）



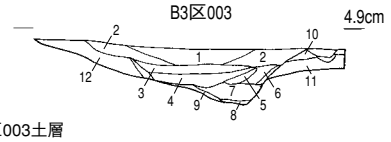
南壁土層

1 アスファルト
2 造成土
3 暗褐色粘質土+明褐色粘質土
4 灰褐色粘質土
5 黄褐色粘質土（暗褐色粘質土混じり）
6 明灰褐色粘質土（旧耕作土）
7 黄褐色粘質土（暗褐色粘質土混じり）
8 黄褐色砂質土（鉄分沈着）
9 灰褐色粘質土（鉄分沈着）
10 暗灰褐色粘質土（10次調査の５層）
11 黄褐色砂質土（鉄分沈着、土器多数）
12 茶褐色粘質土
13 暗褐色粘質土（炭化物を多く含む）
14 暗褐色粘質土
15 暗灰白色粘質土
16 灰褐色粘質土（鉄分沈着）
17 灰白色粘質土
18 暗灰色粗砂
19 暗灰色粘質土
20 暗黄灰色粗砂
21 暗灰褐色粘質土（細砂混じり、木を多く含む）
22 暗灰褐色粘質土
23 灰白色粘質土
24 暗灰色粘質土
25 灰白色粘質土（炭混じり）
26 灰白色粘質土
27 灰白色粘質土（粗砂混じり）
28 青灰色粗砂
29 暗灰白色粗砂
30 黒褐色粘質土
31 暗灰白色粘質土
32 暗灰色シルト
33 灰褐色粗砂
34 黄褐色粗砂
35 暗灰褐色粘質土
36 暗灰色細砂（流木混じり）
37 明黄褐色粘質土（地山）



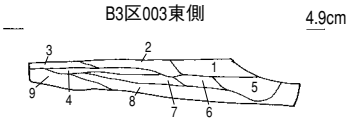
北壁土層

1 造成土１
2 明灰褐色粘質土（旧耕作土）
3 暗灰褐色粘質土
4 暗灰褐色粘質土（包含層）
5 灰褐色粘質土（鉄分沈着）
6 黒褐色粘質土+黄褐色粘質土（ブロック状）
7 暗褐色粘質土（土器を含む）
8 暗黄褐色粘質土
9 暗灰色粘質土（流木を多く含む）
10 暗黄灰色粘質土
11 暗灰色粘質土（流木を含む）
12 やや暗い黄褐色粘質土
13 黄褐色砂質土
14 暗灰色粘質土
15 暗灰色粘質土（粗砂混じり）
16 暗灰色粘質土（黄褐色粘質土ブロック混じり）
17 暗灰色粘質土（粗砂混じり）
18 暗灰色粘質土（流木を含む）
19 黄褐色砂質土
20 黒色粘質土（弥生土器を含む）
21 暗灰褐色砂質土（粗砂を多く含む、流木含む）
22 黄褐色粘質土
23 黄褐色粘質土（粗砂混じり）
24 粗砂
25 暗灰色細砂（流木含む）
26 灰白色粗砂
27 暗灰色粘質土
28 粗砂
29 細砂
30 暗灰色粘質土（粗砂もじり、流木含む）
31 粗砂
32 暗灰色粘質土
33 暗灰色粘質土（流木含む）
34 粗砂
35 青灰色シルト
36 青灰色細砂
37 青灰色粗砂
38 暗灰色粘質土
39 灰白色粗砂（流木混じり）
40 青灰色粗砂の互層
41 青灰色細砂
42 明黄褐色粘質土（地山）



Ｂ３区003土層

1 暗褐色粘質土（土器を多数含む）
2 やや暗い黄褐色粘質土
3 灰褐色粘質土（粗砂混じり）
4 暗灰色粘質土（木を含む）
5 暗灰色粘質土（粗砂混じり）
6 灰褐色粘質土
7 暗灰色粘質土+青灰色粗砂
8 青灰色粗砂
9 暗灰色粘質土+青灰色粗砂
10 黄灰色粘質土
11 暗灰色粘質土
12 灰褐色粘質土
13 淡橙色粘質土（地山）



Ｂ３区003東側土層

1 灰褐色砂質土
2 黄褐色粘質土（盛土か）
3 暗灰色粘質土
4 暗灰色砂質土
5 黒色砂質土
6 暗灰褐色砂質土
7 灰褐色粘質土
8 黄灰色粗砂
9 黄灰色粘質土（地山）

0 5m

Fig. 6　SD003 土層実測図（1/40）

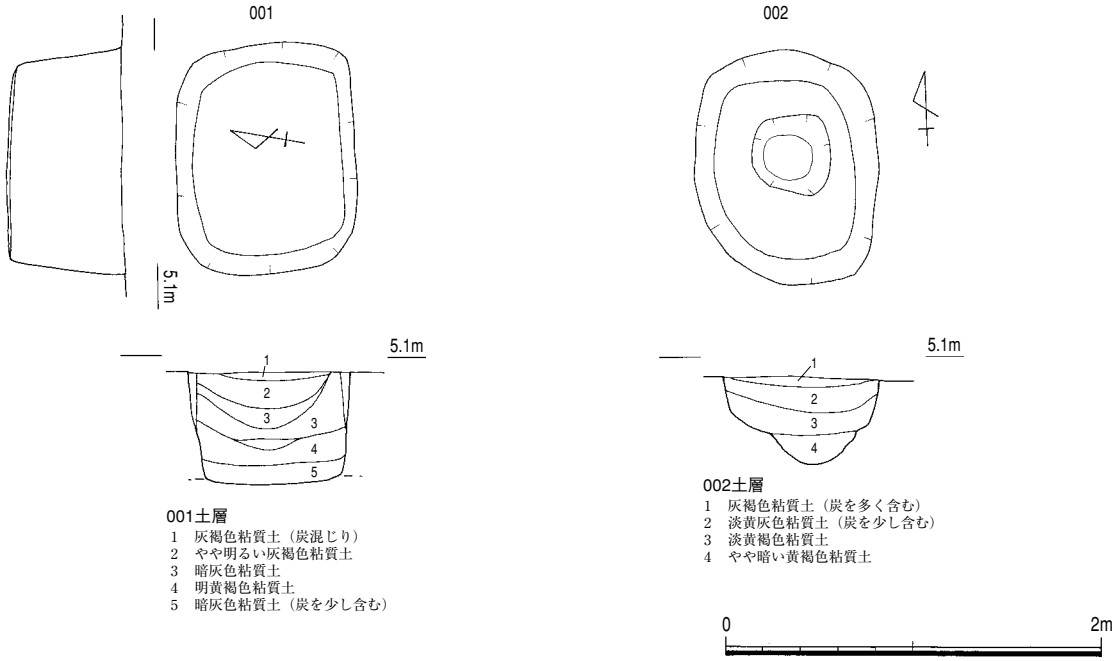


Fig. 7　SK001、002 実測図（1/40）

溝からは多くの遺物が出土した。遺物は全域で出土しているが､層位的には上面から深さ約 40 ㎝（調査時は SD003 の 1 層下層として取り上げ）のところで多量の弥生土器の廃棄が見られた。それを除去した 2 層では流木に混じって多量の木製品が出土した。木製品には農具、工具、狩猟具、容器類等が出土した。また、流木に交じって多くの割り材も出土している。この他、2 層中からはイノシシやシカの骨と言った動物遺体も出土している。

溝の時期は出土土器の様相から弥生時代中期末～後期初頭に掘削されたと考えられる。埋没の時期は多量の土器の廃棄があった 1 層下層の様相から後期後半にはかなり埋没していたと考えられる。

2）土坑（Fig.7）

土坑は SD003 の西側で検出した。

SK001 の平面形は隅丸長方形を呈する。床面は平坦である。長軸長 1.2 m、短軸長 0.9 m、深さ 0.6 mを測る。埋土には炭化物が混じる。遺物は弥生土器片が少量出土した。

SK002 の平面形は不整楕円形を呈する。床面は中央に径 20 ～ 30 ㎝のくぼみがある。長軸長 1.2 m、短軸長 0.95 m、深さ 0.5 mを測る。遺物は弥生土器片が少量出土した。

3．出土遺物

1）SD003 出土土器（Fig.8 ～ 49）

今回出土した遺物の大半は弥生土器で、SD003 から出土した。ここでは区ごとで概要を述べていく。

1 ～ 68 はＡ区から出土したもので、1 ～ 17 は 1 層上面から出土した。1 ～ 9 は甕、3 は外面に丹塗り。10、11 は壷、11 は下半を打ち欠く。外面に丹塗り。12 ～ 14 は器台、15 ～ 17 は高坏である。18 ～ 52 は 1 層中で出土。18 ～ 29 は甕、30 ～ 39 は壷、39 は胴部下半に焼成後の穿孔。40 は無頸壷の蓋。2 個の孔がつく。41 は鉢。42 ～ 46 は器台。器台には上下がほぼ対称になるもの、上端が斜めになるものがある。47 ～ 51 は高坏である。50 は脚部が欠損したものか。52 は手づくねによる高坏形のミニチュア土器。53 ～ 56 は 1 層下層で出土。53、54 は甕である。55 は壷で、口縁・底部は欠損している。56 は高坏で、口縁はくの字に屈曲。57 ～ 68 は 2 層で出土。57 ～ 60 は甕、57 は底部に焼成後の穿孔。61 ～ 64 は壷。61 ～ 63 は外面に丹塗り。65、66 は小型の鉢。65 は器面に指頭痕。67 は蓋か。68 は器台。上下がほぼ対称となる。

69 ～ 247 はＢ区から出土した。69 ～ 65 は 1 層上面から出土した。69 ～ 74 は甕。70 は口縁と底部を打ち欠く。75、76 は壷。75 は口縁端部に凹線文。瀬戸内系の搬入品か。76 は上下に拡張する口縁、端部に鋸歯文。79 は杓子形土製品の把手か。77、78 は鉢。78 は土師器鉢で混入品か。80 ～ 82 は器台。82 は口縁を欠くが、大型の器台。83 は沓型の支脚、外面に平行タタキ。84、85 は高坏。86 ～ 113 は 1 層から出土した。86 ～ 101 は甕である。88 は口縁端部に刻み目。99 ～ 101 は底部に焼成後の穿孔。102、103 は壷。鋤先口縁。104 は蓋。孔はない。106 ～ 109 は鉢である。106 は手づくね。110 は杓子形土製品の取手部分。内面に丹塗りの痕跡。111、112 は器台。上下対称となる。113 は高坏。114 ～ 128 は 1 層下層 a 群で出土。114 ～ 115、122 ～ 125 は甕、116 ～ 118 は器台。上位にくびれがくるものと上下対称となるものがある。119 ～ 121 は高坏。口縁はくの字に屈曲。126 ～ 128 は壷。いずれも大型品。127 は内面に断面台形の突帯、頸部外面に断面台形の 2 条の突帯。128 は胴部下半に刻み目を施した断面方形の突帯。129、130 は 1 層下層 b 群で出土。129 は器台、130 は高坏。鋤先口縁。131 ～ 145 は 1 層下層・2 層上層で出土。131 ～ 135 は甕。132 は口縁端部の両縁に刻み目。135 は底部内面に焼成前の円形のくぼみ、底部に穿孔するためか。136 は壷。口縁端部は上下に肥厚し、外面に鋸歯文を施す。西部瀬戸内系の搬入品か。137 ～ 140 は鉢。139 は底部に焼成後の穿孔。140 は器面に指頭痕。141、142 は器台。141 は底面に指押えによるくぼみ。143 ～ 204 は 1 層下層で出土。143 ～ 163 は甕。144 ～ 147、149 は胴部上位に隅丸方形～楕円形の焼成前の窓がつく。本遺跡ではこのタイプの窓付き土器が一定量存在する。160 は底部に穿孔あり。内側は焼成前に、外側は焼成後に穿孔を行っている。底部穿孔の土器は一定量見られる。穿孔の大半は焼成後の打ち欠きであるが、焼成前に穿孔するものも若干見られる。160 は焼成前に内側をくぼませて、焼成後に外から打ち欠いて穿孔するタイプ。先述の 135 は内側のくぼみで止まっているが、同様のタイプか。制作時に底部の穿孔を意図したものと考えられる。164 ～ 175 は壷。164 は完形の袋状口縁壷。頸部の付け根に断面三角形の突帯が 2 条、胴部中位に断面台形の突帯。胴部に 1 ケ所焼成後の穿孔。外面に丹塗り。169 は壷もしくは器台か。内面に櫛描き波状文。西部瀬戸内系の搬入品か。176 ～ 178 は蓋。176 は無頸壷の蓋で、2 個の穿孔、1 つは未貫通。外面に丹塗り。179 ～ 187 は鉢。187 は手づくね。底部は隅丸方形を呈する。口縁外面に丹塗りの痕跡。188 ～ 192 はミニチュア土器。191 は 脚付鉢。192 は杓子形土製品。把手は欠損。194 ～ 201 は器台。上位にくびれがくるものと上下対称となるものがある。202 は沓型の支脚。203、204 は高坏。205 ～ 232 は 2 層上層で出土。205 ～ 216 は甕。205 は鋤先口縁。214 は胴部に焼成後の穿孔。216 は底部に焼成後の穿孔。217 ～ 223 は壷。218 は大型品。鋤先口縁、

頸部付け根と胴部下半に断面台形の２条の突帯が巡る。223 は 胴部に断面角形の突帯。外面に丹塗り。内面に部分的に顔料が付着。顔料が垂れたものか。224、225 は鉢。224 は端部に打ち欠き。226 は蓋。227 ～ 231 は器台。上下対称となる。232 ～ 235 は高坏。232 は坏部が深い。裾部の一部に丹塗りの痕跡。236 ～ 247 は２層で出土。236 ～ 241 は甕。237、240、241 は胴部上位に隅丸方形～楕円形の焼成前の窓がつく。242 ～ 244 は壷。242 は袋状口縁壷。口縁からやや下ったところに断面台形の突帯。外面に丹塗り。245 は鉢。246 は器台。247 は高坏。

248 ～ 463 はＣ区から出土した。248 ～ 277 は 003 の遺構検出面で出土した。248 ～ 259 は甕。甕はくの字形口縁。253、254 は端部を跳ね上げる 256、257 は大型品。256 は口縁端部に刷毛目原体で刻み目。口縁の屈曲部に断面台形の２条の突帯。257 は胴部下半。断面台形の２条の突帯。260 ～ 268 は壷。263、265 ～ 267 は大型品。263 は口縁端部に刻み目、頸部の付け根に刻み目を施した断面台形の突帯が１条巡る。265 は口縁端部にＸ字形文、外面に縦方向の暗文。267 はややとがり気味の丸底。中位に刻み目を施した断面台形の突帯が巡る。264 は、口縁が垂下し、口縁外面に斜線文。269 ～ 271 は器台。くびれは上位にくる。272 は脚付鉢。273 ～ 277 は鉢。273 は口縁をくぼめて注ぎ口状にする。277 は内面に漆付着。278 ～ 300 は１層で出土した。278 ～ 280 は甕。281 ～ 289 は壷。282 ～ 287 は大型の広口壷で、口縁端部に刻み目。287 は内側に断面三角形の突帯。289 はあ袋状口縁壷の胴部。頸部に２条の突帯。突帯部分に丹塗りが残る。290 は器形が不明で壷の一種か。胴部に突帯が巡る。突帯の下に円形の孔。291、292 は器台。291 は上位にくびれがつく。292 は円形の穿孔。上面はタタキ。293 は無頸壷の蓋。２個単位の孔が２ヶ所につく。294 ～ 296 は鉢。297、298 はミニチュア土器。297 は壷形。299、300 は高坏。300 は裾部付近か。３個の円形の孔がつく。301 ～ 308 は１層下層ａ群で出土した。301 ～ 306、308 は甕。304 ～ 306 は底部に焼成後の穿孔。307 は鋤先口縁の広口壷。309 ～ 315 はｂ群出土。309 ～ 241 はくの字形の口縁。315 は壷。316 ～ 323 はｃ群出土。316 ～ 320 は甕。。321 ～ 323 は壷。324 は蓋。325 は高坏。326 ～ 337 はｄ群出土。326 ～ 328 は甕。329 ～ 331 は壷。329、330 は袋状口縁壷。外面に丹塗り。331 は頸部に断面台形の突帯。口縁の内側に丹塗りの痕跡。332、333 は鉢。332 は底部に焼成後の穿孔。334 ～ 336 は器台。上下対称になるものと上位にくびれがつくものがある。337 は鋤先口縁の高坏。内外面に丹塗り。338 ～ 350 は１層下層出土。338 は内湾するくの字口縁の甕。339、342、343 は壷。339 は大型の広口壷。口縁外面にハケメ原体による刻み目。内側に断面三角形の突帯。340、341、344 ～ 347 は鉢。347 は尖底。348 は脚付鉢。349 は蓋。天井部に円形の低い撮み。350 は高坏。鋤先口縁。内外面に丹塗り。351 ～ 437 は２層上層で出土。351 ～ 373 は甕。355 は胴部中位に焼成後の穿孔。356 は外面に断面三角形の突帯。胴部上半に隅丸方形の窓。外面の一部に丹塗りの痕跡。366 ～ 369 は胴部下半に焼成後の穿孔。371 ～ 373 は底部に穿孔。371 は焼成前、372、373 は焼成後。374 ～ 397 は壷。374 ～ 379 は鋤先口縁の広口壷。375、379 は丹塗りの痕跡。380 ～ 389 は袋状口縁壷。386、388 は袋部に稜がつく。380、381 は口縁下位に断面台形の突帯。外面に丹塗り。390、391 は広口壷。頸部に突帯。398 は裾部に半円形の繰りこみをもつ器台。399 は支脚。400 ～ 407 は器台で、上下対称となる。408 ～ 417 は高坏。408、410 は鋤先口縁で、丹塗り。418 は坏部と脚部の接合部。419 ～ 431 は鉢。419、420 はくの字形口縁。底部に穿孔。419 は焼成後穿孔。420 は外側から焼成後穿孔。内側は焼成前にくぼめている。429 は輪積みの痕跡が明瞭。432 ～ 435 はミニチュア土器の鉢。436 は脚付鉢。脚部の内側以外に丹塗り。437 は杓子形土製品の取手部分。438 ～ 463 は２層出土。438 ～ 442 は甕。くの字形口縁。442 は内面と口縁外面に丹塗り。443 ～ 451 は壷。443、444、446 は袋状口縁壷。443、446 は丹塗りの痕跡。444 はやや稜がつく。445 は鋤先口縁。外面に断面台形の突帯。内面と口縁に丹塗りの痕跡。

450、451 は無頸壷。451 は外面に丹塗り。452、453 は器台。452 は外面に指押の痕跡。454 ～ 460 は鉢。454 は底部に焼成前の穿孔。外面に丹塗り。456 はほぼ完形。外面に丹塗り。461 ～ 463 はミニチュア土器。

464 ～ 516 はＤ区で出土。464 ～ 473 は遺構検出面で出土。464 ～ 466、468 は甕。466 は山陰系の複合口縁甕。467 は複合口縁壷。外面に丹塗り。469、470 は器台。471、472 は注口土器の注口。473 は鉢。474 ～ 478 は 1 層で出土した。474 ～ 476 は甕。477 は器台。478 は高坏で、坏部の中位で反転。479 ～ 501 は 1 層下層で出土。479 ～ 486 は甕。479 ～ 486 はくの字形口縁。481 は口縁端部に刻み目。487 ～ 490 は壷。487 は袋状口縁壷。頸部に断面三角形の突帯。488 は大型の広口壷の口縁片。口縁端部に刻み目。491 ～ 497 は器台。498、499 は高坏。500 は鉢。501 は蓋。502 ～ 516 は 2 層上層出土。502 ～ 506 は甕。

502 は口縁の屈曲部にハケメの止めの痕跡。506 は左縁に焼成前の窓の痕跡。507 ～ 510 は壷。507 ～ 509 は丹塗り。511 ～ 513 は器台。512 は指頭跡が明瞭。514、515 は鉢。514 は内外面に丹塗り。516 は高坏。鋤先口縁。外面と口縁の内側に丹塗りの痕跡。

517 ～ 560 はＣからＤ区 1 層下層から出土したもので、番号を付して取り上げた。517 ～ 521 は甕。521 は側面に焼成後の穿孔。522 ～ 532 は壷。522 は大型品。頸部付け根と胴部下半に断面台形の突帯が 2 条づつ巡る。523 ～ 525 は複合口縁壷。頸部に断面三角形の突帯。528 は小型の袋状口縁壷。530 は内面に断面台形の突帯。533 ～ 545 は器台。上下対称となるものが大半である。546 ～ 555 は高坏。546、547、553 は丹塗り。556 ～ 560 は鉢。556、557 は底部に焼成前の穿孔。

2）包含層出土土器（Fig.50 ～ 54）

包含層は SD003 の上面から谷部にかけて検出した。包含層の遺物は下層の溝の遺物を含むが、大半は古代の遺物である。古代の遺物には越州窯系青磁等の輸入陶磁器、緑釉陶器や灰釉陶器等の国産陶器、土師器、瓦類がある。また、量は少ないが、古式土師器や須恵器等の古墳時代の遺物も含まれる。この他、鉄滓、炉壁、羽口等の製鉄関連遺物も出土した。

561 ～ 568 はＡ区から出土した。561 は弥生土器壷。端部に鋸歯文。562 は弥生土器甕。受け口口縁。東海系の搬入品か。564 は土師器甑か。底面に 5 個の円形の孔。565 は弥生土器のミニチュア土器。手づくね。566 は杓子形土製品の 把手部分。567 は円盤状土製品。568 は楽浪系土器の鉢。回転横ナデの痕跡。色調は灰白色。

569 ～ 608 はＢ区から出土した。569 は施釉陶器の 壷。耳の部分。釉色は黒褐色。570 は白磁碗。571 ～ 575、577、579 は越州窯系青磁碗。574、575 は見込みと底部に目跡。576 は緑釉陶器碗。蛇の目高台。釉がはげている。胎土は灰色。578 は緑釉陶器碗。平底。釉色はオリーブ色。胎土は灰白色。580 は緑釉陶器碗。581 は緑釉陶器皿。蓋の可能性あり。釉色はオリーブ色。胎土は灰白色。582 ～ 585 は土師器碗。582 は内黒。586 は土師器杯。切り離し不明。587 は土師器甕。外面タタキ。588 は須恵器蓋。天井部に扁平な宝珠撮みがつく。589 は須恵器坏。高台付。590 は須恵器壷。複合口縁。591 は須恵器壷。頸部片。592 は須恵器壷。外面に横方向の平行タタキ。593 は須恵器甕。外面に格子タタキ。内面に当て具痕。594 は須恵器坏蓋。天井部のほぼ全面に回転ヘラケズリ。口縁との境に稜。595 は須恵器高坏。外面に櫛描き波状文。596 は弥生土器甕。597 は弥生土器甑か。中央に 1 個孔。598 は弥生土器鉢。底面に木の葉の圧痕。602 は弥生土器。ジョッキ型土器などの把手か。603 は杓子形土製品。604 は弥生土器 注口部分。605 は円盤状土製品。土器片の周囲を打ち欠き成形。

609 ～ 656 はＣ区から出土した。609 は龍泉窯系青磁碗。高台内側は釉を掻きとる。釉色はオリーブ黄色。610 は白磁碗。玉縁口縁。Ⅰ類か。釉色は灰白色。611 ～ 614、616 ～ 620 は越州窯系青磁碗。

611 は蛇の目高台。612、613 は輪状高台。616 は上げ底気味の底部。見込みと底部に目跡。618 ～ 620 は平底。底部と見込みに目跡。618 の釉ははげている。615 は白磁碗。621 は青磁皿。釉色は灰オリーブ色。622 は緑釉陶器碗 。回転糸切り。内面に若干釉がのこる。色調は灰白色。623 ～ 625 は土師器碗。623 は内黒。626、627 は土師器杯。627 の底部はヘラ切り。628 は須恵器坏蓋。天井部に扁平の撮み。629、631 ～ 634 は須恵器坏。高台付。634 は底部に「三太」の墨書。630 は土師器碗。高台付。635 は須恵器壷。肩部に扁平な把手。636 は須恵器甕。内面がすり減っている。転用硯か。637 は土師器甕。外面にタタキ。638 は土師器壷。調整不明。色調は浅黄橙色。639、640 は須恵器坏身。641 は須恵器ハソウ。外面に櫛描き波状文。642 は羽口 。先端部が溶融している。643、644 は楽浪系土器鉢。663 は底部片。器面がかなり風化しているが、底面に糸切りの痕跡。色調は灰白色。本遺跡では楽浪系土器は 9 ～ 12 次の各地点で数点から十数点出土している。また、大塚遺跡 12 次でも出土しており、環濠を中心とした地点での集中が見られる。器形は鉢形のものが大半で、他の機種はほとんどないという傾向にある。645 は 三韓系土器甕。外面に平行タタキ。内面は無文。色調は灰色。本遺跡では三韓系土器についても一定量出土するが、量的には楽浪系土器が優位と言える。646 は土師器直口壷。647 は土師器壷 。痕跡的な平底。650 は 径 1.5cm 程の注口付の弥生土器。外面に丹塗りの痕跡。651、652 は弥生土器、沓型の支脚。653 は 半円形の繰りこみをもつ土器。色調は橙色。器形は不明。656 は土師器甑の把手部分か。

657 ～ 700 はＤ区から出土した。657 は白磁碗。658、659 は越州窯系青磁碗。660 は灰釉陶陶器碗か。661 ～ 663、665 は緑釉陶器碗。661 は 底部の切り離しは回転糸切り。釉色はオリーブ色。胎土は灰白色。663 は輪状高台。底部は回転ヘラケズリ。釉色はオリーブ色。胎土は浅黄色。665 は輪状高台。見込みはミガキ。釉はほとんどはげている。胎土は灰白色。664 は緑釉陶器皿。釉色はオリーブ色。、胎土は灰白色。666 ～ 676 は土師器碗。高台付。677 は土師器坏。底部の切り離し不明。678 ～ 680 は須恵器坏。高台付。681 は羽口。両端を欠く。682 は須恵器瓶。平底。683 ～ 686 は須恵器坏身。684 は赤焼。687、688 は須恵器壷。外面に櫛描き波状文。689 は陶質土器か。高坏もしくは鉢の把手。690、691 は三韓系土器甕 。外面に細かい平行タタキとカキメ。内面は無文。色調は灰色。692 は土師器の 移動式の竈片か。外面はタタキ後ハケメ。693 は土師器甕。外面は縦方向の平行タタキ。内面はヘラケズリ。694 ～ 696 は土師器甑の把手。697 は土師器甕。布留式。698 は土師器甕。複合口縁。山陰系。699 は土師器高坏。裾部に円形の透かし孔。700 は沓型の支脚。

3）包含層出土瓦（Fig.55 ～ 60）

今回出土した瓦はコンテナケースで 3 箱程である。瓦には軒瓦はなく、平瓦、丸瓦で占められる。平瓦は桶巻き作りで、凸面にタタキ、凹面に布目が残る。焼成はやや硬質で、灰白色～灰色を呈する。包含層出土のため、時期は特定しがたいが、タタキの特徴等に類似点が多く、時期幅はあまりないと考えられる。瓦の大半は破片であるため、詳細な分類はできないが、凸面のタタキの特徴から大きく 2 種類（Ａ類、Ｂ類）に分けられる。Ａ類は長軸方向に幅約 1 ㎝間隔の縦線、それに斜めに両方向から交わる線からなり、部分的に横方向の線が加わることで扇状もしくは鳥足状を呈するものである。このタイプのタタキは西区元岡・桑原遺跡群第 42 次調査で検出された瓦窯跡（元岡 1 号瓦窯跡）出土の平瓦に見られる。Ｂ類は菱形の格子目のものである。このタイプのものもやはり元岡 1 号瓦窯跡で見られるものである。これまでに遺跡ではこれらのタイプの瓦が出土することが指摘されていたが、今回の調査でもそのことを追認できた。また、このタイプの瓦は鴻臚館跡でも確認されていることから、これらの関係と共に本遺跡での瓦の出土が生産もしくは消費（官衙、寺院等）にどのように関連するかが注目される。

701 ～ 768 は平瓦、丸瓦である。701 ～ 713 はＡ類タタキの平瓦（元岡 A1 類）。側面は破面が残るものが多い。707 は端面付近ナデ。714 ～ 723 は縦方向の線の間隔が広いものである（元岡 A2 類）。724 ～ 736 はＢ類タタキの平瓦。格子の大きさは１辺５ｍｍ程のものから２㎝程のものがある。737 ～ 749 はＡ類もしくはＢ類タタキを一部ナデ消すもの。細片であり、Ａ、Ｂ類の端部付近のあたるものの可能性あり。750 ～ 760 は凸面のタタキをナデ消したもの。761 は凸面に縄目状のタタキをもつもので、今回の出土瓦の中では唯一のものである。762 ～ 768 は丸瓦である。丸瓦は 762、763 のように玉縁式。タタキはＢ類の菱形の格子タタキである。

4）出土石製品（Fig.61 ～ 71）

石製品は SD003 を中心に包含層からも出土した。ここで掲載したものは弥生時代のものを中心としている。769 ～ 859 は石製品である。769 ～ 794 は滑石製石錘。石錘には小型と中型品があり、小型品では両端に切り込みをいれるもの（769）、楕円形を呈し、縦方向のみ溝を入れるもの（770）、十字に溝を入れるもの（772、773）がある。中型品では楕円形で中位に１個の穿孔があり、それに巡る溝が入るもの（774）、紡錘形で下端は丸みを持ち、中位に１個穿孔。穿孔より上方に長軸方向に溝が入るもの（775 ～ 777）、紡錘形で下端は平坦で、中位に１個穿孔。穿孔より上方に長軸方向に溝が入るもの（778 ～ 787）がある。788 ～ 790 は溝の巡らせた状態の未製品である。791 ～ 794 は紡錘形の成形した未製品である。これらの未製品の存在から本遺跡では石錘の加工も行っていたことが推測される。795 ～ 805 は石包丁である。いずれも欠損しているが、外湾刃。石材は粘板岩、凝灰岩等がある。806、807 は石包丁の未製品か。808 ～ 830 は滑石製の紡錘車。821、822 は穿孔途中のもの。823 ～ 829 は成形後研磨した状態のもの。穿孔は行っていない。830 は成形途中のものか。831 ～ 836 は玄武岩製の磨製石斧の未製品。831 は敲打成形の欠損品。832、833 は粗成形の欠損品か。834、835 は敲打成形の未製品。836 は刃部のみ研磨。837 は石斧か。刃部、基部を欠く。838 は粗成形の欠損品か。839 は磨製石斧。刃部一部欠損。840 ～ 845 は棒状の敲き石。石材は玄武岩。843 は滑石。845 は擦痕あり。846、847 は球形の敲き石。玄武岩。848、849 は円盤状の敲き石。玄武岩。850 は大型の 敲き石。表面に擦痕あり。玄武岩。851 は砥石。砂岩。852 は碧玉。玉の素材か。853 は凹石。凝灰岩。854 ～ 856 は打製石斧。玄武岩。855 は撥形。未製品か。856 は二次使用削片。周縁調整剥離。
857 は加工削片。安山岩。858 は打製石斧か 玄武岩。

5）その他の遺物（Fig.72 ～ 74）

859 ～ 865 は土玉。866 は 投弾。867、868 は土錘。867 は丸みを帯びた管状、弥生時代のものか。869 は勾玉。硬玉製。870 は管玉。碧玉製。871 は管玉 。ガラス製。872 ～ 874 はガラス製小玉。875 ～ 878 は有茎柳葉式銅鏃。879 は磨製石鏃。銅鏃を模したものか。880 は青銅製鋤先。刃部片。881 ～ 883 は不明鉄製品。鉄斧片か。884 は鋳造鉄斧。ほぼ完形。袋部付近に２条の突帯。885 は銅製印章。紐は蓍形を呈する。印面には「寶」銘。

6）出土木製品（Fig.75 ～ 80）

木製品は主に SD003 の２層から出土した。一部東側の谷部から出土したものもある。木製品には農具（平鍬、三又鍬、エブリ等）、工具（斧柄）、狩猟具（銛、弓）、紡織具（経打具）、容器（槽、コップ形容器、組合せ式容器、漆器等）、案（脚）、椅子等が出土した。また、流木に交じって多くの割り材も出土している。割り材は長さ約 1.0 ～ 1.5 ｍ程のもので、住居の壁材等に使用されたと考えられる。これまでの調査でも多数の木製品が出土おり、本調査地点の様相もそれらに類似するものである。

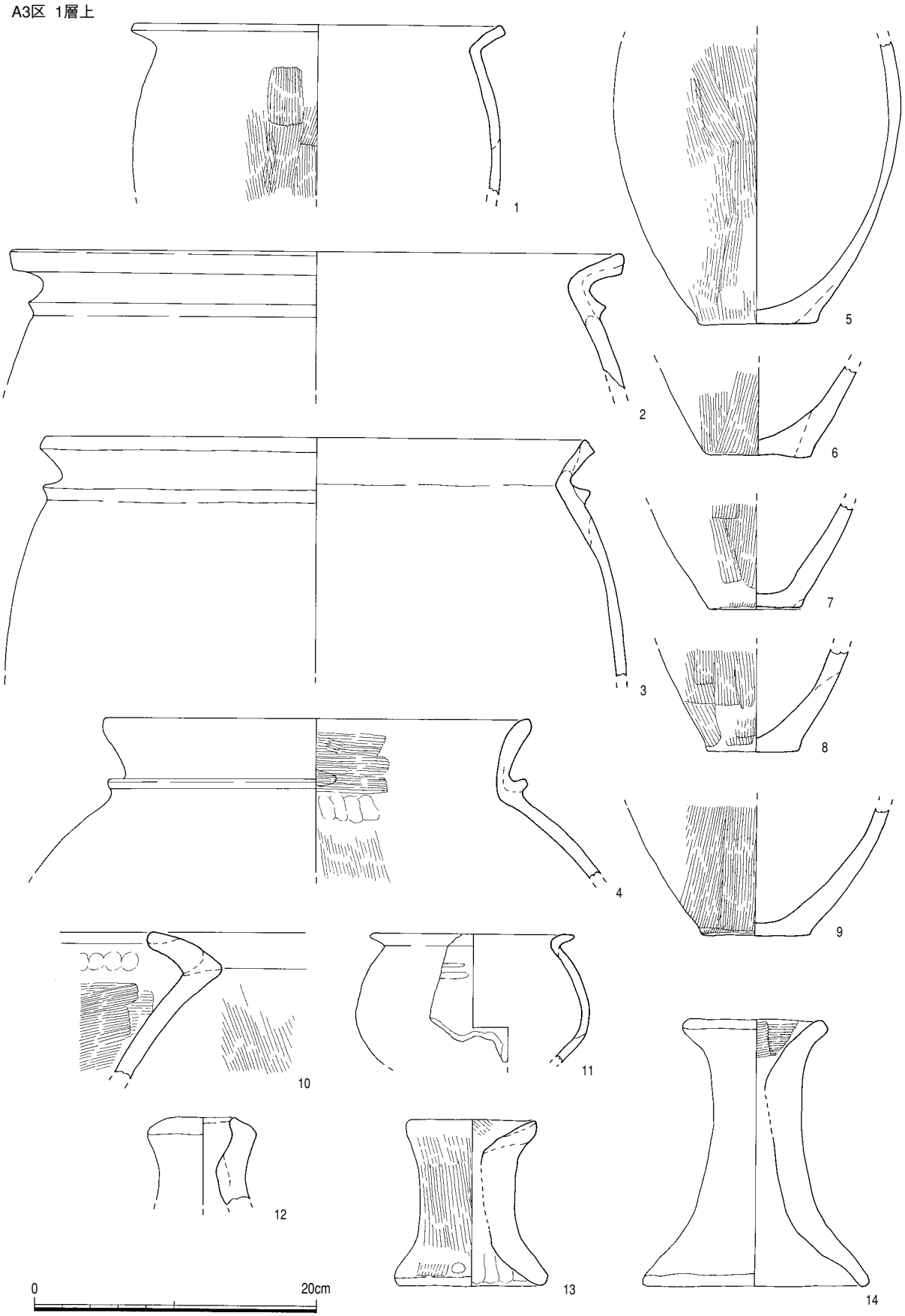


Fig. 8 SD003 出土土器実測図 1（1/4）

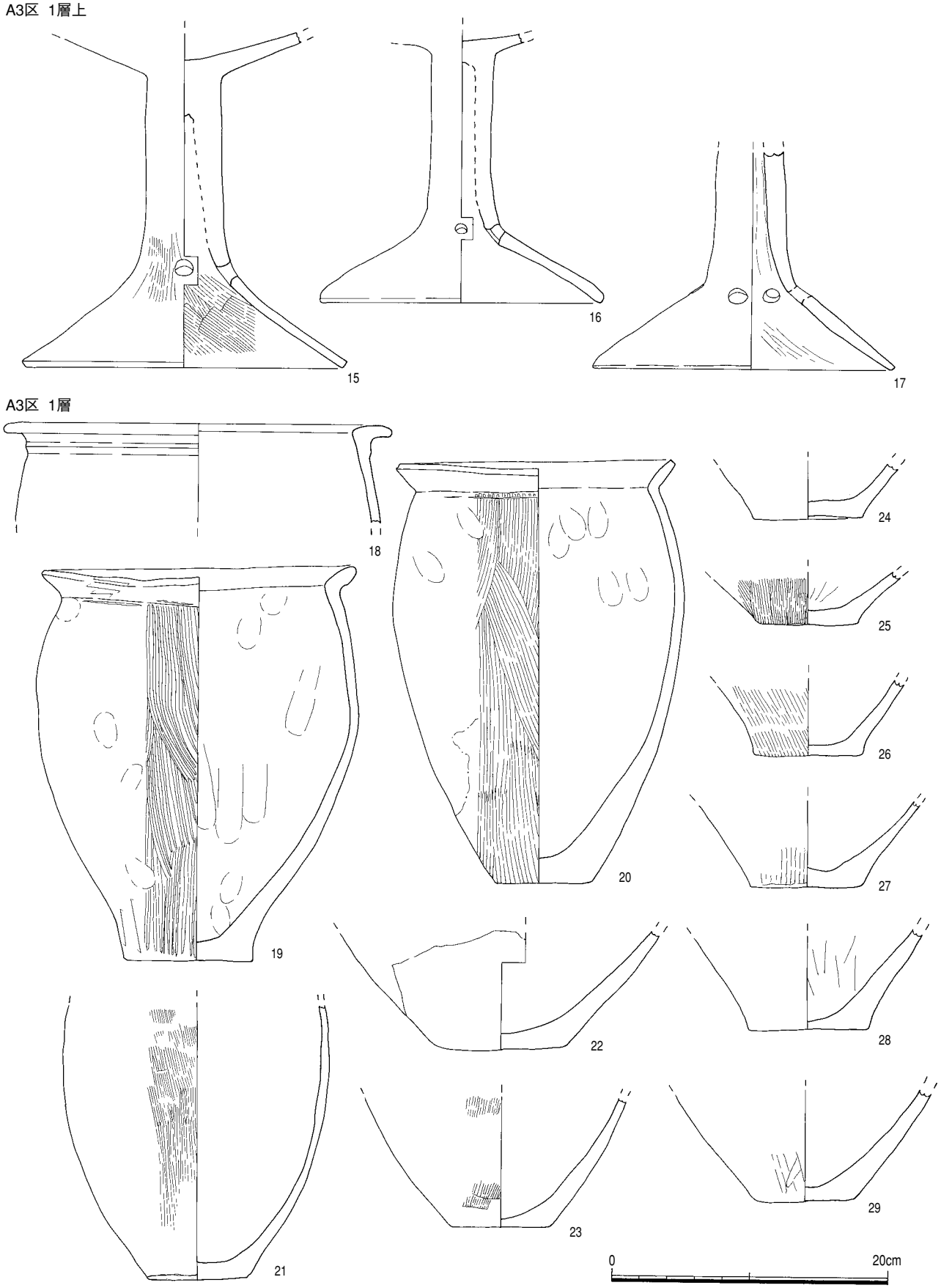


Fig. 9 SD003 出土土器実測図 2（1/4）

A3区 1層

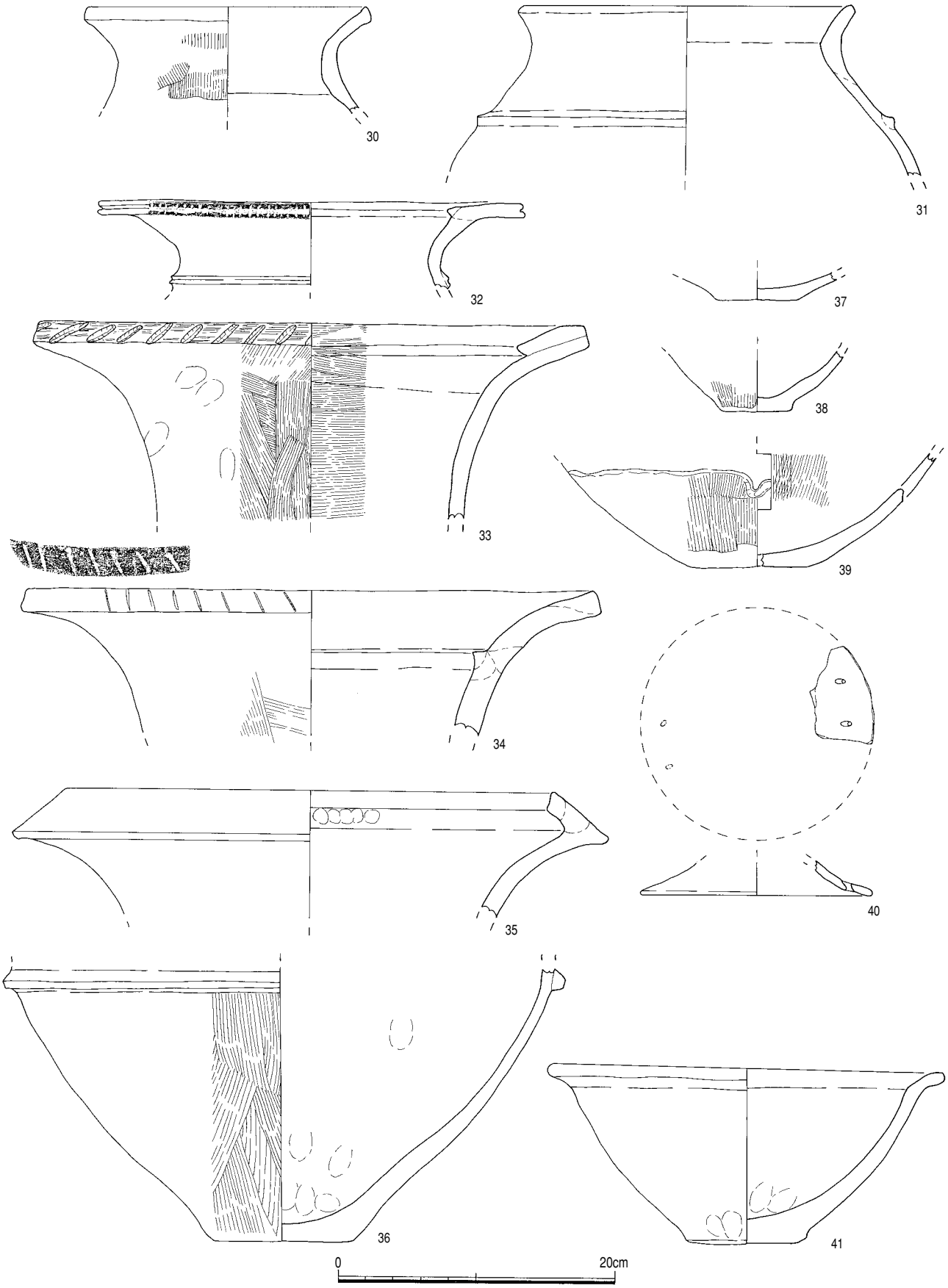


Fig. 10 SD003 出土土器実測図 3（1/4）

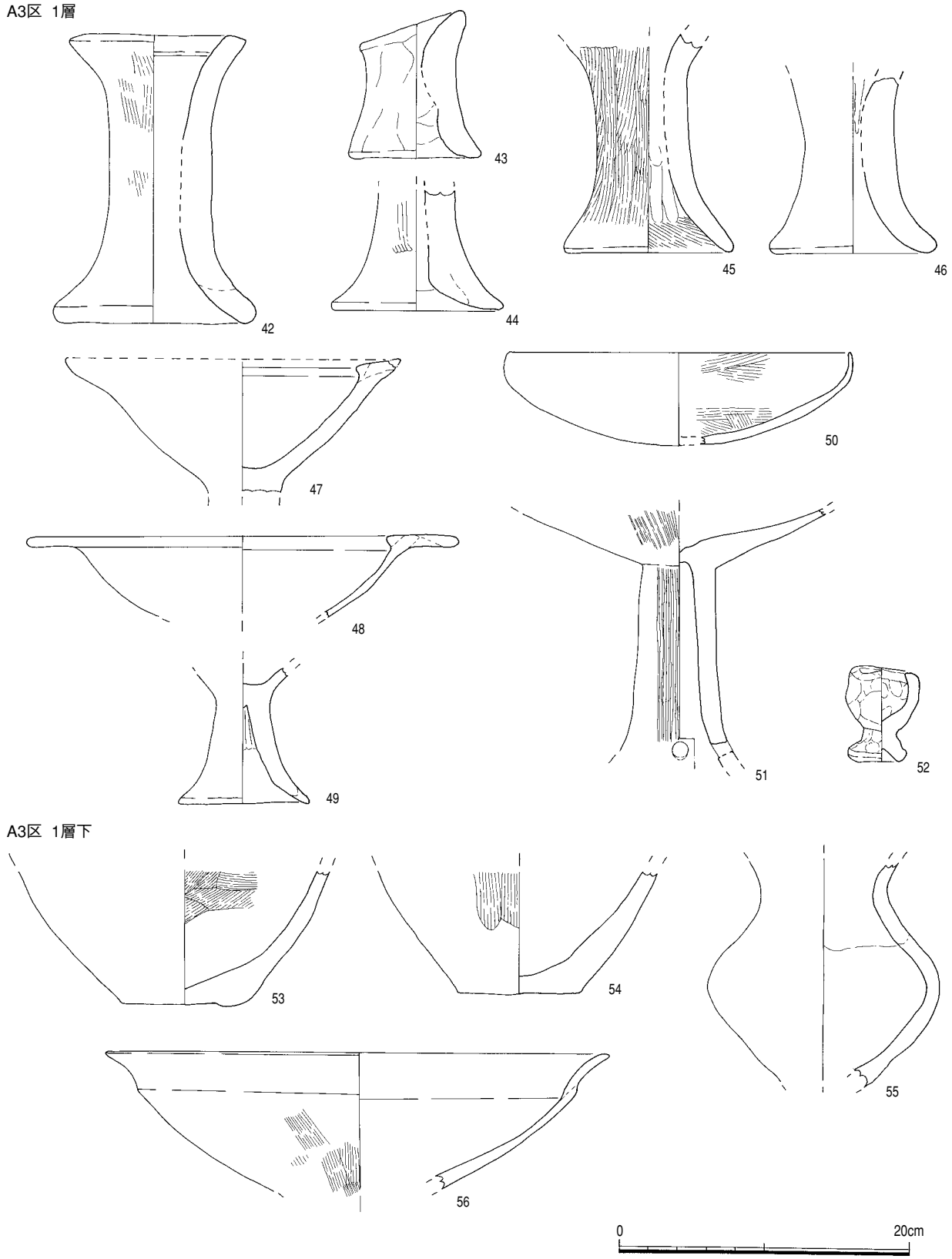


Fig. 11 SD003 出土土器実測図 4（1/4）

A3区 2層

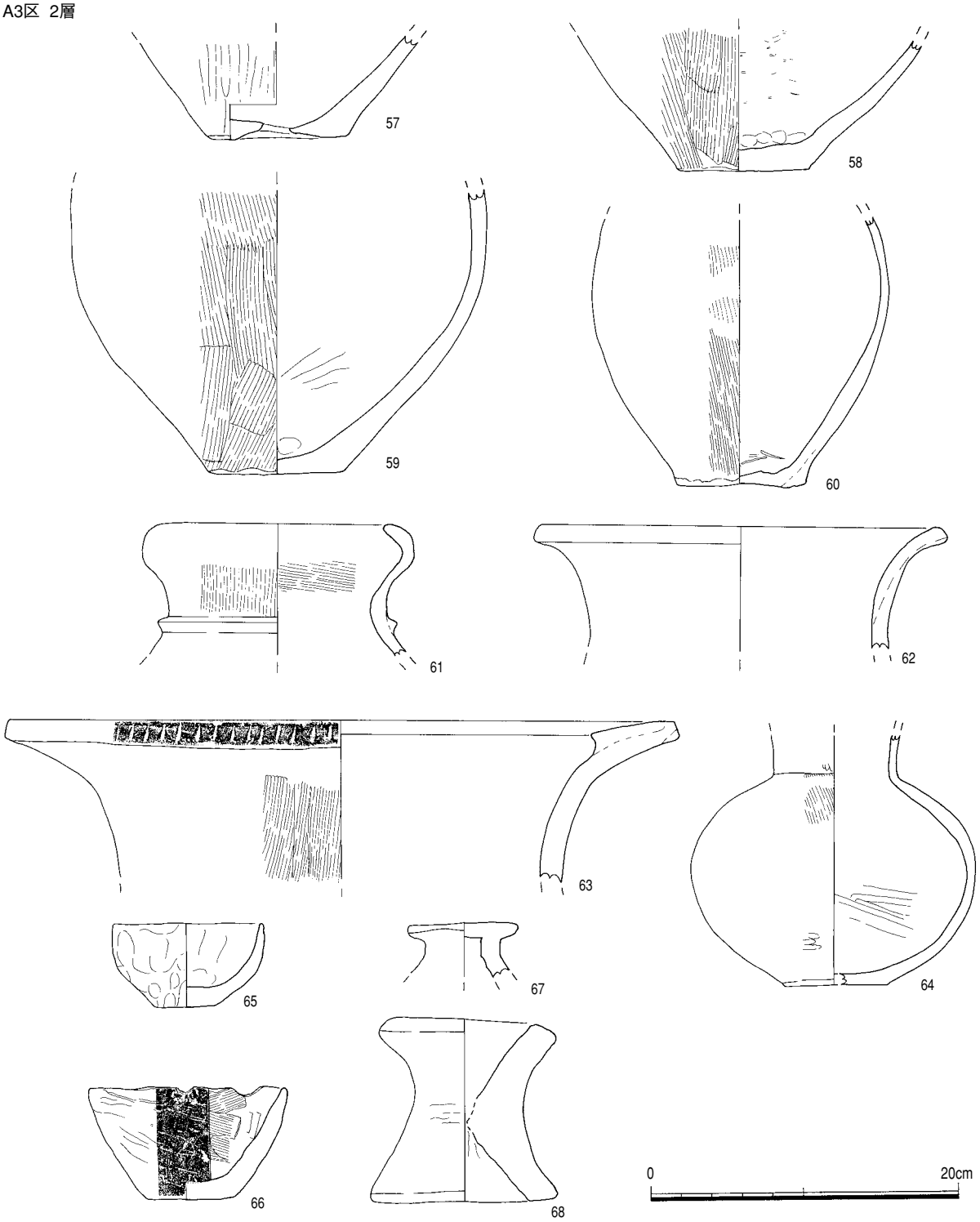


Fig. 12 SD003 出土土器実測図 5（1/4）

B3区 1層上

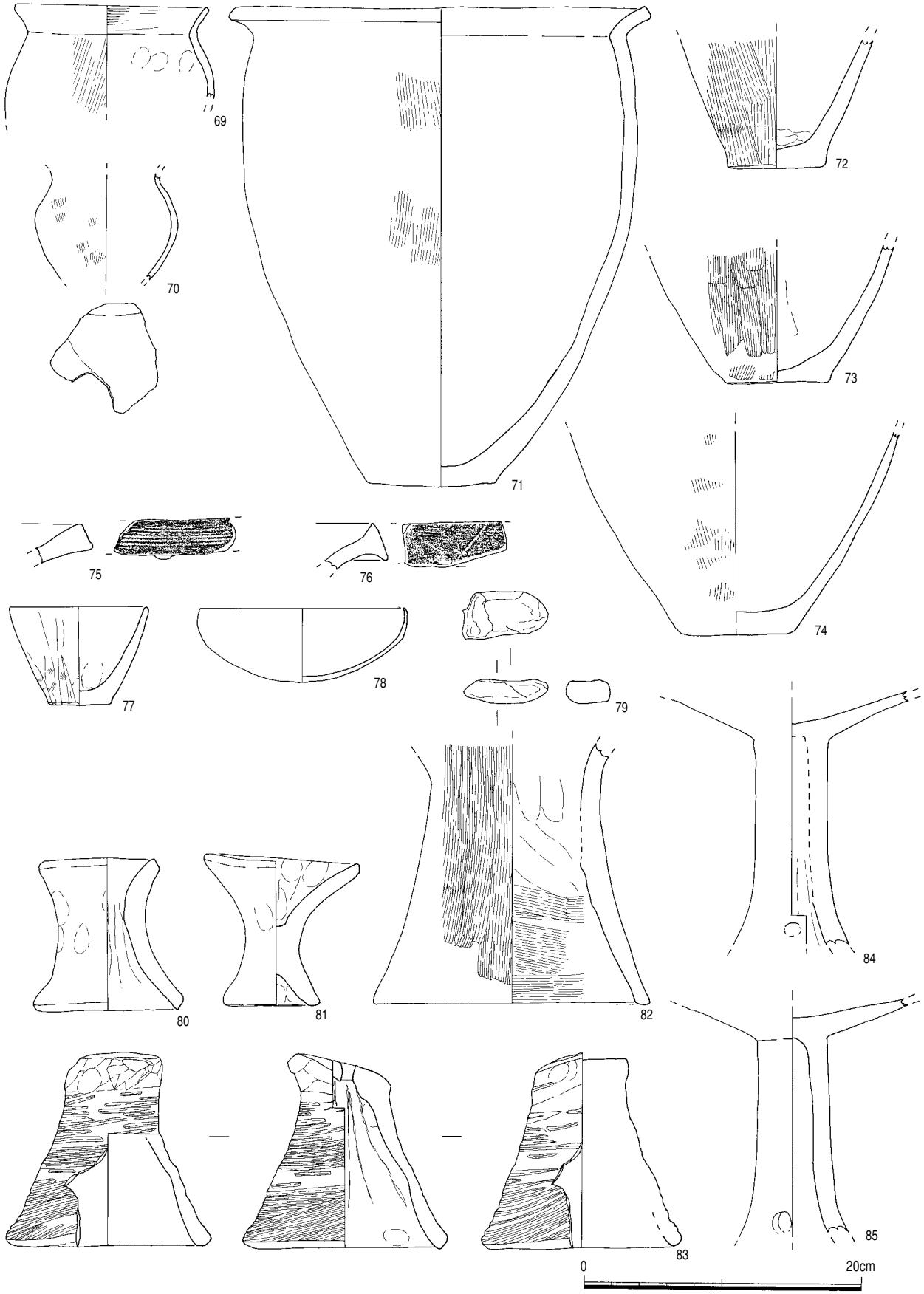


Fig. 13 SD003 出土土器実測図 6（1/4）

B3区 1層

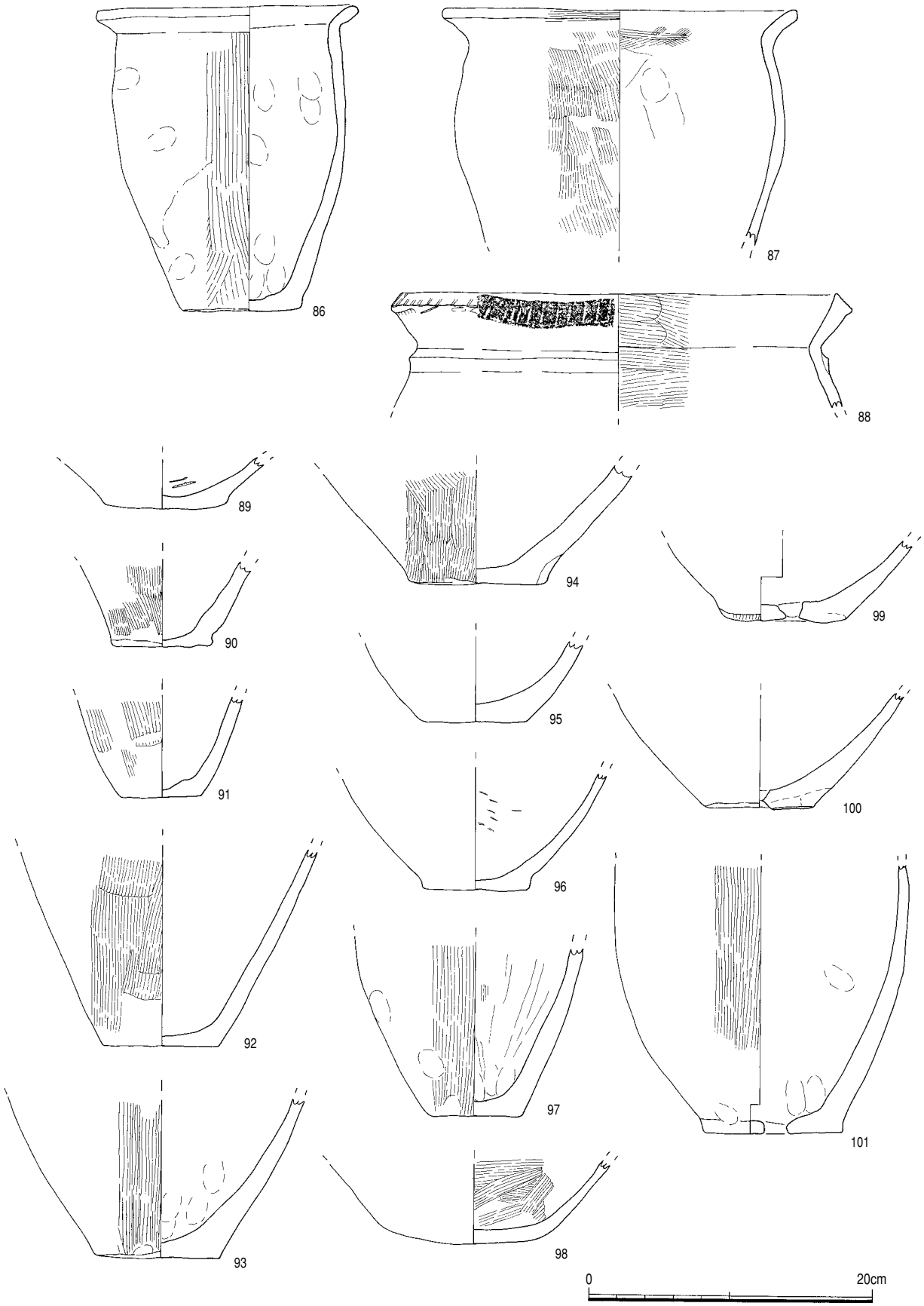


Fig. 14 SD003 出土土器実測図 7（1/4）

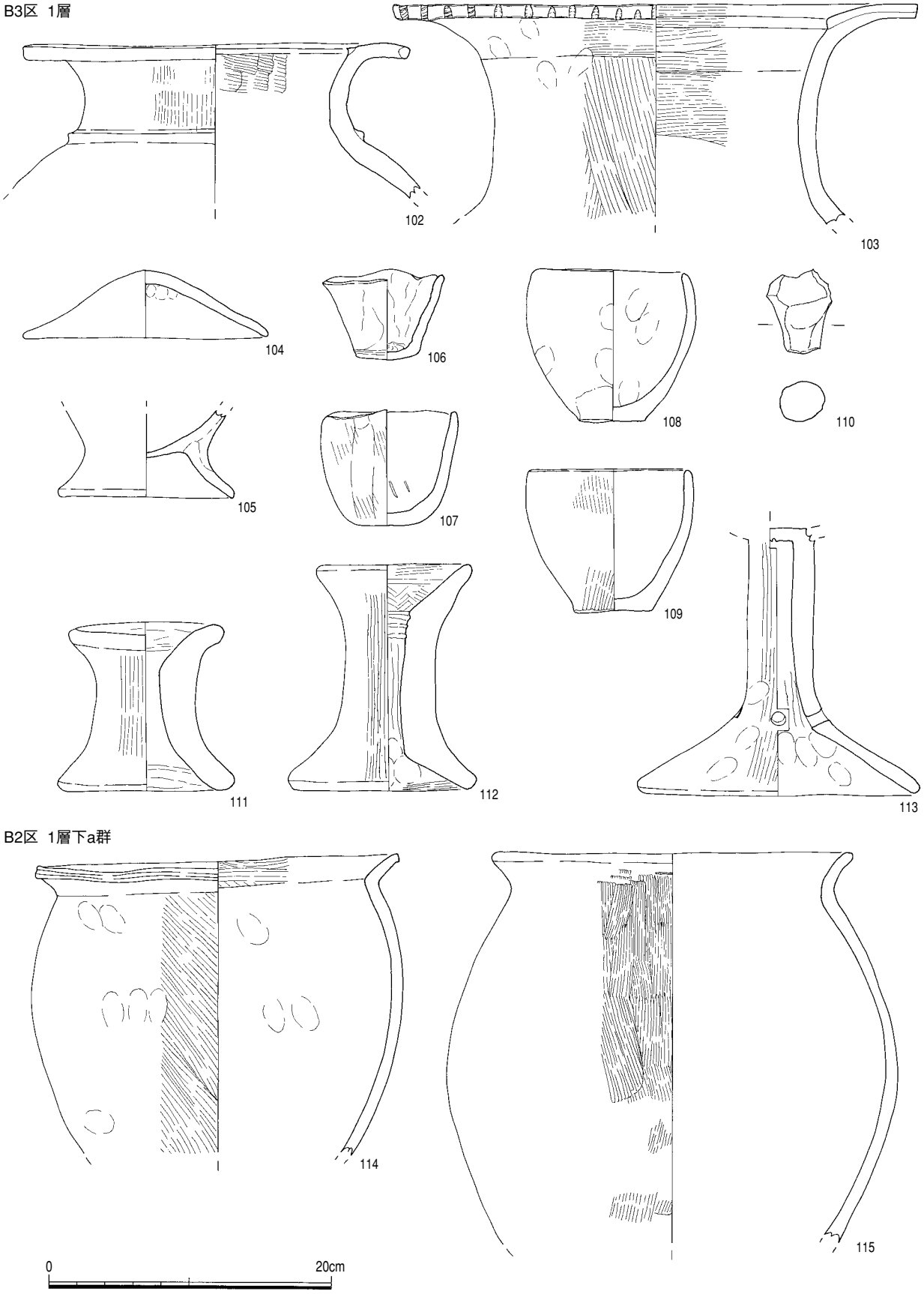


Fig. 15 SD003 出土土器実測図 8（1/4）

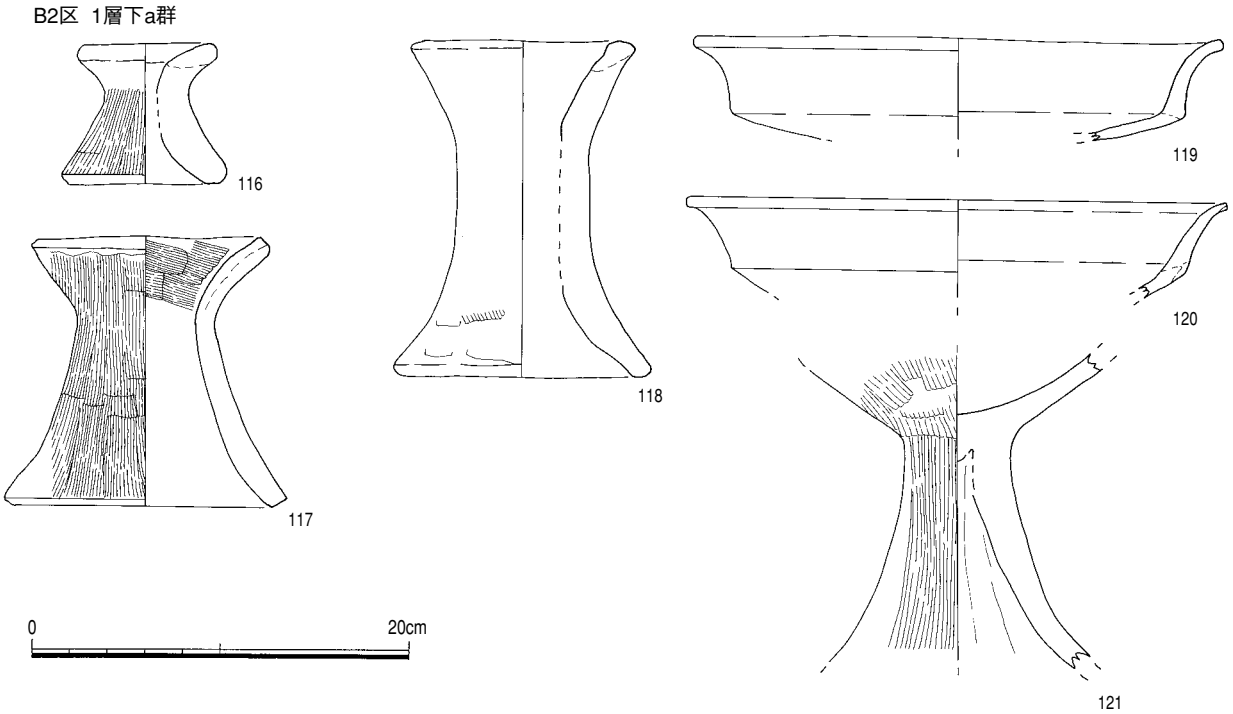


Fig. 16 SD003 出土土器実測図 9（1/4）

B2区 1層下a群

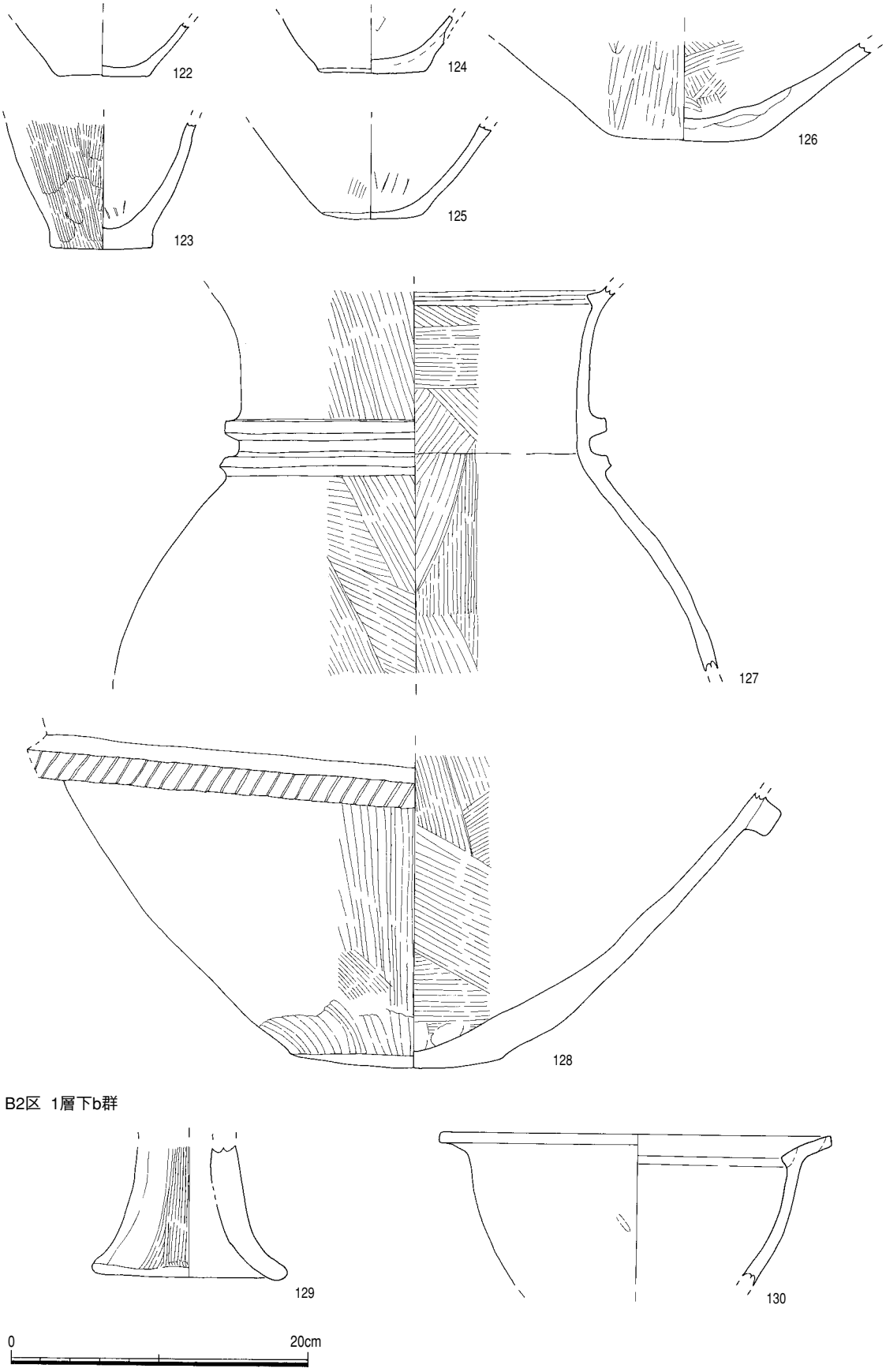


Fig. 17 SD003 出土土器実測図 10（1/4）

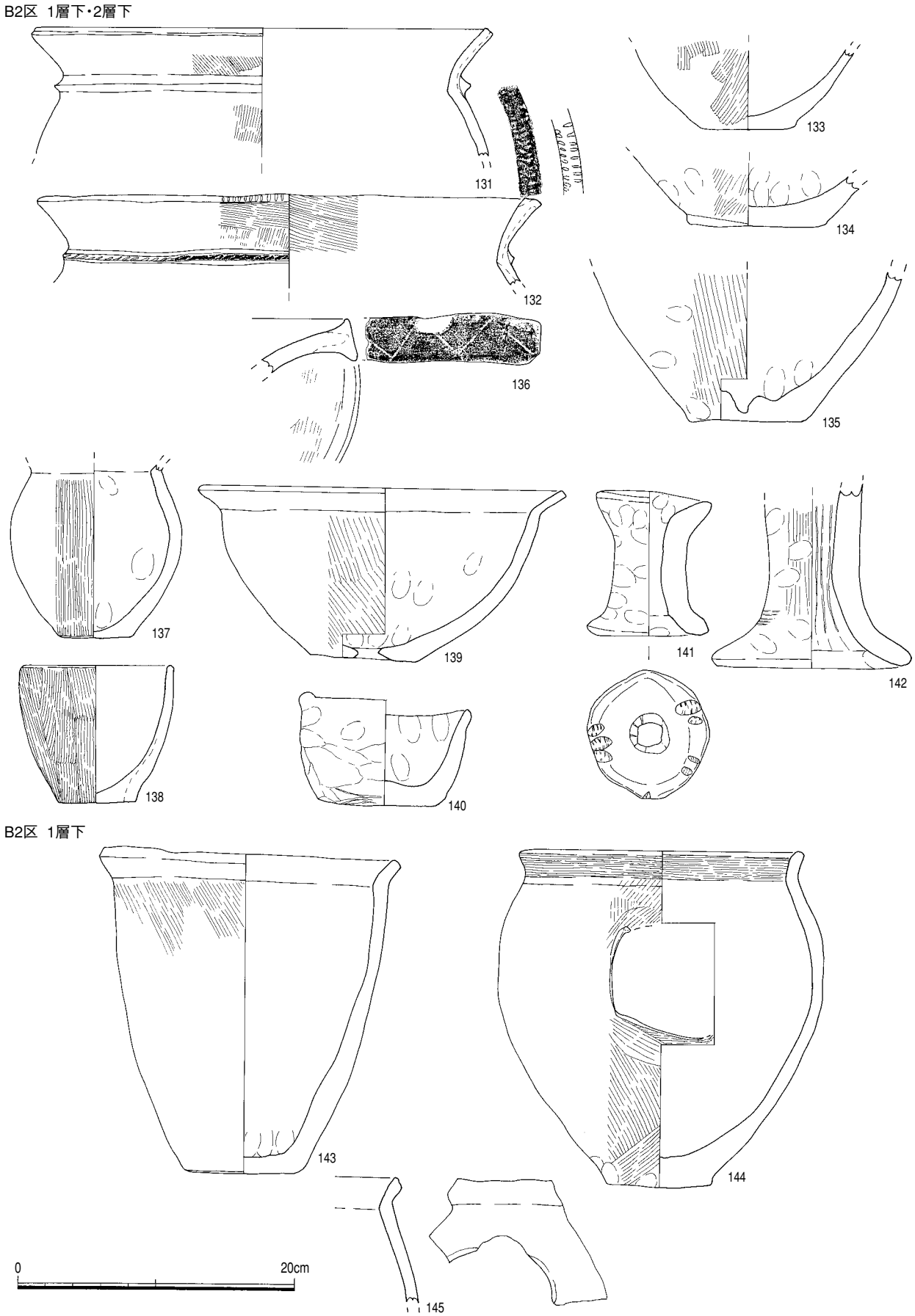


Fig. 18 SD003 出土土器実測図 11（1/4）

B2区 1層下

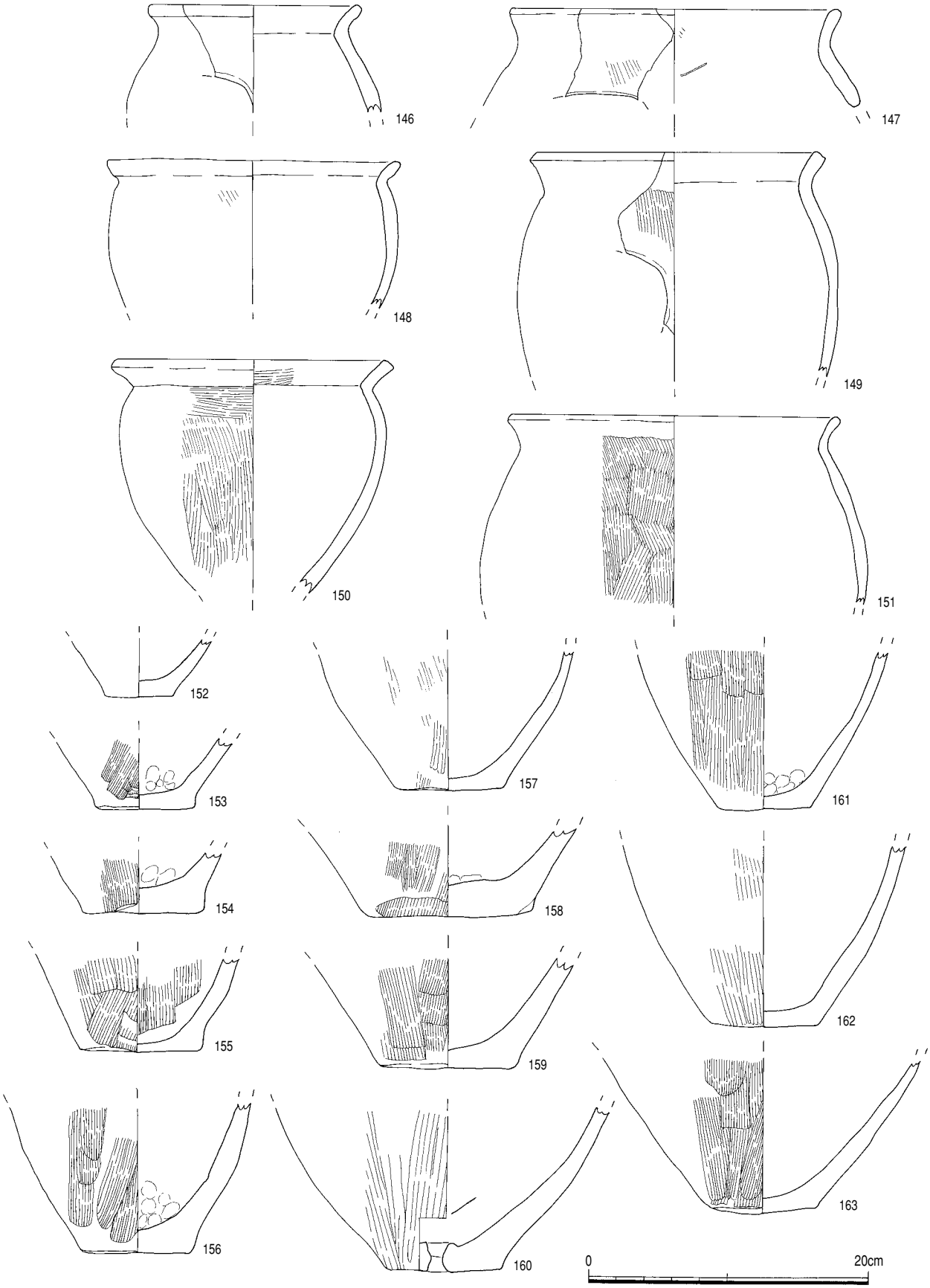


Fig. 19 SD003 出土土器実測図 12（1/4）

B2区 1層下

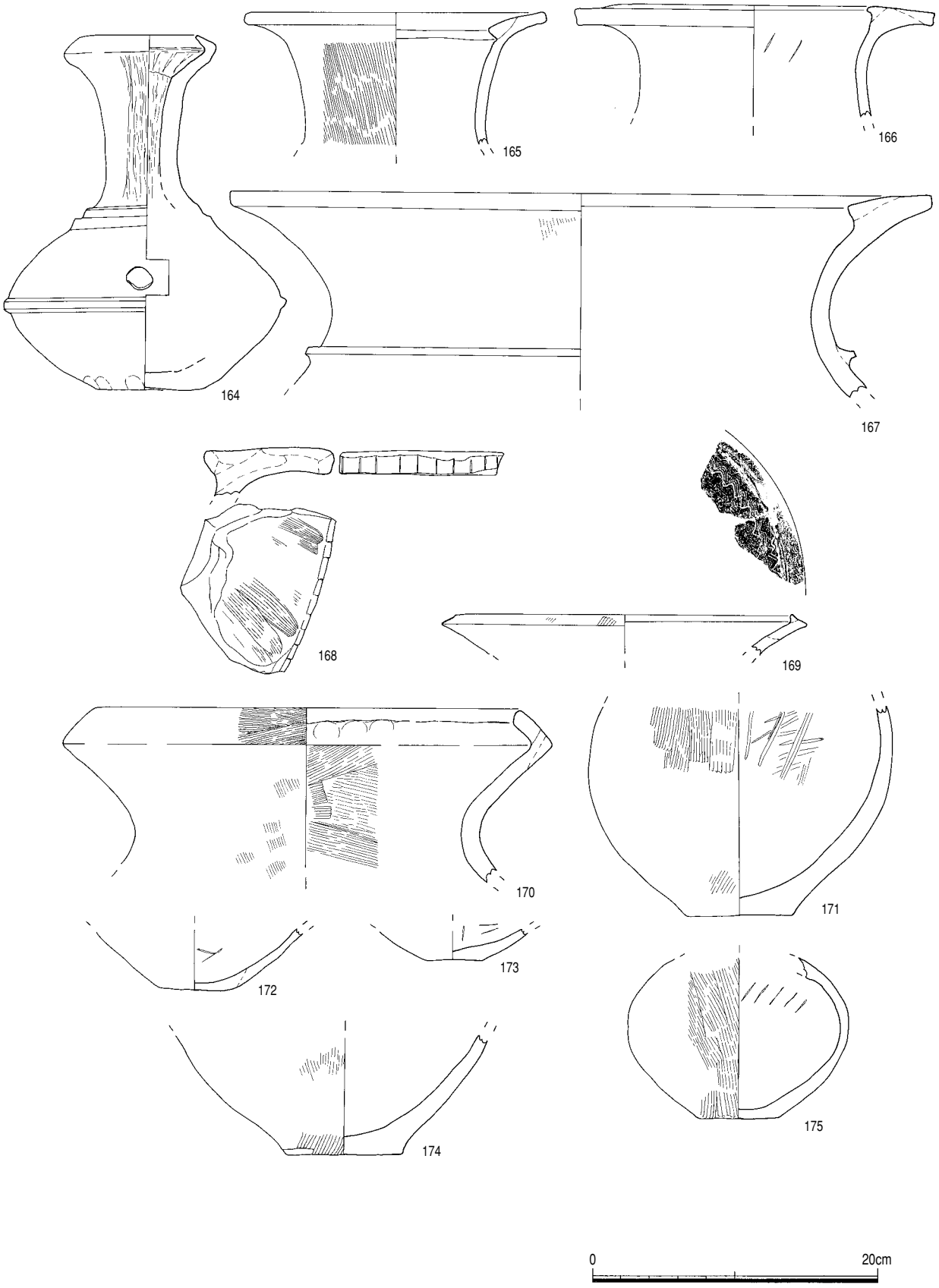


Fig. 20 SD003 出土土器実測図 13（1/4）

B2区 1層下

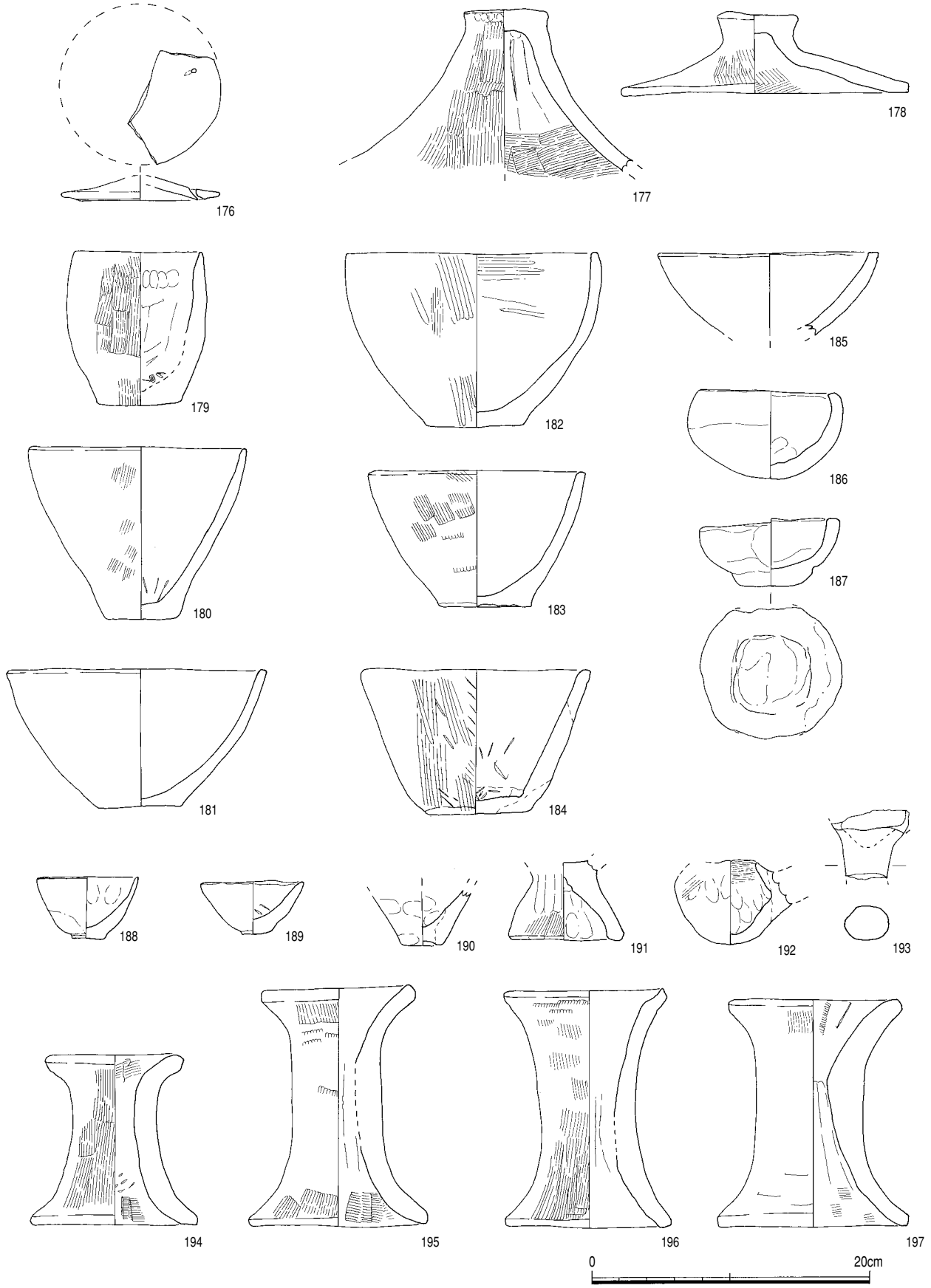


Fig. 21 SD003 出土土器実測図 14（1/4）

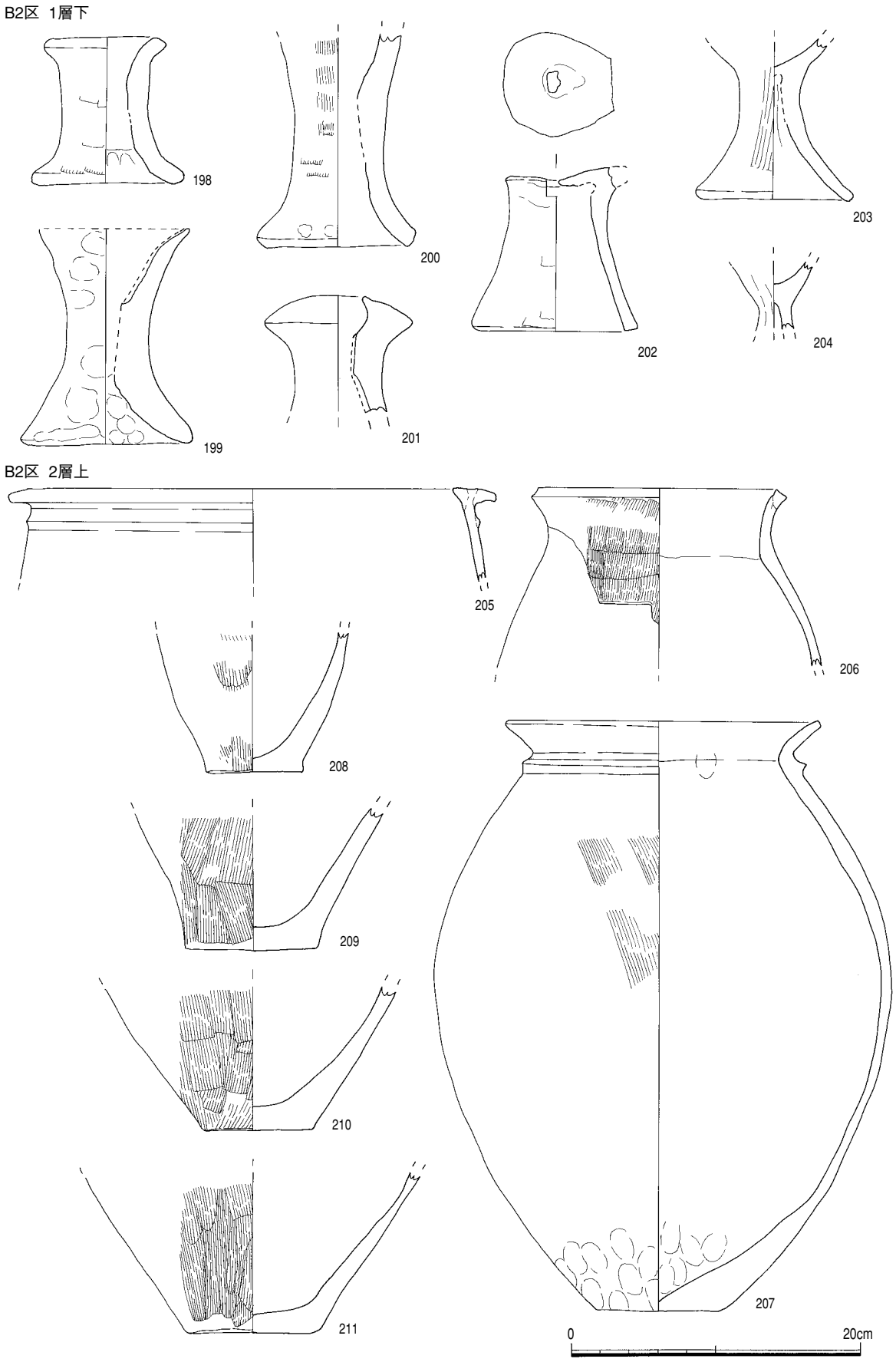


Fig. 22 SD003 出土土器実測図 15（1/4）

B2区 2層上

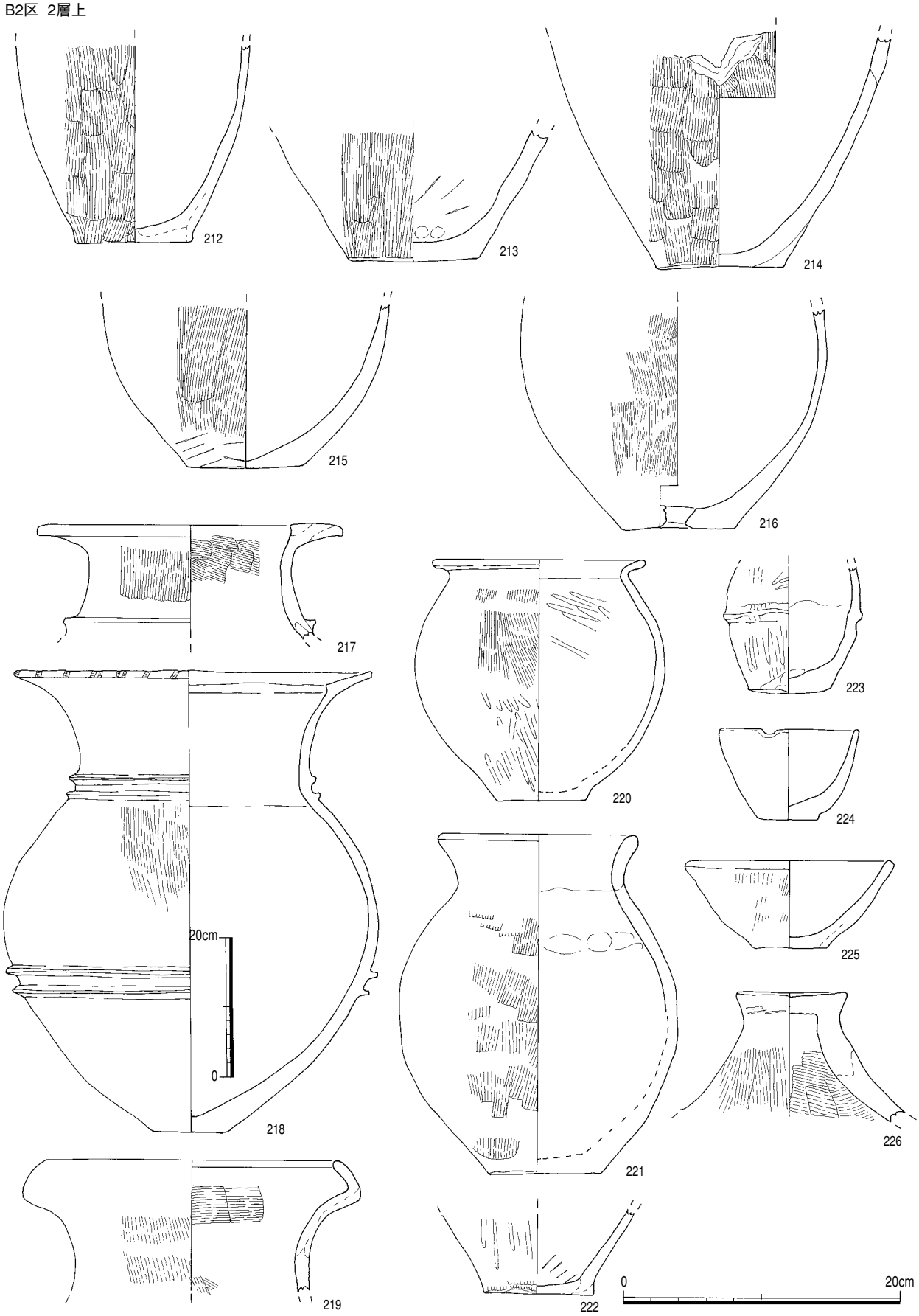


Fig. 23 SD003 出土土器実測図 16（1/4、1/8）

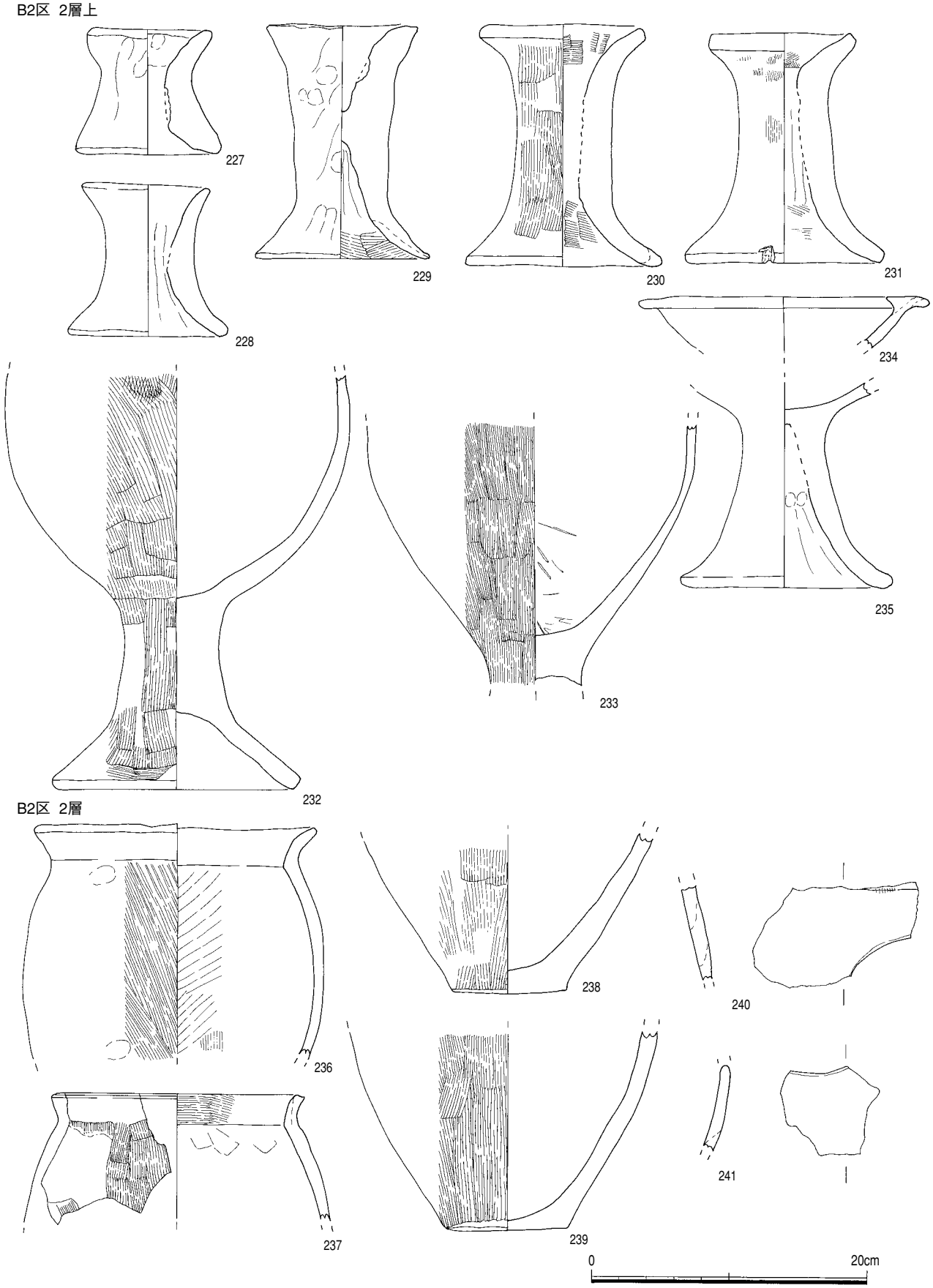


Fig. 24 SD003 出土土器実測図 17（1/4）

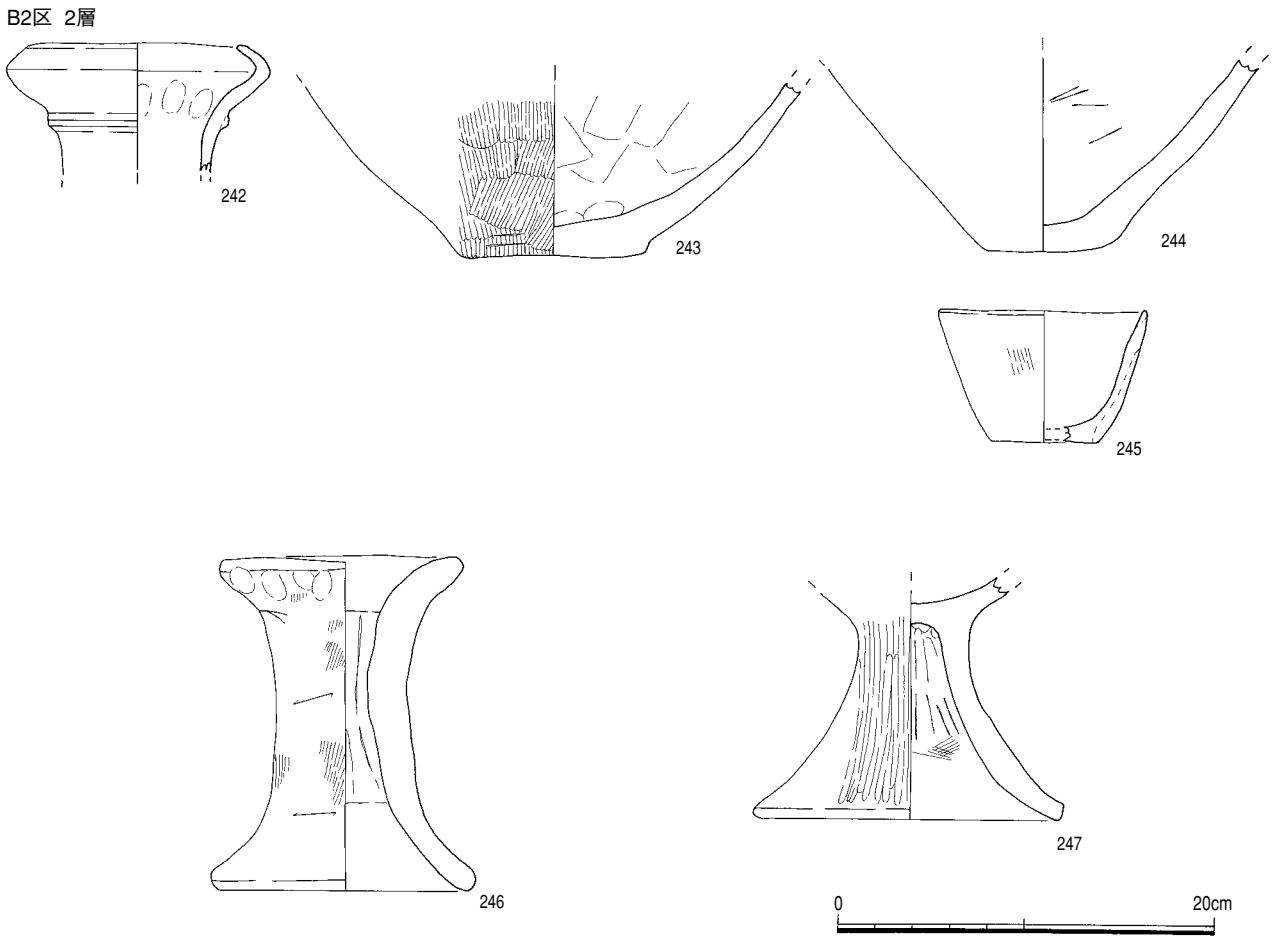


Fig. 25 SD003 出土土器実測図 18（1/4）

C2区 遺構面

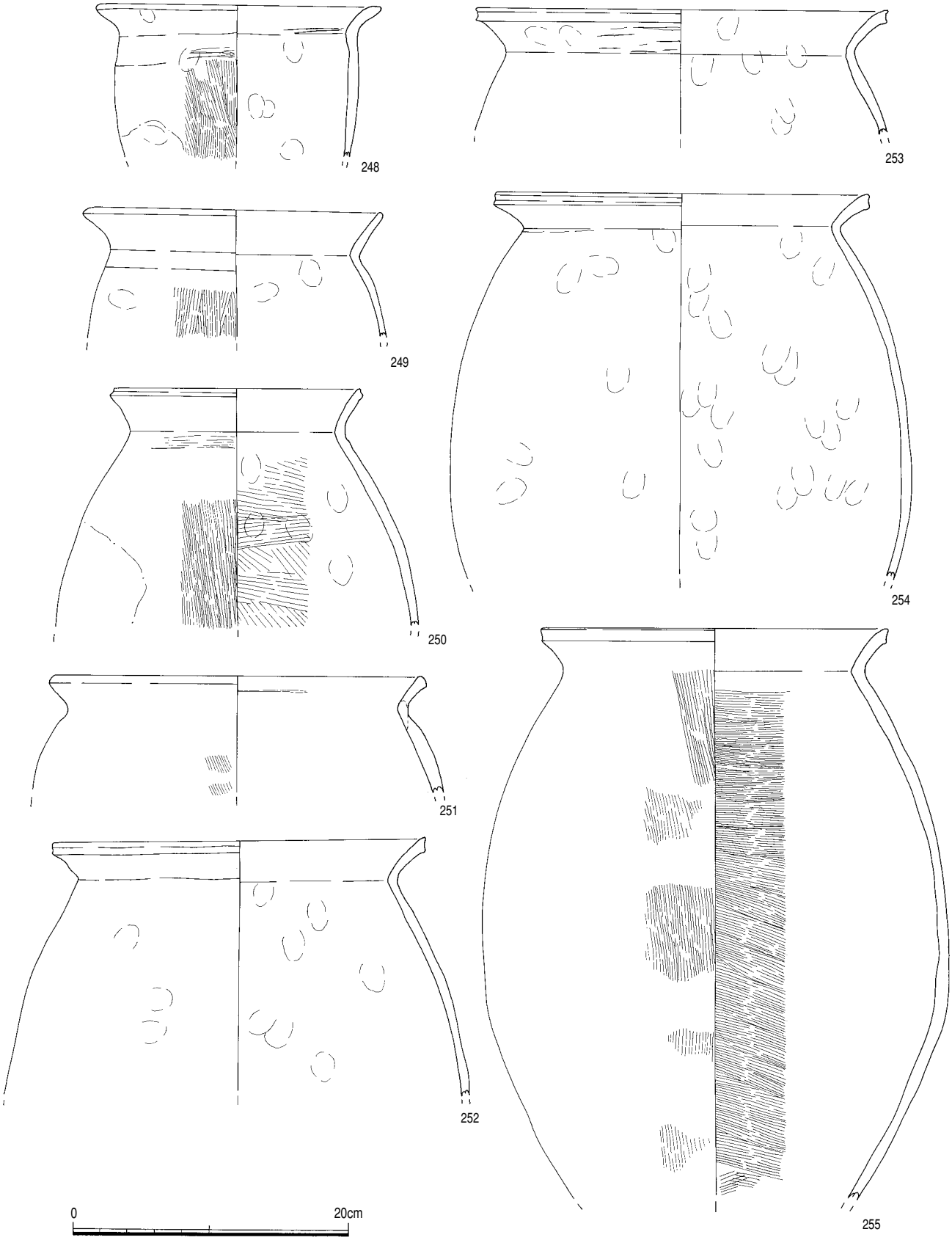


Fig. 26 SD003 出土土器実測図 19（1/4）

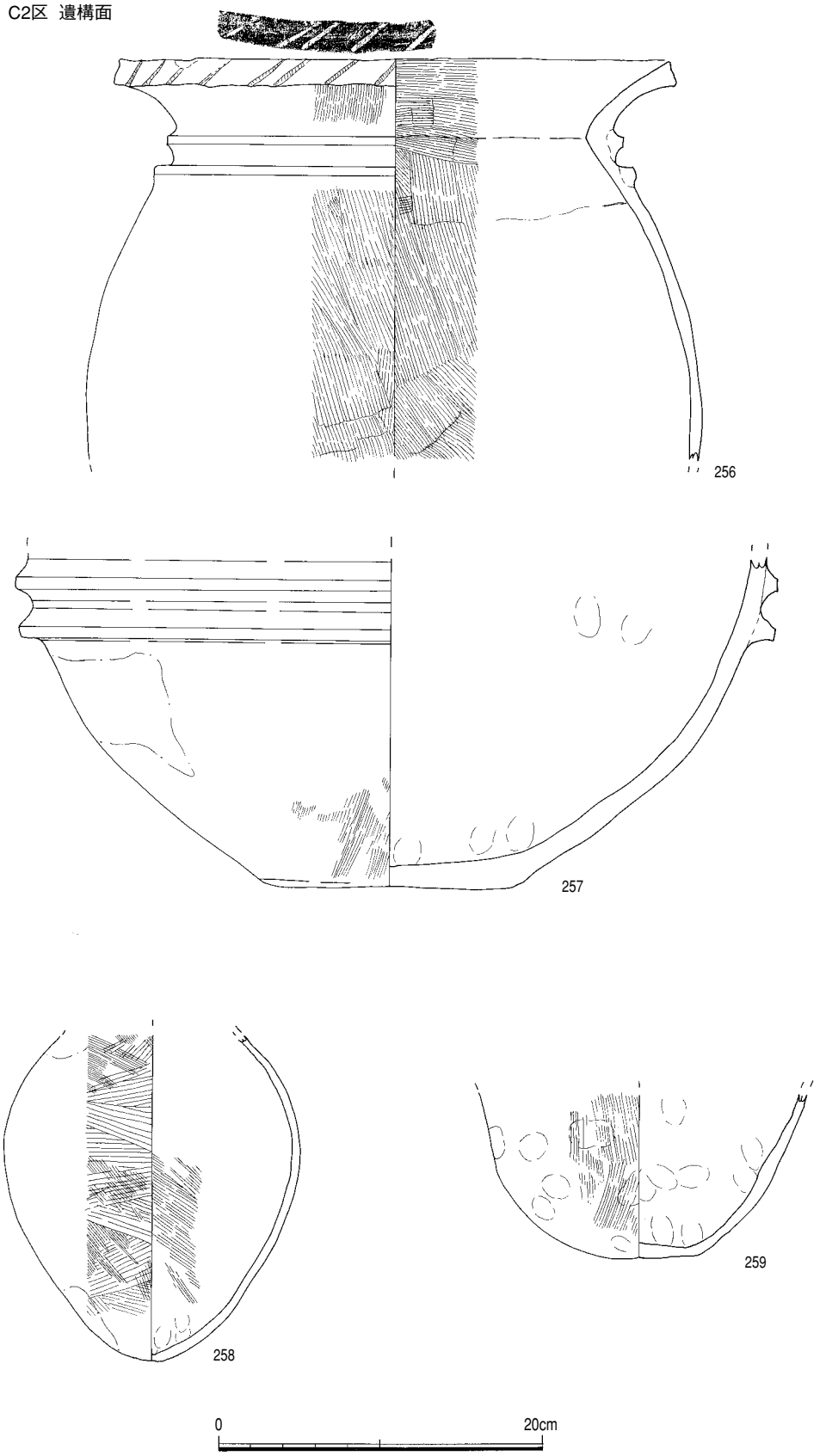


Fig. 27 SD003 出土土器実測図 20（1/4）

C2区 遺構面

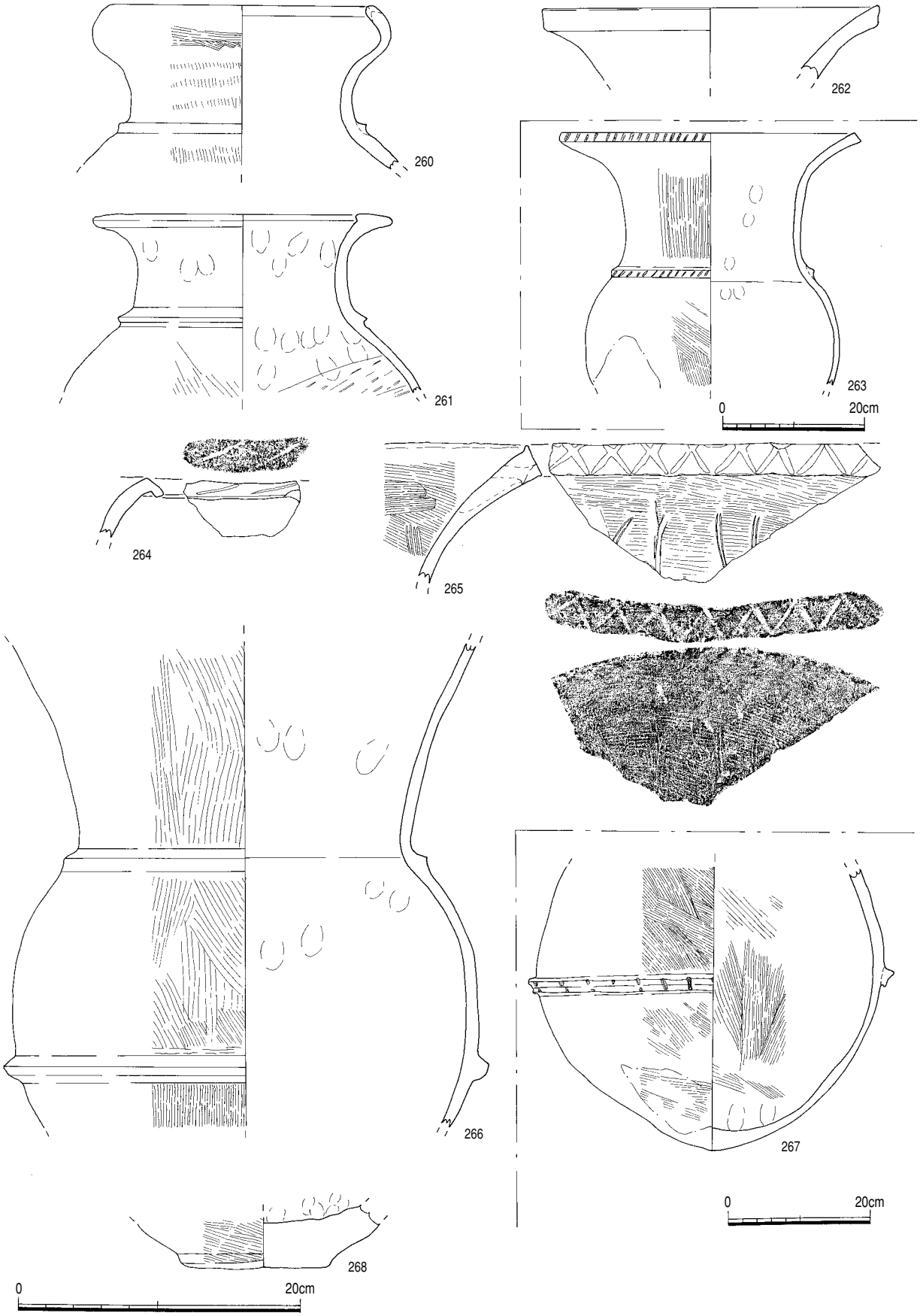


Fig. 28 SD003 出土土器実測図 21（1/4、1/8）

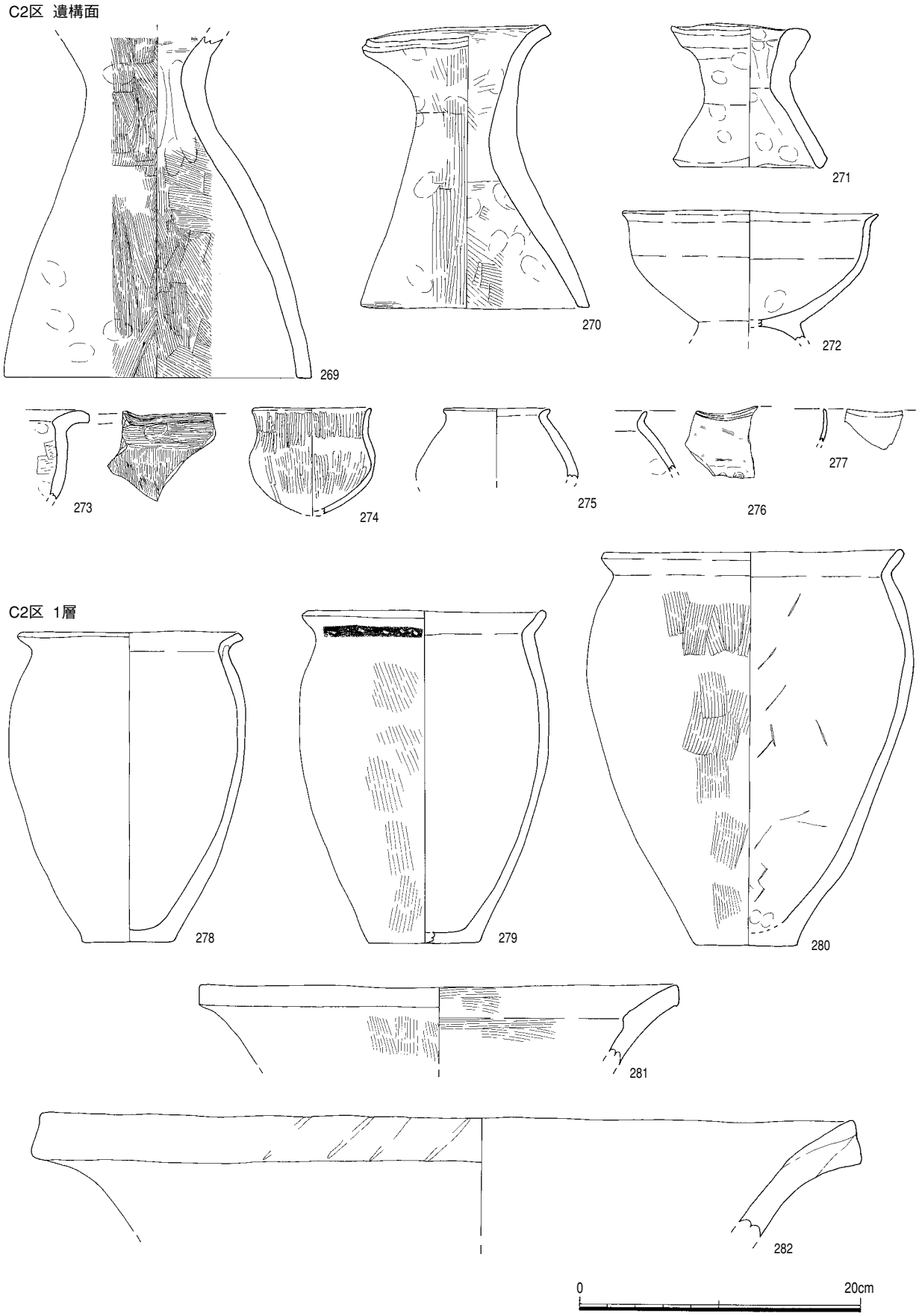


Fig. 29 SD003 出土土器実測図 22（1/4）

C2区 1層

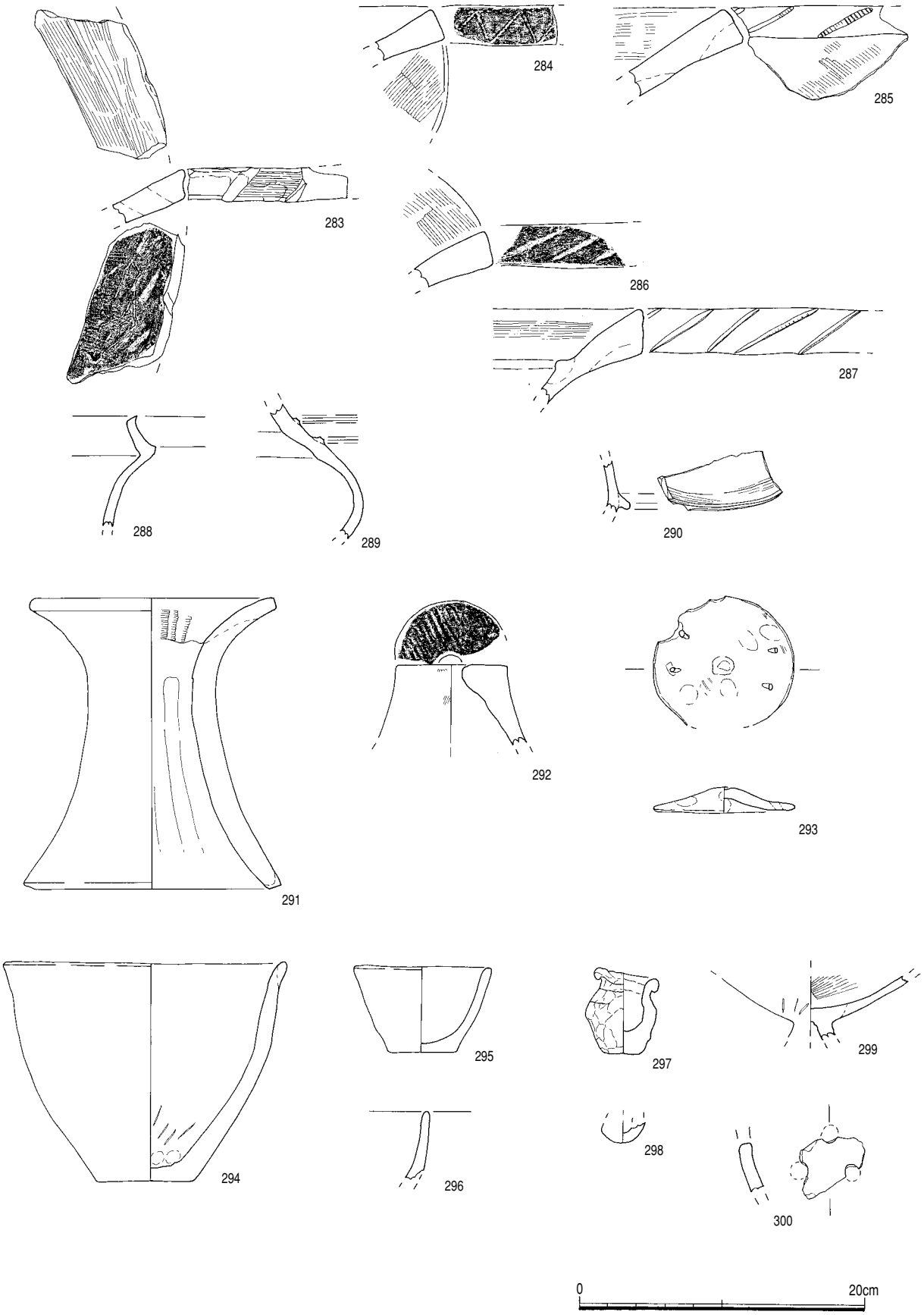


Fig. 30 SD003 出土土器実測図 23（1/4）

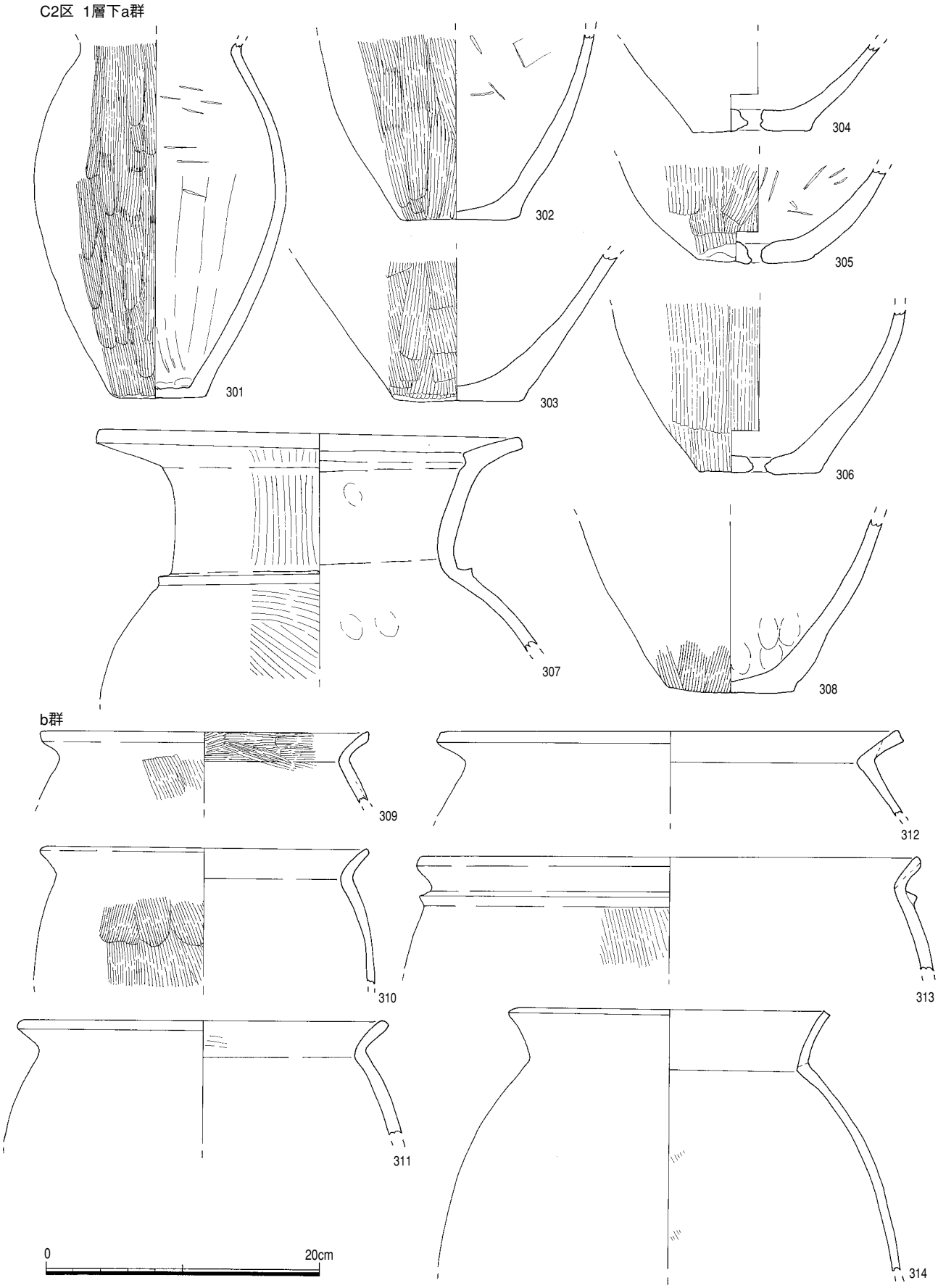


Fig. 31 SD003 出土土器実測図 24（1/4）

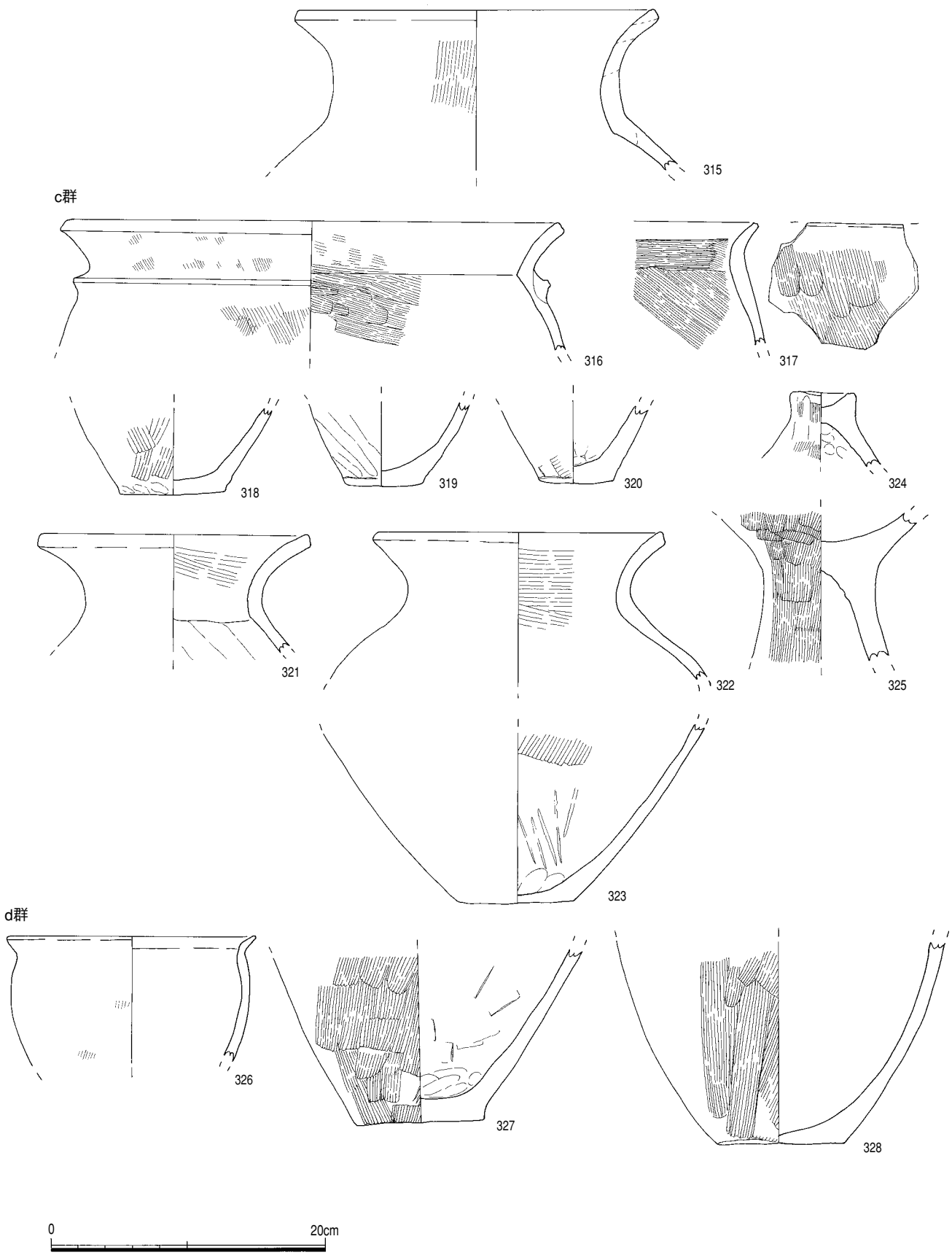
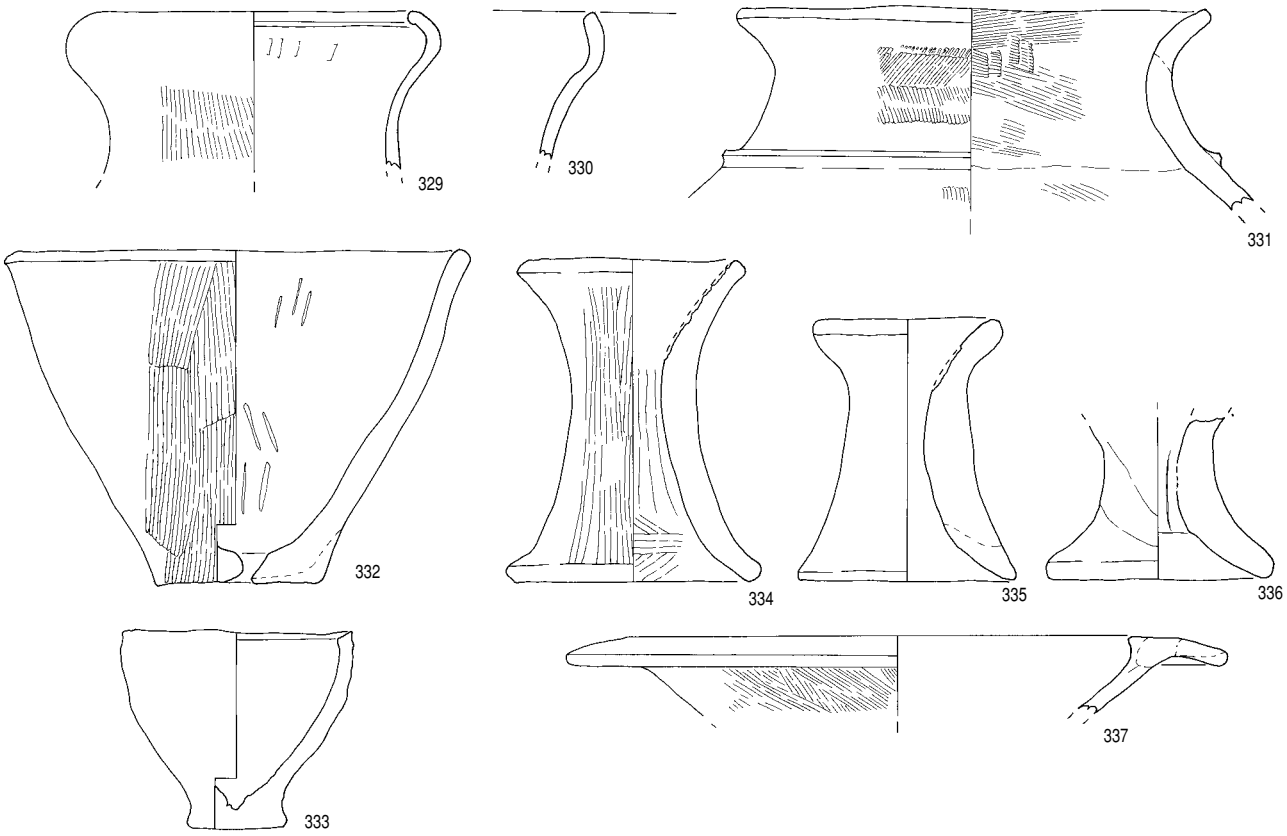


Fig. 32 SD003 出土土器実測図 25（1/4）

C2区 1層下d群



C2区 1層下

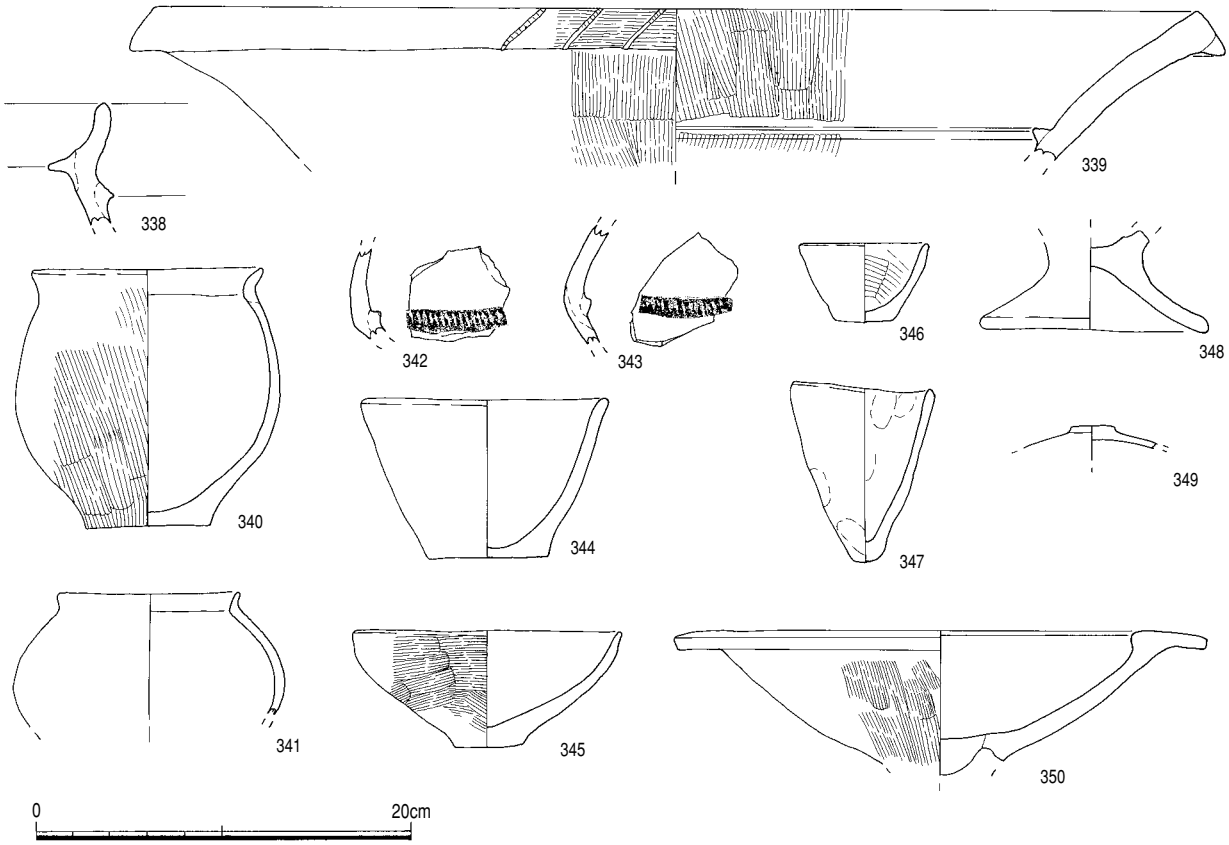


Fig. 33 SD003 出土土器実測図 26（1/4）

C2区 2層上

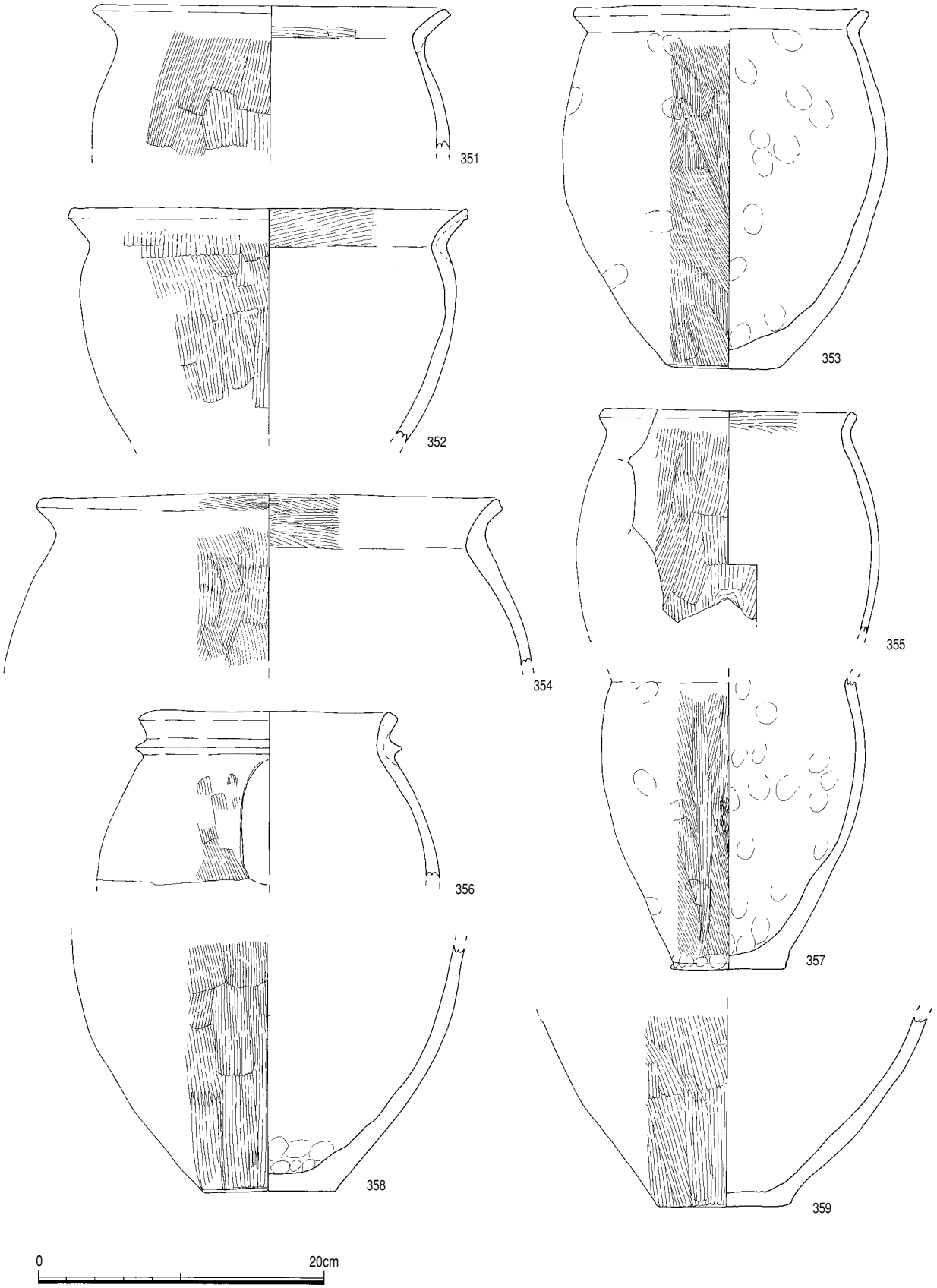


Fig. 34 SD003 出土土器実測図 27（1/4）

C2区 2層上

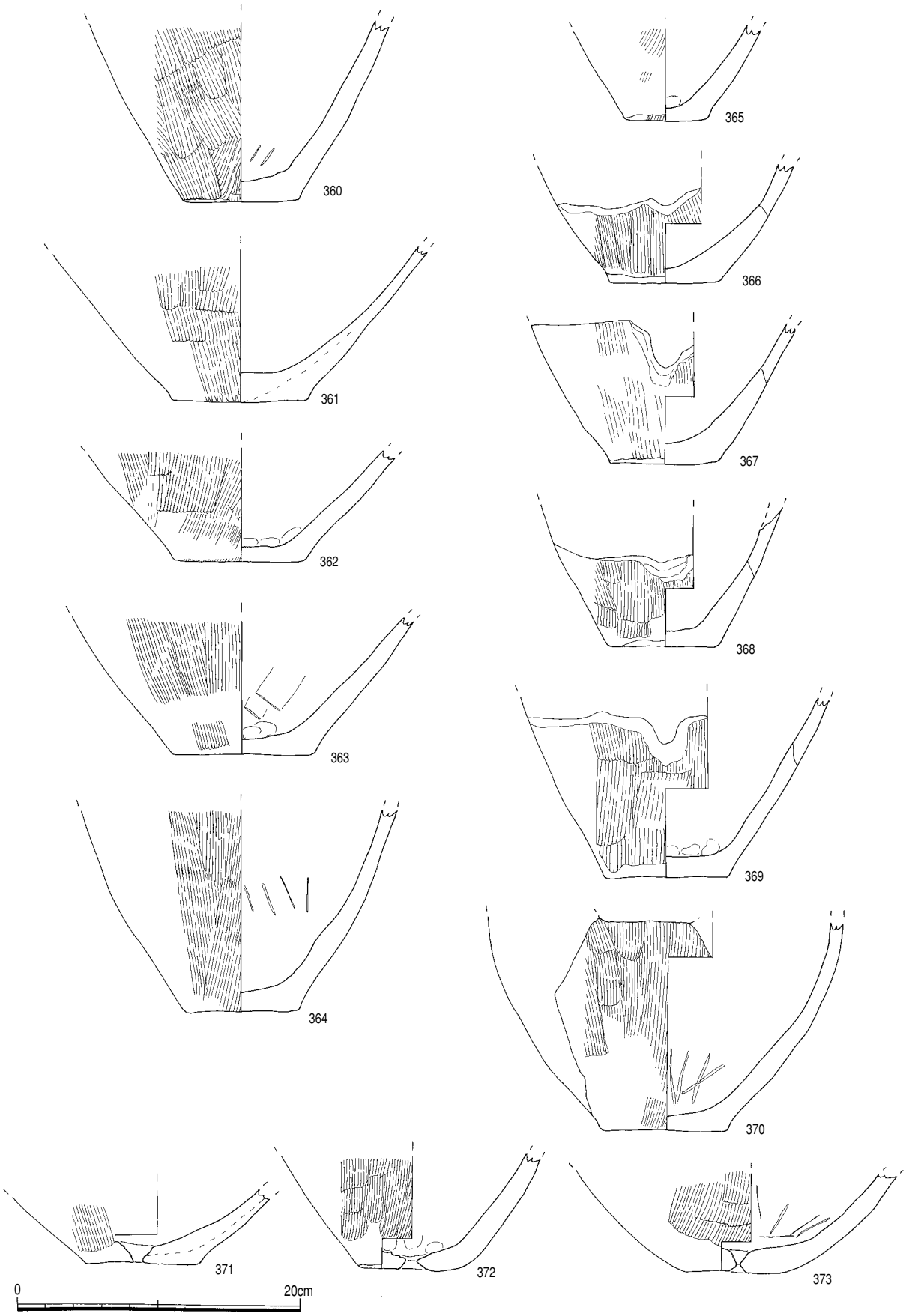


Fig. 35 SD003 出土土器実測図 28（1/4）

C2区 2層上

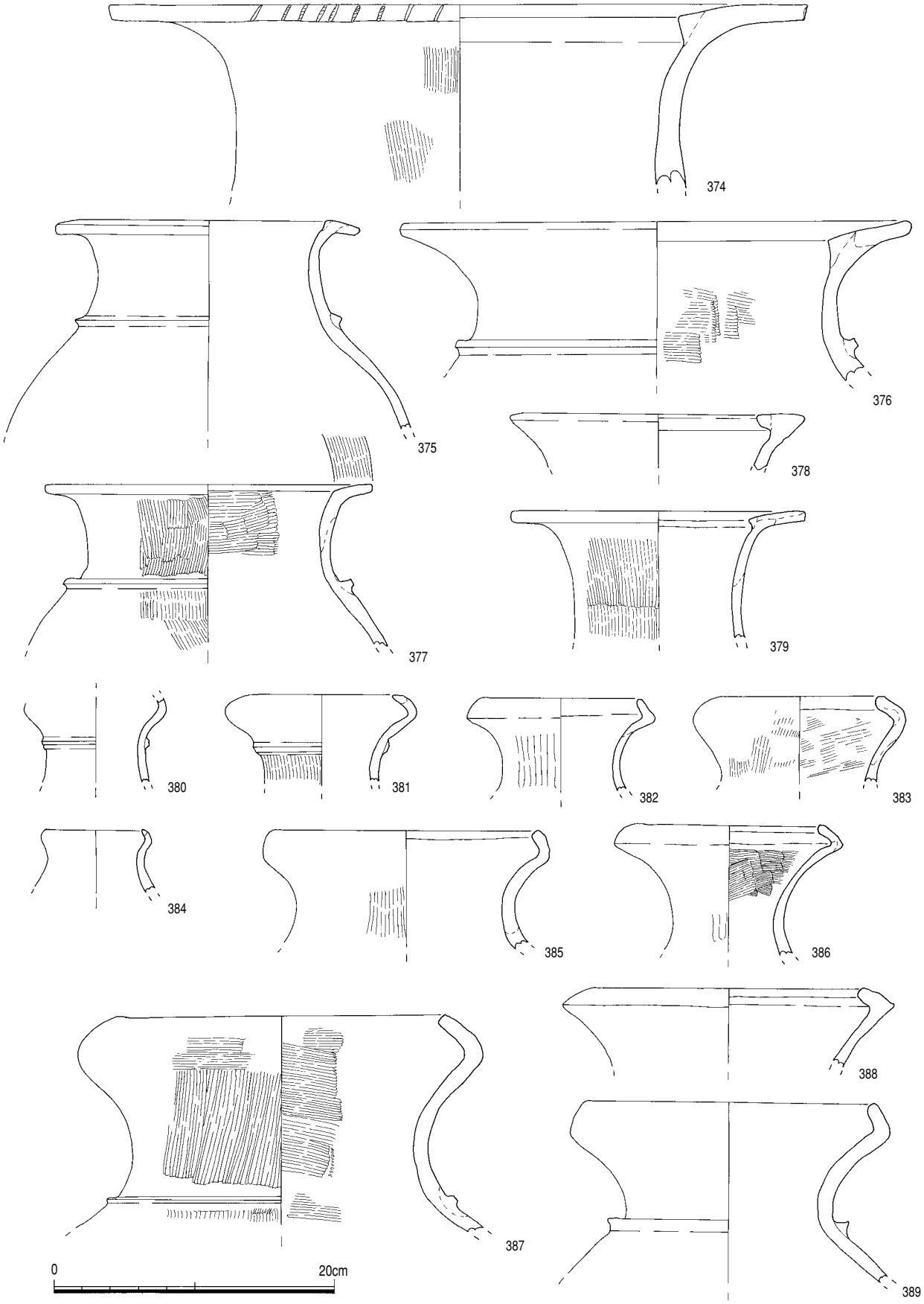


Fig. 36 SD003 出土土器実測図 29（1/4）

C2区 2層上

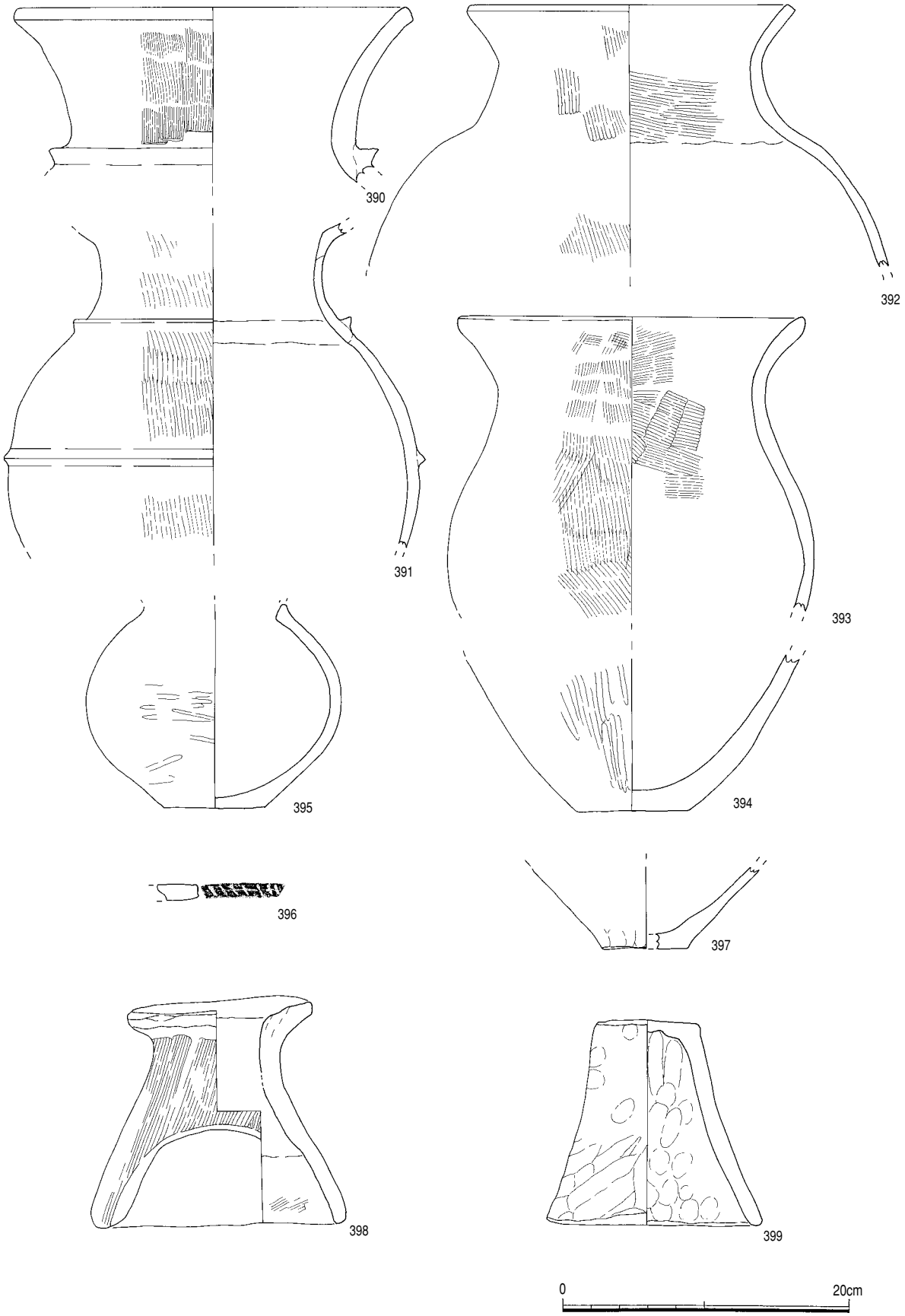


Fig. 37 SD003 出土土器実測図 30（1/4）

C2区 2層上

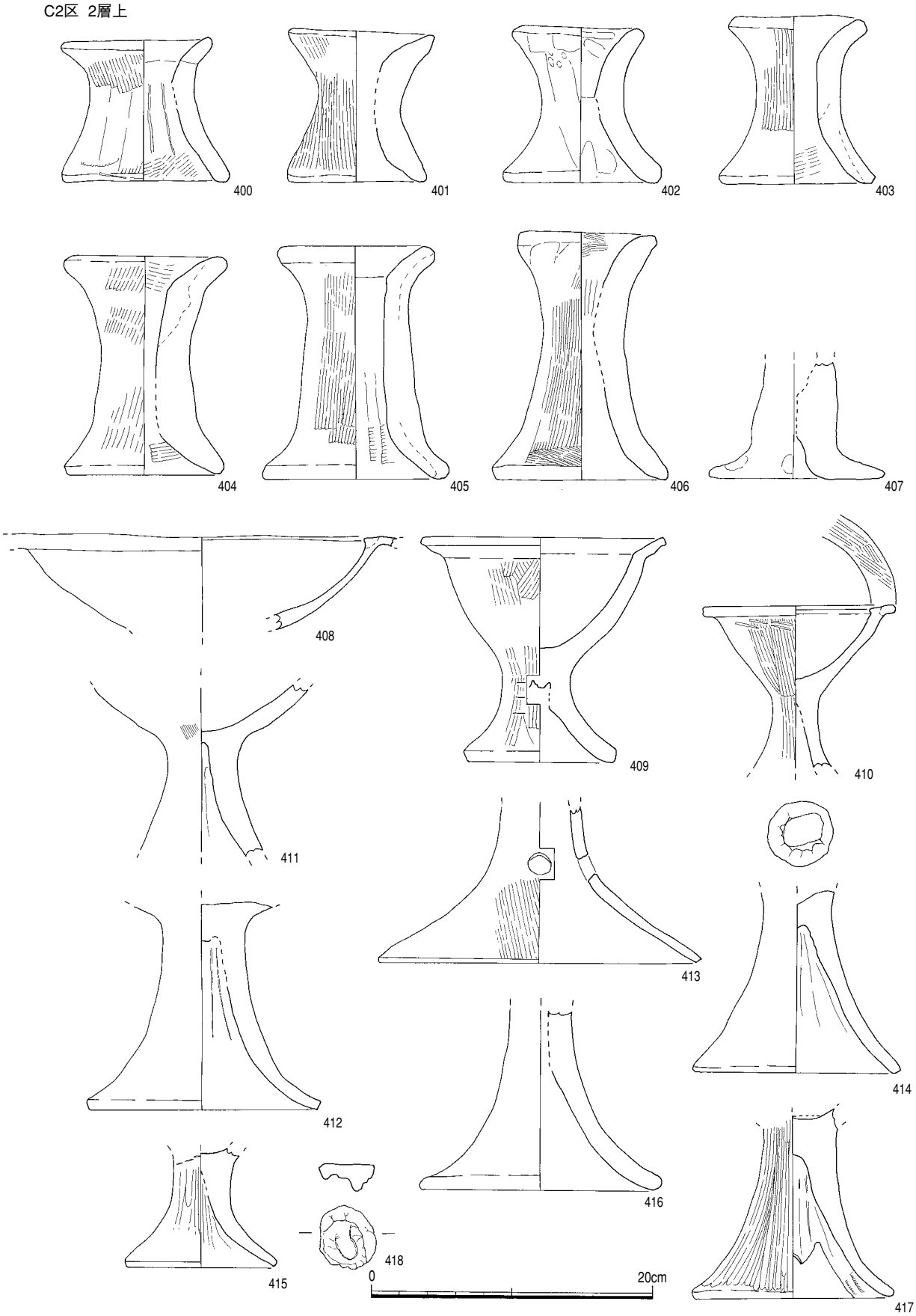


Fig. 38 SD003 出土土器実測図 31（1/4）

C2区 2層上

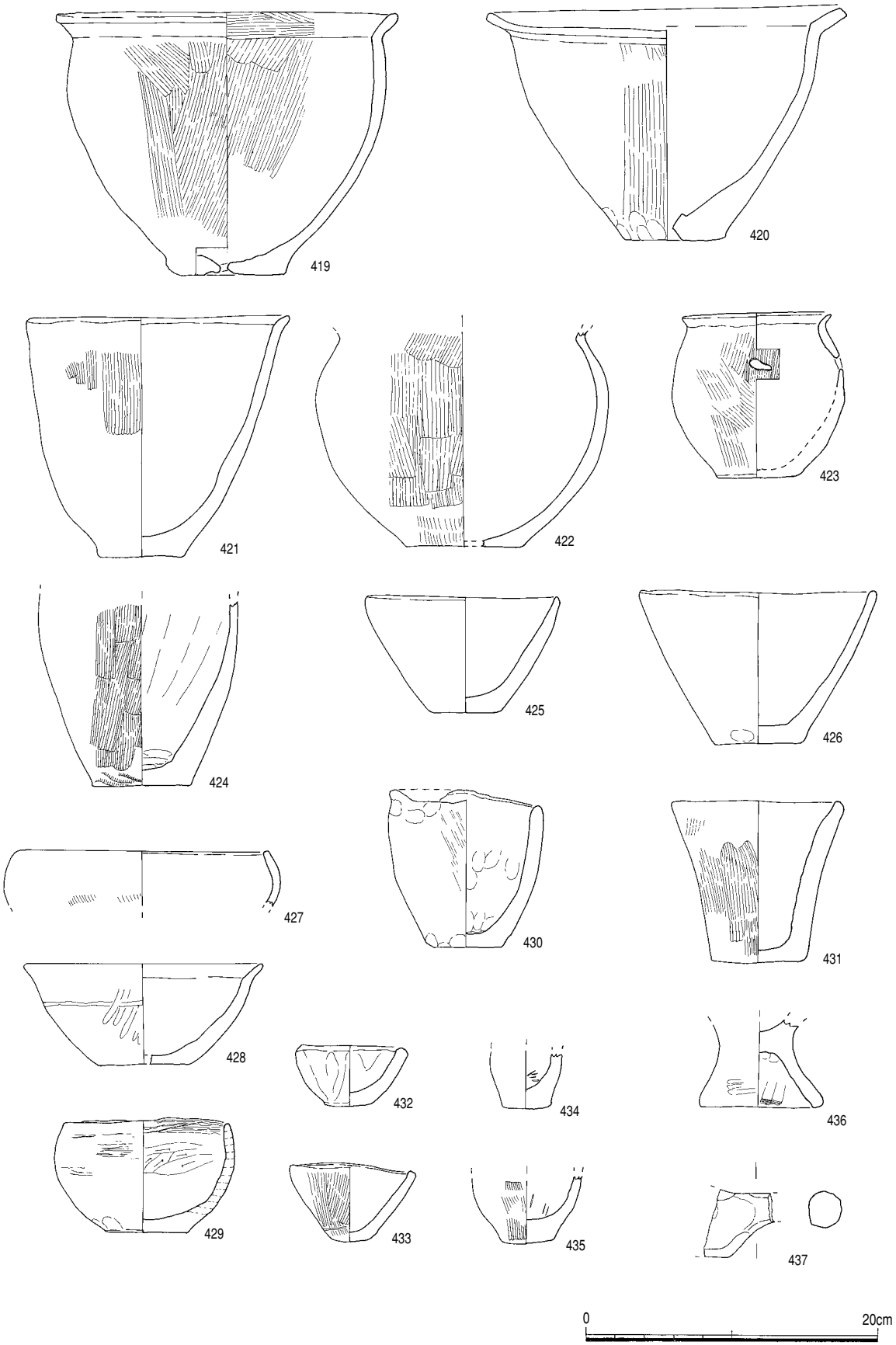


Fig. 39 SD003 出土土器実測図 32（1/4）

C2区 2層

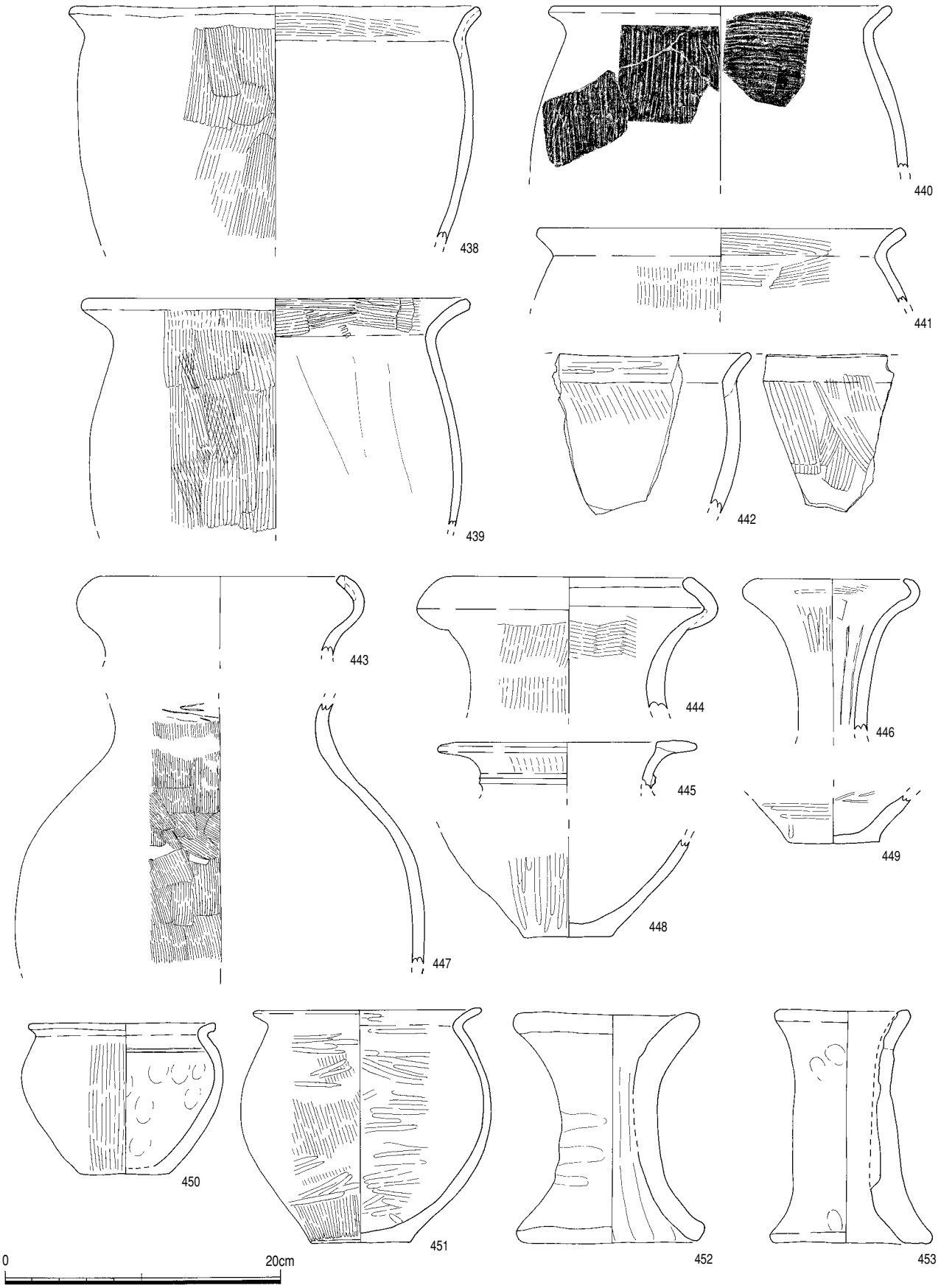


Fig. 40 SD003 出土土器実測図 33（1/4）

C2区 2層

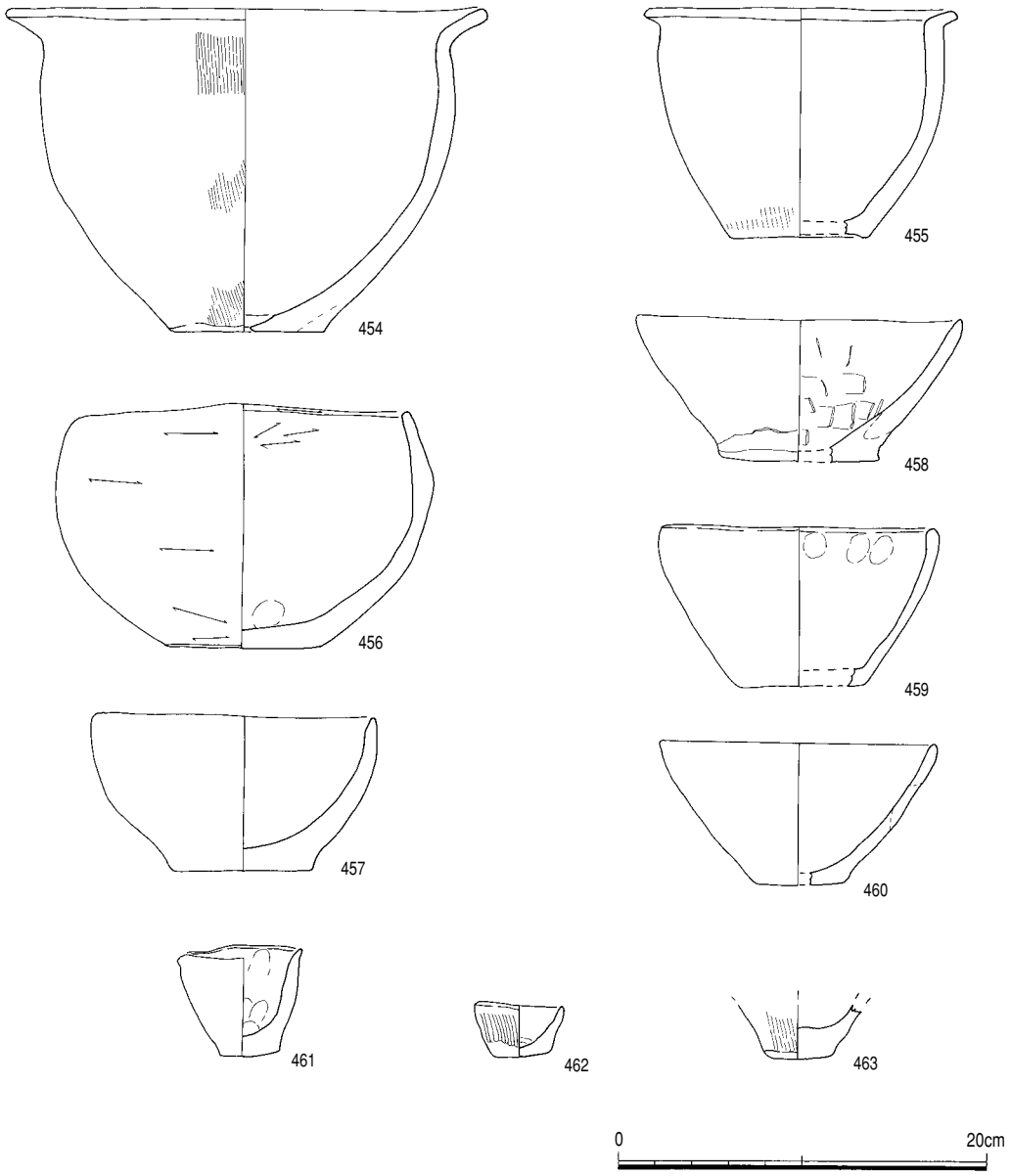


Fig. 41 SD003 出土土器実測図 34（1/4）

D2区 遺構面

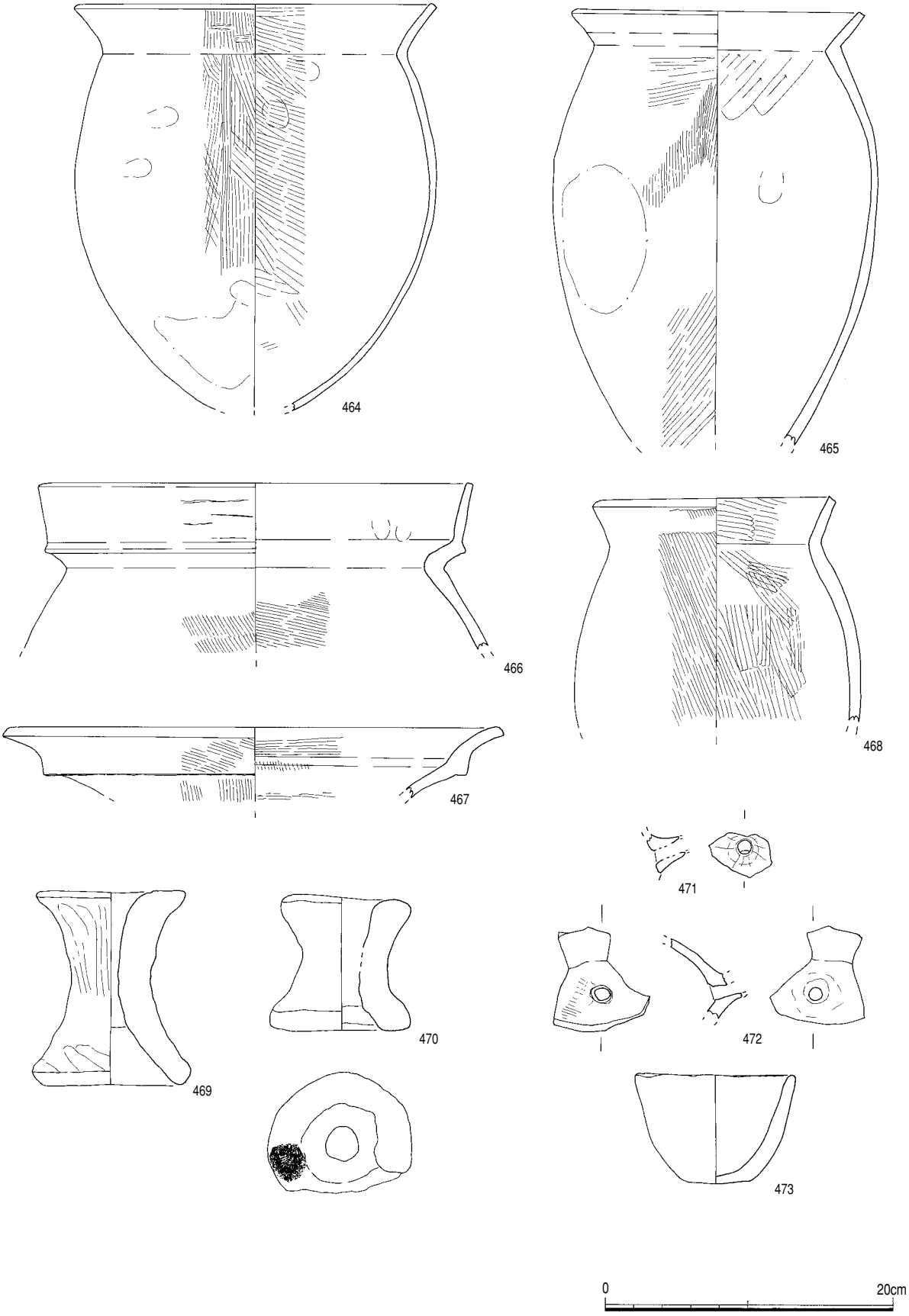


Fig. 42 SD003 出土土器実測図 35（1/4）

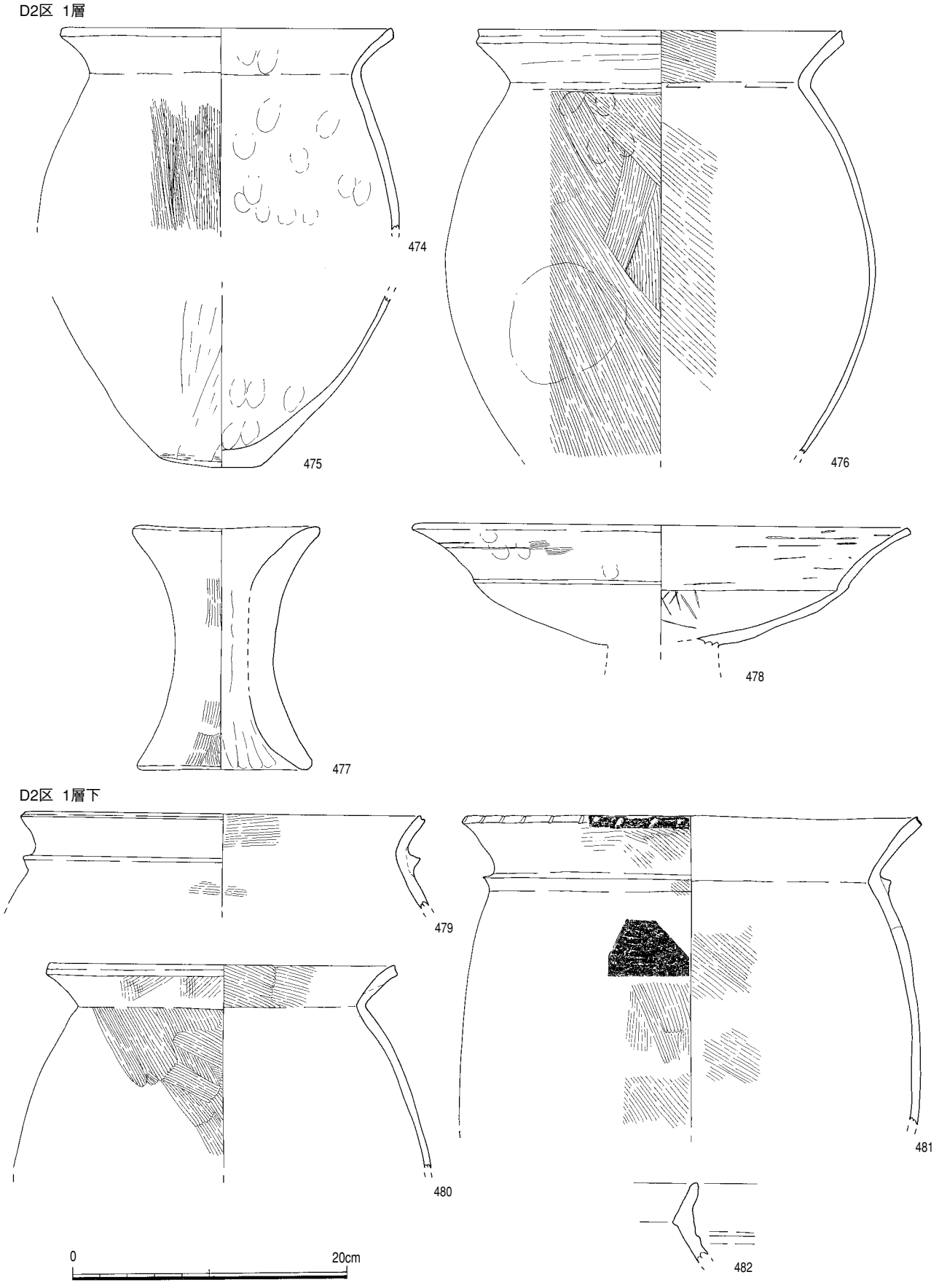


Fig. 43 SD003 出土土器実測図 36（1/4）

D2区 1層下

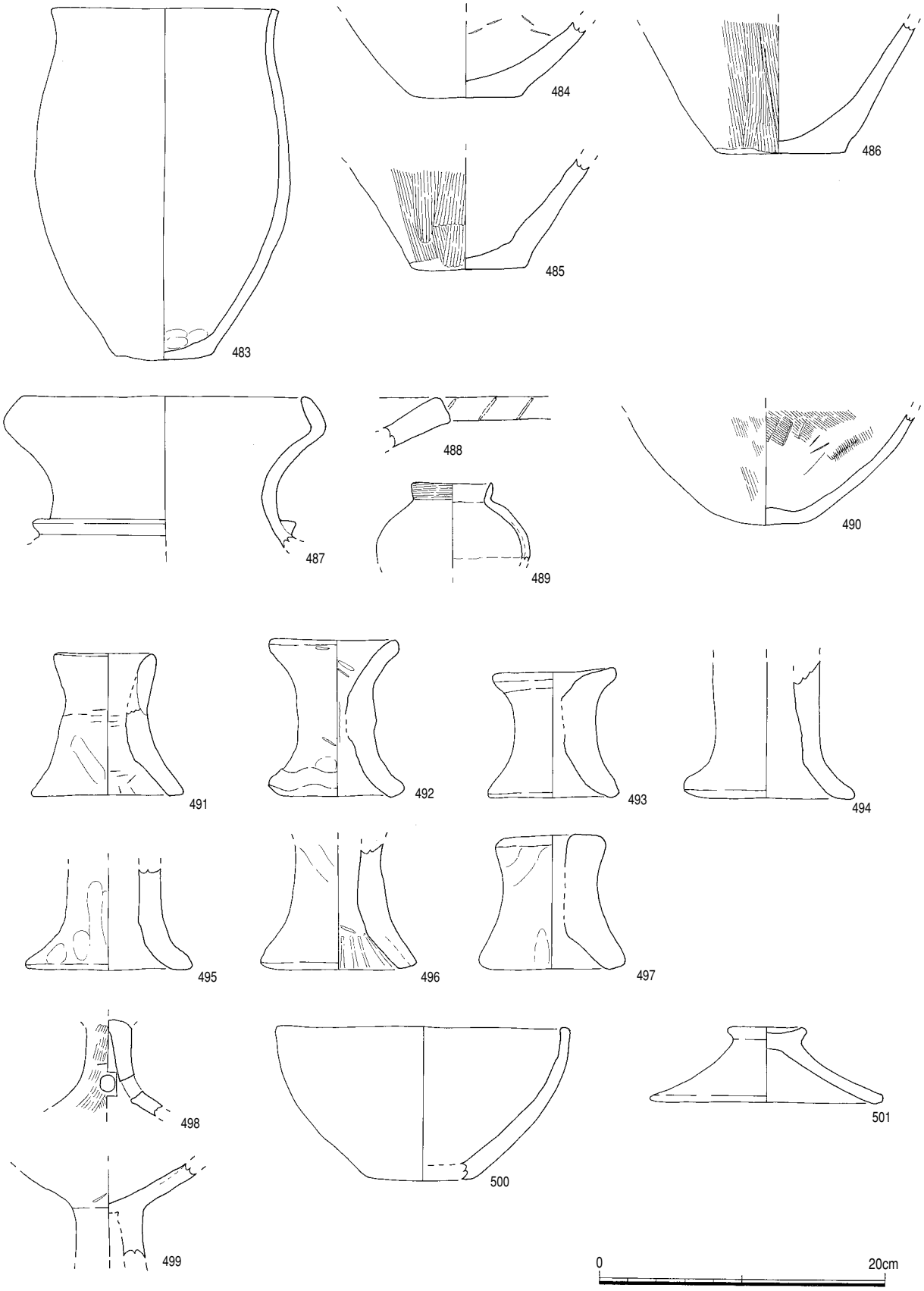


Fig. 44 SD003 出土土器実測図 37（1/4）

D2区 2層上

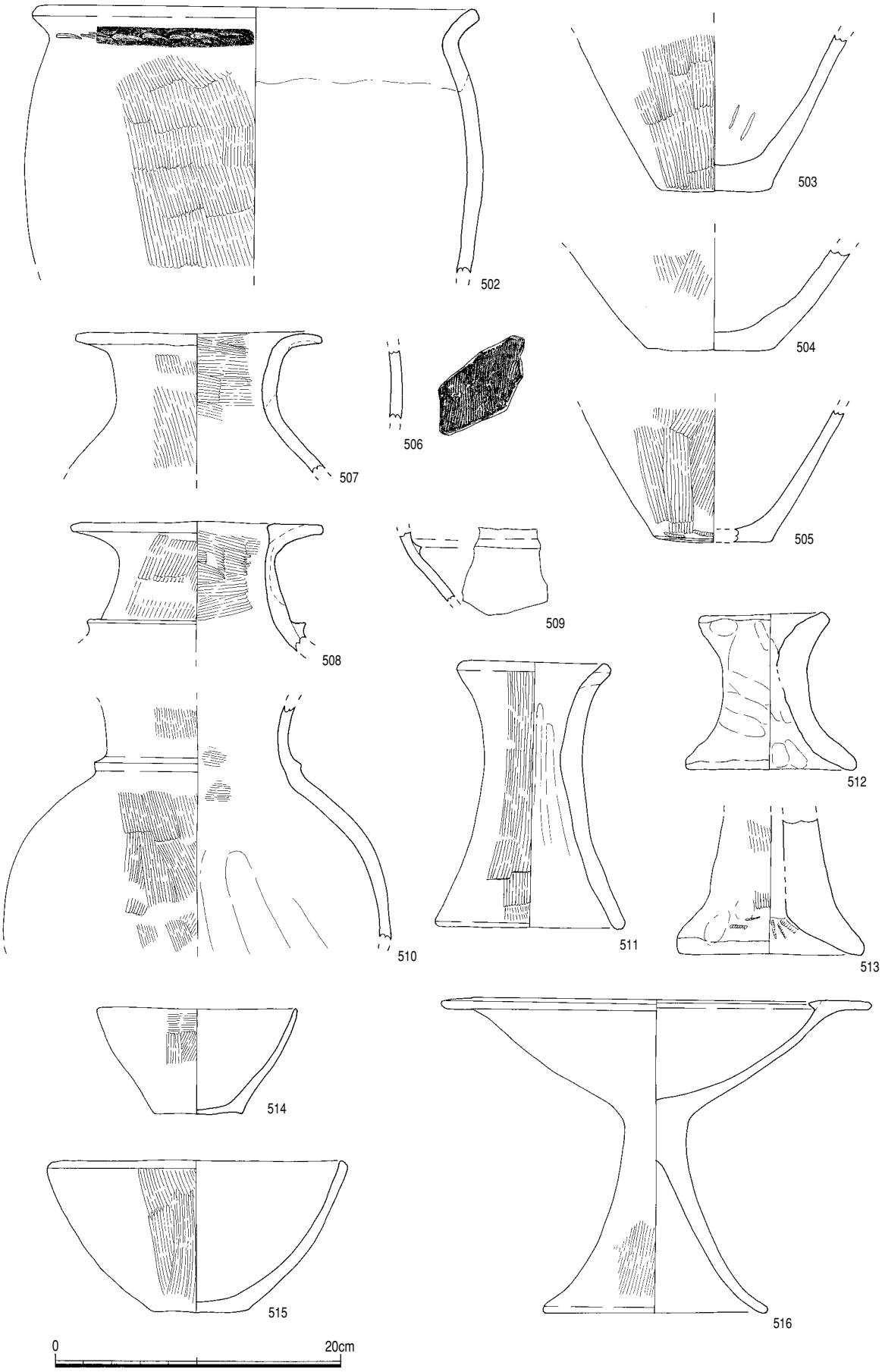


Fig. 45 SD003 出土土器実測図 38（1/4）

C2～D2区 1層下

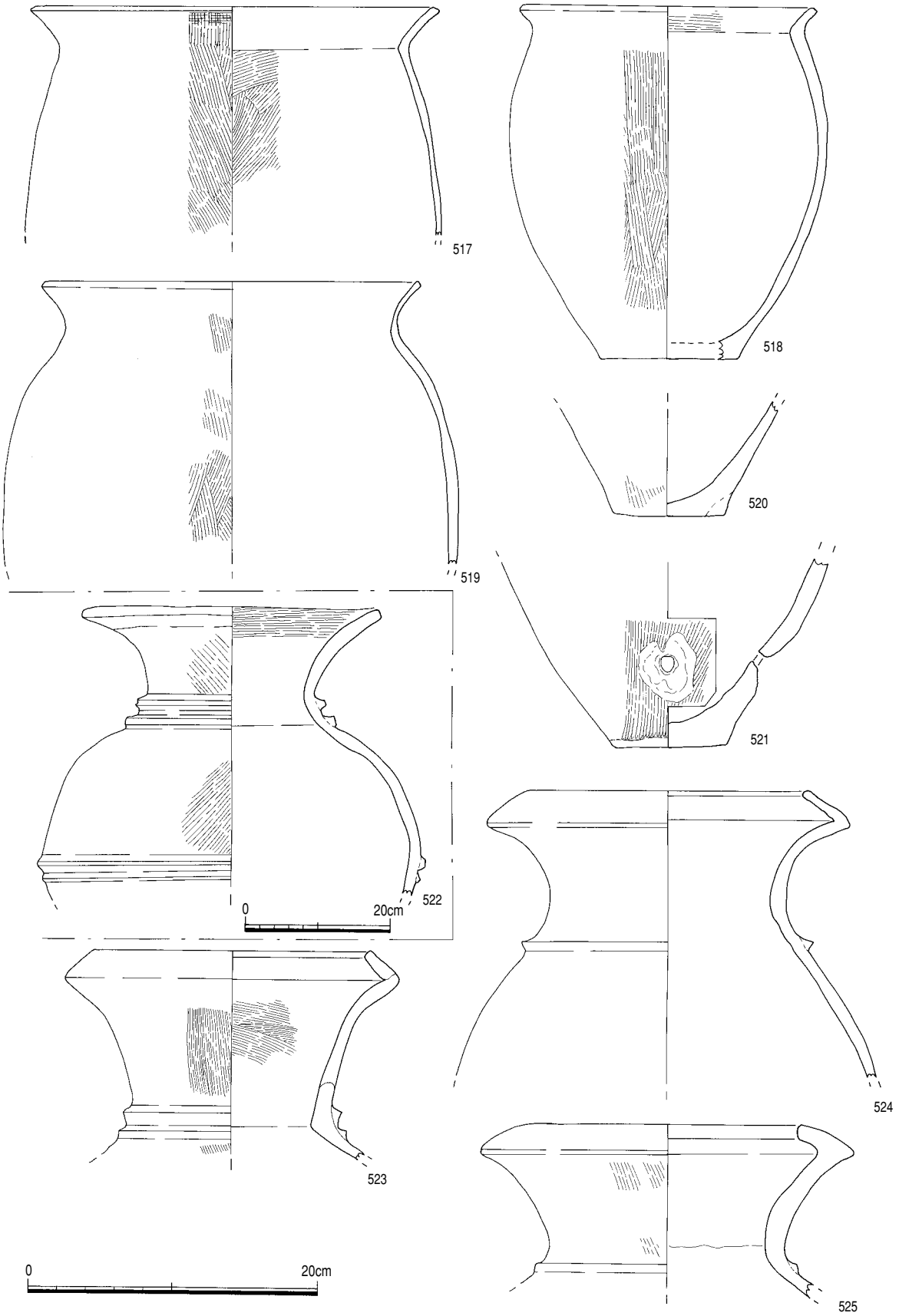


Fig. 46 SD003 出土土器実測図 39（1/4、1/8）

C2～D2区 1層下

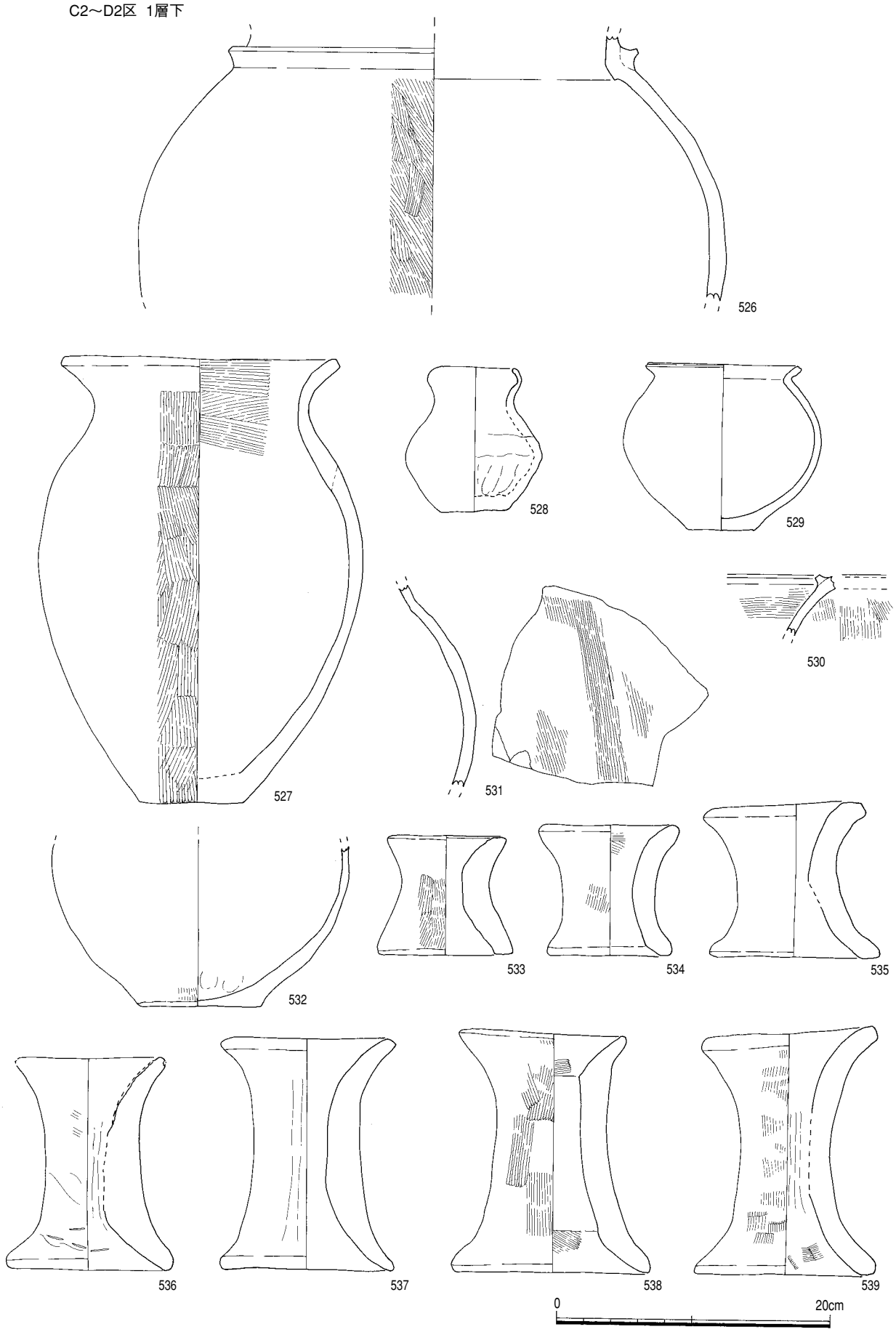


Fig. 47 SD003 出土土器実測図 40（1/4）

C2～D2区 1層下

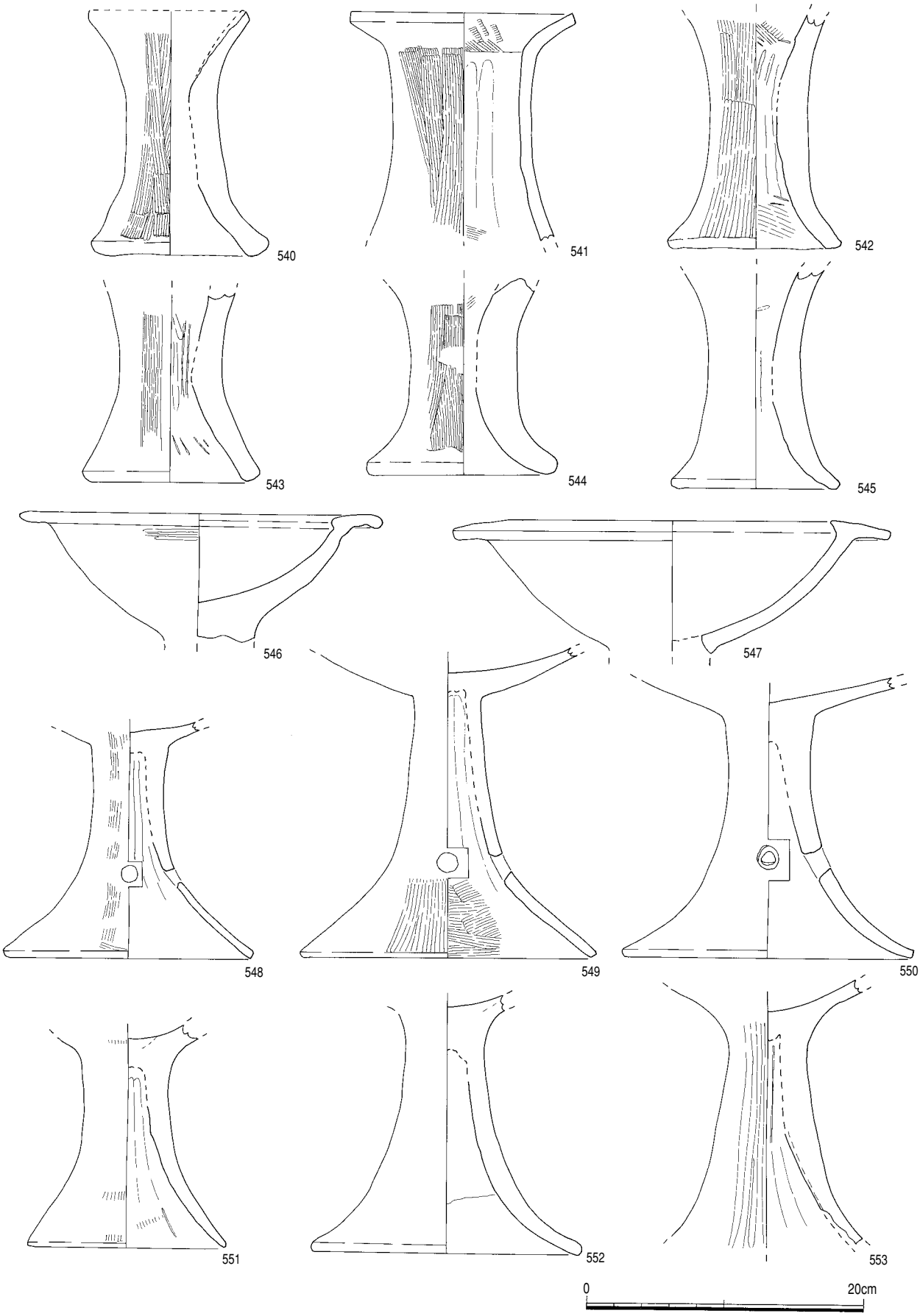


Fig. 48 SD003 出土土器実測図 41（1/4）

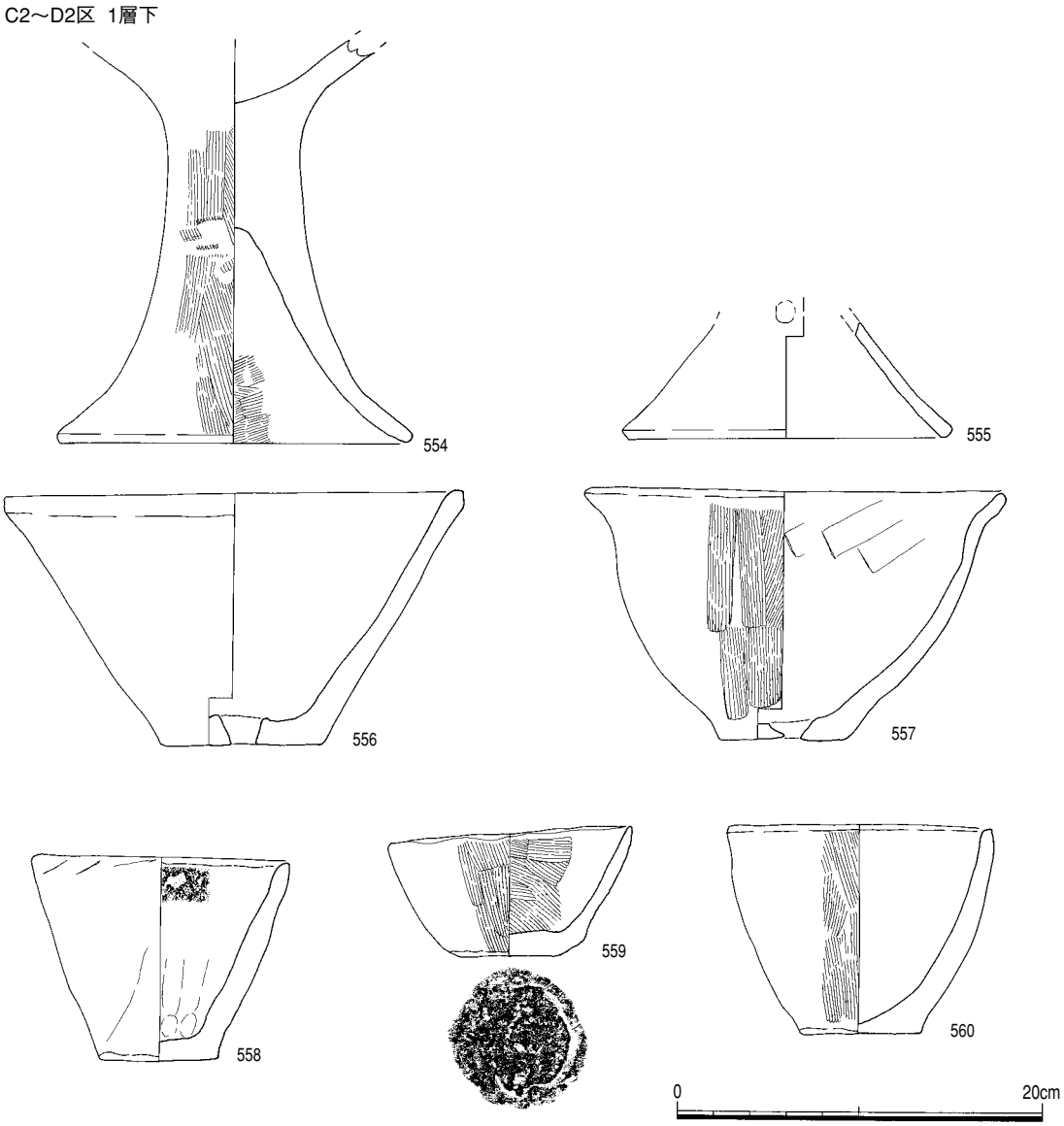


Fig. 49 SD003 出土土器実測図 42（1/4）

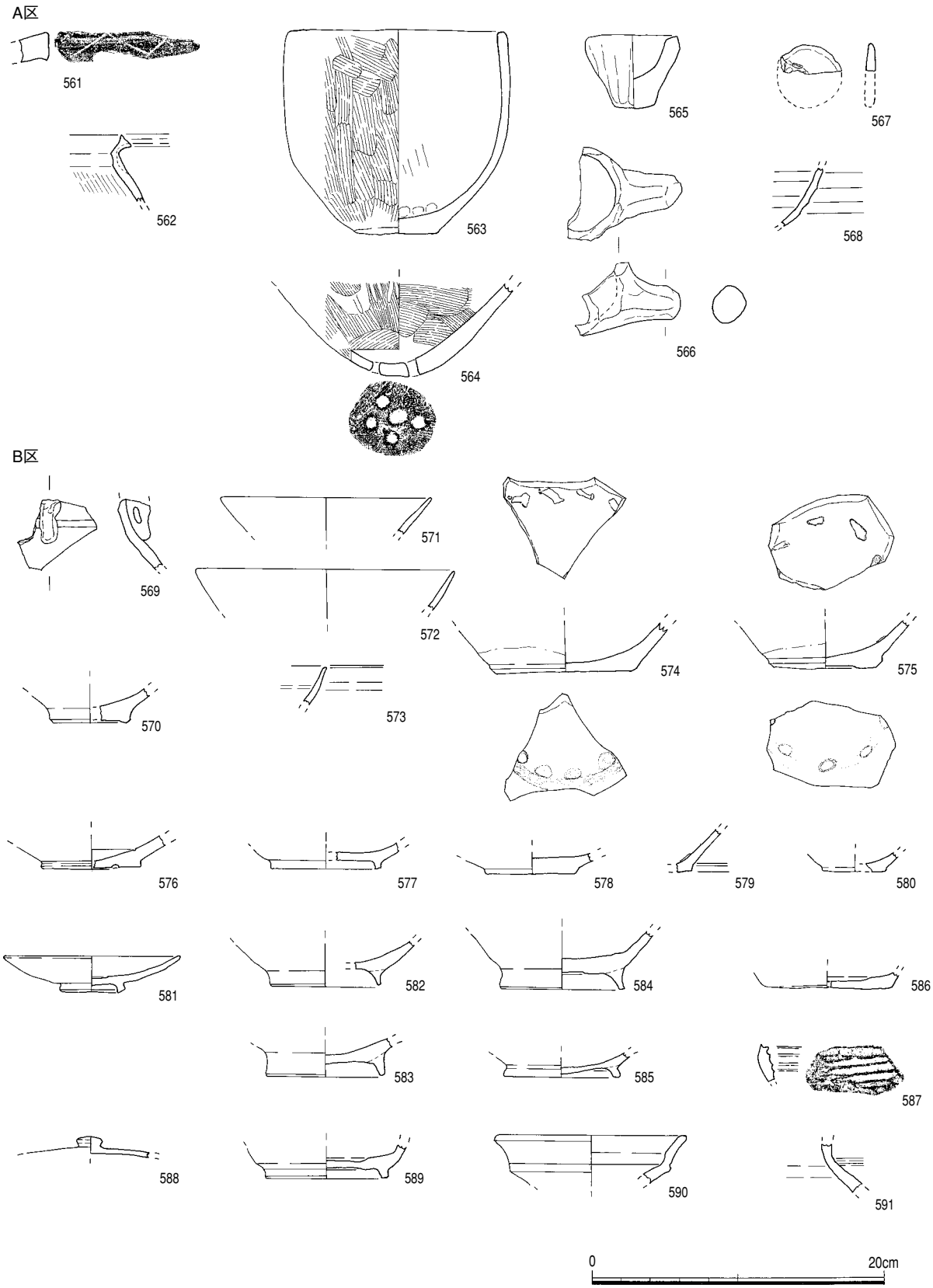


Fig. 50 包含層出土土器実測図 1（1/4）

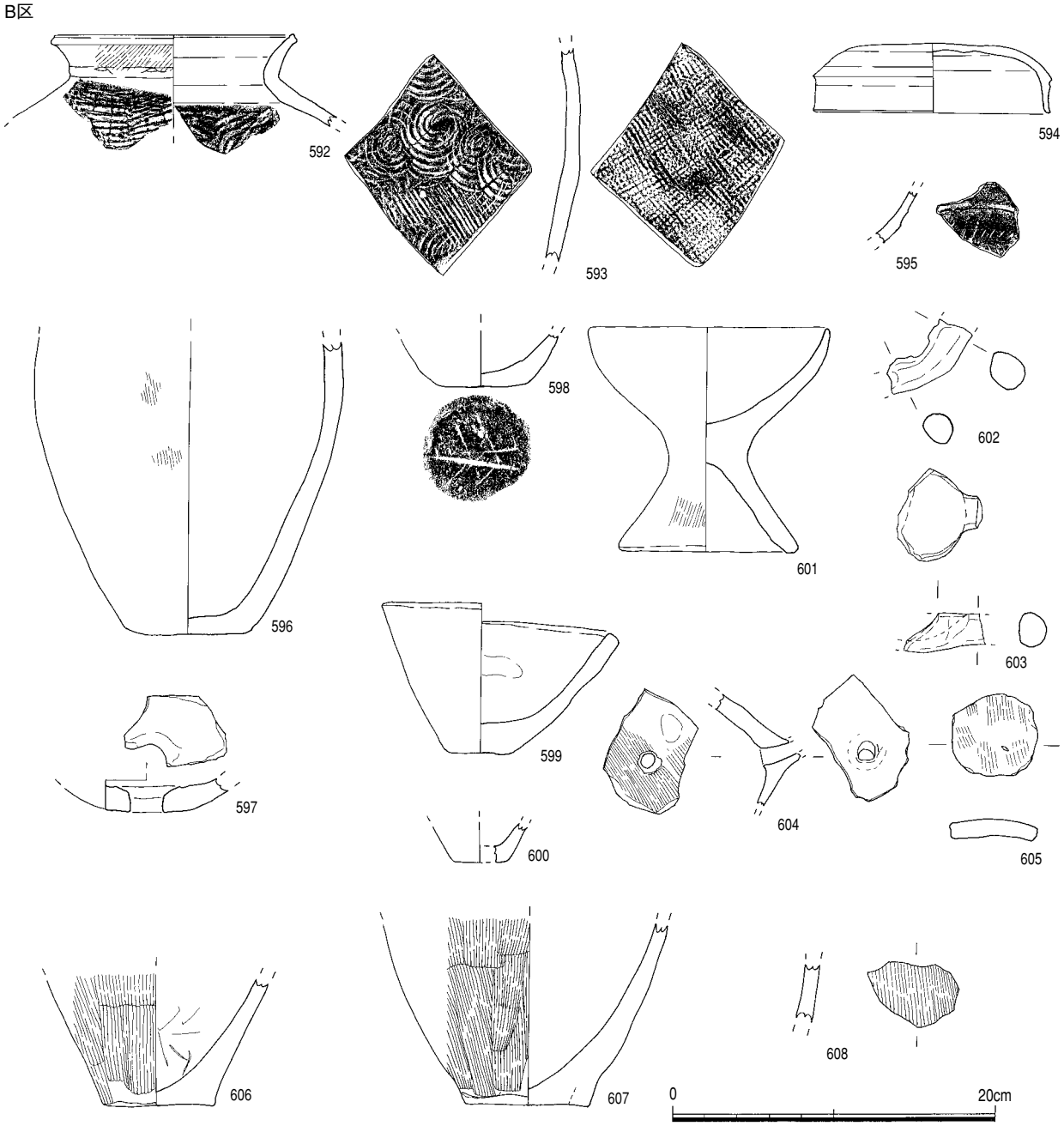


Fig. 51 包含層出土土器実測図２（1/4）

C区

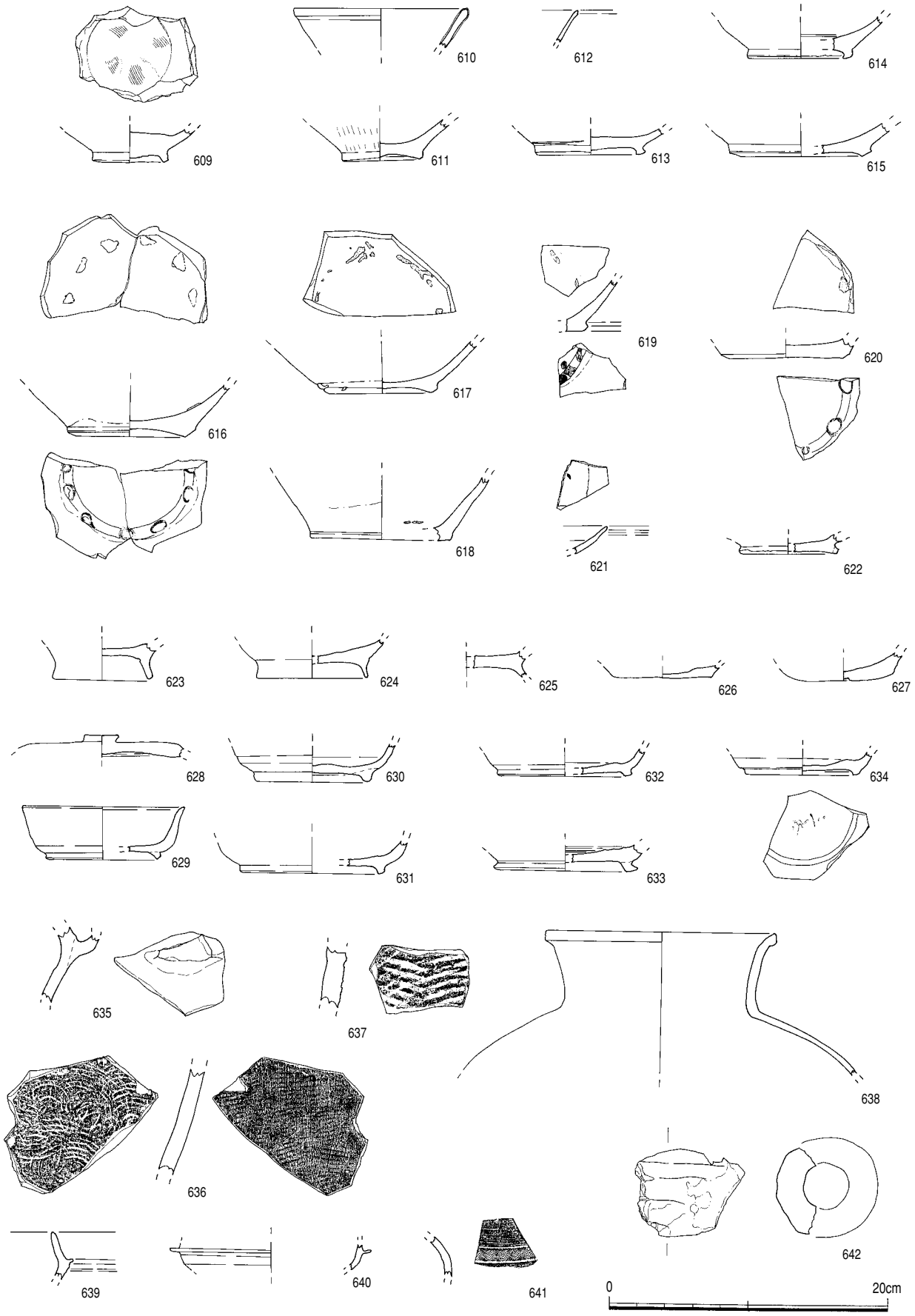


Fig. 52 包含層出土土器実測図３（1/4）

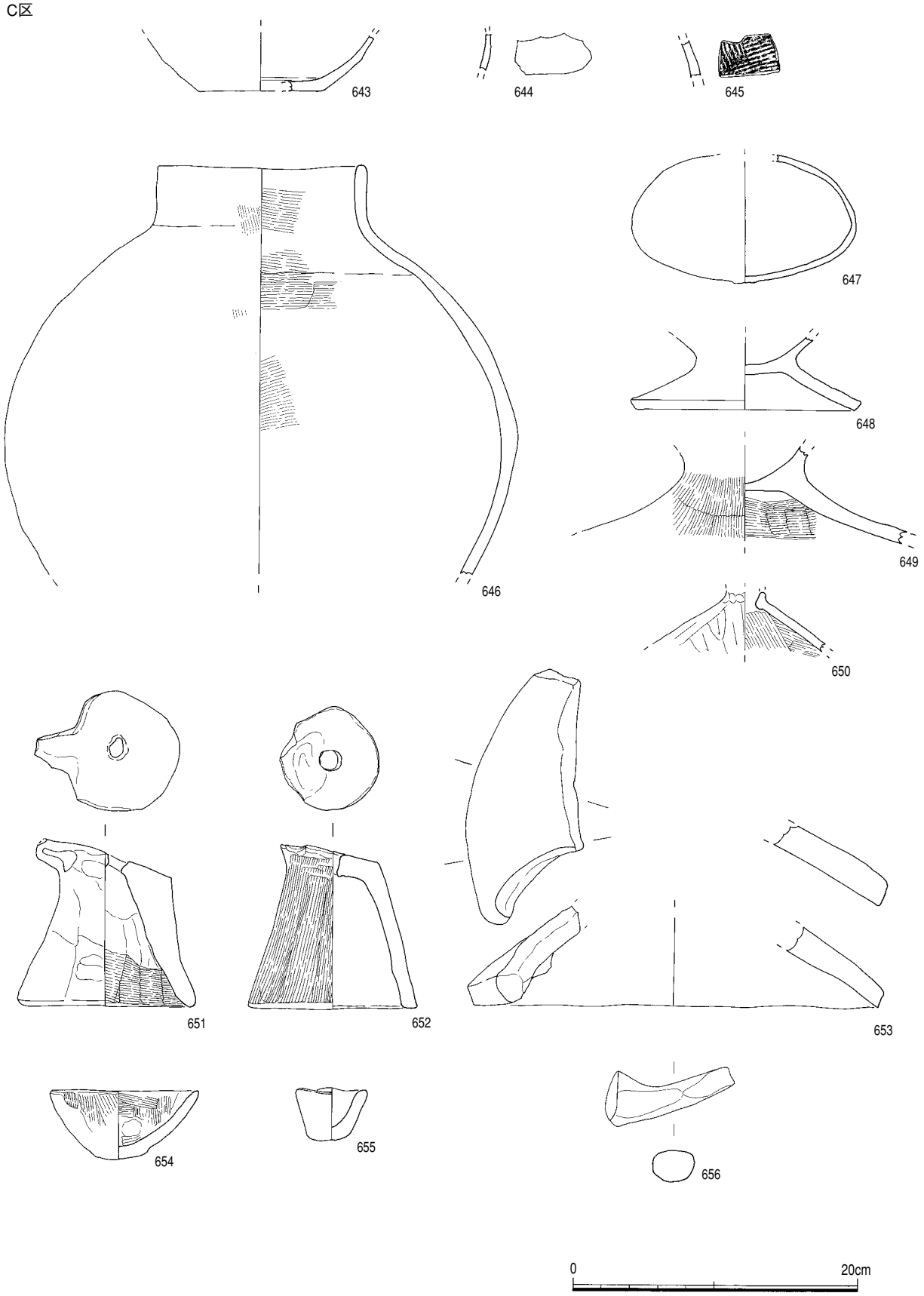


Fig. 53 包含層出土土器実測図 4（1/4）

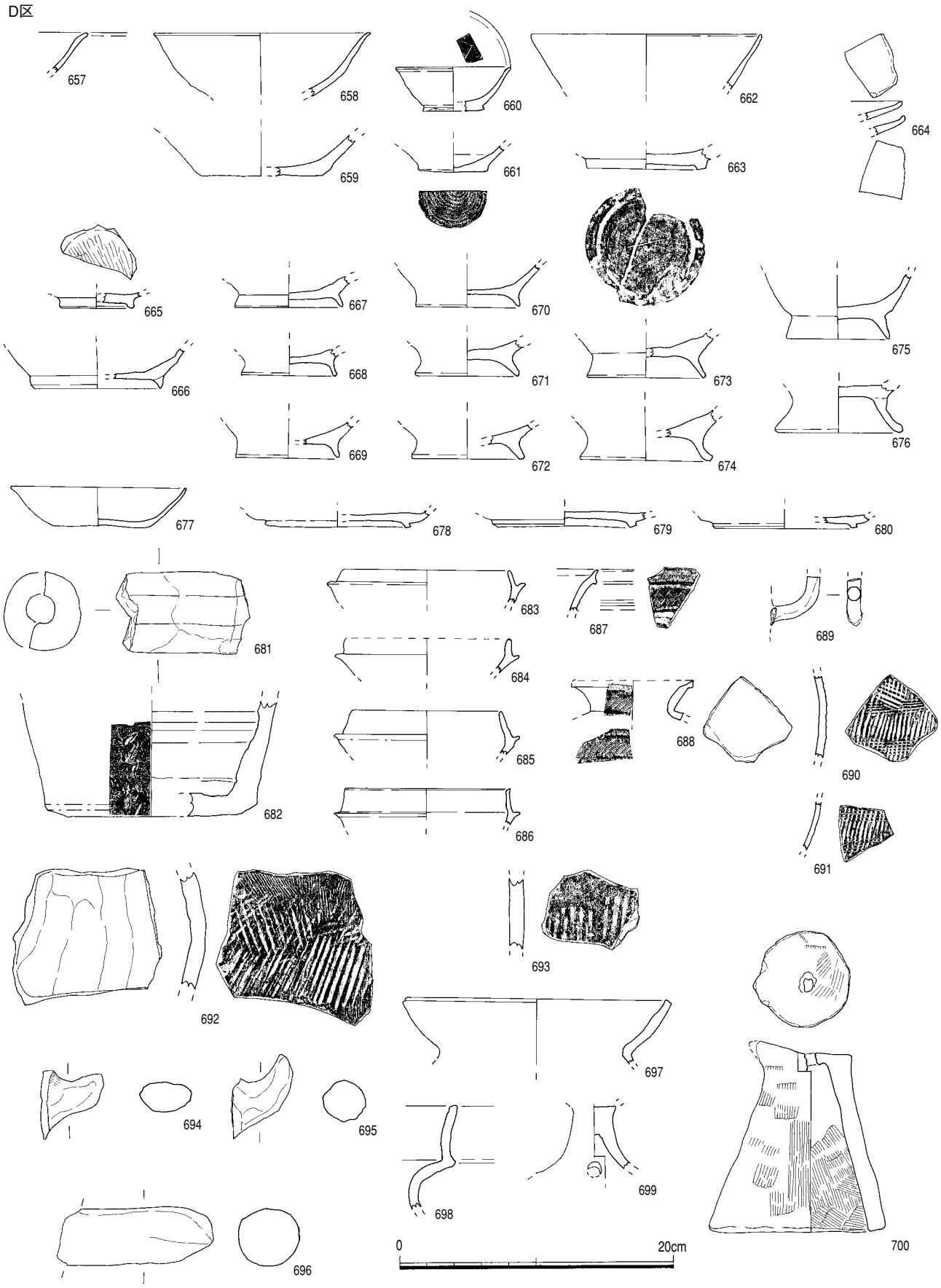


Fig. 54 包含層出土土器実測図 5（1/4）

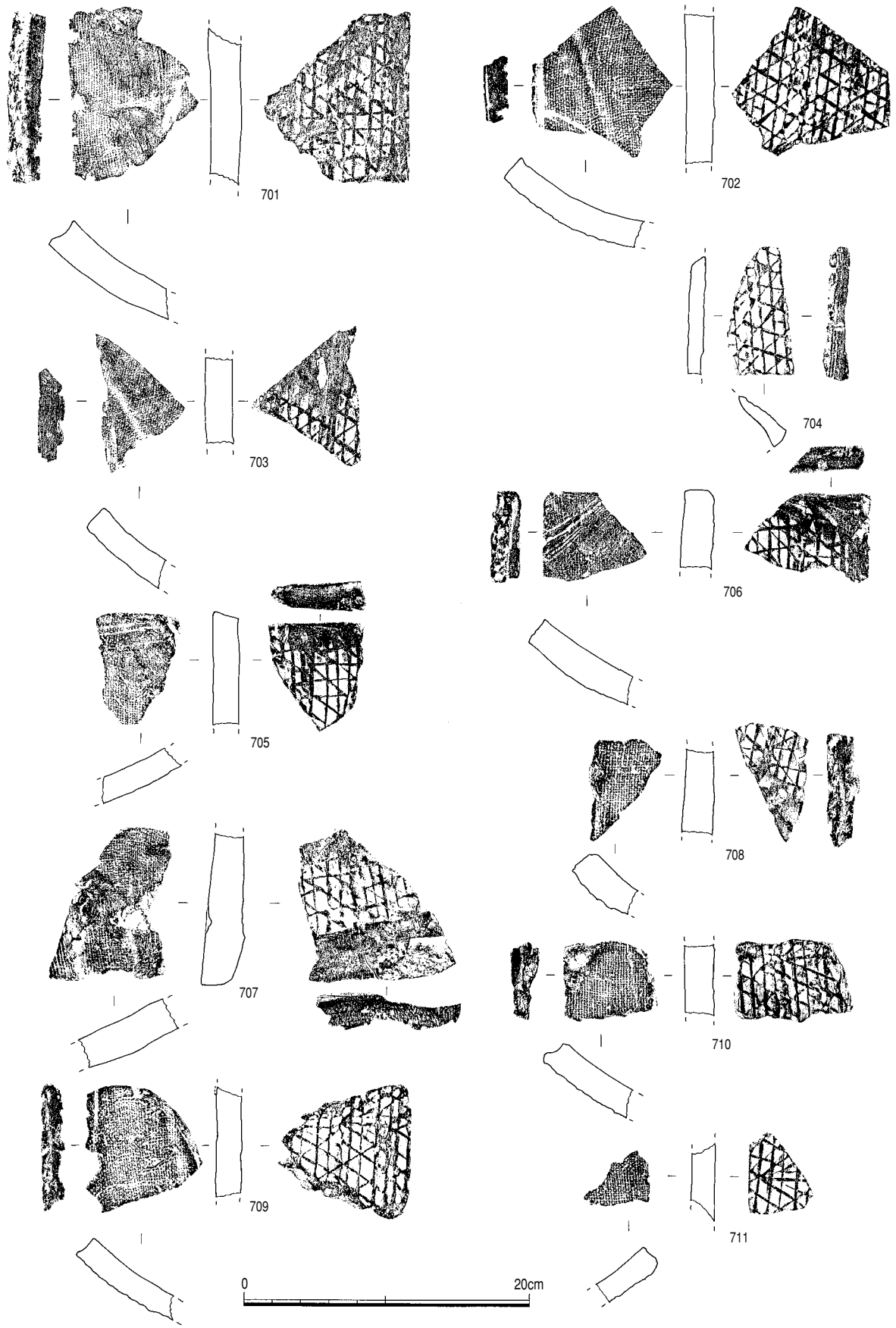


Fig. 55 包含層出土瓦実測図 1（1/4）

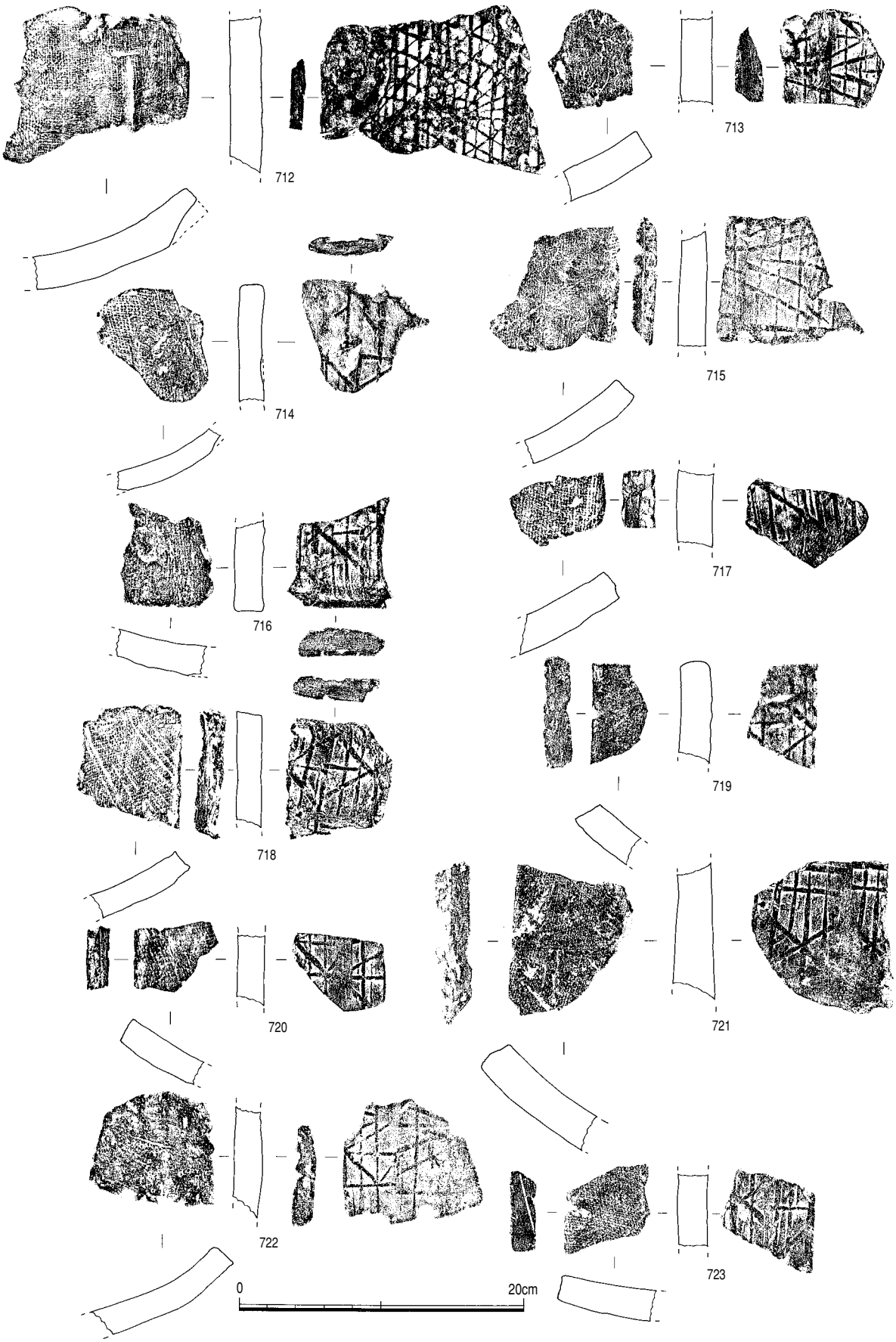


Fig. 56 包含層出土瓦実測図２（1/4）

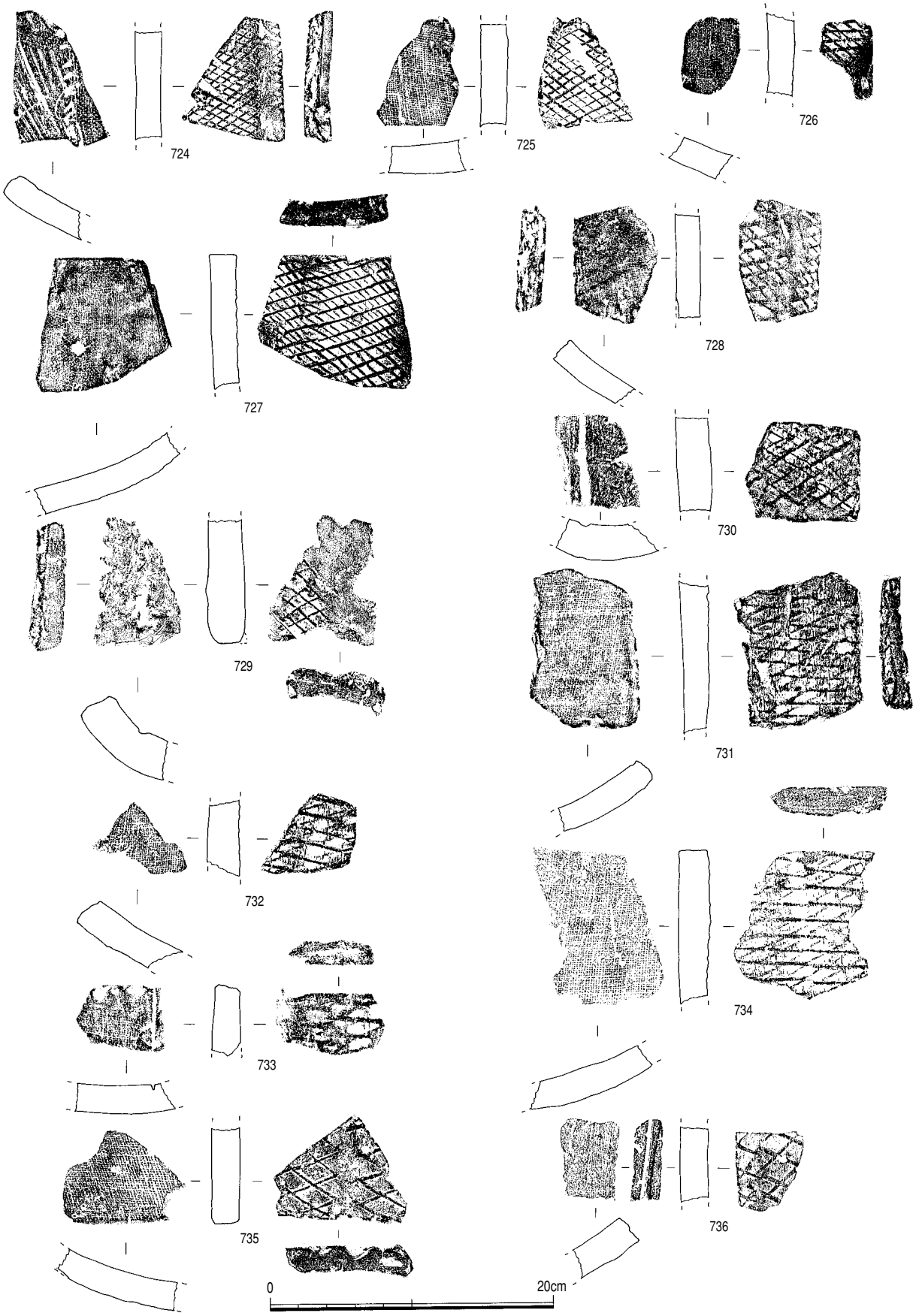


Fig. 57 包含層出土瓦実測図３（1/4）

Fig. 58 包含層出土瓦実測図 4（1/4）

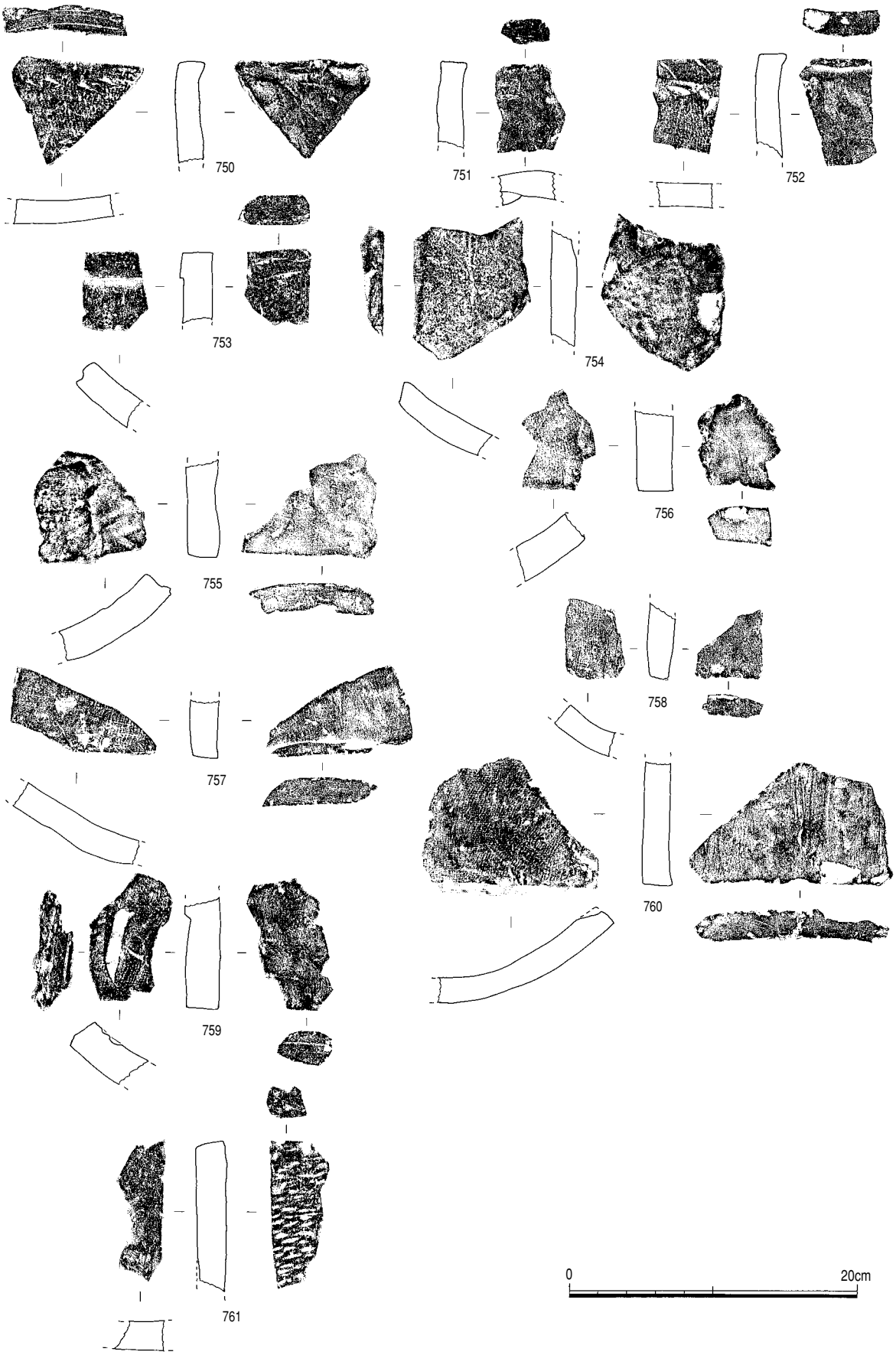


Fig. 59 包含層出土瓦実測図５（1/4）

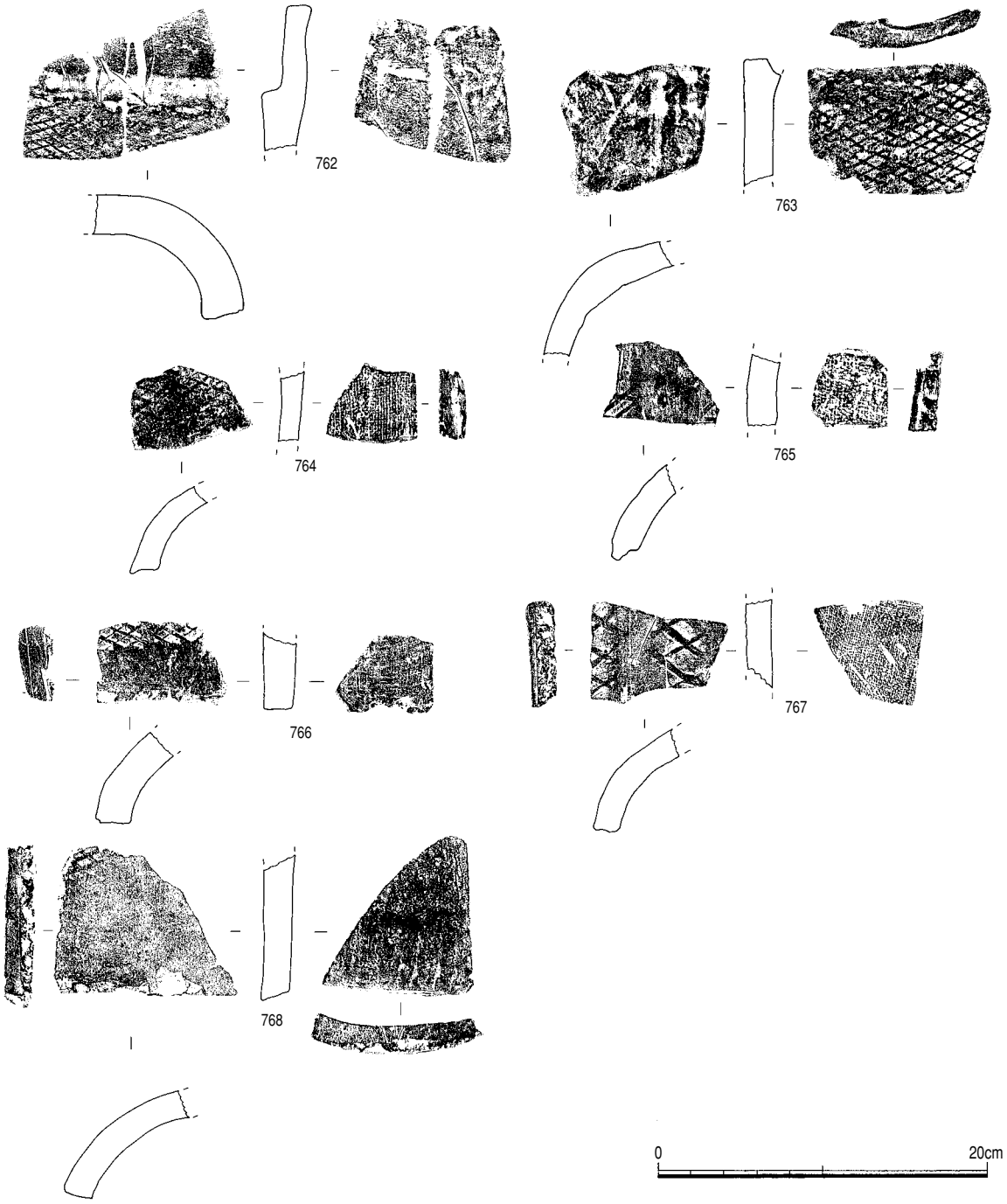


Fig. 60 包含層出土瓦実測図 6（1/4）

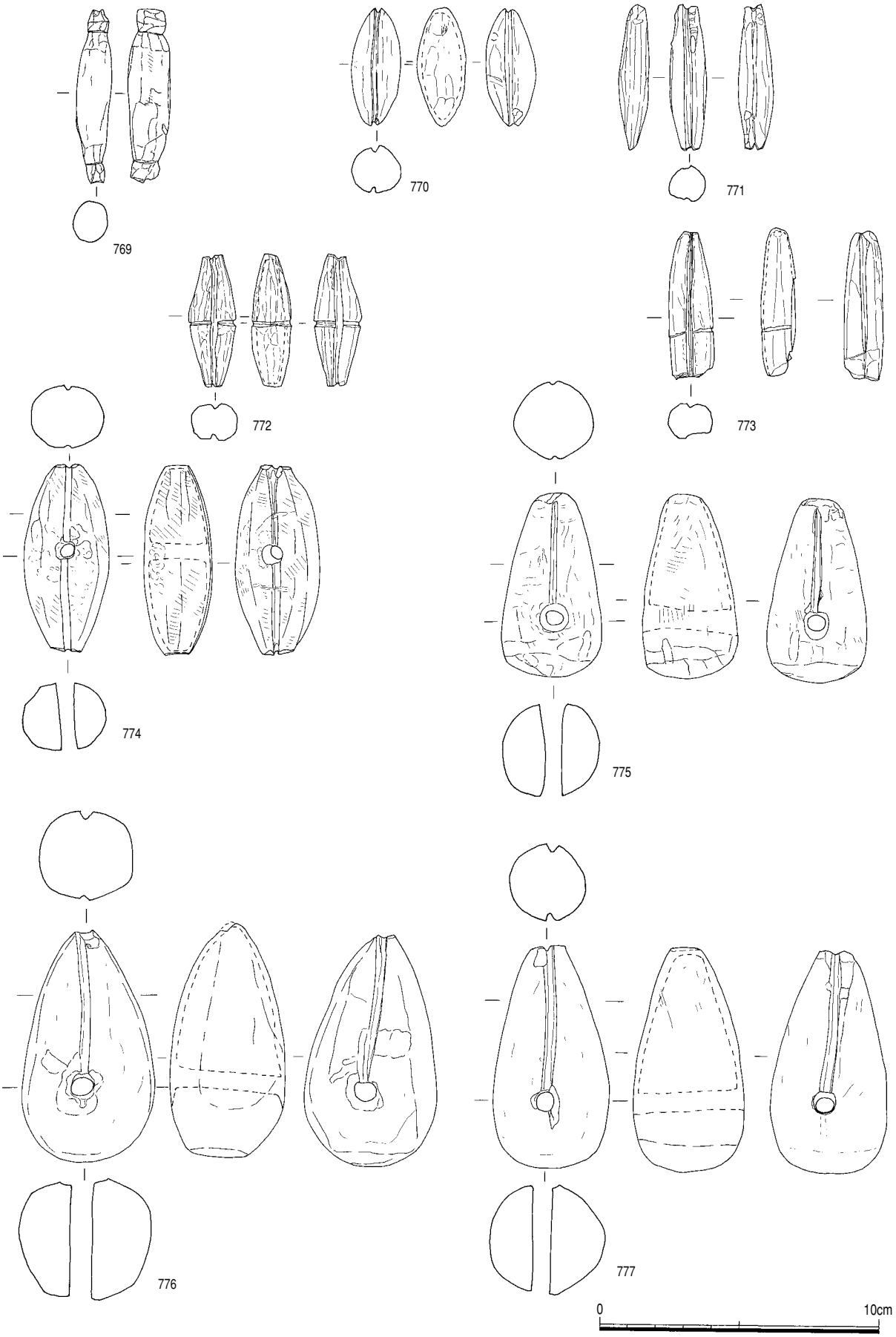


Fig. 61 SD003 及び包含層出土石器実測図 1（1/2）

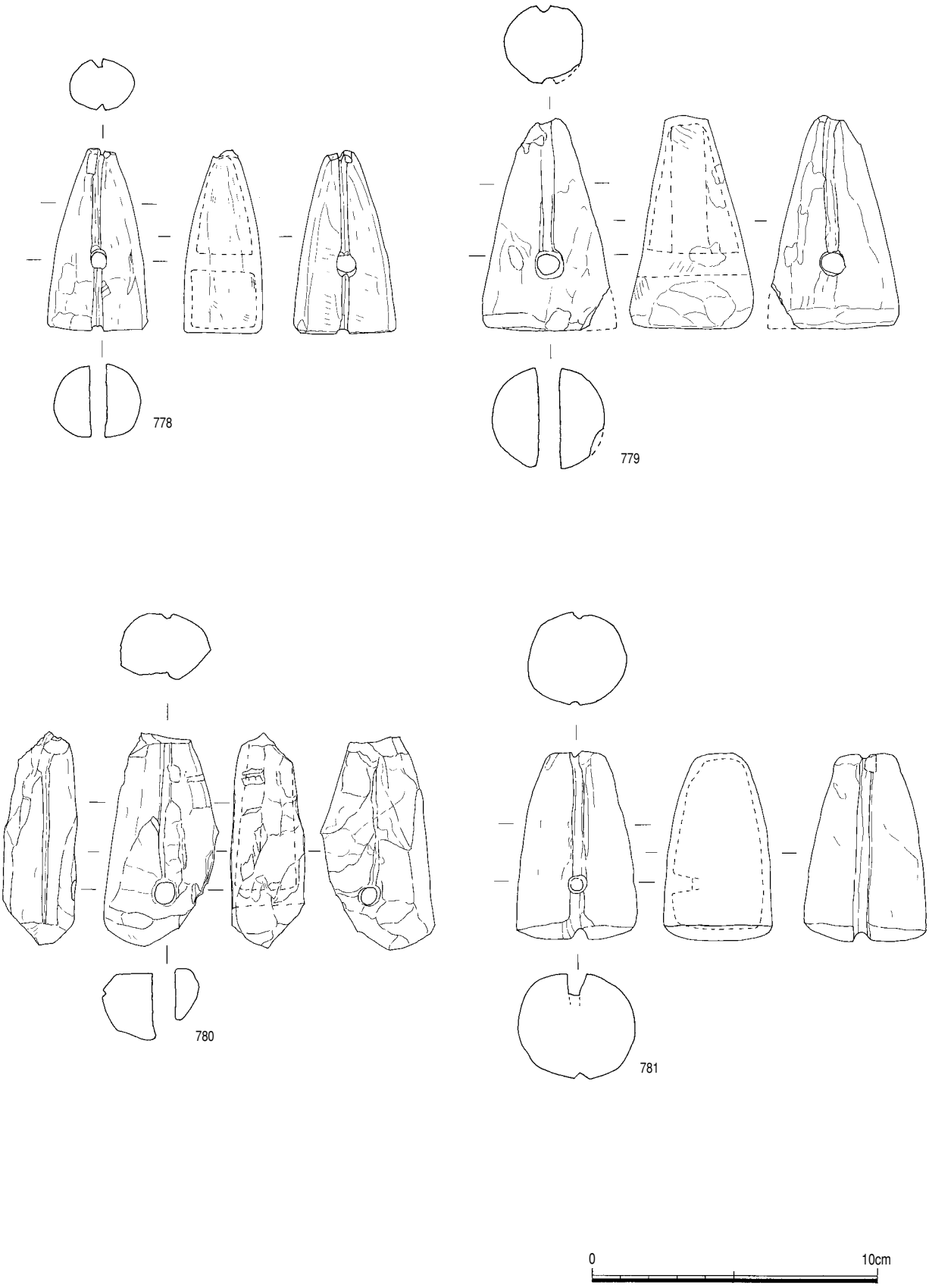


Fig. 62 SD003 及び包含層出土石器実測図 2（1/2）

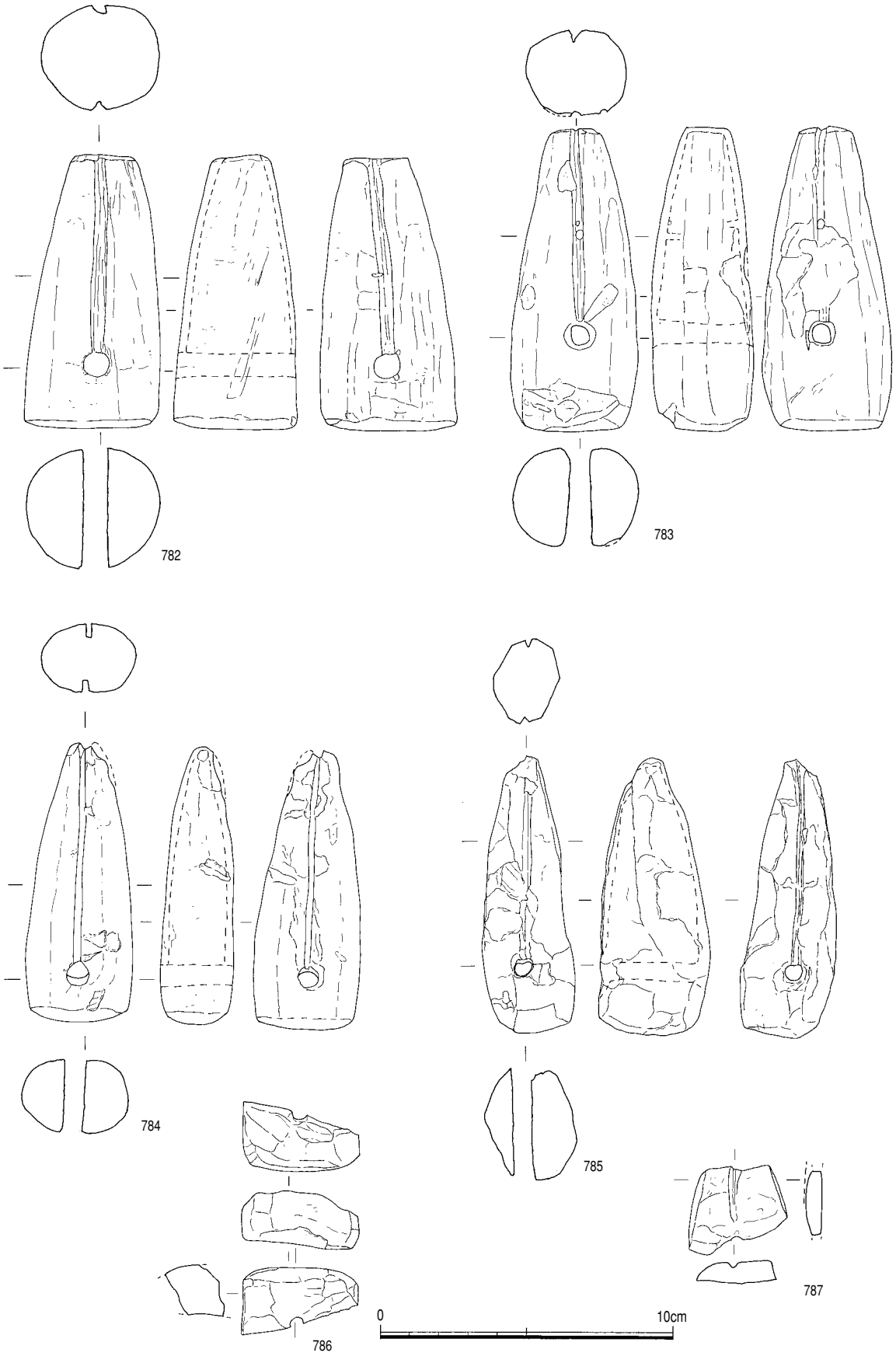


Fig. 63 SD003 及び包含層出土石器実測図 3（1/2）

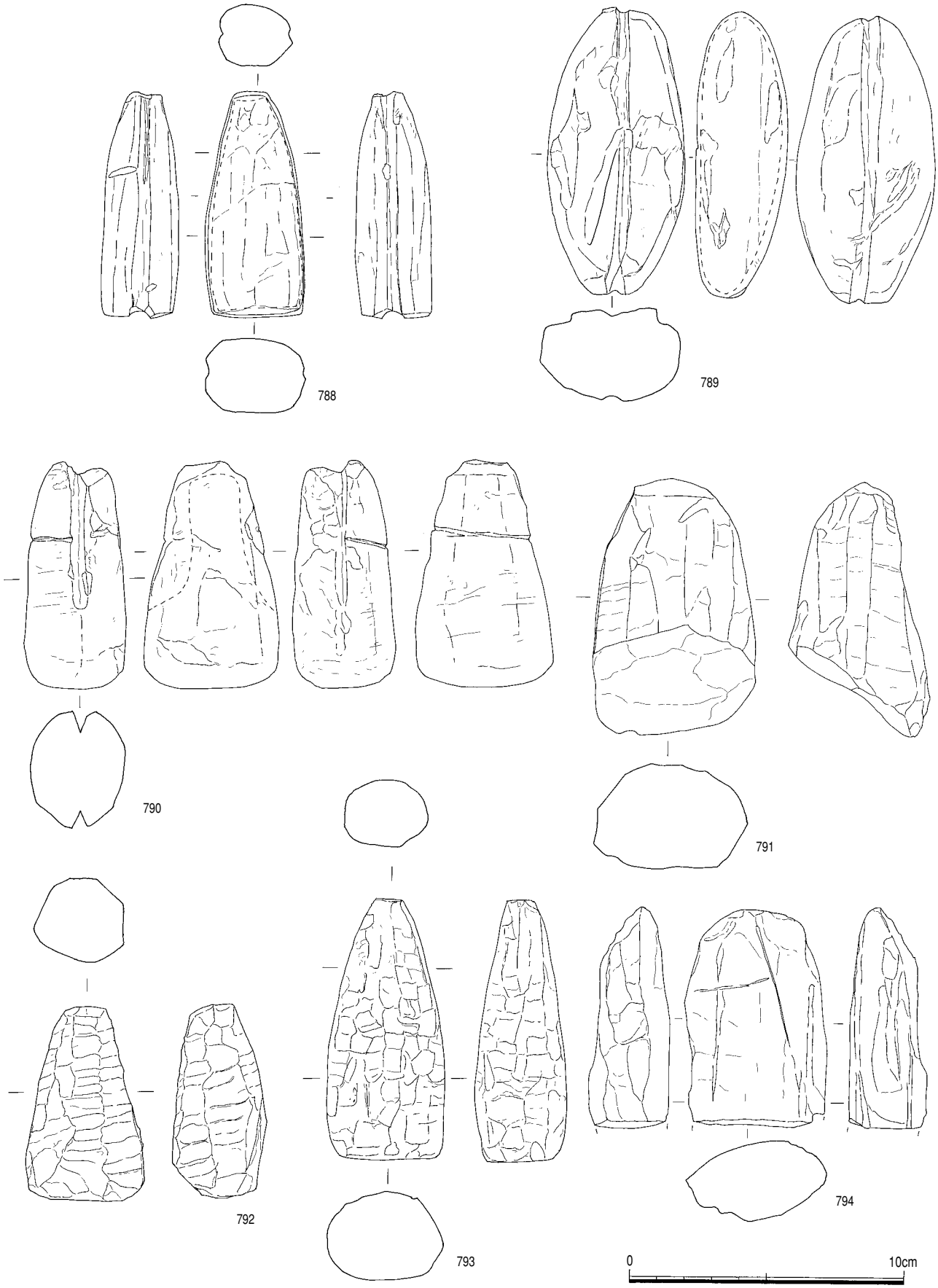


Fig. 64 SD003 及び包含層出土石器実測図 4（1/2）

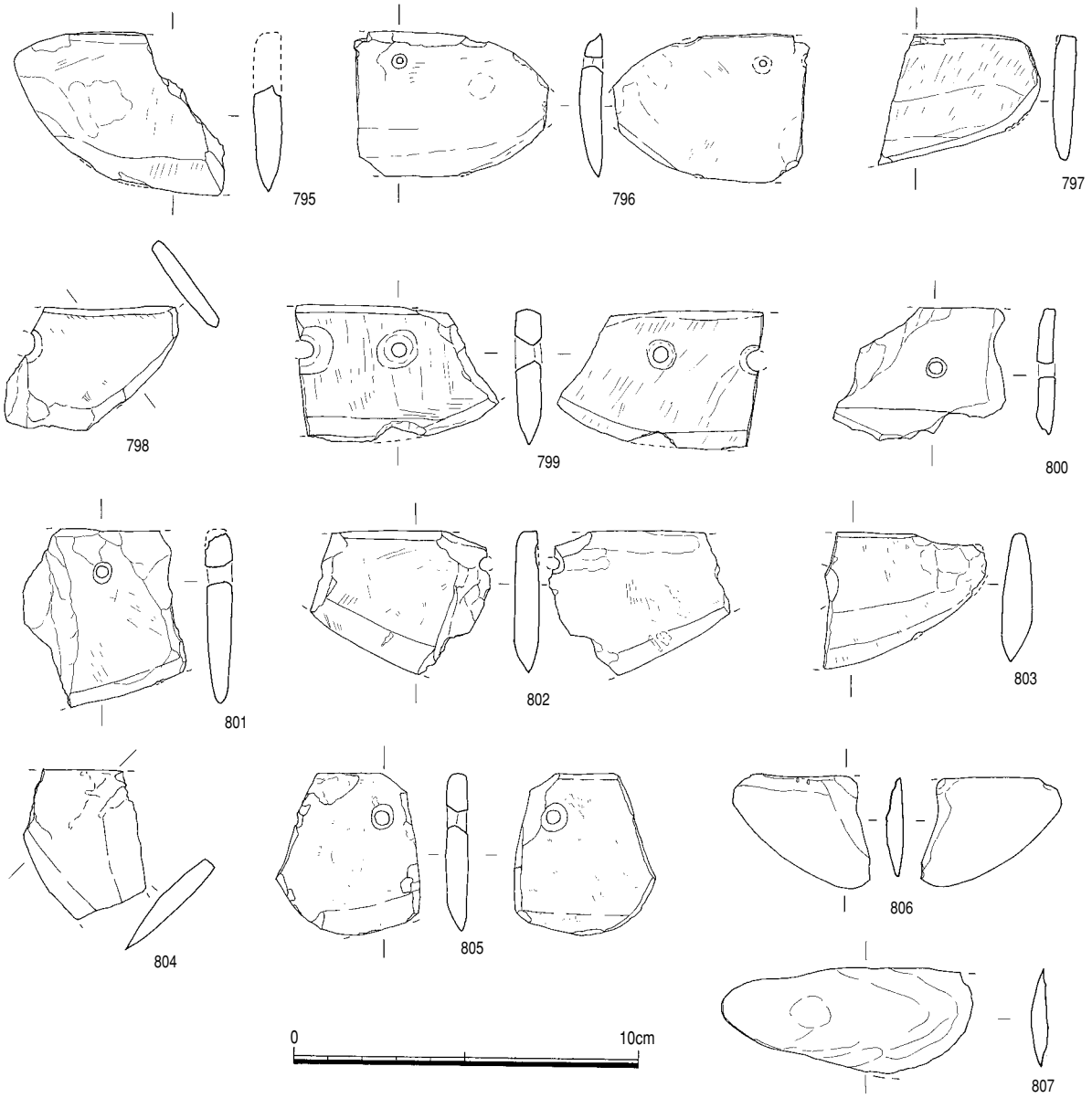


Fig. 65 SD003 及び包含層出土石器実測図 5（1/2）

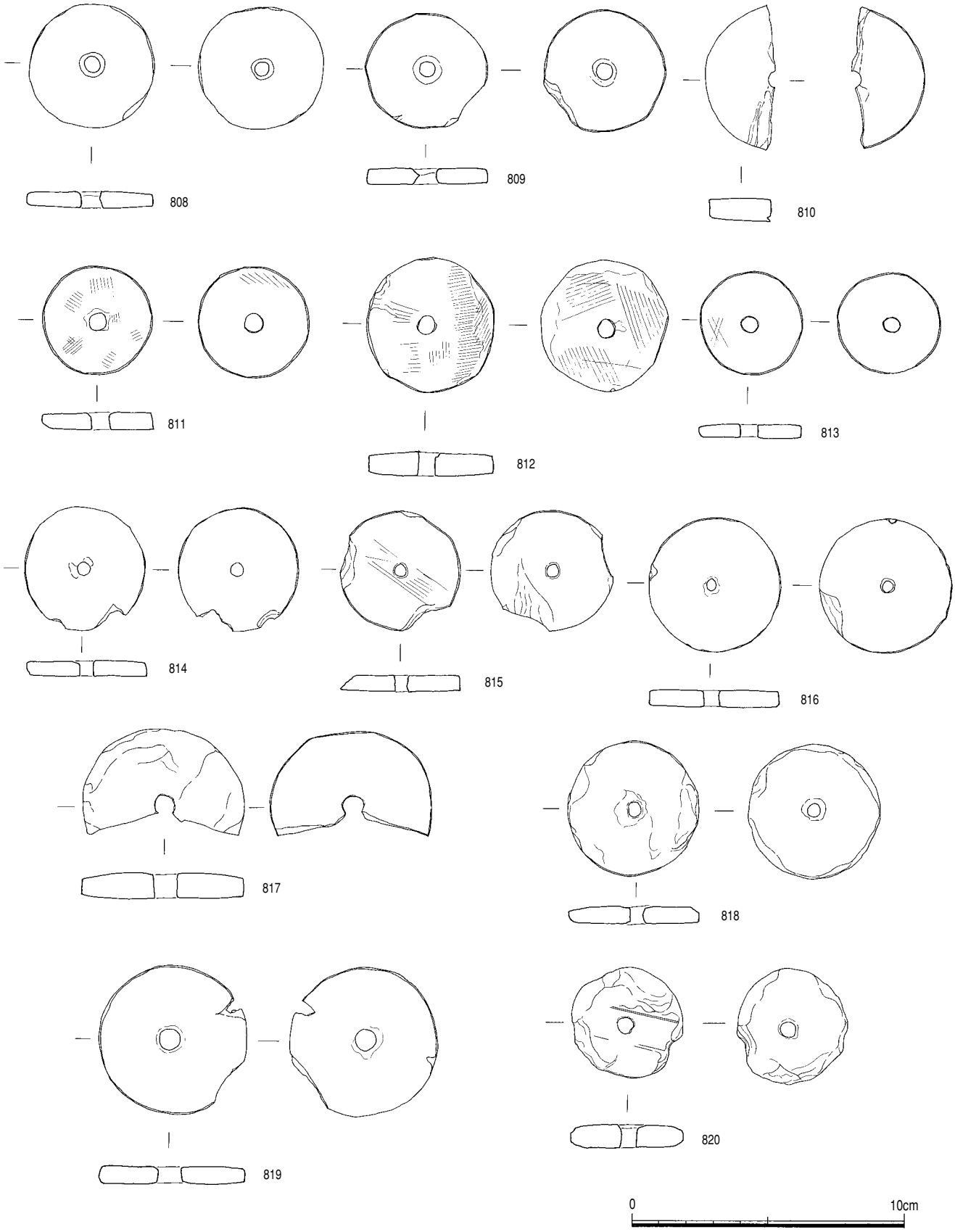


Fig. 66 SD003 及び包含層出土石器実測図 6（1/2）

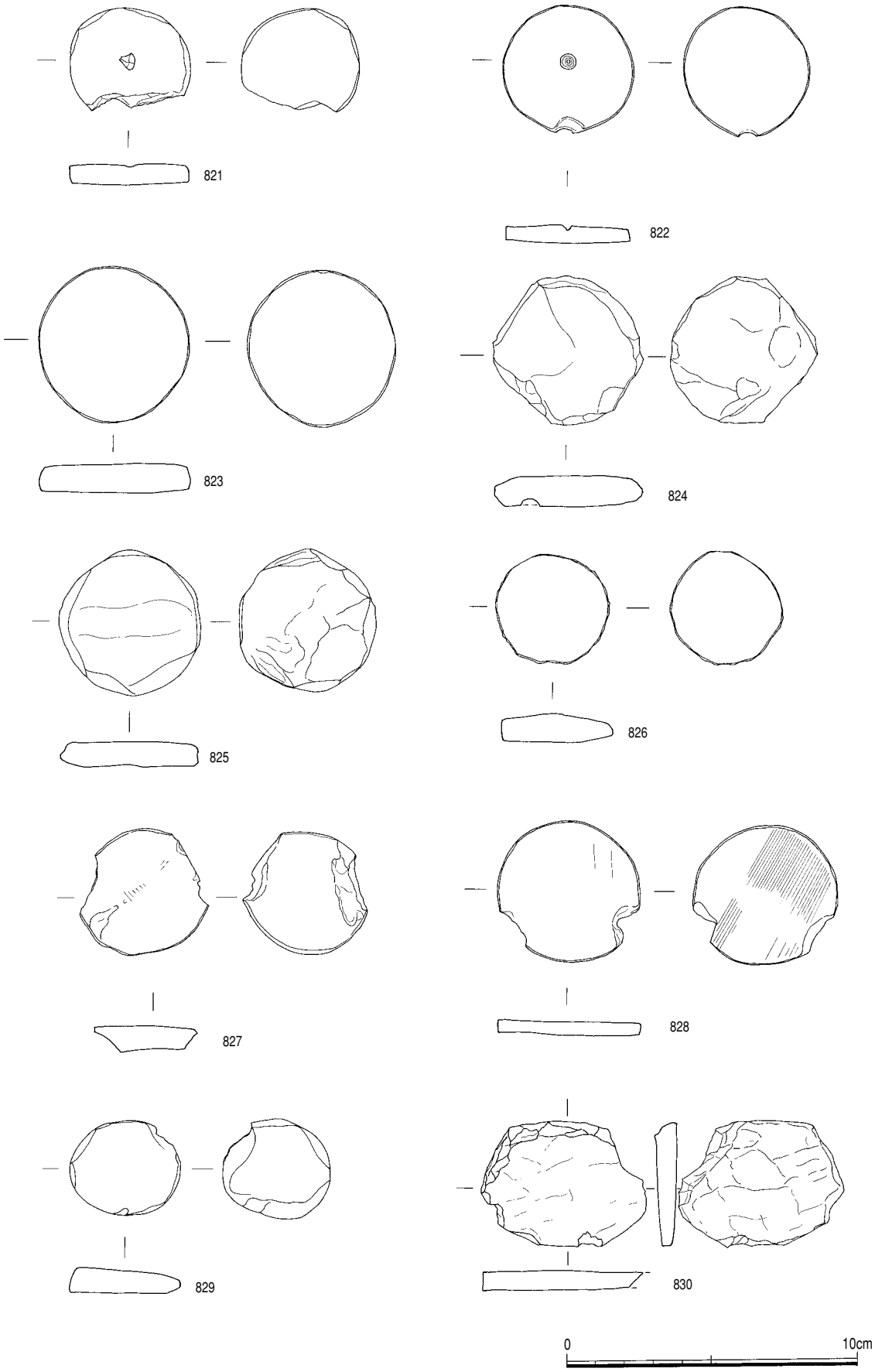


Fig. 67 SD003 及び包含層出土石器実測図 7（1/2）

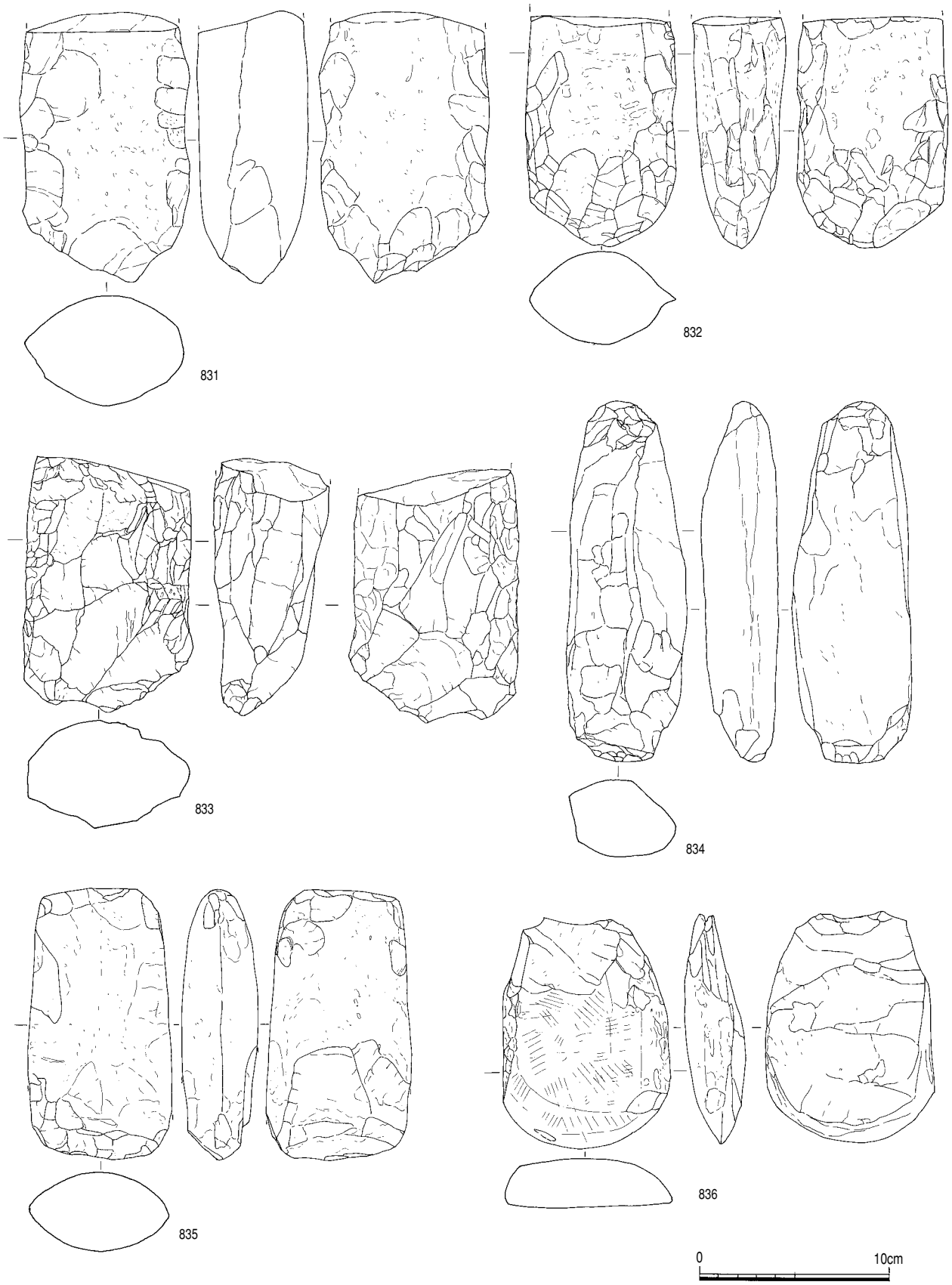


Fig. 68 SD003 及び包含層出土石器実測図 8（1/3）

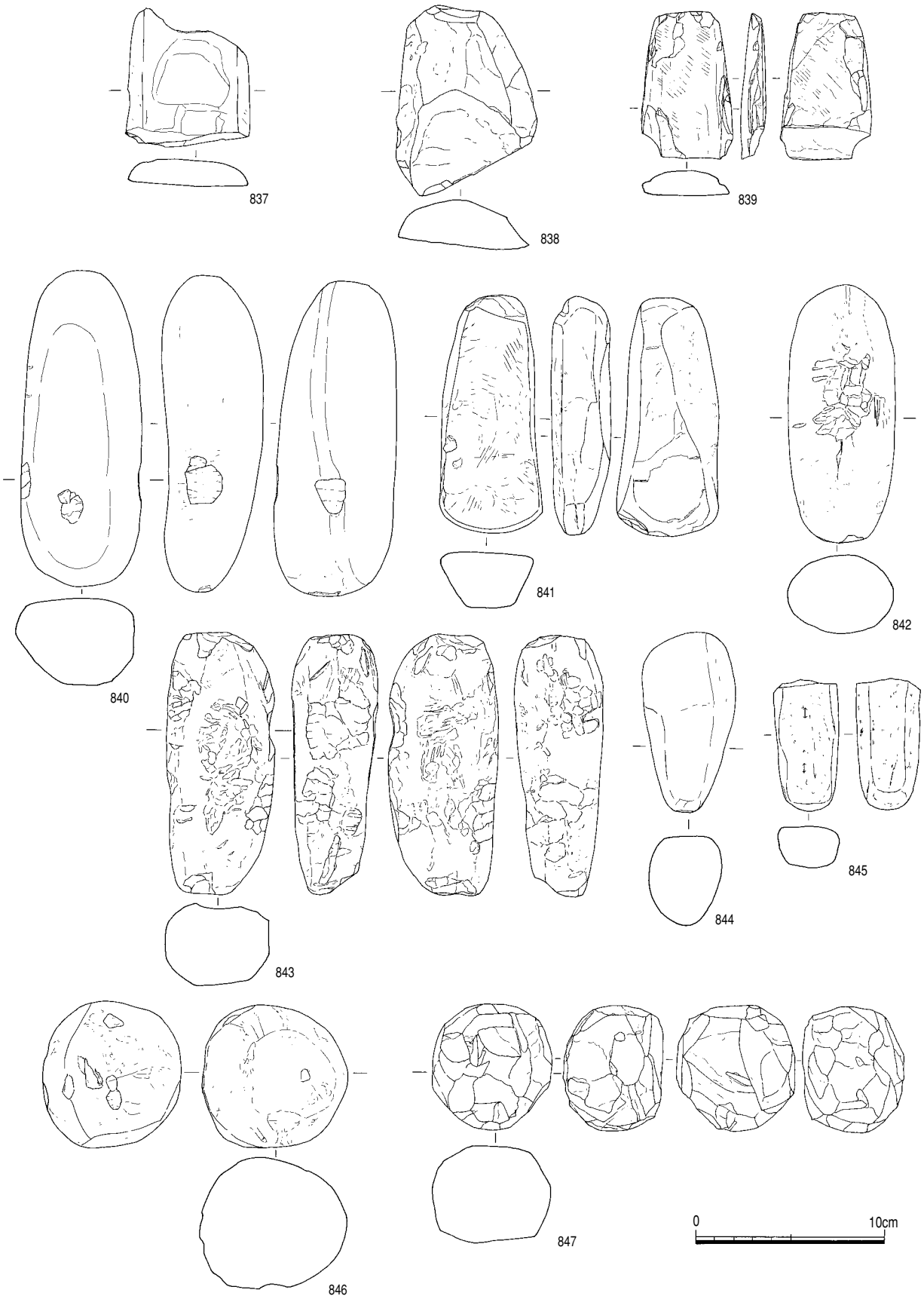


Fig. 69 SD003 及び包含層出土石器実測図 9（1/3）

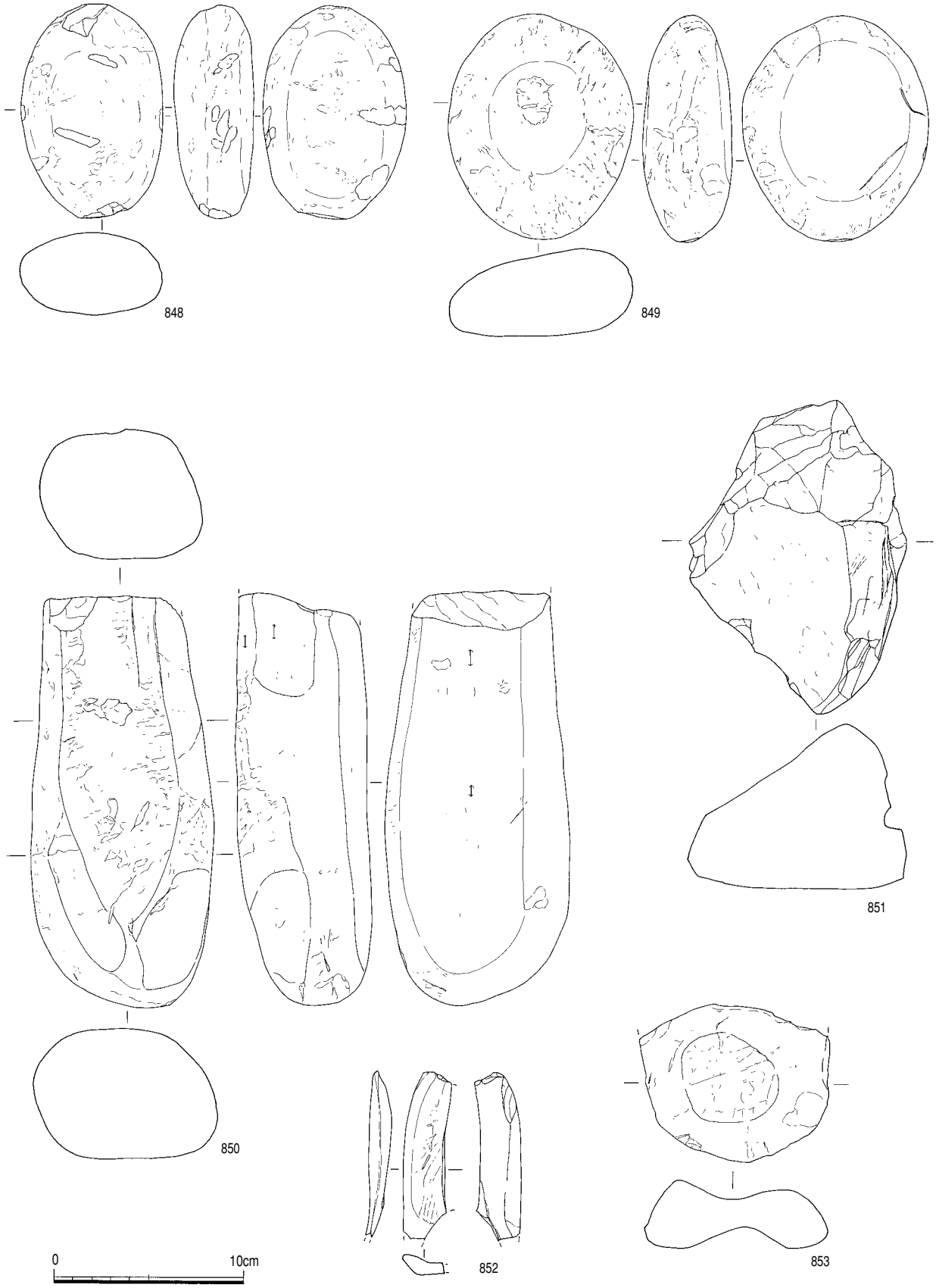


Fig. 70 SD003 及び包含層出土石器実測図 10（1/3）

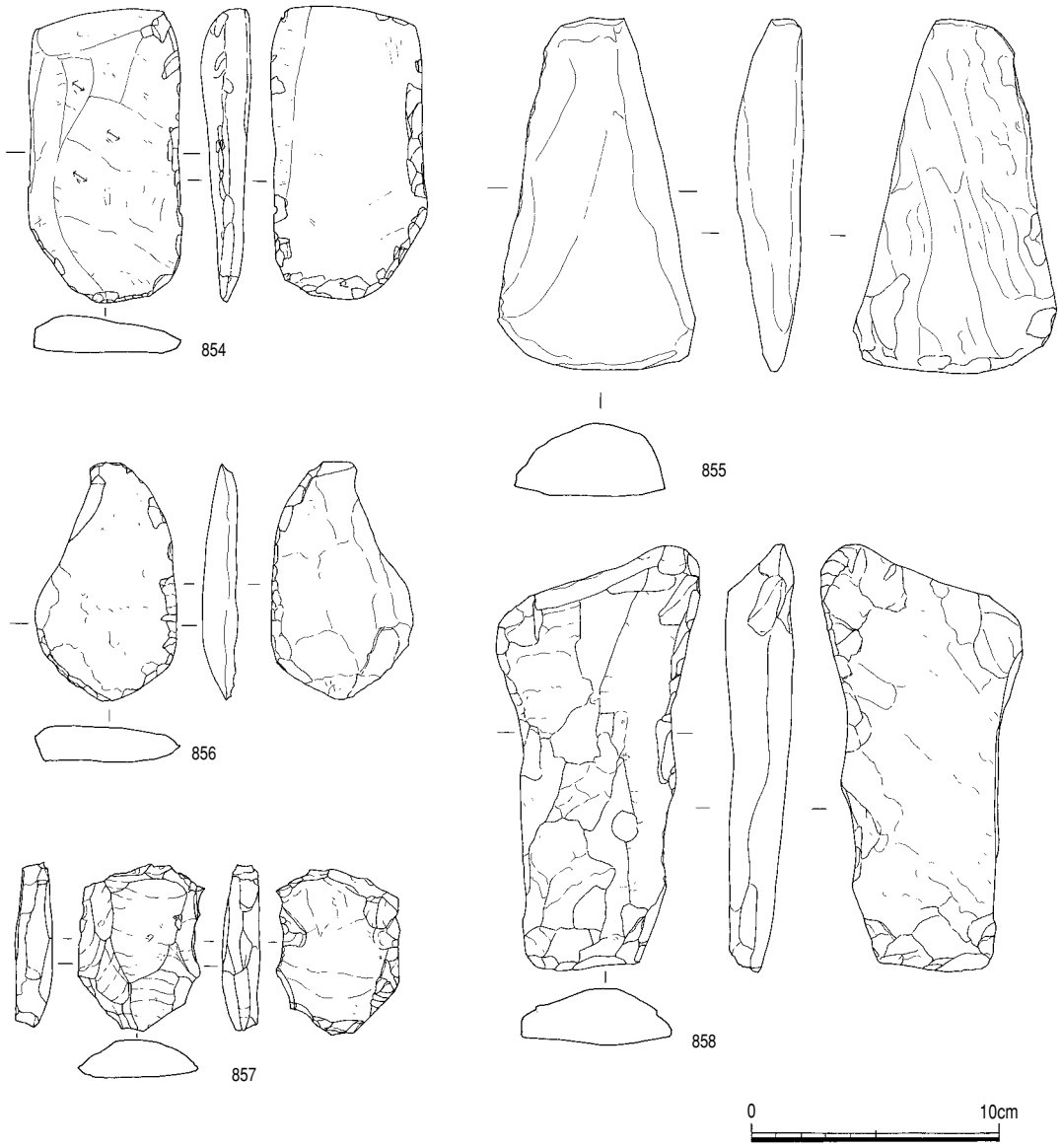


Fig. 71 SD003 及び包含層出土石器実測図 11（1/3）

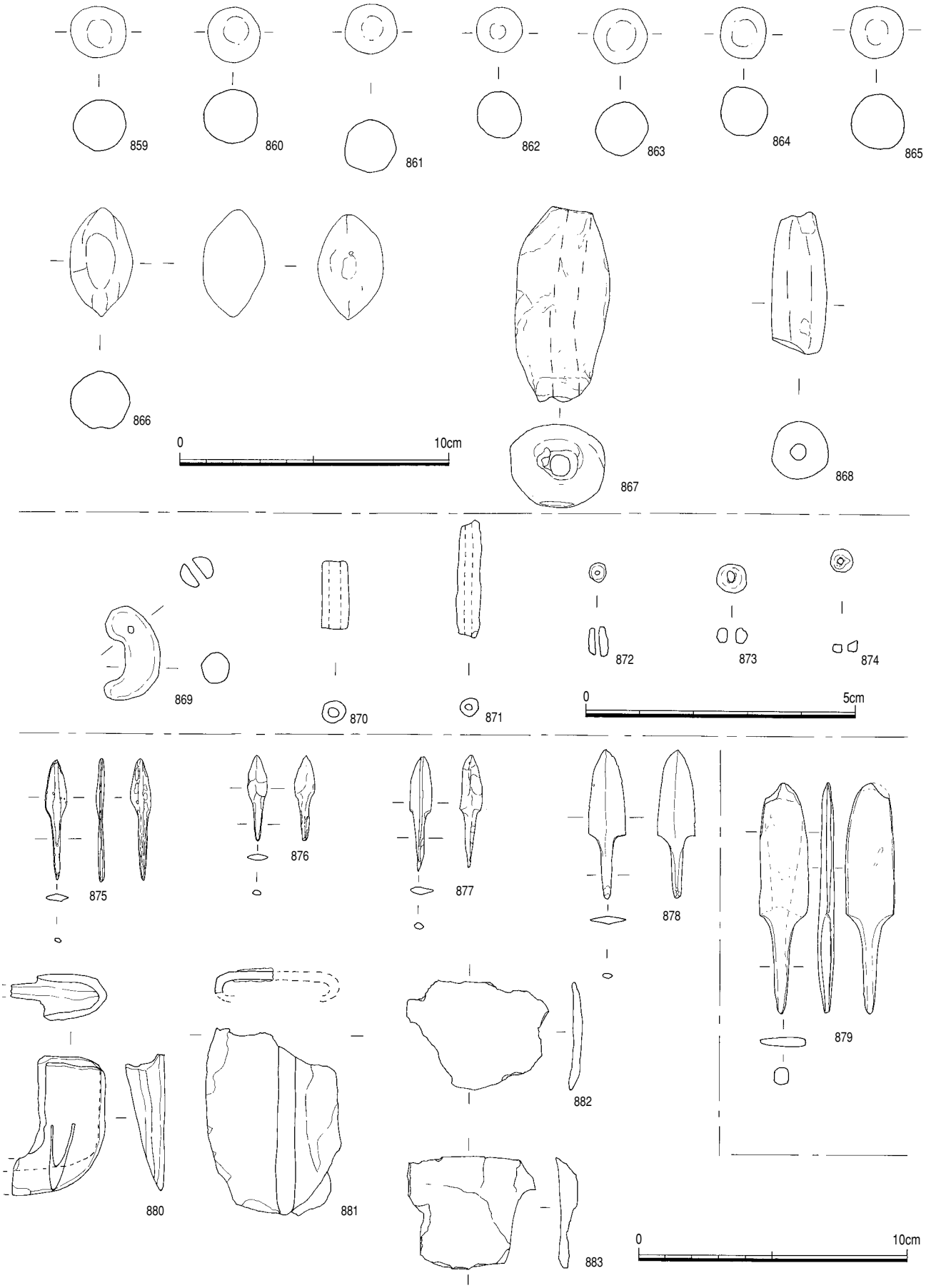


Fig. 72 SD003 及び包含層出土土製品、石製品、金属製品他実測図（1/1、1/2）

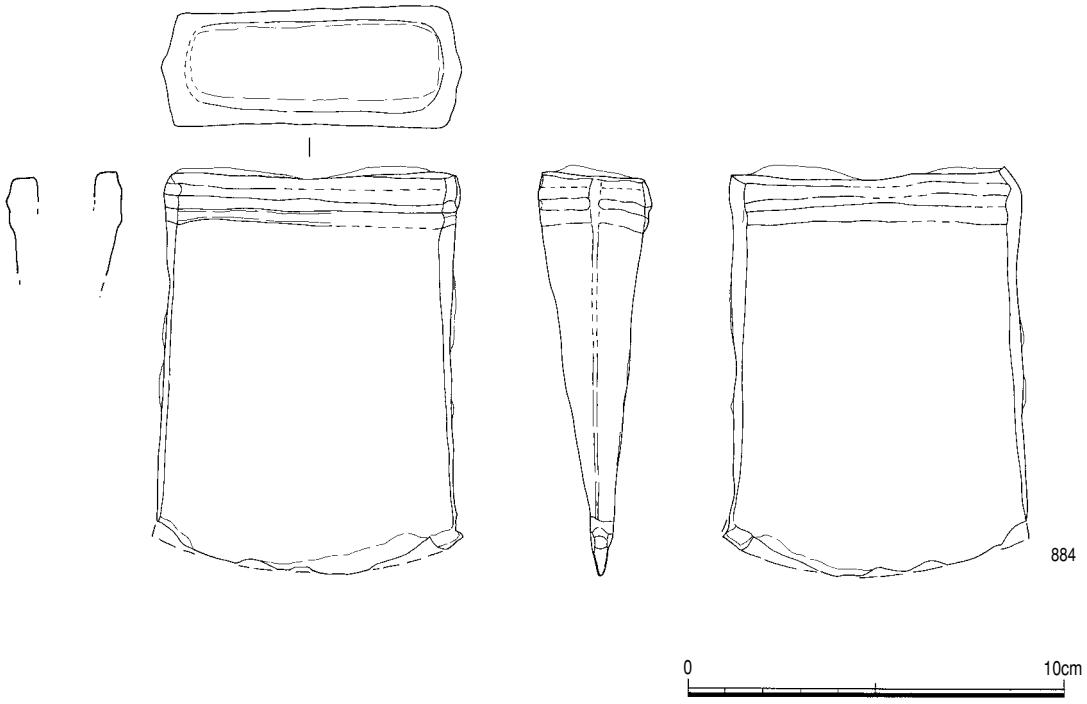
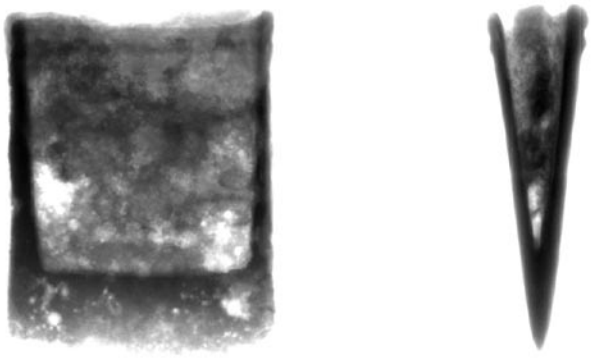


Fig. 73 SD003 出土鋳造鉄斧実測図（1/2）



鋳造鉄斧 X 線写真（左：平面、右：側面）

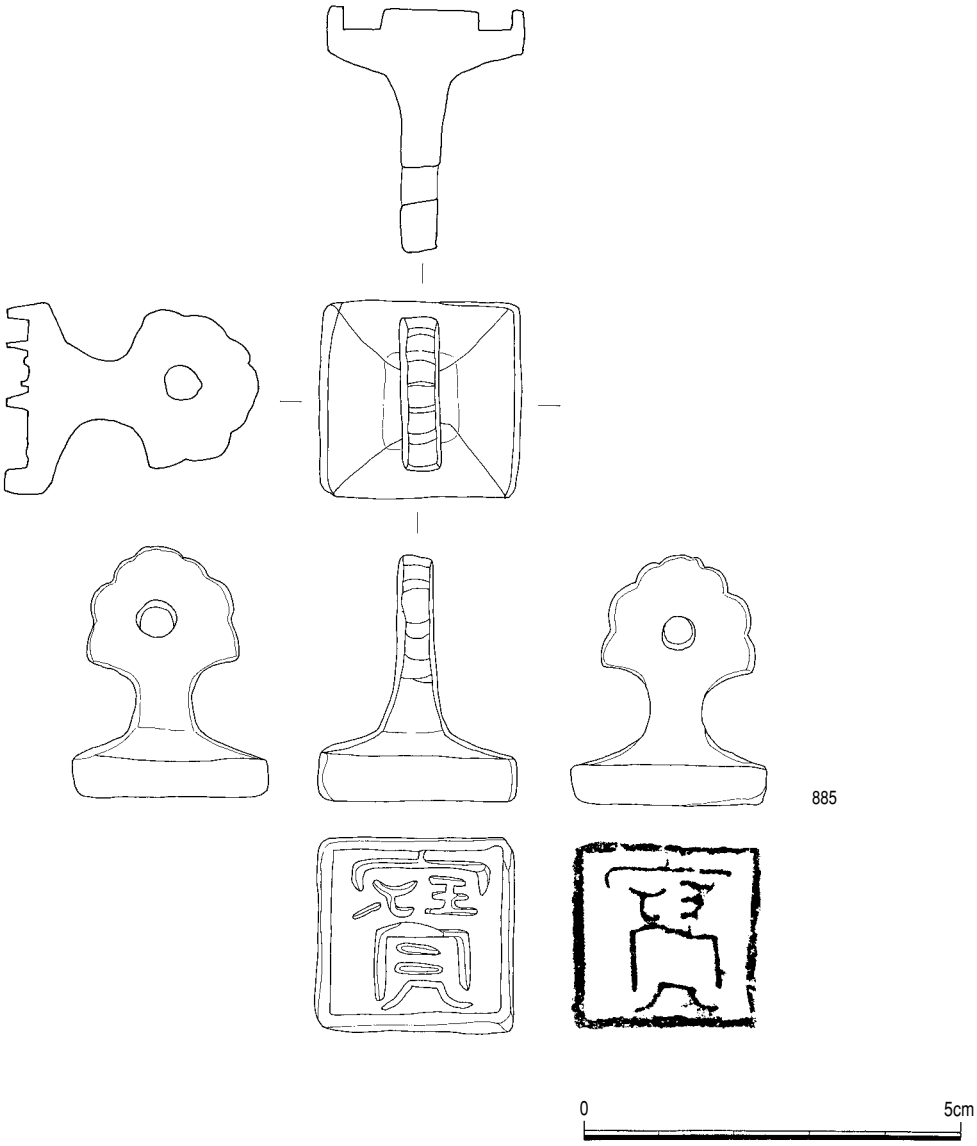
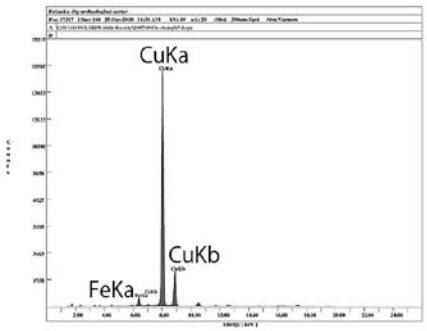


Fig. 74 包含層出土銅印実測図（1/1）

銅印 X 線写真



銅印蛍光 X 線分析

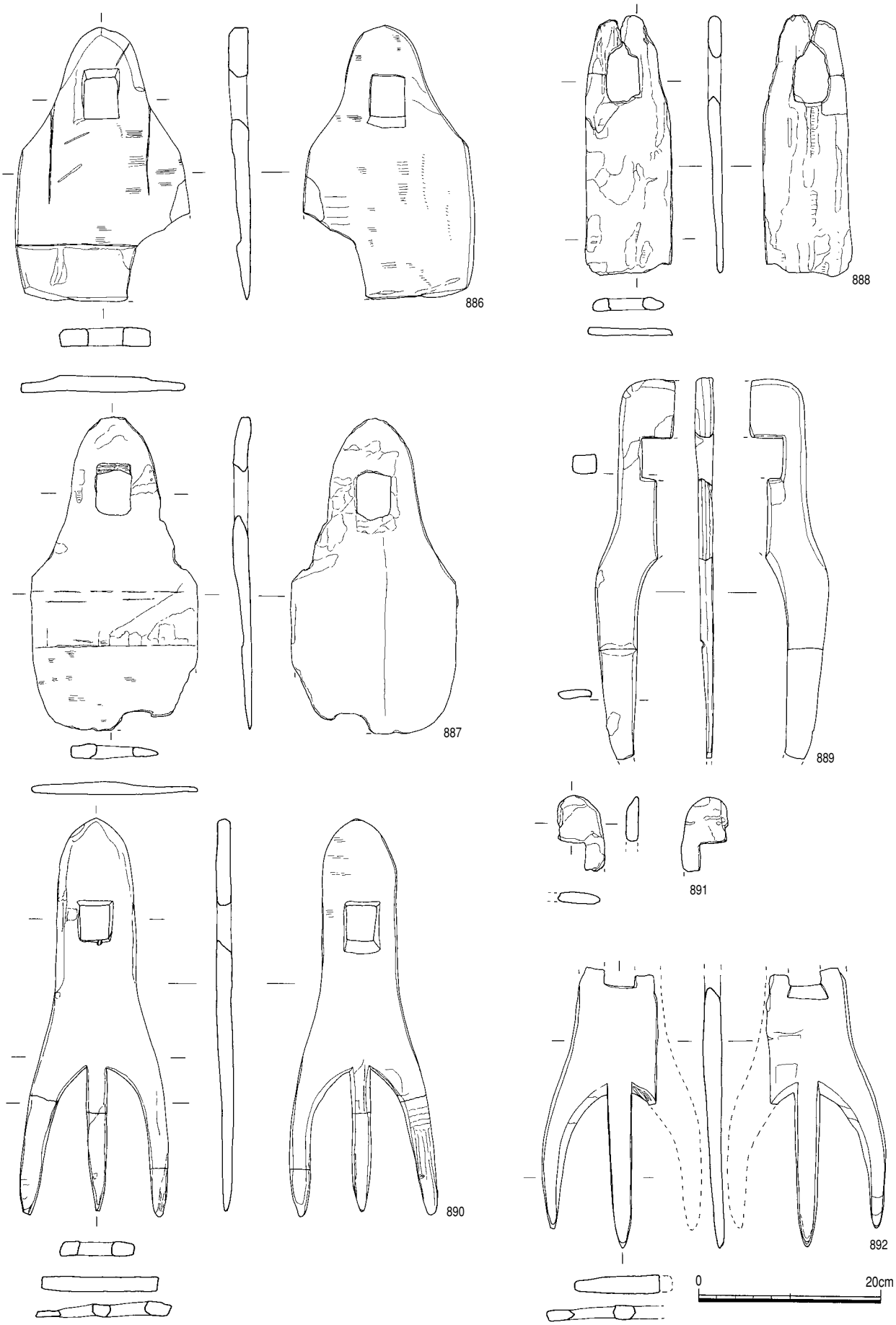


Fig. 75 SD003 出土木器実測図 1（1/6）

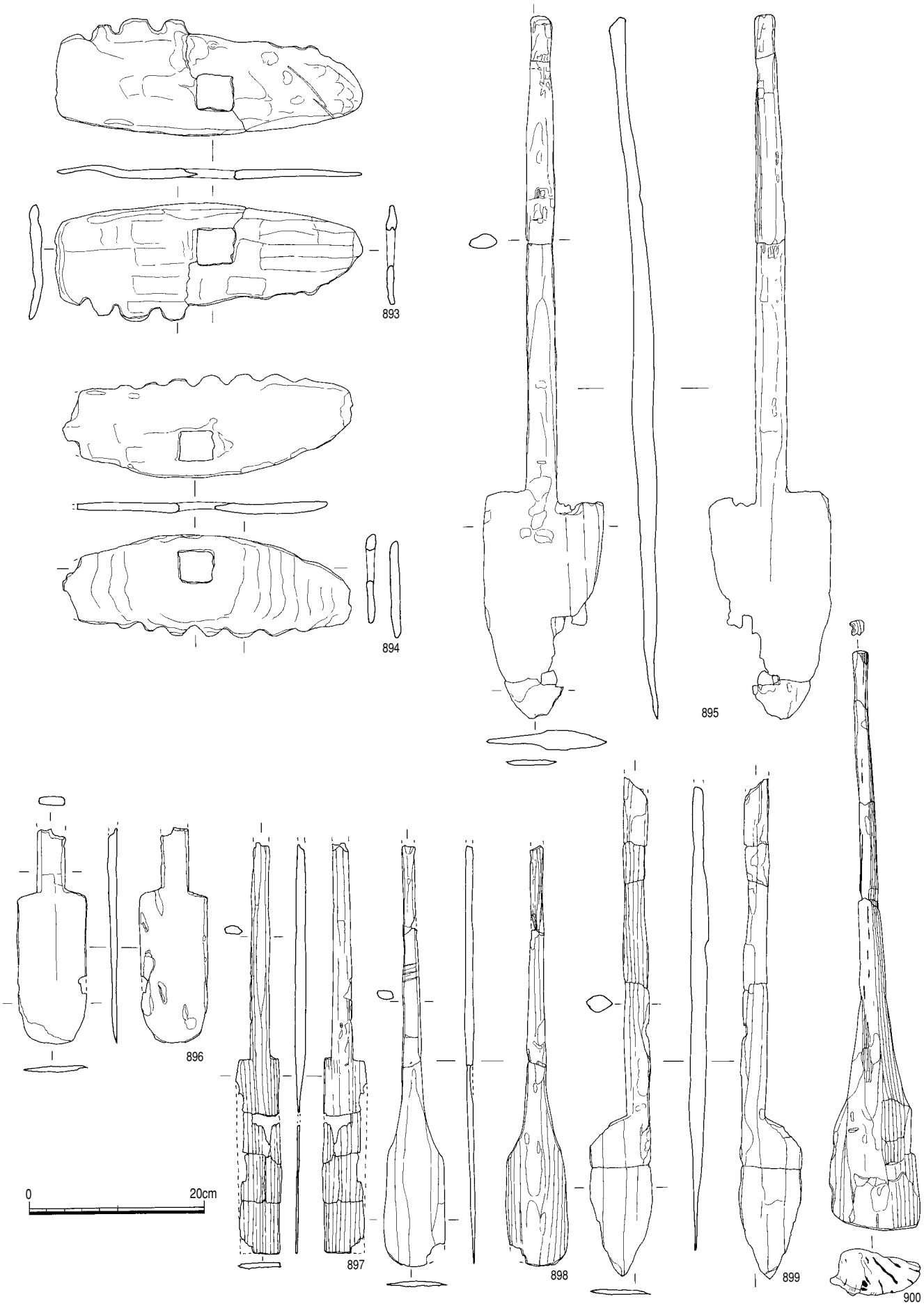


Fig. 76 SD003 出土木器実測図 2（1/6）

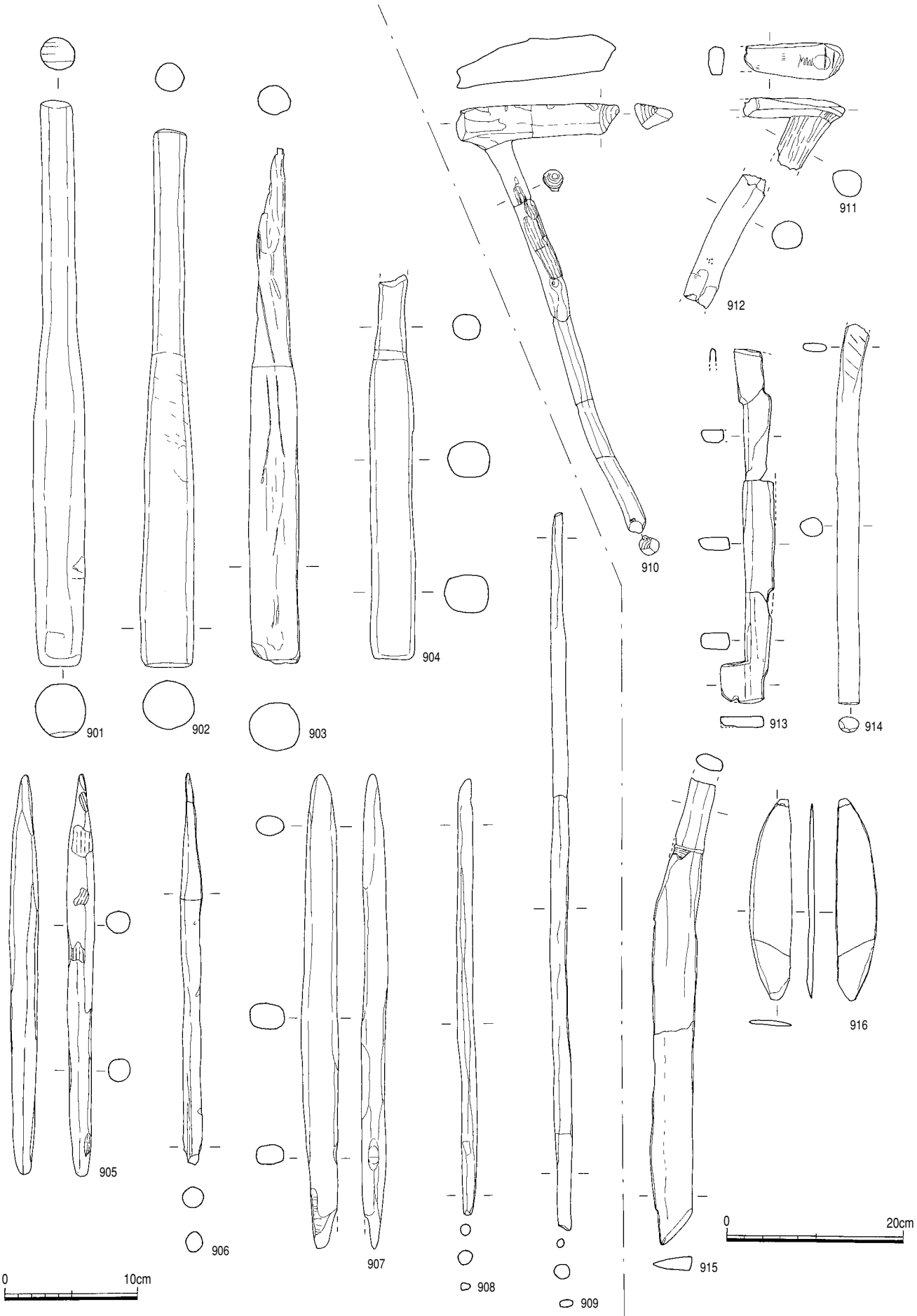


Fig. 77 SD003 出土木器実測図 3（1/4、1/6）

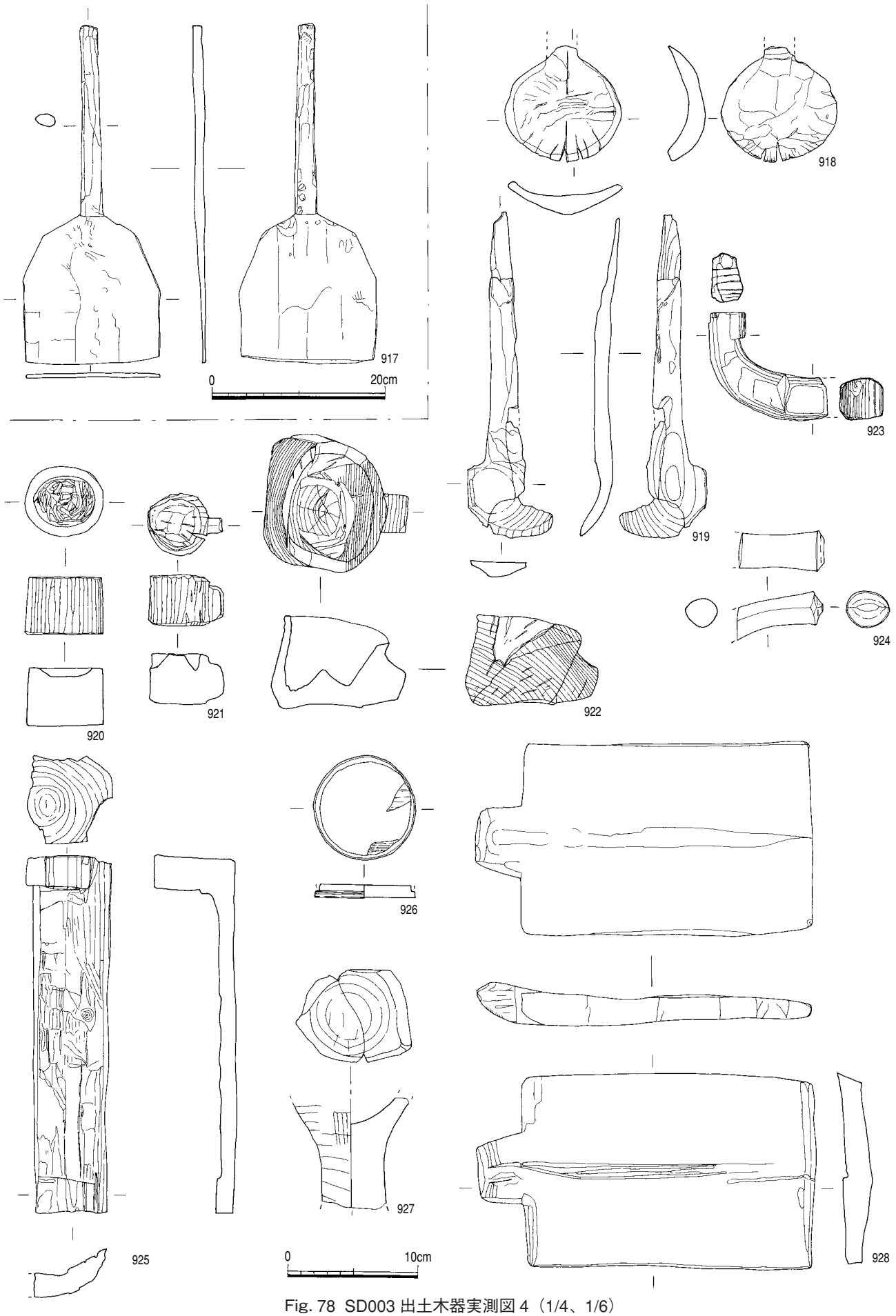


Fig. 78 SD003 出土木器実測図 4（1/4、1/6）

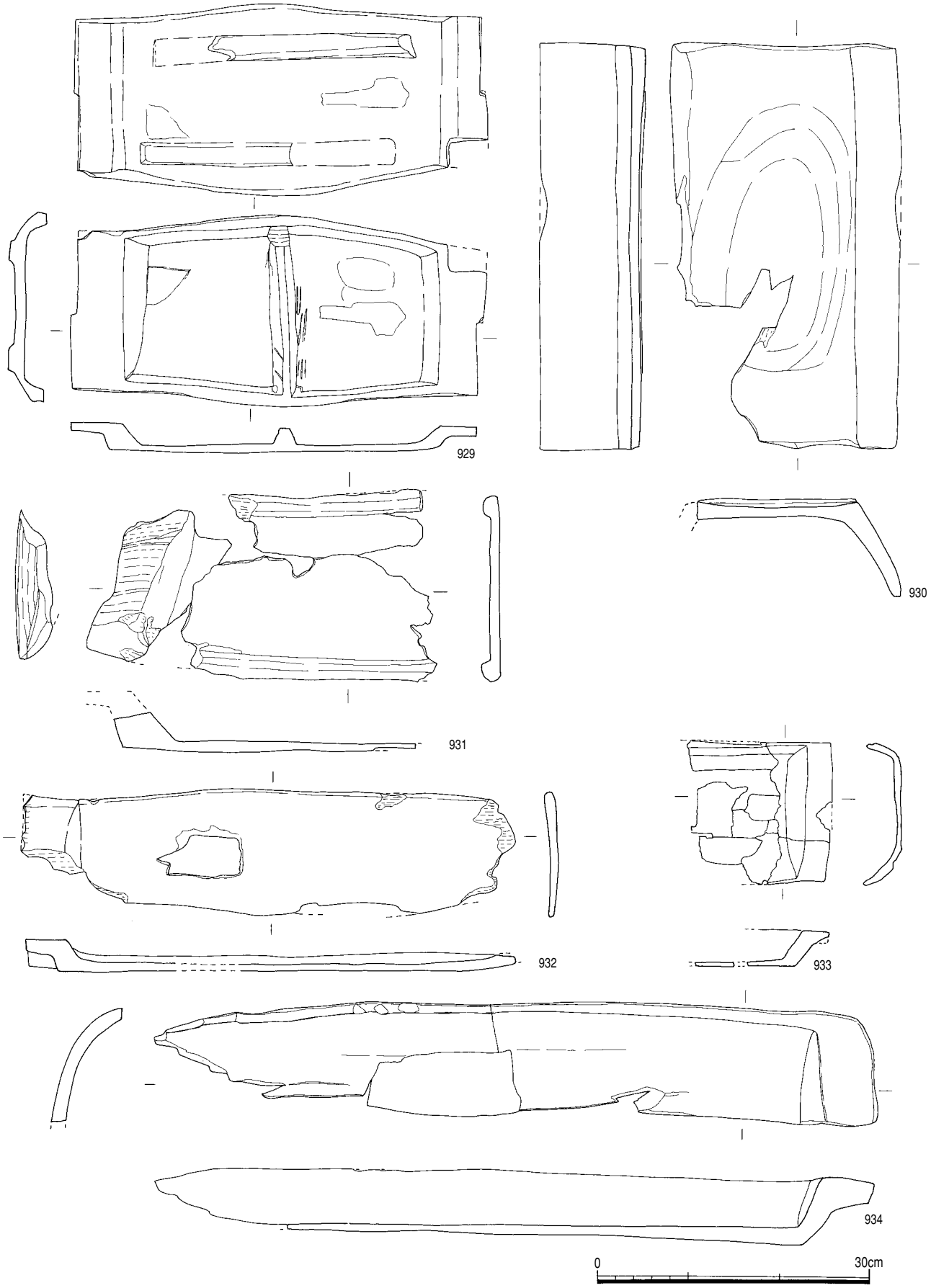


Fig. 79 SD003 出土木器実測図 5（1/6）

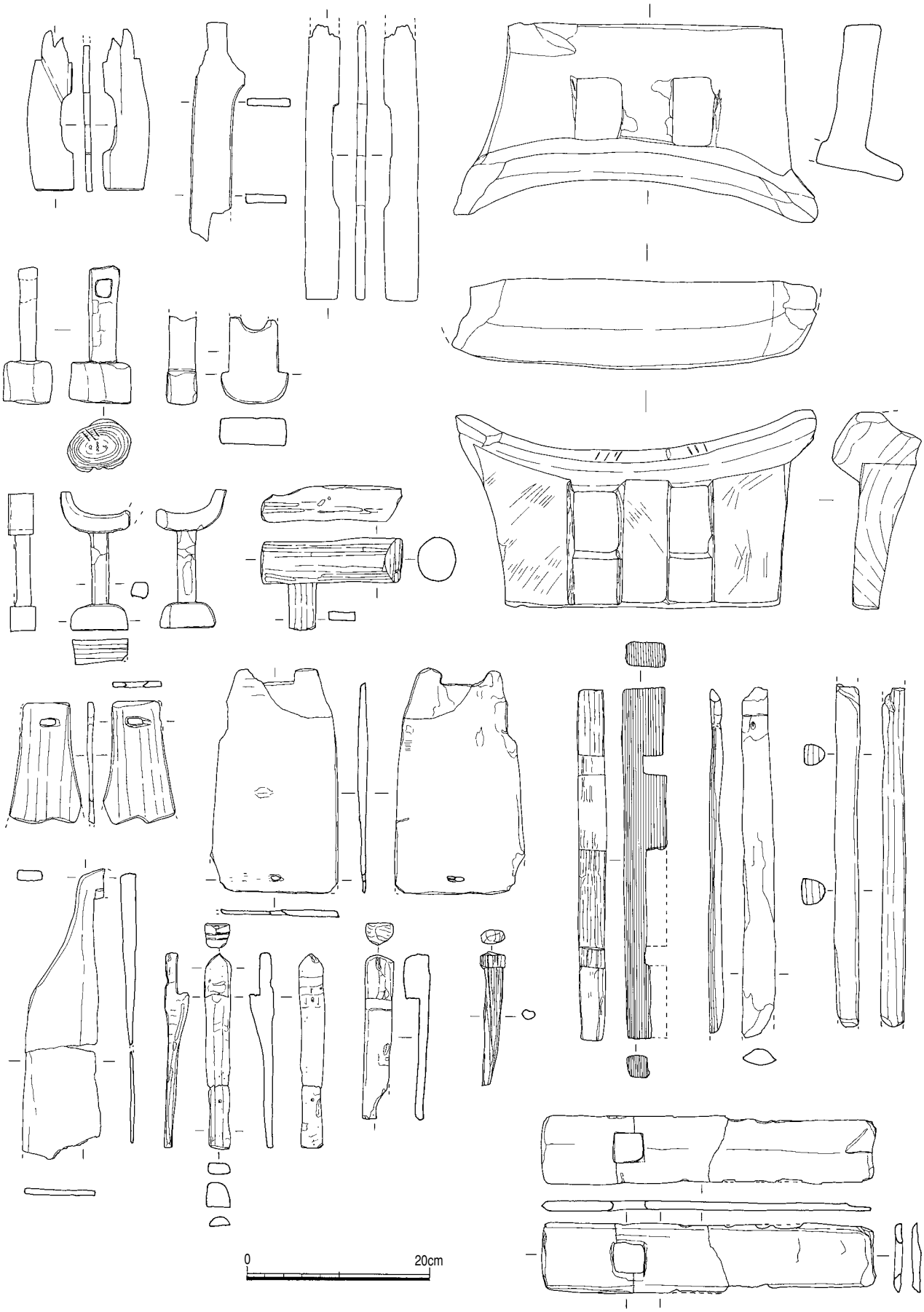


Fig. 80 SD003 出土木器実測図 6（1/6）

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
8	18	1	A3 003 1層上面	弥生土器	甕	ー/26.0/ー	口縁～胴部片、色調はにぶい橙色
8		2	A3 003 1層上面	弥生土器	甕	ー/43.2/ー	口縁～胴部片、大型品、口縁外面に断面三角形の突帯、色調はにぶい橙色
8	18	3	A3 003 1層上面	弥生土器	甕	ー/19.2/ー	口縁～胴部片、大型品、口縁外面に断面台形の突帯、外面に丹塗りの痕跡、色調は橙色
8	18	4	A3 003 1層上面	弥生土器	壷	ー/30.2/ー	口縁～胴部片、口縁外面に断面台形の突帯、突帯と口縁内側に丹塗りの痕跡、色調は浅黄橙色
8		5	A3 003 1層上面	弥生土器	甕	ー/ー/8.2	口縁欠損、色調は橙色
8		6	A3 003 1層上面	弥生土器	甕	ー/ー/7.3	底部片、色調は橙色
8		7	A3 003 1層上面	弥生土器	甕	ー/ー/6.5	底部片、色調は橙色
8		8	A3 003 1層上面	弥生土器	甕	ー/ー/6.5	底部片、色調はにぶい橙色
8		9	A3 003 1層上面	弥生土器	甕	ー/ー/7.8	底部片、色調は赤橙色
8		10	A3 003 1層上面	弥生土器	壷	ー/ー/ー	複合口縁片、色調は浅黄橙色
8		11	A3 003 1層上面	弥生土器	壷	ー/14.3/ー	底部欠損、胴部下半に打ち欠き、外面に丹塗り
8		12	A3 003 1層上面	弥生土器	器台	ー/4.2/ー	底部欠損、色調は浅黄橙色
8	18	13	A3 003 1層上面	弥生土器	器台	11.6/9.2/10.8	口縁一部欠損、色調は橙色
8		14	A3 003 1層上面	弥生土器	器台	18.7/10.2/15.9	底部一部欠損、色調は浅黄色
9		15	A3 003 1層上面	弥生土器	高坏	ー/ー/23.3	脚部片、裾部に3ヶ所円形の透かし孔、外面に丹塗り
9		16	A3 003 1層上面	弥生土器	高坏	ー/ー/20.5	脚部片、裾部に円形の透かし孔、色調はにぶい橙色
9	18	17	A3 003 1層上面	弥生土器	高坏	ー/ー/21.8	脚部片、裾部付近に4個の円形の透かし孔、色調は橙色
9		18	A3 003 1層	弥生土器	甕	ー/28.0/ー	口縁～胴部片、鋤先口縁、口縁外面に断面三角形の突帯、外面に丹塗り
9	18	19	A3 003 1層	弥生土器	甕	28.2/22.7/9.5	口縁～底部片、色調は淡橙色
9	18	20	A3 003 1層	弥生土器	甕	30.5/20.2/7.0	口縁～底部片、色調はにぶい黄橙色
9		21	A3 003 ベルト　1層	弥生土器	甕	ー/ー/7.0	口縁欠損、色調は黒褐色
9		22	A3 003 1層	弥生土器	甕	ー/ー/9.5	底部片、色調はにぶい橙色
9		23	A3 003 ベルト　1層	弥生土器	甕	ー/ー/7.1	底部片、色調は明赤褐色
9		24	A3 003 1層	弥生土器	甕	ー/ー/8.0	底部片、外面に丹塗り
9		25	A3 003 1層	弥生土器	甕	ー/ー/7.3	底部片、色調は浅黄色
9		26	A3 003 ベルト　1層	弥生土器	甕	ー/ー/8.0	底部片、色調は灰白色
9		27	A3 003 1層	弥生土器	甕	ー/ー/8.1	底部片、色調はにぶい黄橙色
9		28	A3 003 1層	弥生土器	甕	ー/ー/8.6	底部片、色調は橙色
9		29	A3 003 1層	弥生土器	甕	ー/ー/7.1	底部片、色調は浅黄橙色
10	18	30	A3 003 1層	弥生土器	壷	ー/20.5/ー	口縁～頸部片、口縁端部に丹塗り、色調は橙色
10		31	A3 003 1層	弥生土器	壷	ー/24.2/ー	口縁～胴部片、肩部に断面三角形の突帯、色調は橙色
10		32	A3 003 1層	弥生土器	壷	ー/30.6/ー	鋤先口縁片、端部の上下に刻み目、外面と口縁内面に丹塗り
10		33	B3 003 1層	弥生土器	壷	ー/37.0/ー	口縁～頸部片、鋤先口縁、端部に刻み目、色調はにぶい黄橙色
10	18	34	A3 003 1層	弥生土器	壷	ー/41.0/ー	口縁～頸部片、大型品、口縁端部にハケメ原体による刻み目、内面に断面三角形の突帯、色調はにぶい黄橙色
10		35	A3 003 1層	弥生土器	壷	ー/35.2/ー	複合口縁片、口縁外面に丹塗りの痕跡、色調は橙色
10	18	36	A3 003 1層	弥生土器	壷	ー/ー/10.0	胴部～底部片、中位に断面台形の突帯が1条巡る、色調はにぶい橙色
10		37	A3 003 ベルト　1層	弥生土器	壷	ー/ー/5.6	底部片、色調は浅黄橙色
10		38	A3 003 1層	弥生土器	壷	ー/ー/4.8	底部片、内外面に丹塗り
10		39	A3 003 1層	弥生土器	壷	ー/ー/8.3	底部片、胴部下半に焼成後の穿孔、色調は浅黄色
10		40	A3 003 1層	弥生土器	蓋	ー/16.7/ー	天井部欠損、口縁に2個の孔、色調は橙色
10	18	41	A3 003 1層	弥生土器	鉢	12.5/28.5/8.5	口縁一部欠損、色調は橙色
11		42	A3 003 ベルト　1層	弥生土器	器台	19.6/12.0/13.9	口縁～底部一部欠損、色調はにぶい黄橙色
11	18	43	A3 003 1層	弥生土器	器台	7.7/7.5/9.1	ほぼ完形、口縁は傾いている、色調は浅黄橙色
11		44	A3 003 1層	弥生土器	器台	ー/ー/11.8	口縁欠損、色調はにぶい黄橙色
11	18	45	A3 003 1層	弥生土器	器台	ー/ー/11.7	口縁欠損、色調は橙色
11	18	46	A3 003 ベルト　1層	弥生土器	器台	ー/ー/11.6	口縁欠損、色調は橙色
11	18	47	A3 003 1層	弥生土器	高坏	ー/ー/ー	坏部片、鋤先口縁、内面に丹塗り
11		48	A3 003 1層	弥生土器	高坏	ー/29.6/ー	坏部片、鋤先口縁、内外面に丹塗り

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
11	18	49	A3 003 ベルト　1層	弥生土器	高坏	―/―/8.9	脚部片、色調は橙色
11		50	A3 003 ベルト　1層	弥生土器	鉢	―/23.5/―	高坏の坏の可能性あり、外面に丹塗り
11		51	A3 003 1層	弥生土器	高坏	―/―/―	脚部、裾部に円形の孔、色調は橙色
11	18	52	A3 003 1層	弥生土器	ミニチュア土器	6.4/5.0/4.0	完形、高坏形、色調はにぶい橙色
11		53	A3 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/8.3	底部片、色調は橙色
11		54	A3 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/8.5	底部片、色調はにぶい黄橙色
11		55	A3 003 トレンチ5　1層下層	弥生土器	壺	―/―/―	口縁と底部欠損、外面に丹塗り
11		56	A3 003 トレンチ5　1層下層	弥生土器	高坏	―/34.6/―	坏部片、口縁はくの字形に屈曲、色調は橙色
12		57	A3 003 2層	弥生土器	甕	―/―/9.0	底部片、底部に焼成後の穿孔、色調はにぶい橙色
12		58	A3 003 2層	弥生土器	甕	―/―/8.5	底部片、色調は浅黄橙色
12		59	A3 003 2層	弥生土器	甕	―/―/8.7	胴部～底部片、外面に丹塗り
12		60	A3 003 2層	弥生土器	甕	―/―/8.2	口縁欠損、外面に丹塗り、色調は灰白色
12		61	A3 003 2層	弥生土器	壺	―/14.4/―	袋状口縁片、頸部に断面三角形の突帯、外面に丹塗り
12		62	A3 003 2層	弥生土器	壺	―/26.7/―	口縁～頸部片、外面は丹塗り
12		63	A3 003 2層	弥生土器	壺	―/43.7/―	口縁～頸部片、鋤先口縁、口縁端部に刻み目、口縁上部に丹塗りの痕跡、色調は橙色
12	18	64	A3 003 2層	弥生土器	壺	―/―/6.4	口縁欠損、色調は浅黄橙色
12		65	A3 003 2層	弥生土器	ミニチュア土器	5.3/9.5/4.1	口縁欠損、器面に指頭痕、色調は浅黄橙色
12	18	66	A3 003 2層	弥生土器	鉢	―/12.8/5.7	ほぼ完形、口縁端部に打ち欠き
12		67	A3 003 2層	弥生土器	蓋	―/7.2/―	口縁欠損、色調はにぶい黄橙色
12	19	68	A3 003 2層	弥生土器	器台	11.2/11.3/12.0	ほぼ完形、色調はにぶい黄橙色
13		69	B3 003 1層上面	弥生土器	甕	―/14.0/―	口縁～胴部片、色調は浅黄橙色
13		70	B3 003 1層上面	弥生土器	壺	―/―/―	口縁と底部を欠く、小型丸底壺、色調は橙色
13	19	71	B3 003 トレンチ2　GL―30cm　溝上面	弥生土器	甕	34.3/29.2/9.1	口縁～底部片、色調はにぶい橙色
13		72	B3 003 1層上面	弥生土器	甕	―/―/6.9	底部片、色調は橙色
13		73	B3 003 1層上面	弥生土器	甕	―/―/7.2	底部片、色調は浅黄橙色
13		74	B3 003 1層上面	弥生土器	甕	―/―/8.0	胴部～底部片、色調は浅黄橙色
13		75	B2 003 トレンチ3　（GL―0～20cm）	弥生土器	壺	―/―/―	口縁片、端部に凹線文、瀬戸内系、色調は明黄褐色
13		76	B2 003 トレンチ3　（GL―0～20cm）	弥生土器	壺	―/―/―	口縁片、上下に拡張する口縁、端部に鋸歯文、色調はにぶい黄橙色
13		77	B3 003 1層上面	弥生土器	鉢	―/―/4.0	口縁一部欠損、色調は橙色
13		78	B3 003 1層上面	弥生土器	碗	5.2/14.5/―	口縁～底部片、内面の調整ナデ、色調は浅橙色
13		79	B3 003 トレンチ2　GL―30cm　溝上面	弥生土器	ミニチュア土器	―/―/―	杓子形土製品の把手か、色調はにぶい黄橙色
13	19	80	B2 003 2層	弥生土器	器台	10.9/8.6/10.5	ほぼ完形、色調は赤色
13	19	81	B3 003 1層上面	弥生土器	器台	10.5/11.0/7.0	ほぼ完形、色調は黄橙色
13	19	82	B2 003 トレンチ3　（GL―0～20cm）	弥生土器	器台	―/―/19.7	口縁欠損、大型品、色調は橙色
13	19	83	B2 003 ベルト　1層上層	弥生土器	支脚	13.8/7.5/14.5	ほぼ完形、沓型の支脚、外面に平行タタキ、色調はにぶい橙色
13		84	B3 003 1層上面	弥生土器	高坏	―/―/―	脚部、裾部に円形の透かし孔、色調は橙色
13		85	B3 003 1層上面	弥生土器	高坏	―/―/―	脚部、裾部に円形の透かし孔、色調は橙色
14	19	86	B3 003 1層	弥生土器	甕	21.0/18.5/8.5	口縁～胴部片、色調は橙色
14		87	B3 003 1層	弥生土器	甕	―/24.5/―	口縁～胴部片、外面に丹塗り
14		88	B2 003 1層	弥生土器	甕	―/30.4/―	口縁片、口縁端部に刻み目、外面に断面三角形の突帯、色調は灰黄褐色
14		89	B2 003 1層	弥生土器	壺	―/―/4.6	底部片、色調は灰黄色
14		90	B3 003 1層	弥生土器	甕	―/―/7.0	底部片、色調は灰黄褐色
14		91	B3 003 1層	弥生土器	甕	―/―/5.6	底部片、色調は橙色
14		92	B3 003 1層	弥生土器	甕	―/―/8.1	底部片、色調は灰黄褐色
14		93	B3 003 1層	弥生土器	甕	―/―/8.5	底部片、色調は橙色
14		94	B3 003 1層	弥生土器	壺	―/―/9.6	底部片、色調は浅黄橙色
14		95	B3 003 1層	弥生土器	甕	―/―/7.5	底部片、色調は橙色
14		96	B3 003 1層	弥生土器	甕	―/―/7.3	底部片、色調は黄橙色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
14		97	B3 003 1層	弥生土器	甕	―/―/6.0	底部片、色調は橙色
14		98	B2 003 1層	弥生土器	壺	―/―/―	底部片、色調は浅黄橙色
14		99	B2 003 1層	弥生土器	甕	―/―/8.9	底部片、底部に焼成後穿孔、色調はにぶい黄色
14		100	B2 003 1層	弥生土器	甕	―/―/7.7	底部片、底部に焼成後穿孔、色調はにぶい橙色
14	19	101	B3 003 1層	弥生土器	甕	―/―/10.0	底部片、底部に焼成後の穿孔、色調は橙色
15		102	B3 003 1層	弥生土器	壺	―/27.2/―	口縁～胴部片、鋤先口縁、頸部に断面三角形の突帯、色調はにぶい黄橙色
15		103	A3 003 1層	弥生土器	壺	―/40.0/―	口縁～頸部片、鋤先口縁、端部に刻み目、色調は明褐灰色
15		104	B3 003 1層	弥生土器	蓋	4.6/17.2/―	約1/2残存、色調は橙色
15		105	B2 003 1層	弥生土器	脚付鉢	―/―/12.4	脚部、色調は橙色
15	19	106	B2 003 1層	弥生土器	ミニチュア土器	5.7/8.3/4.2	ほぼ完形、手づくね、色調は浅黄橙色
15	19	107	B3 003 1層	弥生土器	鉢	7.9/9.3/4.6	ほぼ完形、色調は橙色
15	19	108	B3 003 1層	弥生土器	鉢	10.5/11.0/4.8	ほぼ完形、色調は橙色
15		109	B3 003 1層	弥生土器	鉢	9.9/11.1/5.5	口縁一部欠損、外面に丹塗り
15		110	B2 003 1層	弥生土器	杓子形土製品	―/―/―	取手部分、内面に丹塗りの痕跡
15	19	111	B3 003 1層	弥生土器	器台	12.0/11.0/12.5	ほぼ完形、色調はにぶい黄橙色
15	19	112	B3 003 1層	弥生土器	器台	16.0/11.0/13.3	口縁・底部一部欠損、色調はにぶい橙色
15	19	113	B3 003 1層	弥生土器	高坏	―/―/20.0	脚部、裾部に4個の円形の孔、色調は橙色
15		114	B2 003 1層下層a群	弥生土器	壺	―/25.5/―	口縁～胴部片、色調はにぶい黄橙色
15		115	B2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/25.5/―	口縁～胴部片、色調はにぶい褐色
16	19	116	B2 003 1層下層a群	弥生土器	器台	7.3/6.9/8.9	口縁一部欠損、色調は橙色
16		117	B2 003 1層下層a群	弥生土器	器台	14.0/11.6/13.6	底部一部欠損、外面に丹塗り
16		118	B2 003 1層下層a群	弥生土器	器台	17.5/11.8/13.6	口縁と底部の一部欠損、色調は浅黄橙色
16		119	B2 003 1層下層a群	弥生土器	高坏	―/28.0/―	坏部片、くの字に屈曲、色調はにぶい橙色
16		120	B2 003 1層下層a群	弥生土器	高坏	―/28.7/―	坏部片、くの字に屈曲、色調はにぶい黄橙色
16		121	B2 003 1層下層a群	弥生土器	高坏	―/―/―	坏～脚部、外面に丹塗り
17		122	B2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/―/6.1	底部片、色調はにぶい黄橙色
17		123	B2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/―/6.7	底部片、色調はにぶい黄橙色
17		124	B2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/―/7.1	底部片、外面に丹塗りの痕跡、色調は灰白色
17		125	B2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/―/6.8	底部片、色調はにぶい橙色
17		126	B2 003 1層下層a群	弥生土器	壺	―/―/10.2	底部片、色調はにぶい黄橙色
17		127	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/―/―	頸部～胴部片、大型品、内面に断面台形の突帯、頸部外面に断面台形の2条の突帯、色調はにぶい黄橙色
17	19	128	B2 003 1層下層a群	弥生土器	壺	―/―/14.5	胴部～底部片、大型品、胴部下半に刻み目を施した断面方形の突帯、色調はにぶい黄橙色
17	19	129	B2 003 1層下層b群	弥生土器	器台	―/―/12.9	口縁部欠損、色調はにぶい黄橙色
17		130	B2 003 1層下層b群	弥生土器	鉢	―/26.3/―	底部欠損、脚付の可能性あり、外面と口縁内側に丹塗り
18	19	131	B2 003 1層下層C群	弥生土器	甕	―/32.6/―	口縁片、外面に断面三角形の突帯
18	19	132	B2 003 1層下層C群	弥生土器	甕	―/36.4/―	口縁片、口縁端部に刻み目、外面に刻み目を施した突帯
18		133	B2 003 1層下層C群	弥生土器	甕	―/―/6.7	底部片、色調は浅黄橙色
18		134	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/―/11.0	底部片、色調は淡橙色
18	20	135	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/8.0	底部片、底部内面に焼成前の円形のくぼみ、底部に穿孔するためか、色調は橙色
18		136	B2 003 1層下層C群	弥生土器	壺	―/―/―	口縁、端部は上下に肥厚し、外面に鋸歯文を施す、色調は浅黄色、西部瀬戸内系の搬入品か
18		137	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/5.5	口縁欠損、色調はにぶい橙色
18		138	B2 003 1層下層C群	弥生土器	鉢	9.8/10.9/5.5	口縁一部欠損、色調は橙色
18	20	139	B2 003 2層上層	弥生土器	鉢	12.4/26.0/7.5	口縁一部欠損、底部に焼成後の穿孔、色調は橙色
18	20	140	B2 003 2層上層	弥生土器	鉢	―/12.0/8.5	完形、器面に指頭痕、色調はにぶい橙色
18	20	141	B2 003 2層上層	弥生土器	器台	10.4/8.0/8.8	完形、底面に指押えによるくぼみ、色調は橙色
18		142	B2 003 2層上層	弥生土器	器台	―/―/14.5	口縁欠損、色調はにぶい橙色
18	20	143	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	23.4/21.6/7.0	ほぼ完形、色調はにぶい黄橙色
18	20	144	D2 003 トレンチ1　1層下層	弥生土器	甕	24.4/20.2/7.6	口縁～底部片、胴部上位に焼成前の窓付、色調は赤褐色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
18		145	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/―	口縁～胴部片、胴部上半に隅丸方形の孔
19		146	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/15.4/―	口縁～胴部片、胴部上半に隅丸方形の孔、内面に丹塗りの痕跡、色調は浅黄橙色
19		147	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/23.5/―	口縁～胴部片、胴部上半に隅丸方形の孔、内面に丹塗りの痕跡、色調は橙色
19		148	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	鉢	―/21.0/―	口縁～胴部片、内外面に丹塗り
19		149	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	甕	―/20.4/―	口縁～胴部片、胴部上半に隅丸方形の孔、色調はにぶい黄橙色
19		150	B2 003 1層下層	弥生土器	鉢形	―/20.1/―	底部欠損、色調はにぶい黄橙色
19		151	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	甕	―/23.0/―	口縁～胴部片、色調は橙色
19		152	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/4.9	底部片、色調はにぶい橙色
19		153	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	甕	―/―/7.2	底部片、色調は浅黄橙色
19		154	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	甕	―/―/8.5	底部片、色調はにぶい黄橙色
19		155	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/8.7	底部片、色調は浅黄橙色
19		156	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	甕	―/―/7.6	胴部～底部片、色調はにぶい橙色
19		157	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	甕	―/―/7.7	胴部～底部片、にぶい黄橙色
19		158	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/11.8	底部片、色調は橙色
19		159	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	甕	―/―/9.6	底部片、色調は灰褐色
19	20	160	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	甕	―/―/8.2	底部片、穿孔あり、内側は焼成前に、外側は焼成後に穿孔を行っている、色調はにぶい橙色
19		161	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/7.1	底部片、色調は橙色
19		162	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/7.8	底部片、外面に丹塗りの痕跡、色調は灰白色
19		163	B2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/7.8	胴部～底部、色調は浅黄橙色
20	20	164	B2 003 1層下層	弥生土器	壺	24.2/8.0/7.3	ほぼ完形、袋状口縁、頸部の付け根に断面三角形の突帯が2条、胴部中位に断面台形の突帯、胴部に1ケ所焼成後の穿孔、外面に丹塗り
20		165	B2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/21.1/―	鋤先口縁片、内外面に丹塗り
20		166	B2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/25.1/―	鋤先口縁片、内外面に丹塗り
20		167	B2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/29.0/―	口縁～頸部、鋤先口縁、頸部に断面台形の突帯、色調は橙色
20		168	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	壺	―/―/―.	鋤先口縁片、大型品、口縁端部に刻み目
20	20	169	B2 003 1層下層	弥生土器	器台か	―/23.2/―	口縁片、内面に櫛描き波状文、色調はにぶい黄橙色、西部瀬戸内搬入品か
20		170	B2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/30.0/―	口縁～頸部片、複合口縁、口縁外面に丹塗りの痕跡、色調はにぶい橙色
20	20	171	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	壺	―/―/7.6	胴部～底部片、色調はにぶい黄橙色
20		172	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	壺	―/―/5.3	底部片、色調は浅黄橙色
20		173	B2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/―/4.1	底部片、色調はにぶい黄橙色
20		174	B2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/―/8.2	底部片、色調はにぶい黄褐色
20		175	B2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/―/5.9	口頸部は欠損、外面に丹塗り、
21	20	176	B2 003 1層下層	弥生土器	蓋	―/11.4/―	天井部欠損、外面に丹塗りの痕跡、2個の穿孔、1つは未貫通、色調はにぶい黄橙色
21	20	177	B2 003 1層下層	弥生土器	蓋	―/5.9/―	裾部欠損、色調は浅黄橙色
21	20	178	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	蓋	5.6/20.5/5.7	裾部一部欠損、色調はにぶい橙色
21	21	179	B2 003 1層下層	弥生土器	鉢	10.7/9.1/5.6	ほぼ完形、色調は橙色
21	20	180	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	鉢	12.2/15.3/5.0	口縁一部欠損、外面に丹塗りの痕跡、色調はにぶい橙色
21		181	B2 003 1層下層	弥生土器	鉢	9.7/18.8/5.9	口縁一部欠損、色調はにぶい橙色
21	21	182	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	鉢	12.3/18.0/6.9	ほぼ完形、外底面以外に丹塗り
21	21	183	B2 003 1層下層	弥生土器	鉢	―/15.5/―	ほぼ完形、色調は浅黄橙色
21		184	B2 003 1層下層	弥生土器	鉢	10.2/16.4/6.6	口縁一部欠損、色調はにぶい橙色
21		185	B2 003 トレンチ2　1層下層	弥生土器	鉢	―/15.7/―	底部欠損、色調はにぶい赤橙色
21		186	B2 003 1層下層	弥生土器	鉢	6.1/9.7/―	約1/2残存、内面に丹塗りの痕跡、にぶい黄橙色
21	21	187	B2 003 1層下層	弥生土器	鉢	4.4/10.0/5.4	手づくね、底部は隅丸方形を呈する、口縁外面に丹塗りの痕跡、色調は浅黄橙色
21	21	188	B2 003 1層下層	弥生土器	ミニチュア土器	4.3/7.2/2.3	完形、色調はにぶい橙色
21		189	B2 003 1層下層	弥生土器	ミニチュア土器	3.7/7.3/2.1	ほぼ完形、内外面に丹塗り
21		190	B2 003 1層下層	弥生土器	ミニチュア土器	―/―/2.7	口縁欠損、色調は橙色
21		191	B2 003 1層下層	弥生土器	脚付鉢	―/―/8.1	脚部、色調はにぶい褐色
21	21	192	B2 003 1層下層	弥生土器	杓子形土製品	―/―/―	把手は欠損、色調はにぶい赤褐色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
21	21	193	B2 003 トレンチ3　（GL－20～40cm）	弥生土器	杓子形土製品	－/－/－	取手部分、色調はにぶい黄橙色
21	21	194	B2 003 1層下層	弥生土器	器台	12.0/8.9/11.7	口縁～底部の一部欠損、色調はにぶい黄橙色
21	21	195	B2 003 1層下層	弥生土器	器台	16.9/10.4/12.5	ほぼ完形、色調はにぶい褐色
21	21	196	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	器台	16.7/11.6/16.7	ほぼ完形、色調はにぶい橙色
21	21	197	B2 003 1層下層	弥生土器	器台	16.1/11.6/13.1	口縁一部欠損、色調はにぶい橙色
22	21	198	B2 003 1層下層	弥生土器	器台	9.9/7.2/10.1	ほぼ完形、内面に丹塗りの痕跡、色調はにぶい黄橙色
22	21	199	B2 003 1層下層	弥生土器	器台	－/－/11.8	口縁一部欠損、色調はにぶい黄橙色
22	21	200	B2 003 ベルト　1層下層	弥生土器	器台	－/－/5.3	口縁欠損、色調はにぶい橙色
22		201	B2 003 1層下層	弥生土器	器台	－/3.2/－	裾部欠損、色調は浅黄橙色
22	20	202	B2 003 ベルト　1層	弥生土器	支脚	－/－/11.4	沓型の支脚、色調はにぶい黄橙色
22	21	203	B2 003 1層下層	弥生土器	高坏	－/－/10.4	脚部、裾端部に3ヶ所打ち欠き、色調はにぶい黄橙色
22		204	B2 003 1層下層	弥生土器	ミニチュア土器	－/－/－	脚坏鉢、色調は橙色
22		205	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/33.5/－	口縁片、鋤先口縁、色調は橙色
22		206	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	－/16.5/－	口縁片、色調はにぶい黄橙色
22	21	207	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	40.5/21.0/8.5	口縁～底部片、口縁の屈曲部に断面三角形の突帯、色調は浅黄橙色
22		208	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/－/6.7	底部片、色調は灰白色
22		209	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/－/9.0	底部片、色調はにぶい黄橙色
22		210	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/－/7.5	底部片、色調は橙色
22		211	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/－/9.3	底部片、色調はにぶい黄橙色
23		212	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/－/8.2	胴部～底部片、色調は灰褐色
23		213	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/－/9.2	底部片、色調はにぶい黄橙色
23		214	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/－/9.1	胴部～底部片、胴部に焼成後の穿孔、色調は黄橙色
23	21	215	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/－/8.4	底部片、色調は橙色
23	21	216	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	－/－/8.0	胴部～底部片、底部に焼成後の穿孔、色調はにぶい橙色
23		217	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	－/21.8/－	口縁～頸部片、鋤先口縁、口縁上面に丹塗り、頸部に断面台形の突帯
23	22	218	B2 003 2層上層C群・上層上面	弥生土器	壺	66.0/51.0/11.0	口縁一部欠損、鋤先口縁、頸部付け根と胴部下半に断面台形の2条の突帯が巡る、色調はにぶい黄橙色
23		219	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	－/20.9/－	袋状口縁片、色調はにぶい黄橙色
23	21	220	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	17.1/15.2/6.3	口縁一部欠損、外面に丹塗り
23		221	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	24.1/14.3/8.0	ほぼ完形、色調は灰褐色
23		222	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	－/－/7.8	底部片、色調は橙色
23	21	223	B2 003 ベルト　2層	弥生土器	壺	－/－/5.8	口縁欠損、胴部に断面角形の突帯、外面に丹塗り、内面に部分的に顔料が付着
23		224	B2 003 2層上層	弥生土器	鉢	6.4/9.9/－	口縁一部欠損、端部に打ち欠き、色調は灰白色
23		225	B2 003 2層上層	弥生土器	鉢	6.2/14.8/5.1	口縁一部欠損、色調は橙色
23	22	226	B2 003 2層上層	弥生土器	蓋	－/7.8/－	口縁欠損、色調はにぶい橙色
24	22	227	B2 003 2層上層	弥生土器	器台	8.8/9.0/10.4	底部一部欠損、色調はにぶい黄橙色
24	22	228	B2 003 2層上層	弥生土器	器台	10.8/9.2/11.5	ほぼ完形、色調は橙色
24	22	229	B2 003 2層上層	弥生土器	器台	16.6/10.9/12.5	口縁～底部一部欠損、色調は灰黄褐色
24	22	230	B2 003 2層上層	弥生土器	器台	17.1/12.0/14.1	底部一部欠損、色調はにぶい黄橙色
24	22	231	B2 003 2層上層	弥生土器	器台	16.4/10.7/14.4	ほぼ完形、色調は橙色
24	22	232	B2 003 2層上層	弥生土器	高坏	－/－/17.2	口縁欠損、裾部の一部に丹塗りの痕跡、色調は橙色
24		233	B2 003 2層上層	弥生土器	脚付鉢	－/－/－	口縁と脚部欠損、色調は浅黄橙色
24		234	B2 003 2層上層	弥生土器	高坏	－/21.0/－	坏部片、鋤先口縁、内外面に丹塗り
24	22	235	B2 003 2層上層	弥生土器	高坏	－/－/15.2	脚部、内外面に丹塗り
24	22	236	B2 003 2層	弥生土器	甕	－/20.5/－	口縁～胴部片、色調はにぶい橙色
24		237	B2 003 2層	弥生土器	甕	－/18.3/－	口縁～胴部片、隅丸方形の孔、色調は浅黄橙色
24		238	B2 003 2層	弥生土器	甕	－/－/8.2	底部片、色調はにぶい黄橙色
24		239	B2 003 2層	弥生土器	甕	－/－/8.9	胴部～底部片、色調は橙色
24		240	B2 003 2層	弥生土器	甕	－/－/－	胴部片、隅丸方形の孔、色調はにぶい黄橙色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
24		241	B2 003 2層	弥生土器	甕	―/―/―	胴部片、隅丸方形の孔、色調はにぶい黄橙色
25	22	242	B2 003 2層	弥生土器	壺	―/10.8/―	袋状口縁片、口縁からやや下ったところに断面台形の突帯、外面に丹塗り
25		243	B2 003 2層	弥生土器	壺	―/―/9.6	底部片、色調はにぶい黄橙色
25		244	B2 003 2層	弥生土器	壺	―/―/7.1	底部片、色調はにぶい黄橙色
25		245	B2 003 2層	弥生土器	鉢	6.7/5.6/―	底部欠損、色調はにぶい黄橙色
25	22	246	B2 003 2層	弥生土器	器台	17.5/13.0/14.0	ほぼ完形、色調はにぶい橙色
25	22	247	B2 003 2層	弥生土器	高坏	―/―/16.5	脚部片、外面に丹塗り
26		248	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	甕	―/20.5/―	口縁～胴部片、色調は明黄褐色
26		249	C2 003 トレンチ4　5層下層溝―10cm	弥生土器	甕	―/21.5/―	口縁片、色調はにぶい黄橙色
26		250	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	甕	―/18.0/―	口縁～胴部片、色調はにぶい黄橙色
26		251	C2 003 東壁中	弥生土器	甕	―/27.3/―	口縁～胴部片、色調はにぶい橙色
26		252	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	甕	―/26.8/―	口縁～胴部片、色調は淡橙色
26		253	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	甕	―/29.5/―	口縁片、はねあげ口縁、色調は明黄褐色
26		254	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	甕	―/27.0/―	口縁～胴部片、はねあげ口縁、色調は明黄褐色
26		255	C2 003 トレンチ4　（5層下層　溝）―10cm	弥生土器	甕	―/24.9/―	口縁～胴部片、色調は浅黄橙色
27	22	256	C2 003 トレンチ4　（GL―0～20cm）	弥生土器	甕	―/33.6/―	口縁～胴部片、口縁端部に斜線文、口縁からやや下ったところに断面台形の2条の突帯、色調はにぶい黄橙色
27		257	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	壺	―/―/16.0	胴部～底部片、下半に断面台形の突帯が2条巡る、色調はにぶい黄橙色
27		258	C2 003 遺構面　（GL―40cm）	弥生土器	甕	―/―/―	口縁欠損、外面はタタキ後ハケメ、丸底、色調はにぶい黄橙色
27		259	C2 003 遺構面　（GL―40cm）	弥生土器	甕	―/―/5.0	丸底、色調は浅黄色
28		260	C2 003 トレンチ4　（GL―0～20cm）	弥生土器	壺	―/18.4/―	口縁～胴部片、袋状口縁、頸部に断面三角形の突帯、外面に丹塗り
28		261	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	壺	―/21.0/―	口縁～胴部片、鋤先口縁、頸部の付け根に断面三角形の突帯、色調はにぶい黄橙色
28		262	C2 003 トレンチ4　（GL―0～20cm）	弥生土器	壺	―/23.5/―	口縁片、色調は明黄褐色
28	22	263	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	壺	―/42.4/―	口縁～胴部片、大型品、口縁端部に刻み目、頸部の付け根に刻み目を施した断面台形の突帯が1条巡る、色調は浅黄橙色
28		264	C2 003 トレンチ4　（GL―0～20cm）	弥生土器	壺	―/―/―	口縁片、端部は垂下し斜線文、色調はにぶい黄橙色
28		265	C2 003 トレンチ4　（GL―0～20cm）	弥生土器	壺	―/―/―	口縁片、大型の広口壺、口縁端部にX字形文、外面に縦方向の暗文、調整は明褐色
28		266	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	壺	―/―/―	頸部～胴部片、頸部の付け根に断面三角形の突帯、胴部下半に断面台形の突帯が1条巡る、色調は橙色
28	22	267	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	壺	―/―/―	胴部～底部片、ややとがり気味の丸底、中位に刻み目を施した断面台形の突帯が巡る、色調は黄橙色
28		268	C2 003 遺構面　（GL―40cm）	弥生土器	壺	―/―/10.5	底部片、大型品、色調はにぶい黄橙色
29	22	269	C2 003 遺構面　（GL―40cm）	弥生土器	器台	―/―/21.5	口縁欠損、大型品、色調はにぶい黄橙色
29	22	270	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	器台	19.6/13.4/16.0	底部一部欠損、色調はにぶい黄橙色
29	22	271	C2 003 遺構面　（GL―40cm）	弥生土器	器台	9.8/10.0/10.0	底部一部欠損、色調は橙色
29		272	C2 003 遺構面　（GL―40cm）	弥生土器	脚付鉢	―/18.0/―	脚部欠損、色調は橙色
29		273	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	鉢	―/―/―	口縁片、口縁をくぼめて注ぎ口状にする、色調はにぶい黄橙色
29	22	274	C2 003 トレンチ4　（GL―20～40cm）　粗砂層	土師器	壺	―/8.4/―	底部欠損、小型丸底壺、外面はヘラミガキ、色調はにぶい黄橙色
29		275	C2 003 トレンチ4　（GL―20～40cm）　粗砂層	弥生土器	鉢	―/7.5/―	口縁～胴部片、色調は灰黄褐色
29		276	C2 003 遺構面　（GL―40cm）	弥生土器	鉢	―/―/―	口縁片、色調は褐灰色
29	22	277	C2 003 トレンチ4　（GL―20～40cm）　粗砂層	弥生土器	鉢	―/―/―	口縁片、内面に漆付着、
29	23	278	C2 003 ベルト　1層	弥生土器	甕	21.8/15.9/6.4	口縁一部欠損、色調はにぶい黄橙色
29		279	C2 003 トレンチ4南　1層	弥生土器	甕	23.4/17.2/8.0	口縁～底部片、外面の屈曲部にハケメの止めが残る、色調はにぶい橙色
29	23	280	C2 003 1層	弥生土器	甕	27.8/21.4/7.0	口縁の一部欠損、口縁内側の一部に丹塗りの痕跡、色調は橙色
29		281	C2 003 1層	弥生土器	壺	―/34.0/―	口縁片、内側は肥厚、色調はにぶい黄橙色
29		282	C2 003 1層中	弥生土器	壺	―/63.0/―	口縁片、大型の広口壺、口縁端部に刻み目、色調は橙色
30		283	C2 003 ベルト　1層	弥生土器	壺	―/―/―	口縁片、大型の広口壺、口縁端部に刻み目及び丹塗りの痕跡、口縁内面は粘土帯が剥離、色調は浅黄橙色
30		284	C2 003 1層	弥生土器	壺	―/―/―	口縁片、大型の広口壺、口縁端部にハケメ原体による鋸歯文、色調は灰白色
30		285	C2 003 1層中	弥生土器	大甕	―/―/―	口縁片、大型の広口壺、口縁端部にハケメ原体による刻み目、色調は明黄褐色
30		286	C2 003 1層	弥生土器	壺	―/―/―	口縁片、大型の広口壺、口縁端部に刻み目、色調は浅黄橙色
30		287	C2 003 1層中	弥生土器	大甕	―/―/―	口縁片、大型の広口壺、口縁端部にハケメ原体による刻み目、内側に断面三角形の突帯、色調は橙色
30		288	C2 003 1層	弥生土器	壺	―/―/―	複合口縁片、色調は灰白色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
30		289	C2 003 1層	弥生土器	壷	―/―/―	頸部片、断面台形の突帯が二条、突帯部分丹塗りの痕跡、色調はにぶい黄橙色
30	23	290	C2 003 1層	弥生土器	不明	―/―/―	突帯が巡る、突帯の下に円形の孔、色調はにぶい橙色
30		291	C2 003 1層中	弥生土器	器台	20.2/17.1/17.9	口縁～底部片、色調は橙色
30		292	C2 003 1層	弥生土器	支脚	―/7.6/―	口縁片、円形の穿孔、上面はタタキ、色調はにぶい黄橙色
30	23	293	C2 003 トレンチ4南　1層	弥生土器	蓋	1.8/―/10.0	口縁一部欠損、口縁付近に2個セットの穿孔が2か所、色調は明黄褐色
30		294	C2 003 トレンチ4南　1層	弥生土器	鉢	15.3/19.8/6.5	口縁～底部片、色調は橙色
30		295	C2 003 1層	弥生土器	鉢	6.0/9.6/4.8	口縁と底部の一部欠損、色調はにぶい黄橙色
30		296	C2 003 1層	弥生土器	鉢	―/―/―	口縁片、色調はにぶい黄橙色
30	23	297	C2 003 1層	弥生土器	ミニチュア土器	5.5/4.5/3.0	完形、壷形、色調はにぶい黄橙色
30		298	C2 003 遺構面　（GL―20cm）	弥生土器	ミニチュア土器	―/―/―	口縁欠損、手づくね、色調はにぶい橙色
30		299	C2 003 1層中	弥生土器	高坏	―/―/―	坏部片、色調は灰褐色
30		300	C2 003 1層	弥生土器	高坏	―/―/―	脚部、円形の透かし孔があり、色調は明黄褐色
31	23	301	C2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/―/6.6	口縁欠損、色調はにぶい橙色
31		302	C2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/―/8.5	底部片、色調はにぶい黄橙色
31		303	C2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/―/9.2	底部片、色調はにぶい黄橙色
31		304	C2 003 1層下層a群	弥生土器	壷	―/―/8.6	底部片、焼成後の穿孔あり、色調は橙色
31	23	305	C2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/―/8.5	底部片、焼成後の穿孔あり、色調は浅黄橙色
31		306	C2 003 1層下層a群	弥生土器	甕	―/―/9.0	底部片、焼成後の穿孔あり、色調はにぶい橙色
31	23	307	C2 003 1層下層a群	弥生土器	壷	―/29.0/―	口縁～胴部片、鋤先口縁、頸部に断面三角形の突帯、色調はにぶい黄橙色
31		308	C2 003 1層下層a群	弥生土器	壷	―/―/9.0	底部片、色調はにぶい橙色
31		309	C2 003 1層下層b群	弥生土器	甕	―/24.0/―	口縁片、色調は橙色
31		310	C2 003 1層下層b群	弥生土器	甕	―/24.0/―	口縁片、色調はにぶい黄褐色
31		311	C2 003 1層下層b群	弥生土器	甕	―/27.0/―	口縁片、色調はにぶい橙色
31		312	C2 003 1層下層b群	弥生土器	甕	―/34.0/―	口縁片、色調はにぶい黄橙色
31		313	C2 003 1層下層b群	弥生土器	甕	―/36.8/―	口縁片、外面に断面三角形の突帯、色調は橙色
31		314	C2 003 1層下層b群	弥生土器	甕	―/23.3/―	口縁～胴部片、色調はにぶい橙色
32		315	C2 003 1層下層b群	弥生土器	壷	―/26.4/―	口縁～頸部片、広口壷、色調は橙色
32		316	C2 003 1層下層C群	弥生土器	甕	―/36.4/―	口縁片、外面に断面台形の突帯、色調はにぶい黄橙色
32		317	C2 003 1層下層C群	弥生土器	甕	―/―/―	口縁片、外面に黒斑、色調はにぶい黄橙色
32		318	C2 003 1層下層C群	弥生土器	甕	―/―/7.6	底部片、色調はにぶい黄橙色
32		319	C2 003 1層下層C群	弥生土器	甕	―/―/5.6	底部片、色調は浅黄橙色
32		320	C2 003 1層下層C群	弥生土器	甕	―/―/5.2	底部片、色調はにぶい黄橙色
32		321	C2 003 1層下層C群	弥生土器	壷	―/19.8/―	口縁～頸部片、色調はにぶい黄橙色
32		322	C2 003 1層下層C群	弥生土器	壷	―/21.0/―	口縁～頸部片、色調は黄橙色
32		323	C2 003 1層下層C群	弥生土器	甕	―/―/8.5	胴部～底部、色調は褐灰色
32		324	C2 003 1層下層C群	弥生土器	蓋	―/―/4.8	口縁欠損、上面に丹塗りの痕跡、色調は浅黄橙色
32		325	C2 003 1層下層C群	弥生土器	高坏	―/―/―	脚部、外面に丹塗り、色調はにぶい橙色
32		326	C2 003 1層下層d群	弥生土器	鉢	―/18.0/―	口縁～胴部片、外面に丹塗りの痕跡、色調は浅黄橙色
32		327	C2 003 1層下層d群	弥生土器	甕	―/―/9.5	底部片、色調はにぶい黄橙色
32		328	C2 003 1層下層d群	弥生土器	甕	―/―/9.2	底部片、色調はにぶい黄橙色
33		329	C2 003 1層下層d群	弥生土器	壷	―/16.8/―	口縁片、袋状口縁、内外面に丹塗り
33		330	C2 003 1層下層d群	弥生土器	壷	―/―/―	口縁片、袋状口縁、外面に丹塗りの痕跡
33		331	C2 003 1層下層d群	弥生土器	壷	―/25.0/―	口縁～頸部片、頸部に断面台形の突帯、口縁の内側に丹塗りの痕跡、
33		332	C2 003 1層下層d群	弥生土器	鉢	17.4/24.7/8.7	口縁～底部片、底部に焼成後の穿孔
33		333	C2 003 1層下層d群	弥生土器	鉢	10.3/12.1/9.1	口縁～底部片、色調はにぶい褐色
33		334	C2 003 1層下層d群	弥生土器	器台	16.8/12.0/13.5	口縁～底部片
33		335	C2 003 1層下層d群	弥生土器	器台	14.0/9.7/11.3	口縁～底部片
33		336	C2 003 1層下層d群	弥生土器	器台	―/―/12.0	口縁欠損

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
33		337	C2 003 1層下層d群	弥生土器	高坏	―/34.7/―	口縁片、内外面に丹塗り
33		338	C2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/―	口縁片、外面に断面三角形の突帯、色調は浅黄橙色
33		339	C2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/57.8/―	口縁片、大型の広口壺、口縁外面にハケメ原体による刻み目、内側に断面三角形の突帯、色調はにぶい橙色
33	23	340	C2 003 1層下層	弥生土器	壺	13.5/12.1/6.8	口縁一部欠損、外面に丹塗り
33		341	C2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/9.6/―	口縁～胴部片、無頸壺、外面に丹塗りが一部残る、色調は橙色
33		342	C2 003 トレンチ4南　1層下層	弥生土器	壺	―/―/―	頸部片、刻み目を施した断面三角形の突帯、色調はにぶい黄橙色
33		343	C2 003 1層下層	弥生土器	壺	―/―/―	頸部片、刻み目を施した断面三角形の突帯、色調はにぶい黄橙色
33	23	344	C2 003 1層下層	弥生土器	鉢	8.3/13.1/6.4	口縁の一部欠損、口縁の内側に丹塗りの痕跡、色調は淡黄橙色
33	23	345	C2 003 1層下層	弥生土器	鉢	6.1/14.2/3.4	ほぼ完形、口縁端部に丹塗りの痕跡、色調は浅黄橙色
33		346	C2 003 トレンチ4南　1層下層	弥生土器	ミニチュア土器	4.1/6.8/3.0	口縁の一部を欠く、外面に丹塗りの痕跡、色調は灰白色
33	23	347	C2 003 1層下層	弥生土器	鉢	9.0/7.7/1.0	完形、色調はにぶい黄橙色
33		348	C2 003 1層下層	弥生土器	脚付鉢	―/―/12.2	脚部片、色調は黄橙色
33		349	C2 003 トレンチ4南　1層下層	弥生土器	蓋	―/―/―	円形の摘みがつく、色調は明褐灰色
33		350	C2 003 2層・1層下層d群	弥生土器	高坏	―/27.9/―	坏部、鋤先口縁、内外面に丹塗り
34		351	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/24.7/―	口縁～胴部片、色調はにぶい黄橙色
34		352	C2 003 トレンチ4南　2層上層	弥生土器	甕	―/27.3/―	口縁～胴部片、色調は橙色
34	23	353	C2 003 トレンチ4南　2層上層	弥生土器	甕	25.5/20.5/7.8	口縁と底部の一部欠損、色調はにぶい黄橙色
34		354	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/32.4/―	口縁～胴部片、内面に丹塗りの痕跡、色調はにぶい黄橙色
34		355	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/17.2/―	口縁～胴部片、胴部中位に穿孔、色調は橙色
34	24	356	C2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/18.1/―	口縁～胴部片、外面に断面三角形の突帯、胴部上半に隅丸方形の孔、外面の一部に丹塗りの痕跡、色調は橙色
34		357	C2 003 トレンチ南　2層上層	弥生土器	甕	―/―/8.0	口縁欠損、色調はにぶい橙色
34		358	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/9.2	胴部～底部片、色調は明褐灰色
34		359	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/9.3	胴部～底部片、色調はにぶい褐色
35		360	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/8.1	底部片、色調はにぶい黄褐色
35		361	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/9.5	底部片、色調は明黄褐色
35		362	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/9.2	底部片、色調はにぶい黄橙色
35		363	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/10.0	底部片、色調はにぶい黄橙色
35		364	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/7.9	胴部～底部片、色調は灰白色
35		365	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/5.9	底部片、色調はにぶい黄橙色
35		366	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/7.8	底部片、胴部下半に焼成後の穿孔、色調はにぶい黄橙色
35		367	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/7.7	底部片、胴部下半に焼成後の穿孔、色調はにぶい黄橙色、色調はにぶい黄褐色
35		368	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/8.0	底部片、胴部下半に焼成後の穿孔
35		369	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/8.6	底部片、胴部下半に焼成後の穿孔、色調はにぶい黄橙色
35		370	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/8.9	胴部～底部片、色調はにぶい黄橙色
35		371	B2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/8.0	底部片、底部に焼成前の穿孔
35		372	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/7.3	底部片、底部に焼成後の穿孔、色調はにぶい橙色
35	23	373	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/7./5	底部片、底部に焼成後の穿孔、色調はにぶい黄橙色
36		374	C2 003 トレンチ4南　2層上層	弥生土器	壺	―/49.8/―	口縁片、大型の広口壺、口縁端部に刻み目、外面に丹塗りの痕跡
36	24	375	C2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/21.6/―	口縁～胴部片、鋤先口縁、頸部に断面三角形の突帯、口縁と突帯に丹塗りの痕跡、色調はにぶい黄橙色
36		376	C2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/36.4/―	口縁～頸部片、鋤先口縁、頸部に断面台形の突帯、色調は黄橙色
36	24	377	C2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/23.2/―	口縁～胴部片、頸部に断面方形の突帯、色調は灰黄褐色
36		378	C2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/20.9/―	口縁片、鋤先口縁、色調は浅黄橙色
36		379	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/20.6/―	口縁～頸部片、鋤先口縁、外面と口縁内面に丹塗り
36		380	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	5.7/―/―	袋状口縁片、口縁下位に断面台形の突帯、外面に丹塗り
36		381	B2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/10.0/―	袋状口縁片、口縁下位に断面台形の突帯、外面と口縁内面に丹塗り
36		382	C2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/11.4/―	袋状口縁片、やや稜をもつ、口縁外面に丹塗りの痕跡、色調はにぶい橙色
36		383	C2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/11.7/―	袋状口縁片、外面に丹塗り
36		384	C2 003 2層上層	弥生土器	壺	―/6.9/―	袋状口縁片、頸は短い、色調は浅黄橙色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
36	24	385	C2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/19.0/ー	袋状口縁片、口縁外面の一部に丹塗りの痕跡、色調は橙色
36	24	386	C2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/13.2/ー	袋状口縁片、やや稜をもつ、外面と口縁の内側に丹塗り
36		387	C2 003 トレンチ4南 2層上層	弥生土器	壷	ー/23.3/ー	口縁～頸部片、袋状口縁、頸部に断面台形の突帯、色調は黄橙色
36		388	C2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/19.2/ー	複合口縁片、色調は浅黄橙色
36		389	C2 003 トレンチ4南 2層上層	弥生土器	壷	ー/20.5/ー	口縁～頸部片、袋状口縁、頸部に断面三角形の突帯、口縁外面に丹塗りの痕跡、色調は黄橙色
37		390	C2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/27.1/ー	口縁～頸部片、頸部に断面台形の突帯、色調は橙色
37		391	B2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/ー/ー	口縁と底部欠損、頸部と胴部に断面三角形の突帯、色調はにぶい橙色
37		392	C2 003 トレンチ4南 2層上層	弥生土器	壷	ー/23.0/ー	口縁～胴部片、口縁と胴部の一部に丹塗りの痕跡、色調は橙色
37		393	C2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/24.1/ー	口縁～胴部片、色調は灰白色
37		394	C2 003 2層上層	弥生土器	甕	ー/ー/7.8	底部片、色調は浅黄橙色
37		395	C2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/ー/7.0	胴部～底部片、外面に丹塗り
37		396	C2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/ー/ー	鋤先口縁片、端部に刻み目、内外面に丹塗り
37		397	C2 003 トレンチ4南 2層上層	弥生土器	壷	ー/ー/6.0	底部片、外面に丹塗り
37	24	398	C2 003 2層上層	弥生土器	器台	15.4/12.8/17.2	ほぼ完形、裾部に半円形の繰りこみ、色調はにぶい黄橙色
37	24	399	C2 003 トレンチ南 2層上層	弥生土器	器台	14.2/7.0/15.0	ほぼ完形、器面に指頭痕、色調は明褐灰色
38	24	400	C2 003 トレンチ4南 2層上層	弥生土器	器台	9.9/10.4/12.0	口縁一部欠損、色調は淡橙色
38		401	B2 003 2層上層	弥生土器	器台	10.5/10.1/9.7	ほぼ完形、色調は橙色
38	24	402	C2 003 2層上層	弥生土器	器台	10.9/9.2/11.2	ほぼ完形、色調はにぶい黄橙色
38	24	403	C2 003 2層上層	弥生土器	器台	11.5/9.2/10.4	口縁一部欠損、色調はにぶい黄橙色
38	24	404	C2 003 2層上層	弥生土器	器台	15.3/10.5/10.8	口縁一部欠損、色調はにぶい黄橙色
38	24	405	C2 003 2層上層	弥生土器	器台	16.2/10.2/13.1	口縁一部欠損、色調は浅黄橙色
38	22	406	C2 003 トレンチ4南 2層上層	弥生土器	器台	17.3/9.9/11.8	ほぼ完形、色調はにぶい黄橙色
38	24	407	C2 003 2層上層	弥生土器	器台	ー/ー/11.9	口縁欠損、色調はにぶい橙色
38		408	C2 003 2層上層	弥生土器	高坏	ー/ー/ー	坏部片、鋤先口縁、内外面に丹塗り
38	24	409	C2 003 トレンチ4南 2層上層	弥生土器	脚付鉢	15.7/17.0/10.4	口縁の一部欠損、色調は黄橙色
38	24	410	C2 003 2層上層	弥生土器	高坏	ー/13.7/ー	裾部欠損、鋤先口縁、丹塗りの痕跡、色調は明褐灰色
38		411	C2 003 2層上層	弥生土器	高坏	ー/ー/ー	坏～脚部、内外面に丹塗りの痕跡
38		412	C2 003 2層上層	弥生土器	高坏	ー/ー/16.1	脚部、外面に丹塗りの痕跡、色調は橙色
38		413	B2 003 2層上層・1層下層・ベルト（1層上層）	弥生土器	高坏	ー/ー/22.9	脚部片、裾部に3ヶ所円形の透かし孔、色調は赤橙色
38		414	C2 003 2層上層	弥生土器	高坏	ー/ー/14.7	脚部、色調はにぶい橙色
38	24	415	C2 003 2層上層	弥生土器	高坏	ー/ー/10.9	脚部、内外面に丹塗り
38		416	C2 003 2層上層	弥生土器	高坏	ー/ー/16.7	脚部、外面に丹塗りの痕跡、色調はにぶい黄橙色
38		417	C2 003 2層上層	弥生土器	高坏	ー/ー/14.2	脚部、色調は浅黄橙色
38		418	C2 003 2層上層	弥生土器	高坏	ー/ー/ー	坏と脚部の接合部分、色調は浅黄橙色
39		419	C2 003 2層上層	弥生土器	鉢	17.6/11.6/7.7	口縁一部欠損、底部に焼成後穿孔、色調はにぶい黄褐色
39	24	420	C2 003 2層上層	弥生土器	鉢	15.6/24.5/6.8	ほぼ完形、底部に穿孔、穿孔は外側から焼成後、内側は焼成前にくぼめている、色調はにぶい橙色
39	24	421	C2 003 2層上層	弥生土器	鉢	16.1/17.8/5.8	ほぼ完形、口縁内面に丹塗りの痕跡、色調はにぶい黄橙色
39		422	C2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/ー/8.0	胴部～底部片、色調はにぶい橙色
39	25	423	C2 003 2層上層	弥生土器	小壷	11.0/10.1/5.5	ほぼ完形、胴部上半に焼成後の穿孔、色調はにぶい黄橙色
39		424	C2 003 トレンチ4南 2層上層	弥生土器	甕（小）	ー/ー/6.6	口縁欠損、色調はにぶい橙色
39	25	425	C2 003 2層上層	弥生土器	鉢	7.9/12.9/4.8	ほぼ完形、色調はにぶい橙色
39	25	426	C2 003 トレンチ4南 2層上層	弥生土器	鉢	10.2/16.1/6.3	口縁の一部欠損、色調はにぶい黄橙色
39		427	B2 003 2層上層	弥生土器	壷	ー/17.0/ー	袋状口縁片、内外面に丹塗り
39		428	C2 トレンチ4 南（2層上層）	弥生土器	鉢	6.8/16.3/6.1	口縁～底部片、色調はにぶい橙色
39		429	C2 003 2層上層	弥生土器	鉢	7.5/10.6/5.5	口縁～底部片、輪積みの痕跡、色調はにぶい褐色
39	25	430	C2 003 2層上層	弥生土器	鉢	10.7/10.2/4.9	口縁一部欠損、色調は浅黄橙色
39		431	C2 003 2層上層	弥生土器	鉢	10.8/11.6/6.3	口縁～底部一部欠損、色調は黒褐色
39		432	C2 003 2層上層	弥生土器	ミニチュア土器	4.1/7.6/3.1	約1/2残存、色調はにぶい黄橙色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
39	25	433	C2 003 2層上層	弥生土器	ミニチュア土器	4.9/8.2/—	ほぼ完形、色調は褐灰色
39		434	C2 003 2層上層	弥生土器	ミニチュア土器	—/—/3.2	口縁欠損、色調は褐灰色
39	25	435	C2 003 2層上層	弥生土器	ミニチュア土器	—/—/3.8	口縁欠損、内側に丹塗りの痕跡、色調はにぶい黄橙色
39	25	436	C2 003 2層上層	弥生土器	脚付鉢	—/—/8.4	脚部、脚部の内側以外に丹塗り、色調はにぶい橙色
39	25	437	C2 003 2層上層	弥生土器	杓子形土製品	—/—/—	取手部分、色調はにぶい黄橙色
40		438	C2 003 2層	弥生土器	甕	—/29.6/—	口縁～胴部片、色調は黒褐色
40		439	C2 003 2層	弥生土器	甕	—/27.9/—	口縁～胴部片、色調は黒褐色
40		440	C2 003 2層	弥生土器	甕	—/24.4/—	口縁～胴部片、粗いハケメ、色調は黒褐色
40		441	C2 003 2層	弥生土器	甕	—/26.6/—	口縁片、色調は黒褐色
40	25	442	C2 003 トレンチ4南　2層	弥生土器	甕	—/—/—	口縁～胴部片、内面と口縁外面に丹塗り
40		443	C2 003 2層	弥生土器	壺	—/10.6/—	袋状口縁片、外面に丹塗りの痕跡
40		444	B2 003 2層	弥生土器	壺	—/17.6/—	袋状口縁片、やや稜がつく、色調はにぶい黄橙色
40		445	C2 003 トレンチ4南　2層	弥生土器	壺	—/18.6/—	口縁片、外面に断面台形の突帯、内面と口縁に丹塗りの痕跡
40		446	C2 003 ベルト　2層	弥生土器	壺	—/12.8/—	口縁～頸部片、袋状口縁、内外面に丹塗
40		447	B2 003 2層	弥生土器	壺	—/—/—	頸部～胴部片、色調は灰白色
40		448	C2 003 2層	弥生土器	壺	—/—/6.4	底部片、外面に丹塗り、色調はにぶい橙色
40		449	C2 003 2層	弥生土器	壺	—/—/—	底部片、外面に丹塗り、色調は黄橙色
40	25	450	C2 003 2層	弥生土器	壺	10.9/13.5/6.5	口縁一部欠損、色調は明黄褐色
40	25	451	C2 003 2層	弥生土器	壺	16.6/16.3/7.1	口縁一部欠損、外面に丹塗り
40	25	452	C2 003 ベルト　2層	弥生土器	器台	16.3/13.2/13.7	ほぼ完形、外面に指押の痕跡、色調はにぶい黄橙色
40		453	C2 003 トレンチ4南　2層	弥生土器	器台	16.6/9.8/11.6	口縁の一部欠損、色調はにぶい黄橙色
41		454	B2 003 2層	弥生土器	鉢	17.4/26.0/8.3	口縁一部欠損、底部に焼成前の穿孔、外面に丹塗り
41	25	455	C2 003 2層	弥生土器	鉢	12.2/17.0/7.5	口縁一部欠損、色調は浅黄橙色
41	25	456	C2 003 2層	弥生土器	鉢	18.1/18.0/8.3	ほぼ完形、外面ミガキ、外面に丹塗り
41	25	457	C2 003 2層	弥生土器	鉢	8.2/15.1/7.9	ほぼ完形、色調は浅黄橙色
41	25	458	C2 003 ベルト　2層	弥生土器	鉢	7.6/17.6/8.6	口縁～底部片、外面に丹塗り、色調はにぶい橙色
41		459	C2 003 トレンチ4南　2層	弥生土器	鉢	8.7/14.6/7.0	口縁～底部片、色調はにぶい橙色
41		460	C2 003 2層	弥生土器	鉢	7.6/15.0/5.0	口縁～底部片、器面はヘラミガキ、色調は灰白色
41		461	C2 003 2層	弥生土器	ミニチュア土器	5.5/6.3/3.2	ほぼ完形、色調は黄褐色
41		462	C2 003 2層	弥生土器	ミニチュア土器	2.8/4.8/2.8	ほぼ完形、色調は灰白色
41		463	C2 003 トレンチ4南　2層	弥生土器	ミニチュア土器	—/—/3.5	底部片、色調は浅黄橙色
42		464	D2 003 遺構面　（GL−40cm）	弥生土器	甕	—/25.0/—	底部欠損、色調は明黄褐色
42		465	D2 003 溝上面	弥生土器	甕	—/20.3/—	口縁～胴部片、内面の上位にケズリ、色調は橙色
42		466	D2 003 トレンチ　（GL−20cm）	土師器	甕	—/30.0/—	複合口縁片、山陰系、色調は灰白色
42		467	D2 003 トレンチ　（GL−20cm）	弥生土器	壺	—/34.7/—	複合口縁片、外面に丹塗り
42		468	D2 003 調査区南壁	弥生土器	甕	—/17.2/—	口縁～胴部片、色調は赤褐色
42		469	D2 003 トレンチ2　（GL−20～40cm）	弥生土器	器台	13.4/10.3/11.1	口縁～底部片、色調は橙色
42	25	470	D2 003 トレンチ　5層下面　GL−20cm	弥生土器	器台	9.2/8.9/9.9	ほぼ完形、色調は橙色
42	25	471	D2 003 遺構面	弥生土器	注口	—/—/—	注口部分、色調は橙色
42	25	472	D2 003 トレンチ　（GL−10cm）	弥生土器	注口	—/—/—	注口部分、色調は浅黄橙色
42		473	D2 003 トレンチ2　（GL−20～40cm）	弥生土器	鉢	7.5/11.0/—	口縁～底部片、色調は浅黄橙色
43		474	D2 003 5層下面	弥生土器	甕	—/24.2/—	口縁～胴部片、色調は浅黄橙色
43		475	D2 003 トレンチ　5層下面	弥生土器	壺	—/—/7.0	底部、丸底気味、色調はにぶい黄橙色
43		476	D2 003 トレンチ　5層下面	弥生土器	甕	—/26.2/—	口縁～胴部片、色調はにぶい黄橙色
43	26	477	D2 003 1層中	弥生土器	器台	17.5/13.5/12.6	口縁と底部の一部欠損、外面下半の一部に丹塗り、色調はにぶい橙色
43	26	478	B2 003 1層中	弥生土器	高坏	—/35.9/—	坏部、外面はミガキ、色調はにぶい橙色
43		479	D2 003 1層下層	弥生土器	甕	—/28.6/—	口縁片、口縁下外面に断面三角形の突帯、色調はにぶい黄橙色
43		480	D2 003 トレンチ1　1層下層	弥生土器	甕	—/25.5/—	口縁～胴部片、色調はにぶい黄橙色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
43		481	D2 003 トレンチ1　1層下層	弥生土器	甕	―/32.8/―	口縁～胴部片、口縁端部に刻み目、外面には断面三角形の突帯、調整は外面はタタキ後ナデ、色調はにぶい褐色
43		482	D2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/―	口縁片、口縁下外面に断面三角形の突帯、色調は淡橙色
44		483	D2 003 トレンチ1　1層下層	弥生土器	甕	24.3/15.9/6.7	約1/2残存、色調は灰黄褐色
44		484	D2 003 トレンチ1　1層下層	弥生土器	壷	―/―/7.9	底部片、内外面に丹塗り
44		485	D2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/8.1	底部片、色調はにぶい黄橙色、内面にスス付着
44		486	D2 003 1層下層	弥生土器	甕	―/―/9.0	底部片、色調はにぶい黄橙色
44		487	D2 003 1層下層	弥生土器	壷	―/19.6/―	口縁～頸部片、袋状口縁、頸部に断面三角形の突帯、色調はにぶい黄橙色
44		488	D2 003 1層下層	弥生土器	壷	―/―/―	大型の広口壷の口縁片、口縁端部に刻み目、色調はにぶい黄橙色
44		489	D2 003 1層下層	弥生土器	壷	―/5.6/―	小型の直口壷、色調は灰黄色
44		490	D2 003 トレンチ1　1層下層	弥生土器	壷	―/―/―	底部片、痕跡的な平底、色調は浅黄橙色
44		491	D2 003 1層下層	弥生土器	器台	9.8/6.8/10.3	口縁一部欠損、調整はタタキ後ナデ、色調は浅黄橙色
44		492	D2 003 1層下層	弥生土器	器台	10.9/9.1/9.5	口縁と底部の一部欠損、調整はナデ、色調は浅黄橙色
44	26	493	D2 003 1層下層	弥生土器	器台	8.8/8.7/8.9	口縁一部欠損、調整はナデ、色調は浅黄橙色
44		494	D2 003 1層下層	弥生土器	器台	―/―/11.8	口縁欠損、調整はナデ、色調はにぶい黄橙色
44		495	D2 003 1層下層	弥生土器	器台	―/―/11.2	上半を欠く、色調は灰白色
44		496	D2 003 1層下層	弥生土器	器台	―/―/10.8	口縁欠損、調整はナデ、色調はにぶい黄橙色
44	26	497	D2 003 1層下層	弥生土器	器台	9.0/7.6/10.2	底部一部欠損、調整はナデ、色調はにぶい黄橙色
44		498	D2 003 1層下層	弥生土器	高坏	―/―/―	脚部片、裾部に円形の透かし孔、色調は灰黄色
44		499	D2 003 1層下層	弥生土器	高坏	―/―/―	坏部～脚部片、内面に丹塗り、外面は磨滅
44		500	D2 003 トレンチ1　1層下層	弥生土器	鉢	―/20.4/―	約1/2残存、色調は灰白色
44	26	501	D2 003 1層下層	弥生土器	蓋	5.2/16.2/5.5	口縁一部欠損、器面は磨滅、色調は浅黄色
45		502	D2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/30.9/―	口縁～胴部片、口縁の屈曲部にハケメの止めの痕跡、色調はにぶい黄橙色
45		503	D2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/7.9	底部片、色調はにぶい黄橙色
45		504	D2 003 2層上層	弥生土器	壷	―/―/8.7	底部片、色調はにぶい黄橙色
45		505	D2 003 2層上層	弥生土器	甕	―/―/8/0	底部片、色調は明黄褐色
45		506	C2 003 2層	弥生土器	甕	―/―/―	胴部片、窓付、色調はにぶい橙色
45		507	D2 003 2層上層	弥生土器	壷	―/17.2/―	口縁～頸部片、口縁の内側に丹塗りが残る、色調はにぶい黄橙色
45		508	D2 003 2層上層	弥生土器	壷	―/17.5/―	口縁～頸部片、頸部に断面三角形の突帯、口縁の内側に丹塗りが残る、色調はにぶい橙色
45		509	D2 003 2層	弥生土器	壷	―/―/―	頸部片、外面に断面三角形の突帯、外面に丹塗り、突帯より下は丹がたれたよう
45		510	D2 003 2層上層	弥生土器	壷	―/―/―	頸部～胴部片、頸部に断面三角形の突帯、色調は浅黄橙色
45		511	D2 003 2層	弥生土器	器台	―/10.8/13.4	約1/2残存、色調はにぶい黄橙色
45		512	D2 003 2層上層	弥生土器	器台	10.7/9.1/12.0	ほぼ完形、調整はナデ、色調は浅黄橙色
45		513	D2 003 2層上層	弥生土器	器台	―/―/13.1	口縁欠損、色調はにぶい黄橙色
45		514	D2 003 2層	弥生土器	鉢	7.2/14.0/6.2	約1/2残存、内外面に丹塗り
45		515	D2 003 2層上層	弥生土器	鉢	10.5/20.3/6.7	口縁の一部欠損、色調は橙色
45		516	D2 003 2層上層	弥生土器	高坏	21.7/31.0/16.0	坏部と脚部の一部欠損、外面と口縁の内側に丹塗りが残る
46		517	003 NO、16	弥生土器	甕	―/28/―	口縁片、色調は黄橙色
46		518	003 NO.37	弥生土器	甕	24.3/20.4/9.6	底部欠損、色調はにぶい黄橙色
46		519	003	弥生土器	甕	―/26.2/―	口縁～胴部片、色調は黒褐色
46		520	003 NO、13	弥生土器	甕	―/―/7.6	底部片、色調はにぶい橙色
46		521	003 NO.3	弥生土器	甕	―/―/7.9	底部片、側面に焼成後の穿孔、色調はにぶい黄橙色
46		522	003 NO24	弥生土器	壷	―/40.6/―	口縁～胴部片、大型品、頸部付け根と胴部下半に断面台形の突帯が2条づつ巡る、色調は明褐灰色
46	26	523	003 NO、27―1	弥生土器	壷	―/19.0/―	口縁～頸部片、複合口縁、頸部に二条の断面三角形の突帯、色調は橙色
46		524	003 NO、26	弥生土器	壷	―/19.4/―	口縁～胴部片、複合口縁、頸部に断面三角形の突帯、色調は浅黄橙色
46	26	525	003 NO.2	弥生土器	壷	―/25.8/―	複合口縁片、頸部に断面三角形の突帯、色調は黄橙色
47		526	003 NO、13	弥生土器	壷	―/―/―	頸部～胴部片、頸部に断面台形の突帯
47	26	527	003 NO、10	弥生土器	甕	32.4/20.1/7.7	口縁欠損、色調は明黄褐色、口縁～胴部上半に黒斑
47	26	528	003 NO22	弥生土器	壷	10.4/5.6/5.3	小型の袋状口縁壷、調整はナデ、色調は灰色

出土遺物観察表

挿図(FIG.)	図版(PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量(器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ(cm))	特徴
47	26	529	003 NO、31	弥生土器	壷	12.0/11.1/5.1	無頸壷、口縁～底部片、外面と口縁内側に丹塗り
47		530	003 NO、27ー2	弥生土器	壷	ー/ー/ー	口縁片、内面に断面台形の突帯、色調はにぶい橙色
47		531	003 NO、21ー2	弥生土器	壷	ー/ー/ー	胴部片、色調はにぶい橙色
47		532	003 NO、34	弥生土器	壷	ー/ー/9	無頸壷の胴部～底部片、色調は灰色
47	26	533	003 NO、14	弥生土器	器台	8.6/8.6/9.7	完形、色調は明黄褐色
47		534	003 NO、15	弥生土器	器台	9.5/10.2/9.1	口縁一部欠損、色調は浅黄橙色
47	26	535	003 NO、12	弥生土器	器台	10.9/11.7/12.4	ほぼ完形、色調は浅黄橙色
47	26	536	003 NO、19	弥生土器	器台	ー/ー/12.5	口縁一部欠損、色調は浅黄橙色
47	26	537	003 NO.4	弥生土器	器台	16.6/12.7/12.6	完形、色調は黄橙色
47		538	003 NO、35	弥生土器	器台	17.3/12.2/14.5	ほぼ完形、色調は浅黄橙色
47	26	539	003 NO、9	弥生土器	器台	17.5/12.8/13.5	完形、色調はにぶい黄橙色
48	26	540	003 NO、32	弥生土器	器台	ー/ー/12.8	口縁一部欠損、色調は浅黄橙色
48	26	541	003 NO、30	弥生土器	器台	ー/15.8/ー	底部欠損、色調は橙色
48		542	003 NO、33	弥生土器	器台	ー/ー/12.4	口縁欠損、色調は黄橙色
48	26	543	003 NO、29	弥生土器	器台	ー/ー/12.7	口縁欠損、色調は浅黄橙色
48		544	003 NO、25	弥生土器	器台	ー/ー/13.7	口縁欠損、色調はにぶい黄橙色
48		545	003 NO、20	弥生土器	器台	ー/ー/6.1	口縁欠損、色調はにぶい黄橙色
48	26	546	003 NO、21ー1	弥生土器	高坏	ー/26.1/ー	坏部、内外面に丹塗り、脚部との接合部分にヘラ状工具の刻み
48		547	003 NO、36	弥生土器	高坏	ー/31.5/ー	坏部、内外面に丹塗り
48		548	003 NO、8	弥生土器	高坏	ー/ー/18.0	脚部、裾部に円形の透かし孔、色調はにぶい橙色
48		549	003 NO、11	弥生土器	高坏	ー/ー/21.4	坏部下半～脚部、裾部に円形の透かし孔、色調は浅黄橙色、外面に黒斑
48	26	550	003 NO、38	弥生土器	高坏	ー/ー/21	脚部、裾部の四方に円形の透かし孔、色調は明黄橙色
48		551	003 NO、1	弥生土器	高坏	ー/ー/14.2	脚部、色調は橙色
48		552	003 NO..7	弥生土器	高坏	ー/ー/19.6	脚部、色調は黄橙色
48		553	003 NO、5	弥生土器	高坏	ー/ー/ー	脚部、外面と坏部の内側に丹塗り
49		554	003 NO、18	弥生土器	高坏	ー/ー/19.5	脚部、色調は橙色
49	27	555	003 NO、11	弥生土器	高坏	ー/ー/17.8	脚部、裾部に円形の透かし孔、色調はにぶい橙色
49	27	556	003 NO、28	弥生土器	鉢	13.9/24.9/8.3	底部に焼成前の穿孔、色調は橙色
49		557	003 NO、6	弥生土器	鉢	13.6/22.9/7.2	底部に焼成前の穿孔、色調は橙色
49	27	558	003 NO、23	弥生土器	鉢	10.9/14.0/6.6	ほぼ完形、、口縁内側に一部丹塗り、色調はにぶい橙色
49	27	559	003 NO、17	弥生土器	鉢	6.6/13.4/6.5	完形、口縁内面と底部内面に一部丹塗り、色調はにぶい黄橙色
49	27	560	003	弥生土器	鉢	11.3/14.3/6.5	約3/4残存、色調は橙色
50		561	A3 遺構面 (GLー40cm)	弥生土器	壷	ー/ー/ー	口縁片、端部に鋸歯文、色調は浅黄色
50		562	A3 遺構面 (GLー40cm)	弥生土器	甕	ー/ー/ー	口縁片、受け口口縁、東海系、色調は黒褐色
50		563	A3 遺構面 (GLー40cm)	弥生土器	鉢	13.7/14.5/5.2	口縁一部欠損、色調はにぶい黄橙色
50	27	564	A3 トレンチ5 谷部包含層	土師器	甑	ー/ー/ー	底部片、底面に5個の円形の孔
50		565	A3 遺構面 (GLー40cm)	弥生土器	ミニチュア土器	4.8/6.0/2.3	ほぼ完形、手づくね、色調はにぶい黄橙色
50		566	A3 遺構面 (GLー40cm)	弥生土器	杓子形土製品	ー/ー/ー	把手部分、色調はにぶい黄橙色
50		567	A3 遺構面 (GLー40cm)	土製品	円盤状土製品	ー/ー/ー	1/3残存、色調はにぶい黄橙色
50	27	568	A3 遺構面 (GLー20cm)	楽浪土器	鉢	ー/ー/ー	回転横ナデ、色調は灰白色
50	27	569	B2 包含層	施釉陶器	水注		耳の部分、釉色は黒褐色
50		570	B2 遺構面	白磁	碗	ー/ー/5.4	底部片、釉色は灰白色
50		571	B2 遺構面	青磁	碗	ー/14.3/ー	口縁片、越州窯系青磁、釉色はにぶい黄色
50		572	B2 遺構面	青磁	碗	ー/17.6/ー	口縁片、越州窯系青磁、釉色はオリーブ灰色
50		573	B2 遺構面	青磁	碗		口縁片、越州窯系青磁、釉色はオリーブ黄色
50		574	B2 遺構面 (GLー20cm)	青磁	碗	ー/ー/9.1	底部片、越州窯系青磁、平底、見込みと底部に目跡、釉色は浅黄色
50	27	575	B2 トレンチ2 (GLー0～20cm)	青磁	碗	ー/ー/6.7	底部片、越州窯系青磁、上げ底気味、見込みと底部に目跡、釉色はオリーブ黄色
50		576	B2 遺構面	緑釉陶器	碗	ー/ー/6.9	底部片、蛇の目高台、釉がはげている、胎土は灰色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
50		577	B2 遺構面	青磁	碗	―/―/7.5	底部片、越州窯系青磁、輪状高台、見込みと底部に目跡、釉色はオリーブ黄色
50	27	578	B2 遺構面	緑釉陶器	碗	―/―/6.2	底部片、平底、釉色はオリーブ色、胎土は灰白色
50		579	B2 遺構面	青磁	碗		底部片、越州窯系青磁、釉色はオリーブ黄色
50	27	580	B2 包含層	緑釉陶器	碗	―/―/4.4	底部片、釉色はオリーブ色
50	27	581	B2 遺構面	緑釉陶器	皿	2.4/11.9/4.4	口縁～底部片、蓋の可能性あり、釉色はオリーブ色、胎土は灰白色
50		582	B2 遺構面	土師器	碗	―/―/7.5	底部片、ハの字形に開く高台、内黒、色調は黄橙色
50		583	B2 遺構面	土師器	碗	―/―/8.2	底部片、ハの字形に開く高台、色調はにぶい橙色
50		584	B2 遺構面	土師器	碗	―/―/8.4	底部片、ハの字形に開く高台、色調はにぶい黄橙色
50		585	B2 遺構面	土師器	碗	―/―/7.8	底部片、ハの字形に開く高台、色調は浅黄橙色
50		586	B2 遺構面	土師器	杯	―/―/8.4	底部片、切り離し不明、色調は橙色
50		587	B3 遺構面 （GL―40cm） 砂層	土師器	甕	―/―/―	胴部片、外面タタキ、色調は灰黄褐色
50		588	B2 遺構面	須恵器	蓋		天井部、扁平な宝珠摘みがつく、色調は灰白色
50		589	B3 遺構面 （GL―20cm）	須恵器	坏	―/―/8.3	底部片、高台付、色調は灰色
50		590	B2 遺構面	須恵器	壺	―/13/―	口縁片、色調は灰白色
50		591	B2 遺構面	須恵器	壺		頸部片、色調は灰褐色
51	27	592	B2 遺構面	須恵器	壺	―/14.7/―	口縁～胴部片、色調は灰色
51		593	B2 遺構面	須恵器	甕		胴部片、色調は灰白色
51	27	594	B3 遺構面 （GL―40cm～） 砂層）	須恵器	坏蓋	4.2/14.6/―	天井部～口縁片、天井部のほぼ全面に回転ヘラケズリ、口縁との境に稜、色調は暗灰色
51		595	B2 遺構面	須恵器	高坏		坏部か、外面に櫛描き波状文、色調は灰色
51		596	B4 遺構面 （黒色土）	弥生土器	甕	―/―/7.6	胴部～底部片、色調はにぶい褐色
51	28	597	B3 遺構面 （GL―20cm）	弥生土器	甑	―/―/―	底部片、中央に1個孔、色調は浅黄橙色
51		598	B3 遺構面 （GL―40cm）	弥生土器	鉢	―/―/5.3	底部片、底面に木の葉の圧痕、色調はにぶい黄橙色
51		599	B4 遺構面 （黒色土）	弥生土器	鉢	―/14.8/4.5	口縁～底部片、色調は橙色
51		600	B3 遺構面 （GL―40cm） 砂層	弥生土器	ミニチュア土器	―/―/3.2	口縁・底部欠損、色調は黒褐色
51		601	B4 遺構面 （黒色土）	弥生土器	高坏	13.7/14.5/11.0	口縁～底部片、色調はにぶい橙色
51		602	B3 遺構面 （GL―20cm）	弥生土器	把手	―/―/―	ジョッキ型土器などの把手か、色調は橙色
51		603	B4 黒色土～砂層	弥生土器	杓子形土製品	―/―/―	把手は欠損、色調はにぶい黄橙色
51		604	B2 遺構面 （GL―20cm）	弥生土器	注口	―/―/―	注口部分、色調は橙色
51		605	B3 遺構面 （GL―40cm） 砂層	土製品	円盤状土製品	―/―/―	土器片の周囲を打ち欠き、色調は灰黄褐色
51		606	B3 003 東岸盛土	弥生土器	甕	―/―/6.7	底部片、色調はにぶい黄橙色
51		607	B3 003（陸橋部）盛土	弥生土器	甕	―/―/7.6	底部片、色調はにぶい褐色
51		608	B3 003（陸橋部南側杭列）	弥生土器	甕	―/―/―	
52	28	609	C2 遺構面	青磁	碗	―/―/5.4	龍泉窯系青磁、底部片、高台内側は釉を掻きとり、釉色はオリーブ黄色
52		610	C2 遺構面	白磁	碗	―/12.2/―	玉縁口縁、|類、釉色は灰白色
52	28	611	C2 遺構面 （GL―20cm）	青磁	碗	―/―/5.6	底部片、越州窯系青磁、蛇の目高台、釉色はオリーブ黄色
52		612	C2 遺構面 （GL―20cm）	青磁	碗	―/―/7.7	底部、越州窯系青磁、輪状高台、釉色は灰オリーブ色
52	28	613	遺構面	青磁	碗	―/―/7.9	底部片、越州窯系青磁、輪状高台、釉色は灰オリーブ色
52	28	614	C2 遺構面 （GL―20cm）	青磁	碗		口縁片、越州窯系青磁、釉色は灰オリーブ色
52	28	615	C2 遺構面	白磁	碗	―/―/10.1	底部片、釉色は灰白色
52		616	C2 遺構面 （GL―20cm）	青磁	碗	―/―/7.6	底部片、越州窯系青磁、上げ底気味、見込みと底部に目跡、釉色はオリーブ黄色
52	28	617	遺構面	青磁	碗	―/―/7.5	底部片、越州窯系青磁、上げ底気味、見込みと底部に目跡、釉色はオリーブ黄色
52		618	C2・C1 地山上面（GL―0～10cm）	青磁	碗	―/―/10	底部片、越州窯系青磁、平底、見込みに目跡、釉ははげている
52		619	C2 遺構面	青磁	碗	―/―/―	越州窯系青磁、底部片、見込みと高台に目跡、
52		620	C2・C1 地山上面（GL―0～10cm）	青磁	碗	―/―/8.0	底部片、越州窯系青磁、平底、見込みと底部に目跡、釉色は灰白色
52		621	C2 遺構面	青磁	皿	―/―/―	口縁片、釉色は灰オリーブ色
52		622	C2・C1 地山上面（GL―0～10cm）	緑釉陶器	碗	―/―/7	底部片、回転糸切り、内面に若干釉がのこる、色調は灰白色
52		623	C2 遺構面 （GL―20cm）	土師器	碗	―/―/7.1	底部片、高台付、内黒、色調は橙色
52		624	遺構面	土師器	碗	―/―/7.9	底部片、高台付、色調はにぶい黄橙色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
52		625	遺構面	土師器	碗		底部片、高台付、色調は橙色
52		626	C2 遺構面	土師器	杯	―/―/7	底部片、色調は橙色
52		627	C2 遺構面	土師器	杯	―/―/6.9	底部片、底部はヘラ切り、色調は橙色
52		628	C2 遺構面	須恵器	蓋	―/―/―	天井部片、扁平の撮み、色調は灰白色
52		629	C2 トレンチ4 （GL―20cm）	須恵器	坏	3.8/11.5/8.2	口縁～底部、高台付、色調は灰白色
52		630	C2 遺構面	土師器	碗	―/―/8.3	底部片、高台付、色調は橙色
52		631	C2 遺構面 （GL―20cm）	須恵器	坏	―/―/10.3	底部、高台付、色調は灰白色
52		632	C2 遺構面 （GL―20cm）	須恵器	坏	―/―/9.6	底部、高台付、色調は灰色
52		633	C2 遺構面 （GL―20cm）	須恵器	坏	―/―/10.3	底部、高台付、色調は明褐灰色
52	28	634	C2 遺構面 （GL―20cm）	須恵器	坏	―/―/8	底部、高台付、高台の内側に「三太」銘墨書、色調は灰白色
52	28	635	C2 遺構面 （GL―20cm）	須恵器	壷		胴部片、肩部に扁平な把手、色調は灰色
52		636	C2 遺構面 （GL―20cm）	須恵器	甕	―/―/―	胴部片、内面がすり減っている、転用硯か
52		637	C2 遺構面 （GL―20cm）	土師器	甕		胴部片、外面にタタキ
52		638	C2 遺構面 （GL―20cm）	土師器	壷	―/16.2/―	口縁～胴部片、調整不明、色調は浅黄橙色
52		639	C2 遺構面	須恵器	坏身		口縁片、色調は灰色
52		640	C2 遺構面 （GL―20cm）	須恵器	坏身		胴部片、口縁欠損、色調は灰白色
52		641	C2 遺構面 （GL―20cm）	須恵器	ハソウ		胴部片、外面に櫛描き波状文、色調は灰色
52		642	C2 遺構面 （GL―20cm）	土製品	羽口	―/―/―	先端部片、l部溶融している、孔径3.2cm
53	28	643	C2 003 1層	楽浪土器	鉢	―/―/8.8	底部片、底面に糸切りの痕跡、色調は灰白色
53		644	C2 003 1層下層	楽浪土器	鉢		胴部片、色調は灰黄色
53	28	645	C2 トレンチ4 （GL―20cm）	三韓系土器	甕		胴部片、外面にタタキ、色調は灰色
53		646	C2 遺構面 （GL―40cm）	土師器	直口壷	―/14.6/―	底部欠損、調整はハケメ、色調はにぶい橙色
53		647	C2 遺構面 （GL―20cm）	土師器	壷	―/―/1.6	口縁欠損、痕跡的な平底、色調は橙色
53		648	C2 遺構面 （GL―20cm）	弥生土器	脚付鉢	―/―/16.1	脚部、色調は橙色
53		649	C2 遺構面 （GL―20cm）	弥生土器	脚付鉢	―/―/―	脚部、色調は黄橙色
53	28	650	C2 遺構面 （GL―20cm）	弥生土器	注口	―/―/―	径1.5cm程の注口付の土器、外面に丹塗りの痕跡
53	28	651	C2 遺構面 （GL―20cm）	弥生土器	支脚	10.3/9.5/12.4	沓型の支脚、ほぼ完形、色調はにぶい黄橙色
53	29	652	C2 遺構面 （GL―20cm）	弥生土器	支脚	10.1/7.1/11.9	沓型の支脚、ほぼ完形、色調は浅黄橙色
53	29	653	C2 遺構面 （GL―40cm）	弥生土器	?	―/―/―	半円形の縁りこみ、色調は橙色
53		654	C2 遺構面 （GL―40cm）	弥生土器	鉢	4.6/10.3/3.6	ほぼ完形、色調はにぶい黄橙色
53		655	C2 遺構面	弥生土器	ミニチュア土器	3.6/4.8/―	ほぼ完形、手づくね、色調は浅黄橙色
53		656	C2 遺構面	土師器	甑か	―/―/―	把手、色調は浅黄橙色
54		657	D2 遺構面 （GL―20cm）	白磁	碗	―/―/―	口縁片、釉色はオリーブ灰色
54		658	D2 検出面 （GL―20cm）	青磁	碗	―/16.0/―	越州窯系青磁、口縁片、釉色は明灰オリーブ色
54		659	D2 遺構面	青磁	碗	―/―/8.8	越州窯系青磁、底部片、見込みに目跡、釉色は明灰オリーブ色
54		660	D2 遺構面	陶器	碗	3.1/8.3/4.4	口縁～底部片、色調は灰白色
54	29	661	D2 遺構面 （GL―20cm）	緑釉陶器	碗	―/―/5.0	底部片、底部の切り離しは回転糸切り、釉色はオリーブ色、胎土は灰白色
54		662	D2 遺構面 （GL―20cm）	緑釉陶器	碗	―/16.7/―	口縁片、釉色は灰オリーブ色
54		663	D2 遺構面 （GL―20cm）	緑釉陶器	碗	―/―/8.7	輪状高台、底部の切り離しは回転ヘラケズり、釉色はオリーブ色、胎土は浅黄色
54		664	D2 遺構面 （GL―20cm）	緑釉陶器	皿	―/―/―	口縁片、釉色はオリーブ色、胎土は灰白色
54		665	D2 トレンチ （GL―0～14cm）	緑釉陶器	碗	―/―/5.3	輪状高台、見込みはミガキ、釉はほとんどはげている、胎土は灰白色
54		666	D2 トレンチ （GL―0～10cm）	土師器	碗	―/―/9.4	底部片、ハの字形に開く高台、色調は浅黄橙色
54		667	D2 遺構面 （GL―20cm）	土師器	碗	―/―/7.8	底部片、ハの字形に開く高台、色調は浅黄橙色
54		668	D2 遺構面 （GL―20cm）	土師器	碗	―/―/6.9	底部片、ハの字形に開く高台、色調は橙色
54		669	D2 003 調査区南壁	土師器	碗	―/―/7.5	底部片、ハの字形に開く高台、色調は橙色
54		670	D2 トレンチ （GL―10cm）	土師器	碗	―/―/7.6	底部片、ハの字形に開く高台、色調は黄橙色
54		671	D2 トレンチ （GL―0～10cm）	土師器	碗	―/―/7.6	底部片、ハの字形に開く高台、色調は橙色
54		672	D2 トレンチ （GL―0～10cm）	土師器	碗	―/―/8.2	底部片、ハの字形に開く高台、色調は橙色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
54		673	D2 検出面 （GL-20cm）	土師器	碗	ー/ー/8.7	底部片、ハの字形に開く高台、色調は橙色
54		674	D2 遺構面 （GL－20cm）	土師器	碗	ー/ー/9.6	底部片、ハの字形に開く高台、色調は灰白色
54		675	D2 遺構面 （GL－20cm）	土師器	碗	ー/ー/7.5	底部片、ハの字形に開く高台、色調はにぶい黄橙色
54		676	D2 遺構面	土師器	碗	ー/ー/9.3	底部片、ハの字形に開く高台、色調は橙色
54		677	D2 遺構面 （GL－20cm）	土師器	坏	2.8/12.8/6.6	口縁～底部片、底部の切り離し不明、色調は橙色
54		678	D2 遺構面	須恵器	坏	ー/ー/10.5	底部片、底部のやや内側に高台、色調は灰白色
54		679	D2 遺構面 （GL－20cm）	須恵器	坏	ー/ー/10.4	底部片、底部のやや内側に高台、色調は灰白色
54		680	D2 遺構面	須恵器	坏	ー/ー/10.5	底部片、底部のやや内側に高台、色調は灰白色
54	29	681	D2 遺構面	土製品	羽口	ー/ー/ー	両端を欠く、孔径2.1cm
54		682	B－D2 遺構面	須恵器	瓶	ー/ー/15.1	底部片、色調は灰色
54		683	D2 トレンチ （GL－0～10cm）	須恵器	坏身	ー/ー/12.0	口縁片、色調は青灰色
54		684	D2 遺構面 （GL－20cm）	須恵器	坏身	ー/ー/ー	口縁片、端部欠損、赤焼け、色調は浅黄橙色
54		685	D2 遺構面 （GL－20cm）	須恵器	坏身	ー/ー/10.8	口縁片、色調は明青灰色
54		686	D3 包含層（GL－20cm）	須恵器	杯身	ー/12/ー	口縁片、色調は灰色
54		687	D3 包含層（GL－20cm）	須恵器	壷		口縁片、外面に櫛描き波状文、色調は灰色
54		688	D2 遺構面 （GL－20cm、GL－40cm）	須恵器	壷	ー/ー/ー	口縁片、外面に櫛描き波状文、色調は青灰色
54	29	689	D2 トレンチ （GL－0～10cm）	陶質土器	高坏もしくは鉢	ー/ー/ー	把手、色調は黄灰色
54	29	690	D3 遺構面 （GL－20cm）	三韓系土器	甕	ー/ー/ー	胴部片、外面に細かい平行タタキとカキメ、色調は灰色
54		691	D3 遺構面 （GL－20cm）	三韓系土器	甕		胴部片、外面にタタキとカキメ、色調は灰色
54		692	D2 遺構面 （GL－20cm）	土師器	竈	ー/ー/ー	移動式の竈片、外面はタタキ後ハケメ、色調は黒褐色
54		693	D2 遺構面 （GL－20cm）	土師器	甕	ー/ー/ー	胴部片、外面は縦方向の平行タタキ、内面はヘラケズリ、色調は橙色
54		694	D2 遺構面 （GL－40cm）	土師器	甑	ー/ー/ー	把手、色調は浅黄橙色
54	29	695	D2 遺構面 （GL－20cm）	土師器	甑	ー/ー/ー	把手、色調は橙色
54		696	D2 溝上面	土師器	甑	ー/ー/ー	把手、棒状で直線的、色調は黄橙色
54		697	D2 包含層 （GL－0～30cm）	土師器	甕	ー/19.5/ー	口縁片、布留式、色調はにぶい黄橙色
54		698	D3 包含層（GL－20cm）	土師器	甕	ー/ー/ー	口縁、複合口縁、山陰系、色調は黒褐色
54		699	D2 遺構面 （GL－20cm）	土師器	高坏	ー/ー/ー	脚部、裾部に円形の透かし孔、色調はにぶい橙色
54	29	700	D2 遺構面 （GL－20cm）	弥生土器	支脚	ー/ー/12.8	底部一部欠損、沓型の支脚、色調は灰黄褐色
55	29	701	B2 003 1層下層	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は青灰色
55	29	702	D2 トレンチ	瓦	平瓦		側面残存、凸面A類タタキ、色調は灰色
55	29	703	C2 遺構面 （GL－20cm）	瓦	平瓦		側面残存、凸面A類タタキ、色調は青灰色
55	29	704	D2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面を残す、凸面A類タタキ、凹面剥離、色調は灰白色
55		705	B2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面A類タタキ、、色調は灰白色
55	30	706	C2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、端面付近はナデ、色調は明青灰色
55	30	707	B2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面A類タタキ、端部付近はナデ、色調は暗灰色
55		708	C2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は灰白色
55	30	709	C2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は灰白色
55	30	710	D2 遺構面 （GL－20cm）	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は灰色
55	30	711	D2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面を残す、凸面A類タタキ、色調は灰白色
56	30	712	C2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、凸面A類タタキ、凸面に粘土板の合わせ目、色調は灰白色
56		713	C2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、凸面A類タタキ、色調は灰白色
56		714	A2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面A類タタキ、色調は灰白色
56	30	715	B2 遺構面 包含層	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は灰白色
56		716	D2 トレンチ	瓦	平瓦		端面残存、凸面A類タタキ、色調は褐灰色
56	30	717	C2 遺構面 （GL－20cm）	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は赤灰色
56	30	718	B2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は灰色
56		719	D2 遺構面 （GL－20cm）	瓦	平瓦		側・端面残存、凸面A類タタキ、色調は灰黄褐色
56		720	B2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は灰白色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
56	30	721	D2 遺構面 （GL−20cm）	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は青灰色
56	31	722	B2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、凸面A類タタキ、色調はにぶい橙色
56	31	723	D2 遺構面 （GL−0〜20cm）	瓦	平瓦		側面残存、凸面A類タタキ、色調は灰黄褐色
57	31	724	B2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面B類タタキ、凹面に糸切り痕、色調は褐灰色
57	31	725	C2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面欠損、凸面B類タタキ、色調は灰白色
57		726	D2 003 2層上層	瓦	平瓦		側・端面欠損、凸面B類タタキ、色調は灰白色
57	31	727	C2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面B類タタキ、色調は明青灰色
57		728	C2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面B類タタキ、色調は灰白色
57	31	729	D2 遺構面 （GL−20cm）	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面B類タタキ、端面付近はナデ、色調は褐灰色
57		730	A2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面欠損、凸面B類タタキ、色調は灰白色
57	31	731	C2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面B類タタキ、色調は灰白色
57		732	A2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面B類タタキ、色調は灰白色
57		733	B2 003 1層下層	瓦	平瓦		端面残存、凸面B類タタキ、色調はにぶい橙色
57	31	734	D2 遺構面 （GL−20cm）	瓦	平瓦		端面残存、凸面B類タタキ、色調は灰白色
57	31	735	C2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面B類タタキ、色調は灰白色
57		736	C2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、凸面B類タタキ、色調は青灰色
58		737	B2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面ナデ、色調は灰白色
58		738	C2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面タタキ後ナデ、色調は暗青灰色
58		739	B2 003 ベルト 1層上層	瓦	平瓦		側面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ、色調は灰白色
58		740	B2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面ナデ、一部タタキがのこる、色調は灰色
58		741	B2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ後ナデ、色調は明青灰色
58		742	B2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面A類タタキ後ナデ、色調は灰白色
58		743	B2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面ナデ、一部タタキがのこる、色調は青灰色
58	31	744	B2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面A類タタキ後ナデ、色調は灰白色
58		745	B2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面ナデ、色調は灰白色
58		746	B2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面ナデ、色調は灰色
58		747	B2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面ナデ、色調は灰白色
58		748	C2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面ナデ、色調は灰白色
58	32	749	C2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面ナデ、凹面に粘土板の合わせ目、色調は灰白色
59	32	750	D2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面ナデ、色調は灰白色
59		751	D2 遺構面 （GL−20cm）	瓦	丸瓦		端面残存、凸面ナデ、凹面に粘土板の合わせ目、色調は灰白色
59		752	C2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面ナデ、色調は灰白色
59		753	D2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面ナデ、色調は褐灰色
59		754	C2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、凸面ナデ、色調は褐色
59		755	B2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面ナデ、凹面に粘土板合わせ目、色調は灰白色
59		756	B2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面ナデ、色調は灰白色
59		757	B2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面ナデ、色調は灰白色
59		758	C2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面ナデ、色調は暗青灰色
59		759	C2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、側面破面を残す、凸面ナデ、色調は灰色
59	32	760	C2 遺構面	瓦	平瓦		側・端面残存、凸面ナデ、色調は青灰色
59		761	D2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面縄目タタキか、色調はにぶい黄橙色
60	32	762	B2 遺構面	瓦	丸瓦		玉縁、凸面B類タタキ、色調は青灰色
60	32	763	A2 遺構面	瓦	平瓦		端面残存、凸面B類タタキ、色調はにぶい橙色
60		764	C2 遺構面	瓦	丸瓦		側面残存、側面破面残す、凸面B類タタキ後ナデ、色調は灰白色
60		765	C2 遺構面	瓦	丸瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面B類タタキ後ナデ、色調は青灰色
60		766	D2 遺構面	瓦	丸瓦		側・端面残存、凸面B類タタキ、端面付近はナデ、色調は灰色
60	32	767	D2 遺構面	瓦	平瓦		側面残存、側面破面を残す、凸面B類タタキ、色調は灰白色
60		768	C2 遺構面	瓦	丸瓦		側・端面残存、側面破面残す、凸面ナデ、色調は青灰色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
61	33	769	A3 遺構面 （GL−20cm）	石製品	石錘	6.4/3.5/2.7/77g	滑石、紡錘形、下端平坦、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
61	33	770	B4 遺構面 （黒色土）	石製品	石錘	4.2/1.8/17g	滑石、楕円形、長軸方向に溝が巡る
61	33	771	B2 遺構面	石製品	石錘	5.1/1.2/12.87g	ほぼ完形、長軸方向の1条の溝が巡る、滑石
61	33	772	B4 遺構面 （黒色土）	石製品	石錘	4.7/1.8/14g	滑石、楕円形、両端平坦、長軸と短軸方向に溝が巡る
61	33	773	D2 遺構面 （GL−20cm）	石製品	石錘	5.3/1.6/17.62g	一端を欠く、長軸と短軸に1条の溝が巡る、滑石
61	33	774	B2 003 2層	石製品	石錘	6.7/3.0/2.5/77g	滑石、楕円形、両端平坦、中位に1個穿孔、長軸方向に溝が巡る
61	33	775	B3 遺構面 （GL−40cm） 砂層	石製品	石錘	6.5/3.5/3.5/107g	滑石、紡錘形、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
61	33	776	C2 遺構面 （GL−20cm）	石製品	石錘	8.3/4.7/4.2/230g	滑石、紡錘形、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
61	33	777	D2 トレンチ 5層下面	石製品	石錘	10.0/4.1/3.9/161g	滑石、紡錘形、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
62	33	778	A3 003 トレンチ5 2層上面	石製品	石錘	6.2/1.3/17g	滑石、両端付近に溝が巡る
62	33	779	A3 003 2層	石製品	石錘	7.4/4.6/4.3/154g	滑石、紡錘形、下端平坦、下半に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
62	33	780	B3 遺構面 （GL−20cm）	石製品	石錘	7.4/4.0/2.5/98g	滑石、紡錘形、周縁欠損、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝、側面の片側に溝
62	33	781	B3 003 1層下層	石製品	石錘	6.5/4.2/3.8/123g	滑石、紡錘形、下端平坦、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	782	A3 003 2層	石製品	石錘	9.3/4.6/3.8/263g	滑石、紡錘形、両端平坦、下半に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	783	C2 遺構面 （GL−20cm）	石製品	石錘	10.3/4.3/3.4/239g	滑石、紡錘形、両端平坦、下半に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	784	A3 遺構面 （GL−40cm）	石製品	石錘	9.3/3.6/2.6/121g	滑石、紡錘形、下半に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	785	C2 遺構面	石製品	石錘	9.4/3.2/3.8/130g	滑石、紡錘形、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	786	D2 遺構面 （GL−20cm）	石製品	石錘	4.0/2.3/2.0/21g	滑石、下半部片、穿孔あり
63		787	B2 遺構面	石製品	石錘	3.0/3.4/0.7	滑石、穿孔と溝あり、石錘の欠損品か
64	33	788	B3 003 1層上面	石製品	石錘	8.2/3.6/2.8/133g	滑石、紡錘形、下端平坦、長軸側面に溝が巡る
64	33	789	D2 溝上面	石製品	石錘	10.4/5.0/3.3/246g	滑石、楕円形、長軸方向に溝が巡る
64	34	790	C2 遺構面 （GL−20cm）	石製品	石錘	9.2/3.7/4.9/220g	滑石、紡錘形、下端丸み、長軸側面に溝
64	34	791	B2 遺構面 （GL−20cm）	石製品	石錘か	9.3/6.0/5.1/314g	滑石、下半部欠損、成形途上での欠損品か
64	34	792	B2 003 1層下層	石製品	石錘	9.5/4.2/3.2/186g	滑石、未製品、紡錘形、未研磨
64	34	793	B2 トレンチ2 （GL−40〜50cm）	石製品	石錘	7.0/4.3/3.5/133g	滑石、未製品、紡錘形、未研磨
64	34	794	B2 遺構面	石製品	石錘か	8.0/5.0/2.9/162g	滑石、成形途上の未製品か
65	34	795	C2 003 2層上層	石製品	石包丁	6.1/4.7/0.7	約1/3残存、穿孔あり、凝灰岩
65	34	796	C2 003 2層上層	石製品	石包丁	5.6/4.3/0.7	約1/3残存、穿孔あり、安山岩
65	34	797	D2 003 2層	石製品	石包丁	4.6/3.8/0.6	約1/3残存、凝灰岩
65	34	798	A3 003 1層下層	石製品	石包丁	5.1/3.6/0.6	約1/3残存、穿孔あり、片岩
65	34	799	D2 003 1層中	石製品	石包丁	5.9/4.0/1.2	約2/3残存、穿孔あり、凝灰岩
65	34	800	B2 003	石製品	石包丁	5.1/3.8/0.4	約1/3残存、穿孔あり、粘板岩
65	34	801	C2 トレンチ4 （GL−0〜20cm）	石製品	石包丁	4.7/5.2/0.8	約1/3残存、穿孔あり、凝灰岩
65	34	802	C2 遺構面	石製品	石包丁	5.2/4.2/0.7	約1/3残存、穿孔あり、凝灰岩
65	34	803	A〜B3 遺構面	石製品	石包丁	4.7/4.0/0.9	約1/3残存、穿孔あり、凝灰岩
65	34	804	遺構面	石製品	石包丁	3.5/3.5/0.7	約1/4残存、凝灰岩
65	34	805	B2 遺構面	石製品	石包丁	4.2/4.6/0.6	約1/3残存、穿孔あり、凝灰岩
65	34	806	A3 遺構面 （GL−40cm）	石製品	石包丁	4.0/3.1/0.5	2次加工品か
65	34	807	A〜B3 遺構面	石製品	石包丁	7.2/3.1/0.5	2次加工品か
66	34	808	B2 003 2層	石製品	紡錘車	4.6/0.6/23.62g	滑石
66	34	809	B2 003 2層上層	石製品	紡錘車	4.4/0.6/18.33g	滑石
66	35	810	C2 003 トレンチ4南 2層	石製品	紡錘車	5.3/0.8/16.70g	半分欠損、滑石
66	35	811	C2 003 トレンチ4南 2層上層	石製品	紡錘車	3.9/0.6/21.48g	滑石
66		812	B2 003 1層下層	石製品	紡錘車	4.9/0.8/38.06g	滑石
66	35	813	B3 003 1層	石製品	紡錘車	3.7/0.4/13.31g	滑石
66	35	814	C3 トレンチ6	石製品	紡錘車	4.5/0.6/18.53g	滑石
66	35	815	D2 トレンチ （GL−40cm）	石製品	紡錘車	4.4/0.6/17.63g	周縁欠損、滑石
66	35	816	D2 遺構面 （GL−20cm）	石製品	紡錘車	4.9/0.6/30.57g	滑石

出土遺物観察表

挿図(FIG.)	図版(PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量(器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ(cm))	特徴
66	35	817	A3 003 遺構面 (GL−40cm) 1層上層	石製品	紡錘車	5.9/1.0/31.93g	半分欠損、滑石
66	35	818	B4 黒色土〜砂層	石製品	紡錘車	4.8/0.6/26.27g	滑石
66	35	819	遺構面	石製品	紡錘車	5.4/0.6/35.52g	滑石
66	35	820	B2 遺構面 (GL−10cm)	石製品	紡錘車	4.0/0.8/23.04g	滑石
67	35	821	D2 003 2層	石製品	紡錘車	4.1/0.7/19.93g	未製品、穿孔途中、周縁欠損、滑石
67	35	822	B2 遺構面 (GL−10cm)	石製品	紡錘車	4.3/0.6/25.26g	未製品、穿孔途中、滑石
67	35	823	C2 003 ベルト 2層	石製品	紡錘車	5.3/1.0/54.54g	未製品、滑石
67	35	824	A3 003 1層上面	石製品	紡錘車	5.1/1.0/47.18g	未製品、未研磨、周縁欠損、滑石
67	35	825	C2 003 トレンチ4南 2層	石製品	紡錘車	5.0/0.8/35.45g	未製品、未研磨、滑石
67	35	826	C3 トレンチ6	石製品	紡錘車	3.8/1.0/23.62g	未製品、滑石
67	35	827	A〜B3 遺構面	石製品	紡錘車	4.2/0.8/23.05g	未製品、未研磨、周縁欠損、滑石
67	35	828	B3 遺構面 (GL−40cm) 砂層	石製品	紡錘車	4.9/0.5/25.32g	未製品、周縁欠損、滑石
67	35	829	B3 遺構面 (GL−40cm)	石製品	紡錘車	3.8/0.8/16.36g	未製品、周縁欠損、滑石
67	35	830	B2 003 1層中	石製品	紡錘車	5.6/4.0/0.7	滑石、未製品か
68	36	831	B2 遺構面	石製品	石斧	14.1/9.0/5.9	玄武岩、敲打成形の欠損品
68	36	832	C2 003 ベルト 2層	石製品	石斧	12.0/8.0/5.0	玄武岩、粗成形の欠損品か
68		833	D2 トレンチ 5層下面	石製品	石斧	13.3/8.8/6.0	玄武岩、粗成形の欠損品か
68	36	834	B2 遺構面	石製品	石斧	18.8/6.2/4.1	玄武岩、敲打成形の未製品
68	36	835	D2 遺構面 (GL−20cm)	石製品	石斧	13.0/7.6/4.0	玄武岩、敲打成形の未製品
68	36	836	D2 003 2層	石製品	磨製石斧	12.0/8.8/3.2	玄武岩、刃部のみ研磨
69		837	B2 遺構面	石製品	石斧か	7.3/6.5/1.4	刃部、基部を欠く
69		838	D2 遺構面 (GL−20cm)	石製品	石斧	10.0/7.4/2.4	玄武岩、粗成形の欠損品か
69	36	839	C2 遺構面 (GL−20cm)	石製品	磨製石斧	7.6/4.7/1.4	刃部一部欠損、玄武岩
69	36	840	C2 トレンチ4 5層下層溝 (−10cm)	石製品	敲き石	16.5/6.3/5.4	玄武岩
69	36	841	D2 遺構面 (GL−20cm)	石製品	敲き石	12.5/5.4/3.2	玄武岩
69	36	842	C2 遺構面 (GL−20cm)	石製品	敲き石	13.5/5.6/4.1	玄武岩
69	36	843	C2 遺構面 (GL−20cm)	石製品	敲き石	13.7/5.7/4.6	滑石
69	36	844	C2 003 トレンチ4南 2層	石製品	叩き石	9.4/5.0/6.0	
69		845	B2 遺構面	石製品	敲き石?	6.8/3.4/2.2	玄武岩
69	36	846	D2 遺構面 (GL−20cm)	石製品	敲き石	7.8/7.5/6.9	玄武岩
69		847	C2 トレンチ4 (GL−0〜20cm)	石製品	敲き石?	6.6/6.2/5.3	玄武岩
70		848	C2 トレンチ4 (GL−0〜20cm)	石製品	敲き石	11.0/7.4/4.2	玄武岩
70		849	C2 遺構面 (GL−20cm)	石製品	敲き石	11.7/7.7/4.6	玄武岩
70		850	D2 遺構面 (GL−40cm)	石製品	敲き石	21.5/9.5/7.0	玄武岩
70		851	C2 003 トレンチ4南 2層	石製品	砥石	16.4/11.4/8.5	砂岩
70		852	B2 003 1層下層	石製品	不明	5.9/1.5/0.7	碧玉、玉の素材か
70	36	853	B2 003 1層下層	石製品	凹石	8.2/9.9/4.6	凝灰岩
71		854	C2 トレンチ4 (GL−0〜20cm)	石製品	打製石斧	11.7/6.2/2.0	玄武岩
71	36	855	C2 003 トレンチ4南 2層	石製品	石斧	14.9/7.8/2.9	撥形、未製品、玄武岩
71	36	856	B2 003 1層下層	石製品	二次使用削片	9.4/5.7/1.5	周縁調整剥離
71		857	D2 遺構面 (GL−20cm)	石製品	加工削片	6.6/5.0/1.5	安山岩
71		858	C2 トレンチ4 (GL−0〜20cm)	石製品	打製石斧	17.0/8.1/2.7	玄武岩
72		859	A3 003 2層	土製品	土玉	2.0/2.0/7.63g	色調はにぶい黄橙色
72		860	C2 003 トレンチ4南 2層上層	土製品	土玉	2.0/2.0/7.64g	色調は浅黄橙色
72		861	C2 003 1層下層	土製品	土玉	1.85/1.95/6.74g	色調は灰白色
72		862	C2 003 1層下層	土製品	土玉	1.6/1.6/4.6g	色調は灰白色
72		863	B2 003 1層 (GL−30cm)	土製品	土玉	2.0/2.0/8.0g	色調は灰黄褐色
72		864	B2 トレンチ2 (GL−0〜20cm)	土製品	土玉	−/−/−	径1.8cm、色調はにぶい黄橙色

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
72		865	B3 遺構面（GL−20cm）	土製品	土玉	1.9/1.9/−	色調はにぶい黄橙色
72		866	D2 003 2層	土製品	投弾	4.1/2.2/18.68g	色調はにぶい黄橙色
72		867	B1 地山上面（GL−0〜10cm）	土製品	土錘	7.2/3.1/3.5/66g	丸みを帯びた管状、弥生時代のものか
72	36	868	D2 トレンチ4（GL−0〜10cm）	土製品	土錘	−/−/−	端部欠損、径2.1cm、色調は灰白色
72	37	869	トレンチ4 東部 暗灰色砂上面（GL−15cm）	石製品	勾玉	1.7/0.6/0.5	硬玉製
72	37	870	トレンチ3 溝上面（GL−30cm）	石製品	管玉	0.6/0.3	碧玉製
72	37	871	C2 遺構面（GL−20cm）	ガラス製品	管玉	1.2/0.45	
72	37	872	C2 003 1層下層	ガラス製品	小玉	0.3/0.3/0.7	
72	37	873	B2 1層（GL−30cm）	ガラス製品	小玉	0.5/0.5/0.3	
72	37	874	C2 003 トレンチ4 1層下層	ガラス製品	小玉	0.4/0.4/0.2	
72	37	875	C2 溝上面	銅製品	銅鏃	4.4/0.8/0.3	有茎柳葉式銅鏃
72	37	876	C2 遺構面（GL−20cm）	銅製品	銅鏃	3.1/0.7/0.3	有茎柳葉式銅鏃
72	37	877	C2 遺構面（GL−20cm）	銅製品	銅鏃	4.2/0.8/0.3	有茎・有稜柳葉式銅鏃
72	37	878	D2 遺構面（GL−40cm）	銅製品	銅鏃	5.5/1.3/0.3	有茎・有稜柳葉式銅鏃
72	37	879	C2 003 トレンチ4南 2層	石製品	磨製石鏃	8.5/1.8/0.6	完形、柳葉形、安山岩
72	37	880	C3 遺構面（GL−40cm）	銅製品	鋤先	3.5/5.1/1.7	刃部片
72		881	B2 003 1層下層	鉄製品	不明	5.0/6.6/0.8	鉄斧片か
72		882	A2 遺構面	鉄製品	不明	5.3/4.0/0.8	鉄斧片か
72		883	A〜B3 遺構面	鉄製品	不明	4.7/4.2/0.8	鉄斧片か
73	37	884	B3 003 トレンチ2（GL−0〜20cm）	鉄製品	斧	10.6/8.0/3.0	鋳造鉄斧、ほぼ完形、袋部付近に2条の突帯
74	37	885	B2 遺構面	銅製品	印章	2.3/2.6/2.0/34.1g	杏葉形の紐、印面には寶」銘
75	38	886	B2 003 ベルト 2層	木製品	平鍬	29.9/18.8/2.1	広鍬、方形柄孔、片面に段
75	38	887	C2 003 NO75	木製品	平鍬	34.4/18.1/1.7	広鍬、方形柄孔、片面に段
75	38	888	A3 003 2層	木製品	平鍬	28.1/9.3/1.5	狭鍬、方形柄孔
75	38	889	B2 003 2層	木製品	二又鍬	41.7/8.6/2.0	半分欠損、方形柄孔
75	38	890	C2 003 2層	木製品	三又鍬	42.8/16.2/1.9	完形、方形柄孔
75	38	891	C2 003 トレンチ4 2層	木製品	鍬	8.1/4.6/1.4	柄孔の部分
75	38	892	C2 003 2層	木製品	三又鍬	28.5/11.3/2.0	柄孔と刃の一部が欠損、方形柄孔
76	38	893	003 NO55	木製品	えぶり	34.0/13.0/1.2	刃の一部が欠損、方形柄孔
76	38	894	C2 003 トレンチ4南 2層	木製品	えぶり	32.6/11.6/1.2	刃の一部が欠損、方形柄孔
76	38	895	003 NO71	木製品	鋤	80.8/13.8/2.5	ほぼ完形
76	38	896	C2 003 トレンチ4南 2層	木製品	杓子状木製品	24.5/7.8/1.0	柄の部分欠損
76		897	C3 003 遺構面 （GL−40cm〜）	木製品	杓子状木製品	46.8/4.9/1.2	柄の部分欠損
76	38	898	C2 003 2層	木製品	杓子状木製品	47.8/7.0/1.0	ほぼ完形
76	38	899	003 NO26	木製品	杓子状木製品	57.5/6.9/1.8	杓子の部分欠損
76	38	900	D2 003 遺構面 （GL−40cm〜）	木製品		66.5/10.4/5.3	
77	38	901	B2 003 2層	木製品	棍棒状木製品	42.6/3.7/4.1	完形、中位でくびれる、先端・側面に敲打や擦り減りは見られない
77	38	902	003	木製品	棍棒状木製品	40.6/3.9/3.7	完形、中位でくびれる、先端・側面に敲打や擦り減りは見られない
77	38	903	C2 003 ベルト 2層	木製品	棍棒状木製品	38.8/3.8/3.6	片側が欠損、中位でくびれる、先端・側面に敲打や擦り減りは見られない
77	38	904	C3 003 トレンチ4南 2層	木製品	棍棒状木製品	24.0/3.2/2.8	片側が欠損、中位でくびれる、先端・側面に敲打や擦り減りは見られない
77	38	905	C3 003 トレンチ6	木製品	銛	32.0/1.7/1.7	完形、一端をとがらせる
77	38	906	C2 003 2層上層	木製品	銛	29.4/1.6/1.6	一端を欠く、先端はとがらせ、段がつく
77		907	C2 003 2層	木製品	銛	31.0/2.7/1.9	一端を欠く、先端はとがらせる
77	39	908	C2 003 2層上層	木製品	弓	16.6/6.2/4.5	丸木弓、弓弭の一端を欠く
77	39	909	003 NO69	木製品	弓	54.2/1.3/1.1	丸木弓、弓弭の一端を欠く
77	38	910	C2 003 トレンチ4南 2層	木製品	斧柄	52.5/ /	完形、未製品か
77	38	911	C2 003 トレンチ4南 2層	木製品	斧柄	11.2/ /	台部、柄は欠損
77	38	912	C2 003 トレンチ4南 2層	木製品	柄	15.6/3.2/3.2	911と同一か

出土遺物観察表

挿図（FIG.）	図版（PL.）	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量（器高/口径/底径・長さ/幅・厚さ（cm））	特徴
77	40	913	A3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	柄	40.0/4.9/1.8	鎌の柄か、一端を欠いている
77	39	914	003	木製品	柄	42.8/2.8/2.1	先端を両側から削る
77		914	D2 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	経打具	53.3/5.2/1.5	一端を欠く、断面楔形
77	40	916	C3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	木包丁	22.9/3.6/0.65	半月形、直線部分が尖る
78	38	917	C2 003 2層	木製品	杓子状木製品	38.8/15.4/1.4	完形、多角形の板に柄がつく、先端に向かって細くなる
78	39	918	C3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	杓子	8.9/8.8/1.5	柄は欠損
78	39	919	D2 003 2層	木製品	杓子	24.9/5.1/1.2	杓子の部分欠損
78	39	920	D3 003 遺構面南西隅（GL−40cm〜）	木製品	コップ型容器	4.4/5.5/5.8	未製品、周囲は成形済、内側の刳りぬきは未完成
78	39	921	D3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	ジョッキ型容器	3.8/4.5/4.4	未製品、把手を削りだし、内側の刳りぬきは未完成
78	39	922	D3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	ジョッキ型容器	7.0/9.5/10.0	完形、やや歪んでいる、把手には孔はない
78	39	923	C3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	把手	9.0/3.2/3.4	容器の把手か
78	40	924	D2 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	把手	7.6/3.1/2.1	容器の把手か、表面に赤漆を塗布
78	39	925	D3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	容器	27.3/5.5/ /高さ6.1	組合せ式の筒状容器、片側は欠損
78	40	926	B4 003 黒色〜砂層	木製品	容器	7.8/7.7/1.0	漆塗りの筒状容器の底板、周囲に段がつく、留め穴は見られない、前面に黒漆、側面には3条の赤い細線が巡る
78		927	B3 003 2層	木製品	高坏	8.3/ /	杯部〜脚部片、杯部はあまり広がらない、漆の塗布は見られない、
78	39	928	B2 003 2層東岸	木製品	容器	25.8/14.5/2.1	完形、片側に突起がつく、把手付きの盤か
79	39	929	D2 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	槽	45.0/21.4/0.8	底部が欠損しているが、ほぼ全形がわかる、両側に把手がつく、把手には互い違いに段、内面には仕切りが削りだされる、外底面には2個の脚
79	39	930	A3 003 2層	木製品	容器	45.0/2.5/1.0〜2.0	断面台形で、上面に楕円形の窪み、摺りこぎ等による摩滅かは不明
79	39	931	B2 003 2層	木製品	槽	39.0/20.7/1.0/高さ4.0	片側が欠損、把手付き、側面には段が削り出される
79	39	932	B2 003 2層東岸	木製品	槽	55.0/14.0/0.8	片側が欠損、把手付き
79	39	933	A3 003 2層	木製品	槽	15.5/15.6/1.0	片側が欠損、把手付き
79	39	934	B2 003 2層東岸	木製品	槽	80.0/12.8/1.0/高さ8.0	片側が欠損、把手付き
80	40	935	C3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	案	17.3/4.2/0.7	脚部、片側に楕円形の刳りこみ、差し込み部分の孔は欠損
80	40	936	C3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	案	23.8/4.5/0.9	脚部、差し込み部分の孔は不明
80	40	937	D3 003 トレンチ1（GL−40cm〜）	木製品	案か	29.7/3.5/1.1	片側に刳りこみ、案の部品か
80	40	938	B2 003 2層	木製品	脚	14.9/6.6/5.4	組合せ式の案や槽の脚か、丸木材の片側を削り出し、先端に方形の孔
80	40	939	C3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	脚	9.4/7.4/3.0	組合せ式の案や槽の脚か、板状の素材の先端を丸く加工、片側に円形の孔
80	40	940	A2 003 2層	木製品	椅子	40.0/10.0/−/21.8	椅子もしくは脚付の盤か、脚の片側、脚に二か所方形の透かし孔、脚の外側は透かし孔の下を方形に窪める
80	40	941	D2 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	不明	15.1/7.5/2.7	片側を半月形に削りだす、組合せて使用するものか
80	40	942	D2 003 2層	木製品	不明	15.4/ /	丸木の一端にほぞ孔をあけ、板を差し込む
80	40	943	003	木製品	不明	13.2/7.4/0.5	平面形台形に加工した薄い板材、先端に楕円形の孔
80	40	944	A2 003 2層	木製品	不明	24.4/13.7/1.0	平面形五角形に加工した薄い板材、両端に孔
80	40	945	C2 003 遺構面南東隅（GL−40cm〜）	木製品	不明	31.5/8.4/1.5	片側に方形の孔、一方は薄く加工しており、鍬などでは薄過ぎか
80		946	B2 003 2層	木製品	柄の留め具	21.2/2.8/2.7	完形、鍬の柄の留め具
80		947	C2 003 2層	木製品	柄の留め具	18.0/3.1/	片側欠損、鍬の柄の留め具
80	40	948	D3 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	不明	14.6/2.5/1.5	片側に頭部削り出し、木釘か
80	40	949	D2 003 遺構面（GL−40cm〜）	木製品	部材	38.0/2.9/4.6	角材の2か所にほぞを切る
80	40	950	D2 003 2層	木製品	部材	37.0/3.6/1.8	先端に刳りこみを入れ、小孔を穿つ、組合せの部材
80	40	951	C2 003 NO74	木製品	部材	32.5/2.6/2.7	片側に斜め方向の切り込み、差し込みのための孔の可能性あり
80	40	952	D2 003 2層	木製品	鍬か	55.3/11.4/1.7	方形の孔が1ヶ所、狭鍬の未製品か

4. 小結

今回の調査では本遺跡を巡る環濠の一部を検出し、環濠の陸橋を確認できた。このことは集落構造を考える上で重要な成果と考えられる。環濠の東側には水田が予測されるが、今回の調査では確認することができなかった。環濠以外の遺構は検出できなかったが、古代の包含層が上面を覆っている状況から、後世の撹乱による削平が及んだと考えられる。古代の遺物には瓦や輸入陶磁器、印章、製鉄関連遺物等があり、一般集落のものとは考えにくいものが出土しており、古代の時期の遺跡についても注目される。それではこれまでの調査成果を踏まえながら、本遺跡の概要を簡単に纏める。

1）環濠について

今回の調査では延長約 35 m分の環濠を確認した。本調査地点は環濠の東端に当たる。環濠の時期は中期末～後期初頭に掘削され､後期後半まで続いたものと考えられる。この溝は更に北側に延びて、三菱電機福岡工場の西側を抜けていくと考えられる。工場内では溝の延長は確認されていないが、今宿小学校の北側に位置する第 1 次調査で弥生時代の溝が確認されている。この溝は環濠の一部で北端を示すものと考えられる。南端については第 9 次調査で確認されており、台地の落ち際に環濠が掘られている。西側については大塚 11 次調査地点を経て、北側に折れて、第 11 次調査地点に連なる。第 11 次調査地点でも台地の落ち際に環濠が掘削されている。溝はこの調査区の中ほどで途切れており、北側の延長は確認されていない。北西側は後背湿地に縁に近い場所に当たり、この部分は環濠が途切れている可能性がある。これらの成果を総合すると、環濠は以下のような内容となる。

①環濠の平面形は部分的に外側に張り出す楕円形を呈し、規模は南北長約 270 m、東西長約 200 mを測る。環濠の北西側は途切れている。東側には 1 ヶ所陸橋がつく。集落の入り口に当たるものか。

②環濠は台地の落ち際に掘削されており、掘削の時期は弥生時代中期末～後期初頭と考えられる。溝には各調査地点で多量の土器が廃棄されており、それらの時期から概ね後期後半には埋没していったと考えられる。

③環濠には水が流れた痕跡があり、流路としての機能も持っていたと考えられる。西側の第 12 次調査では環濠に連結する井泉が検出されており、井泉からあふれた水は環濠から下流に流れ込み構造になっている。東側でも第 10 次調査、第 13 次調査で流木を含む木製品が多量に出土していることや陸橋の周囲に杭列を打ちこんで流水に備えていることからも流路としての機能が認められる。

④環濠の内部の集落構造は整理中であり、今後の報告書を待ちたいが、円形の周溝状遺構がいくつ検出されており、その性格が注目される。

⑤出土遺物には農具や漁労具等が多量に出土しており、農耕や漁労活動への従事していた一方で、鋳造鉄斧や貨泉、銅鏡等の大陸の金属製品、楽浪系土器や三韓系土器等の半島の土器といった搬入品の存在は伊都国の対外交渉を担っていたことを示すものとしてみなすことことができよう。

⑤これまでに糸島地域では全容がわかる弥生時代の環濠の検出例はなく、その性格が注目される。今宿五郎江遺跡は糸島地域では東端にあたる場所に位置し、今津湾の出入り口に面し、早良平野との境界に位置するという交通の要衝にあることから、対外関係から成立した政治的、軍事的性格の強い環濠集落と見ることができよう。

2）出土遺物について

今回の調査では 800 ㎡程の調査で 600 箱を超える遺物が出土した。その大半は弥生土器である。

弥生土器は中期末から後期後半の時期のもので、大半は後期に属する。いくつか土器の特徴を列記すると、甕の胴部に隅丸方形の窓がつくものが一定量見られる。窓は焼成前からあけられており、窓付きの土器の用途があったと考えられる。また、甕の底部穿孔のものも一定量見られるが、焼成前に穿孔を施したものがある。それについても当初から底部穿孔の土器を求めていたと言えよう。

出土した土器には他地域からの搬入品が見られる。量は少ないが、西部瀬戸内、中部瀬戸内、東海等の地域の土器が出土している。また、楽浪系土器や三韓系土器等の半島からの土器も出土している。特に楽浪系土器は本遺跡では 9 ～ 12 次の各地点で数点から十数点出土している。また、大塚遺跡 12 次でも出土しており、環濠を中心とした地点での集中が見られる。器形は鉢形のものが大半で、他の機種はほとんどないという傾向にある。

金属製品ではこれまで中国製貨幣や鏡、青銅製鋤先などが出土しているが、その中でも銅鏃の出土量は多い。第 13 次調査でも 4 点が出土した。一方で、鉄製品は鋳造鉄斧が 1 点出土したが、これ以外のものはほとんどなく、器種に偏りが見られる。

木製品は農具（平鍬、三又鍬、エブリ等）、工具（斧柄）、狩猟具（銛、弓）、紡織具（経打具）、容器（槽、コップ形容器、組合せ式容器、漆器等）、案（脚）、椅子等が出土した。第 12 次調査出土の木製品の様相に近いが、楯や短甲といった武具は出土していない。容器は刳り抜きの槽が数点出土した。槽には両側に把手が付き、内底面には中央で分割するための突起をもつものも見られる。外面に赤い細線が巡る漆塗りの容器の底も出土した。また、案の脚と考えられるものも数点出土した。

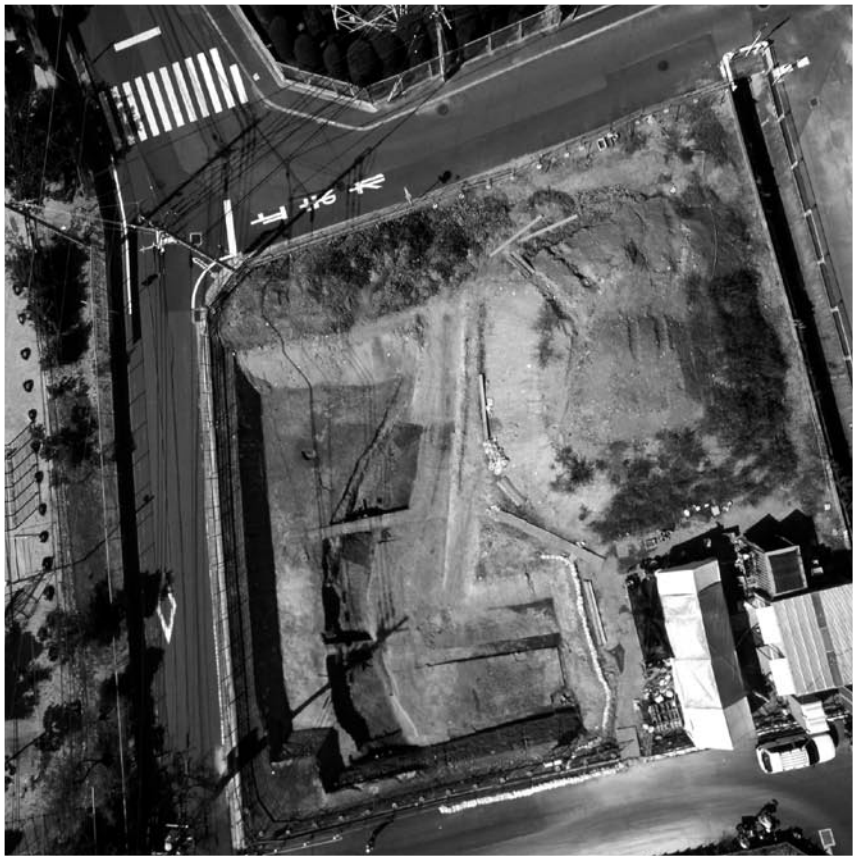
古代の遺物では銅製の印が 1 点出土した。紐は莟形を呈し、印面には「寶」の 1 字が鋳だされる。形態から私印と考えられる。古代の印はこれまで元岡・桑原遺跡群で「酒」と記した土製の印が出土している。また、鴻臚館跡では「開」と記した石製の印が出土している。「寶」銘の印は伝世品であるものの、出土例は初めてである。関連資料として「寶」の印を押した須恵器が斎宮跡で出土している。「寶」の意味については名前や文字通り宝であった等が考えられるが、確定できない。これ以外の文字資料では「三太」銘の墨書土器が出土した。

この他、今回の調査では瓦が多数出土した。瓦は平瓦、丸瓦のみで、軒瓦は含まれない。瓦の特徴は元岡・桑原遺跡群の 1 号瓦窯跡で出土したものに類似する。時期的には 9 世紀から 10 世紀に位置付けられるものと考えられる。これらの瓦は鴻臚館跡でも出土しており、それらの関連が注目される。今回の調査では古代の遺構は検出されていないが、この地域には古代官道や大宰府主船司等が想定されており、これらの瓦類や輸入陶磁器、製鉄関連遺物等がどう位置付けられるかが注目される。

今宿五郎江・大塚遺跡調査地点合成図（白線は環壕）

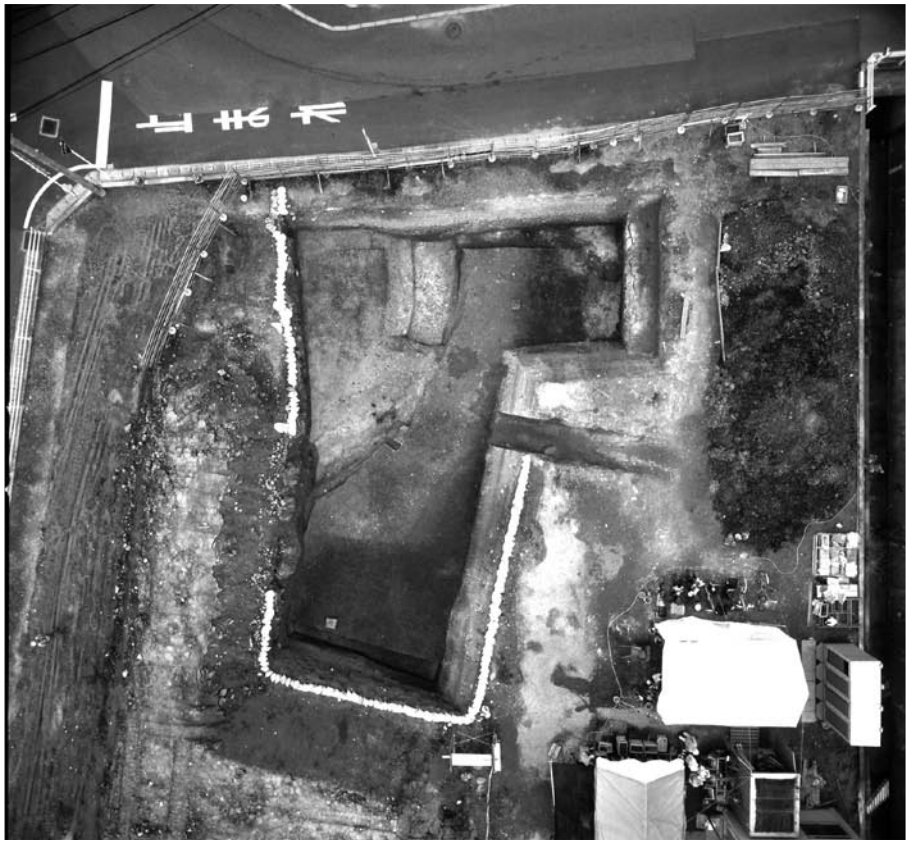
調査区遠景（南から）

1　Ⅰ区調査区全景（東から）

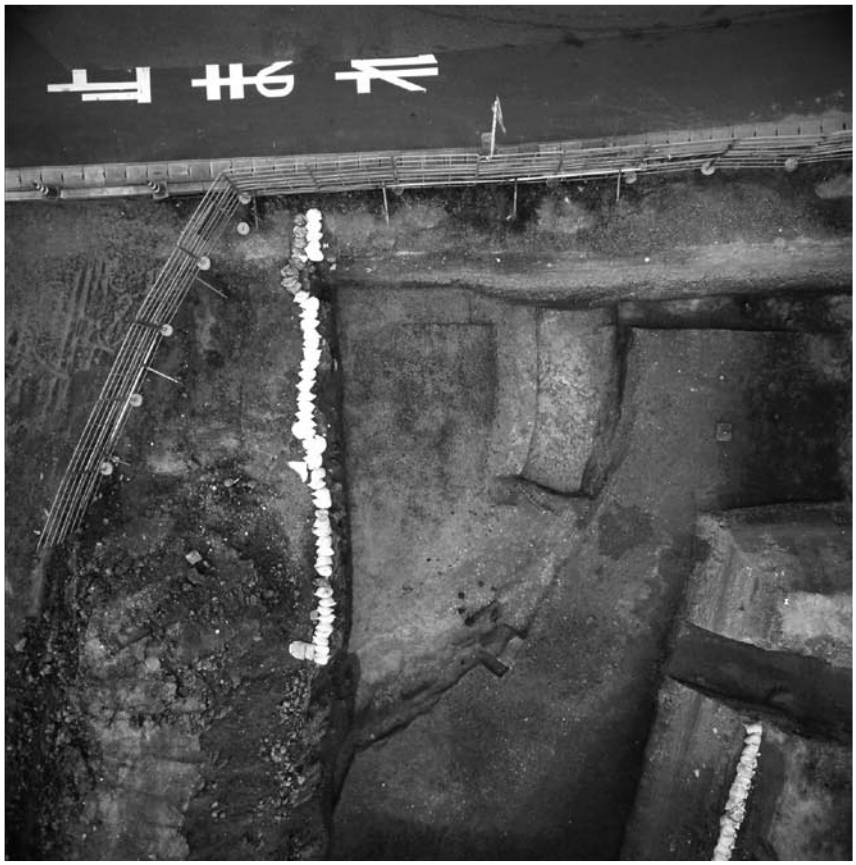


2　Ⅰ区調査区全景 （南から）

1　Ⅱ区調査区全景（東から）



2　Ⅱ区調査区全景（南から）



1　Ⅰ区調査区SD003完掘（南から）

2　Ⅱ区調査区SD003完掘（南から）

1　調査区西側掘り下げ風景 （南から）

2　SD003 1層下層遺物出土状況2（南から）

1　SD003 1層下層遺物出土状況1（南から）

2　SD003 1層下層遺物出土状況4（南から）

3　SD003 1層下層遺物出土状況3（南から）

4　SD003 1層下層遺物出土状況5（北から）

5　SD003 1層下層遺物出土状況6（東から）

6　B2区SD003 1層下層袋状口縁壺出土状況（東から）

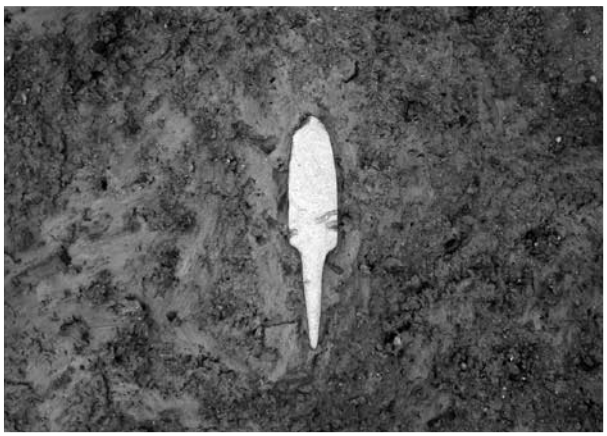
7　C2区遺構面ガラス玉出土状況（西から）

8　C2区遺構面（GL－20㎝）銅鏃出土状況（北から）

1　銅印出土状況（南から）

2　SD003トレンチ2鋳造鉄斧出土状況（南から）

3　トレンチ2石錘未製品出土状況（南から）



4　C2区SD003トレンチ4南磨製石鏃（南から）

5　C2区SD003トレンチ4南磨製石斧（南から）

6　トレンチ4勾玉出土状況（南から）

7　B2区SD003鹿角出土状況（東から）

8　B2区SD003鹿角出土状況（北から）

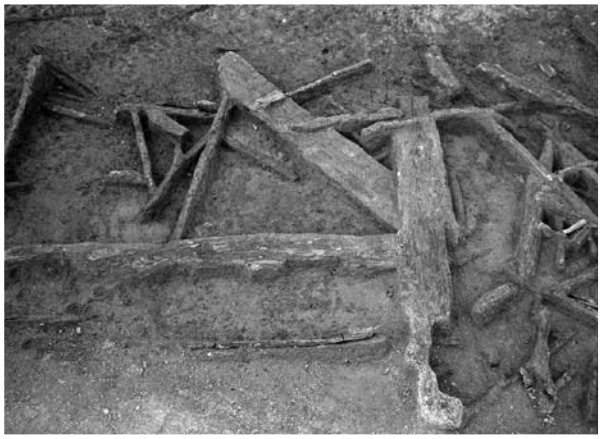
1　C2区SD003木製品出土状況（南から）

2　C～D2区SD003木製品出土状況（南から）

1　SD003木製品出土状況（南から）

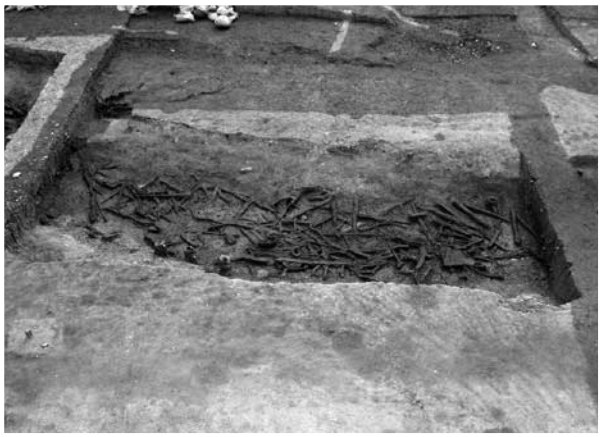
2　C2区SD003木製品出土状況（南から）

3　C2区SD003木製品出土状況（東から）



4　C2区SD003木製品出土状況（東から）

5　C～D2区SD003木製品出土状況（西から）



6　C2区SD003木製品出土状況（西から）

7　C2区SD003木製品出土状況（東から）

8　C2区SD003木製品出土状況（東から）

1　B2区SD003木製脚出土状況（東から）

2　C2区SD003鍬出土状況（南から）

3　C2区SD003鋤出土状況（東から）

4　C2区SD003トレンチ4南斧柄出土状況（東から）

5　C2区SD003羽子板状木製品出土状況（北から）

6　C2区SD003三又鍬出土状況（西から）

7　C2区SD003三又鍬出土状況（東から）

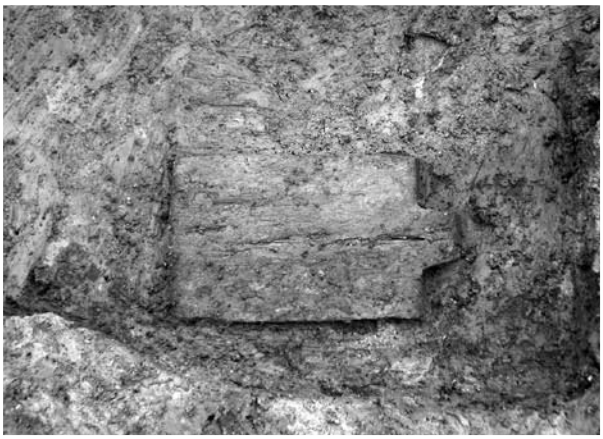
8　B2区SD003東岸木製品だまり（南から）

1　B2区SD003不明木製品出土状況（東から）

2　C2区SD003柄出土状況（西から）

3　B2区SD003東岸木製品出土状況（南から）

4　C2区SD003杓子状木製品出土状況（西から）



5　B2区SD003盤出土状況（東から）

6　D2区SD003樋出土状況（東から）

7　C2区SD003土層ベルト（南から）

8　D2区SD003南壁土層（北から）

1　SD003完掘（南から）

2　D3区遺構面杭出土状況（南から）

1　A3区SD003鹿角出土状況（北から）

2　A3区SD003木製品出土状況（北から）

3　A3区SD003イノシシ顎出土状況（東から）

1　A3区SD003木製品出土状況（南から）

2　A3区SD003木製品出土状況（北から）

1　A3区SD003杭列出土状況（西から）

2　A3区SD003杭列立ち割り（南から）

3　A3区SD003木製椅子出土状況（西から）

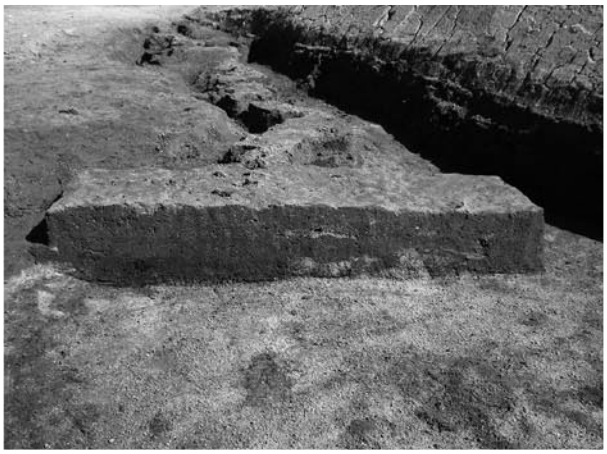
1　A～B区SD003完掘（南から）

2　A～B区SD003完掘（南から）

1　A～B区SD003完掘（東から）

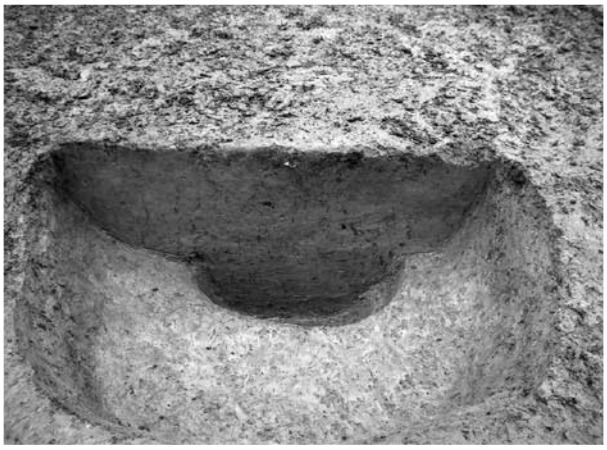
2　A3区SD003陸橋部（西から）

3　A3区SD003外側足跡検出状況（東から）

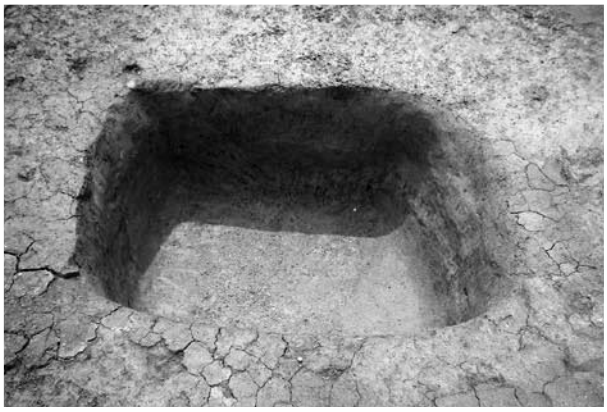


4　A3区SD003外側土層堆積（南から）

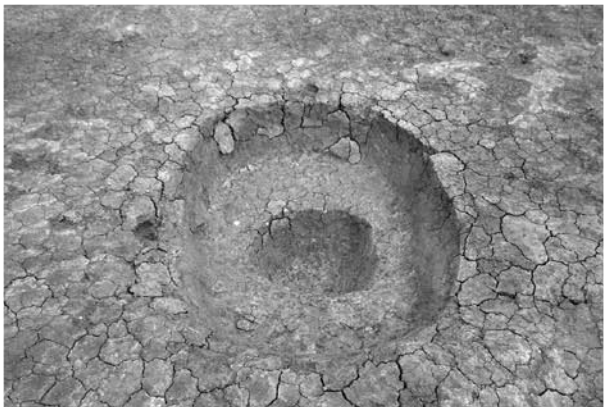
5　SK001土層堆積（西から）



6　SK002土層堆積（南から）



7　SK001完掘（北から）



8　SK002完掘（南から）

1

2

3

13

17

20

19

30

34

36

41

43

44

45

46

47

49

52

64

66

遺物写真1

80

71

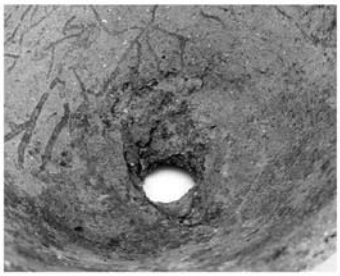
80

81

82

83

101



86

106

108

107

111

112

113

116

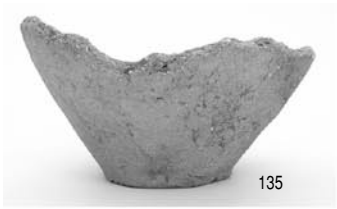
128

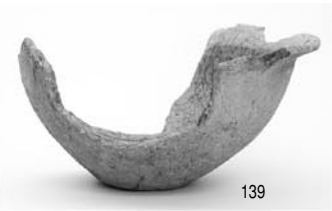
129

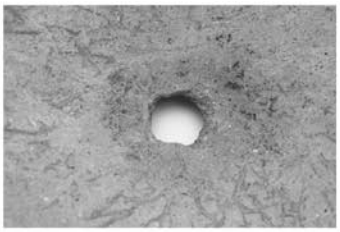
131

132

遺物写真2


135


139



141

140

143

144

146

160

164

169

180

202

176

177

178

171

遺物写真3

179

182

183

187

188

192

193

194

195

196

197

198

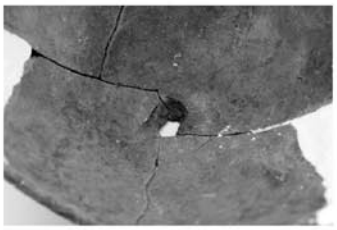
199

200

203

207

215


216

220

223

遺物写真4

218

226

227

228

229

230

231

232

235

236

242

246

247

256

263

406

267

269

270

271

遺物写真5

274

277

278

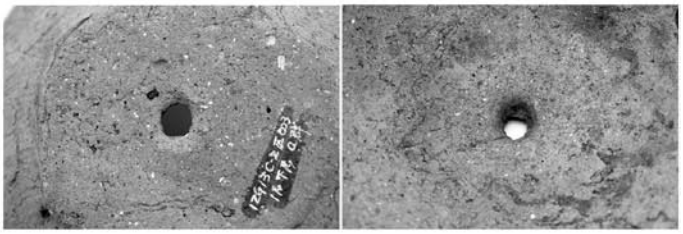
280

290

293

297

301



307

340

344

347

345

353

遺物写真6

356

375

397

385

386

398

399

400

402

403

404

405

407

409

410

415

420

421

遺物写真7

423

425

426

430

436

429

433

435

446

450

451

452

455

458

456

457

462

470

471

472

遺物写真8

477

478

493

497

501

523

525

528

529

527

533

535

536

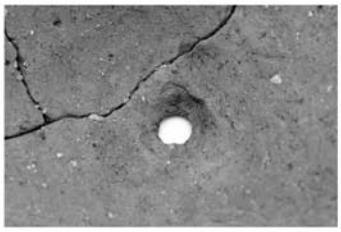
537

539

540

541

542

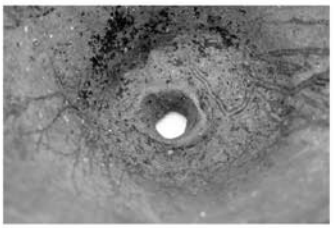


546

遺物写真9

550

556



558

559

560

562

564

568

575

569

578

580

581

592

594

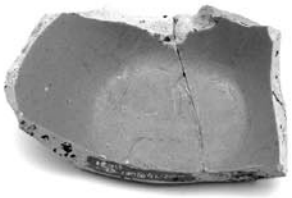
遺物写真10

597

609

614

611



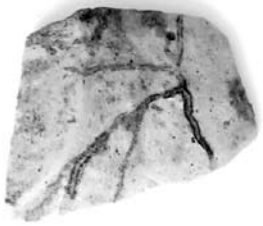
613

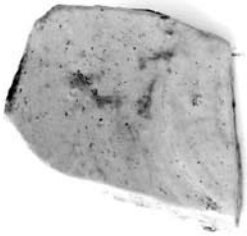
615

617

634

635


642



645

650

651

652

653

661

681

689

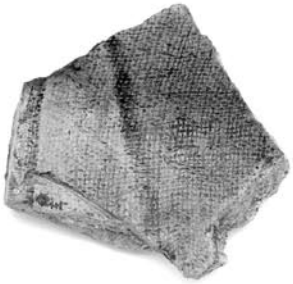
690

695

700

701

702



703

704

遺物写真12

706

707

709

710

711

712

715

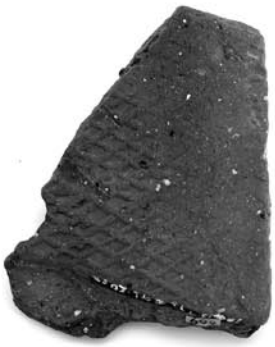
717

718

721

722

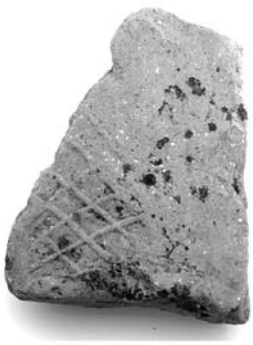
723



724

725

727


729

731

734

735

744

遺物写真14

749

750

761

762

763

767

769

770

771

772

773

774

775

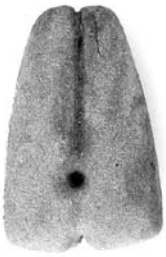
776

777

778

779

780


781

782

783

784

785

786

788

789

遺物写真16

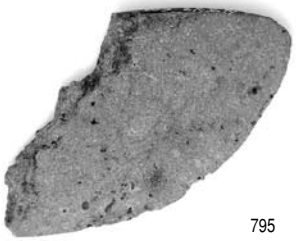
790

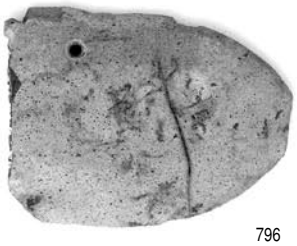
791

792

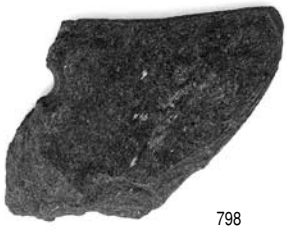
793

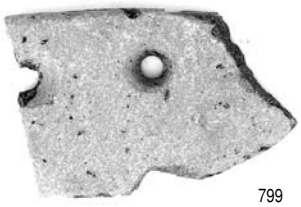
794


795


796

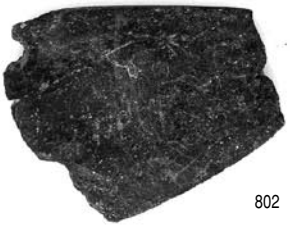
797

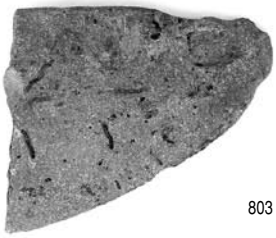

798


799

800

801


802

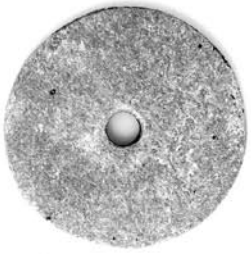

803

804

805

806

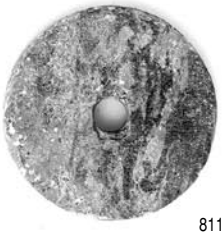
807

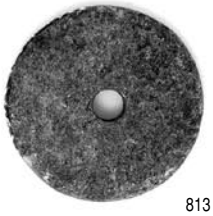

808

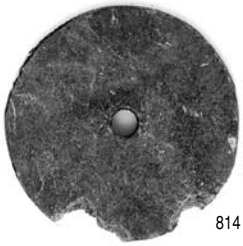
809

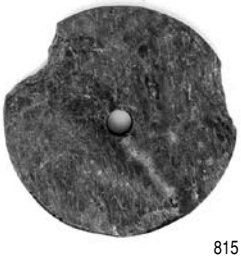
遺物写真17

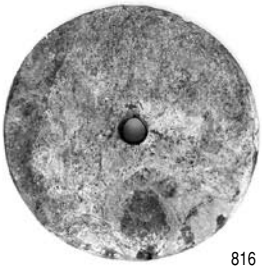
810


811


813

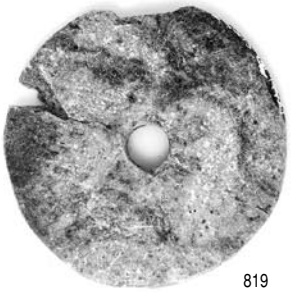

814

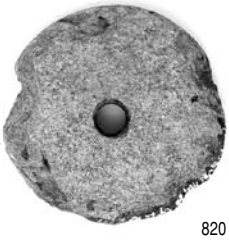

815

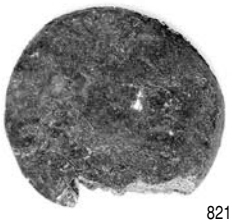

816

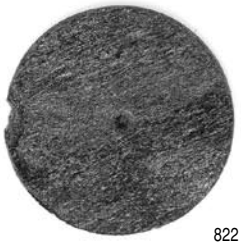
817

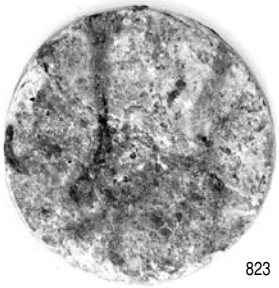
818

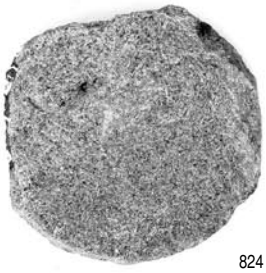

819


820


821


822

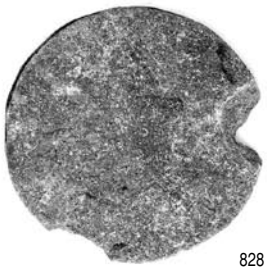

823

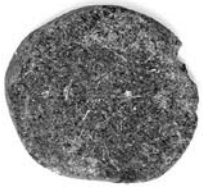

824

825

826

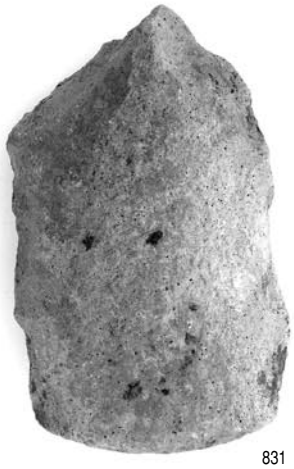
827


828


829

830

遺物写真18


831

832

834

835

836

839

840

841

842

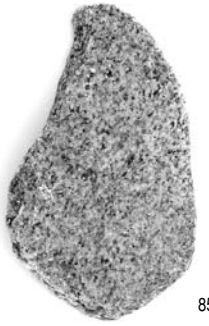
843

844

846

853

855


856

857

遺物写真19

869

873

874

872

870

871

878

875

877

876

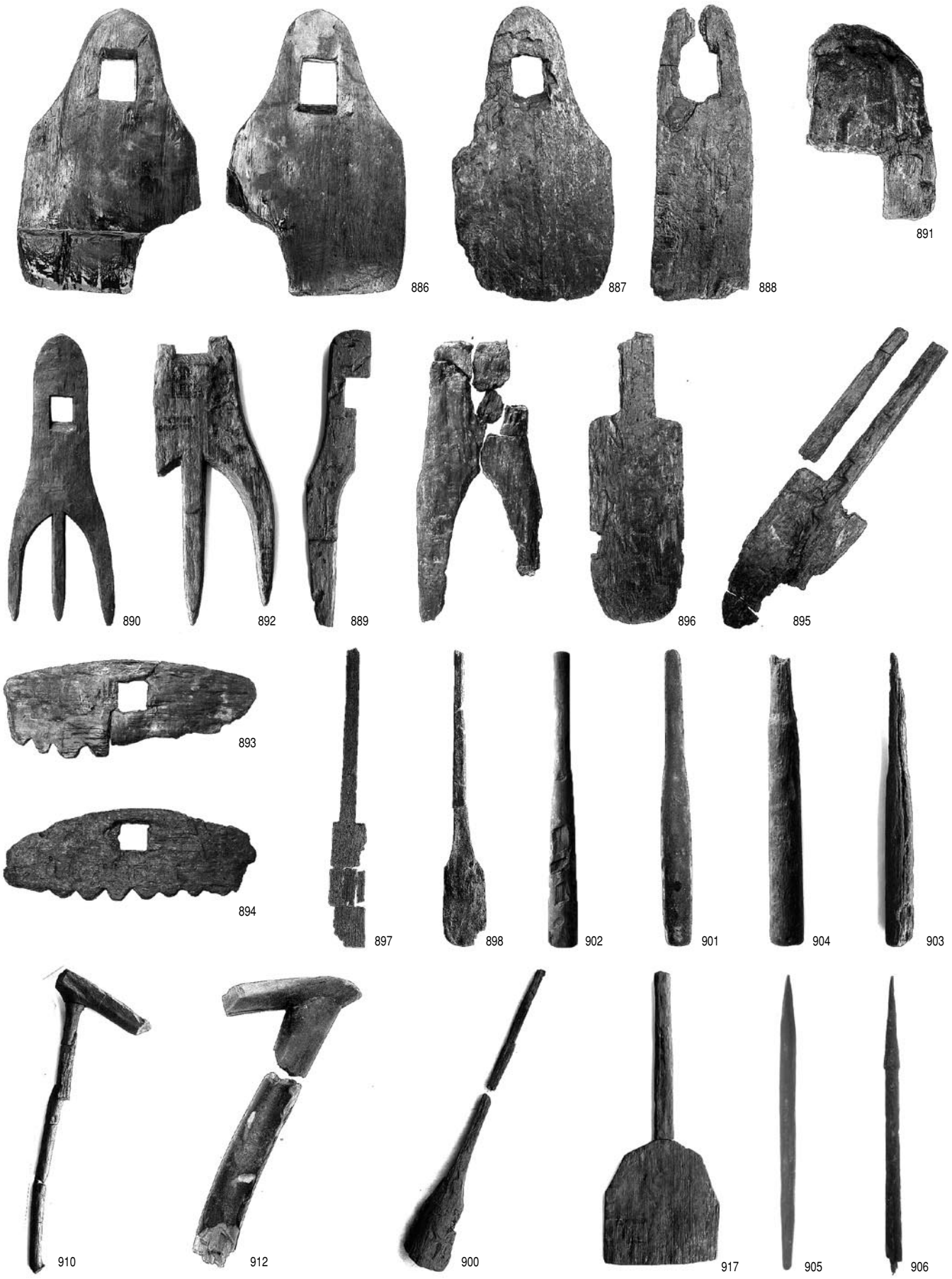
880

879

884

885

遺物写真20


886
887
888
891
890
892
889
896
895
893
894
897
898
902
901
904
903
910
912
900
917
905
906

遺物写真21

914

908

909

919

918

927

921

922

920

923

925

928

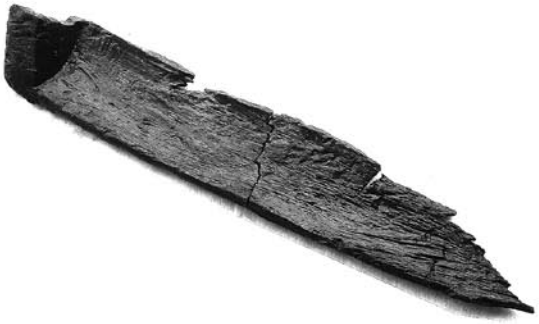
929

933

931

932

930


934

遺物写真22

926
935
937
938
939
940
944
943
936
945
913
941
948
924
949
950
951
942
952
916

遺物写真23

奥　付

書名ふりがな	いまじゅくごろうえ		
書名	今宿五郎江		
副書名	－第13次調査の報告－		
巻次	9		
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財調査報告書		
シリーズ番号	第1109集		
編著者名	菅波正人		
編集機関	福岡市教育委員会	発行機関	福岡市教育委員会
発行年月日	20110318	作成法人ＩＤ	
住所	〒810-0001 福岡市中央区天神1－8－1	電話番号	(092)711－4667
遺跡名のふりがな	いまじゅくごろうえ		
遺跡名	今宿五郎江遺跡		
所在地ふりがな	ふくおかしにしくいまじゅくまち		
所在地	福岡市西区今宿町172－4		
市町村コード	401358	遺跡番号	
北緯	335748	東経	1302739
調査期間	2007.6.1－10.23	調査面積	820m²
調査原因	記録保存調査	種別	集落
主な時代	弥生－古代		
遺跡概要	遺構　弥生時代後期　環濠 遺物　環濠から弥生土器、木製品（農具、工具、容器等）、金属製品（鉄斧、銅鏃、青銅製鋤先等）、包含層から須恵器、土師器等の土器類、輸入陶磁器類（越州窯系青磁）、瓦類		
特記事項	本調査では今宿五郎江遺跡を巡る環濠の一部を検出することができた。 環濠は弥生時代中期末～後期初頭に開削されたもので、糸島地域では初めての環濠集落であり、伊都国内での位置づけについて今後の調査が期待される。		

今宿五郎江 9

－第13次調査の報告－

福岡市埋蔵文化財調査報告書第1109集

２０１１年３月１８日

発行　福岡市教育委員会

（福岡市中央区天神1－8－1）

印刷　株式会社 宣技堂

（福岡市東区箱崎埠頭6丁目6－47）